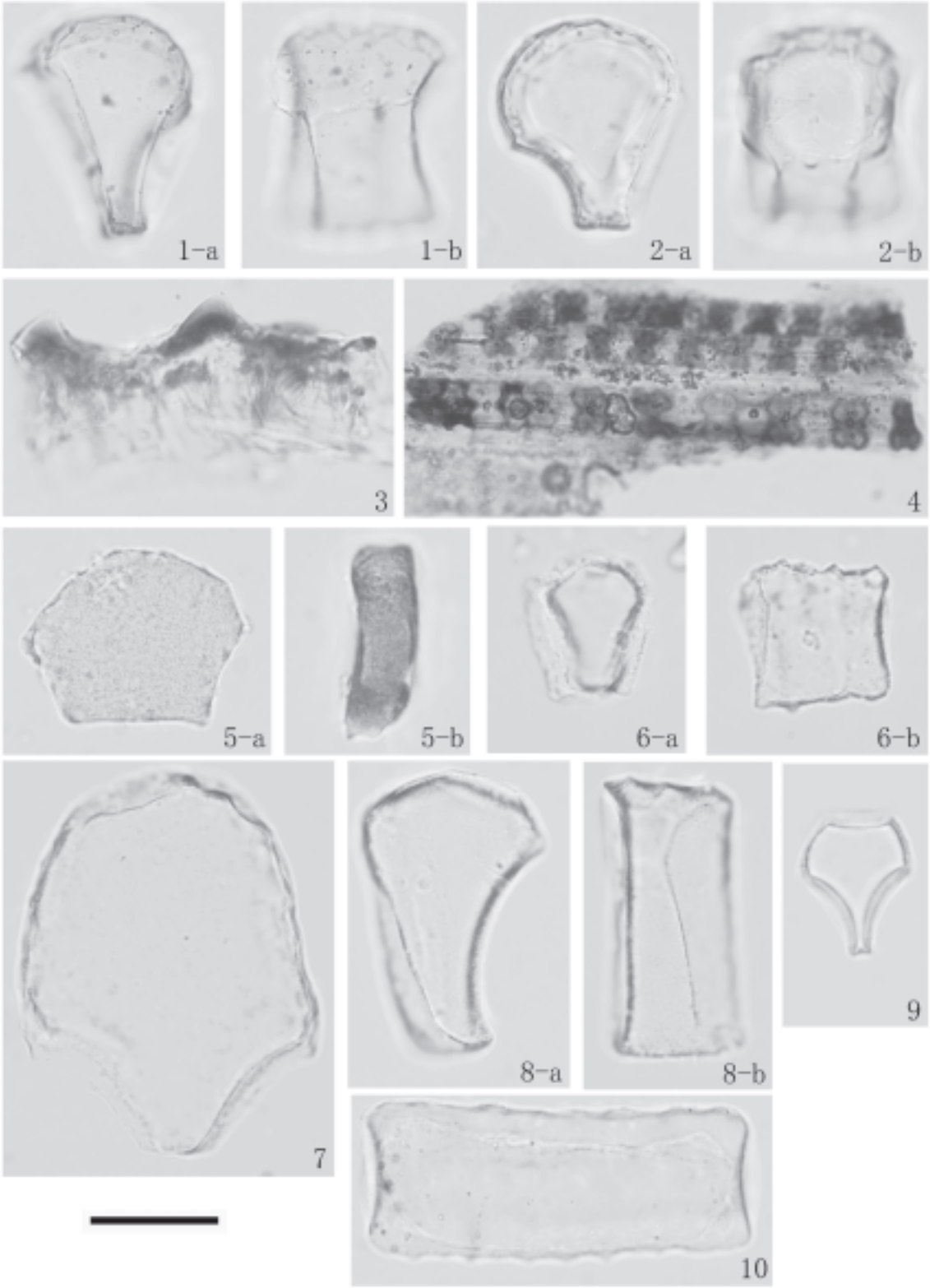


図版4　三内遺跡のプラント・オパール(scale bar:0.03mm)

1､2:イネ(a:断面､b:側面)　1:No.9､2:No.13
3:イネ穎部破片　No.1
4:イネ型単細胞珪酸体列　No.9
5:クマザサ属型(a:断面､b:側面)　No.12
6:ネザサ節型(a:断面､b:側面)　No.12
7:ヨシ属(断面)　No.7
8:ウシクサ族(a:断面､b:側面)　No.3
9:シバ属(断面)　No.1
10:キビ族(側面)　No.6

第３章　三内遺跡・三内丸山（９）遺跡より出土した木質遺物の樹種

吉川純子（古代の森研究舎）

１．試料と方法

三内遺跡は青森市の西部の八甲田火砕流で形成された丘陵が削剥されてできた段丘上に位置し、今回調査された木製品を出土した沢跡はこの段丘南東端にあたる。沢跡上層にあたるⅡ層からは平安時代の多数の木製品や加工材を出土し、当時の木材利用を調査するため50試料の樹種同定をおこなった。

試料からは剃刀で横断面、接線断面、放射断面の切片を作成しガムクロラールでプレパラートに封入し、観察・同定を行った。

２．結果

50試料の同定を行ったところアスナロ、オニグルミ、クリ、ブナ属、カツラ、カエデ属、ハイノキ属、トネリコ属の8分類群が認められた（表1）。以下に同定された分類群の木材解剖学的記載を示す。

アスナロ　*Thujopsis dolabrata* Sieb. et Zucc.：針葉樹で、樹脂道がなく、早材部の仮道管壁はやや厚く早材から晩材への移行はやや急で年輪界は明瞭である。晩材部付近に樹脂細胞が点在している。分野壁孔は小さいヒノキ型で１分野に2-4個ある。

オニグルミ　*Juglans ailanthifolia* Carr.：中型の道管が単独ないし2, 3個散在する散孔材で、晩材部ではやや径を減じる。柔組織が接線状である。道管の穿孔は単一で放射組織は同性でほぼ2細胞幅である。

クリ　*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.：年輪のはじめに大きな道管が2-3列集合し、その後径が急減して火炎状に小管孔が配列する環孔材。道管の穿孔板は単一で放射組織は単列で同性である。

ブナ属　*Fagus*：小さい管孔が密に分布し、晩材部では径を減じる散孔材で年輪界は明瞭。穿孔板は単一と階段状がある。放射組織は同性で1-数細胞幅の小さいものと数十細胞幅の大きい放射組織が混在する。横断面では放射組織の部分で年輪界が外方向に突出する。

カツラ　*Cercidiphyllum japonicum* Sieb. et Zucc.：小さく角張った管孔が単独ないし2-3個複合して密に均一に分布する散孔材。晩材部で管孔径がやや小さくなる。道管の穿孔板は階段状で20-30段、らせん肥厚がある。放射組織は異性.細胞幅。

カエデ属　*Acer*：小型の管孔が単独ないし数個複合して散在する散孔材。木繊維の壁厚の違いによりしばしば横断面で波状模様を呈する。管孔内にはらせん肥厚があり、単穿孔、放射組織は同性で4-5細胞幅である。

ハイノキ属　*Symplocos*：小さい管孔が単独ないし2, 3個複合して年輪内に均一に分布する散孔材で年輪界は不明瞭。穿孔板は段数の極めて多い階段状。放射組織は異性で1, 2細胞幅多列部から翼状の単列部を介して多列部が続く。

トネリコ属　*Fraxinus*：年輪はじめに大きい道管が数列、単独ないし数個複合して分布し、その後急に径を減じて壁が厚く小さい管孔が単独ないし放射方向に数個複合して配列する環孔材。道管の穿孔は単一、放射組織は同性で1-3細胞幅である。

表1　三内遺跡より出土した木質遺物の用途別樹種

分類群	櫛	へら	槽	田下駄	箸	棒	板	加工材	木片	個数
アスナロ		1	1	1	6	10	12	2	1	34
ブナ属									4	4
カエデ属						2			1	3
カツラ						1			2	3
クリ						1		1		2
オニグルミ								1	1	2
ハイノキ属	1									1
トネリコ属									1	1

3．考察

本遺跡の樹種構成は、アスナロがもっとも多く、以下ブナ属、カエデ属、カツラといった樹種が利用されている。50試料のうち板、棒、箸など34試料にアスナロが利用され、田下駄、槽、へらも含め、かなりの利用頻度を示す。棒はアスナロのほかにカツラ、カエデ属、クリが用いられ、加工材はクリ、オニグルミが用いられている。木片とした試料は端材などとみられるが、ブナ属、カツラ、アスナロ、カエデ属、オニグルミ、トネリコ属など様々な樹種がある。１点だけ同定された櫛の破片はハイノキ属であった。平井（1996）によるとサワフタギはときに櫛材に用いるとされ、現在の東北地方の林分では普通に見られるが、ハイノキ属の製品出土例は少ないようである。

本遺跡ではさまざまな製品にアスナロの多用が見られる。山田（1993）によると、東北地方では8～12世紀にはアスナロとスギが多用され、広葉樹ではコナラ節、クリ、ブナ属、ケヤキなどが多い。本遺跡ではアスナロは出土したがスギは出土せず、広葉樹ではブナ属とクリは出土したが、そのほかはカツラ、オニグルミ、トネリコ属など低湿地に生育するような樹種も出土する傾向にある。木片の中にはねじれた材なども見られることから、端材以外に湿地内もしくは周辺に生育していた木の破片なども混在する可能性がある。

本遺跡より南東約５キロメートルの丘陵斜面にある野木遺跡では平安時代の木製品278試料の調査が行われ（能城ほか2000）、箸や板、割材などにはアスナロが多用され、クリ、カツラ、カエデ属、トネリコ属を出土することで共通している。薄く割って用いる板材や木製品はアスナロを利用し、棒や杭などの加工材は周囲に生育するクリやカツラなどを加工して用いていたと考えられる。

引用文献

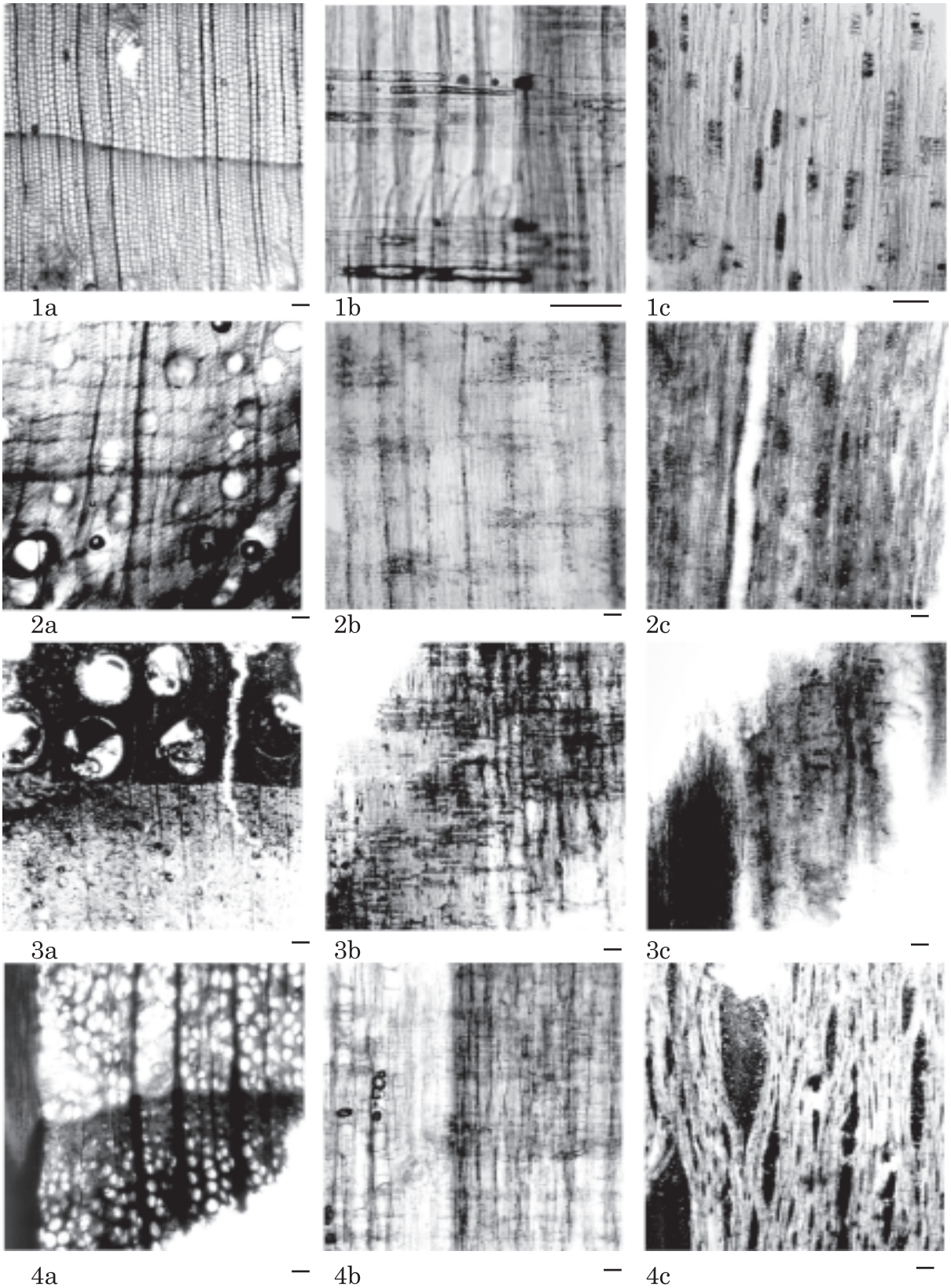
平井信二．1996．木の大百科　解説編．朝倉書店．642p.

山田昌久．1993．日本列島における木質遺物出土遺跡文献集成－用材から見た人間・植物関係史．植生史研究特別第１号．植生史研究会．1-242.

能城修一・鈴木三男．2000．青森県野木遺跡出土木材の樹種．野木遺跡Ⅲ（第6分冊）．青森県教育委員会．21-34,

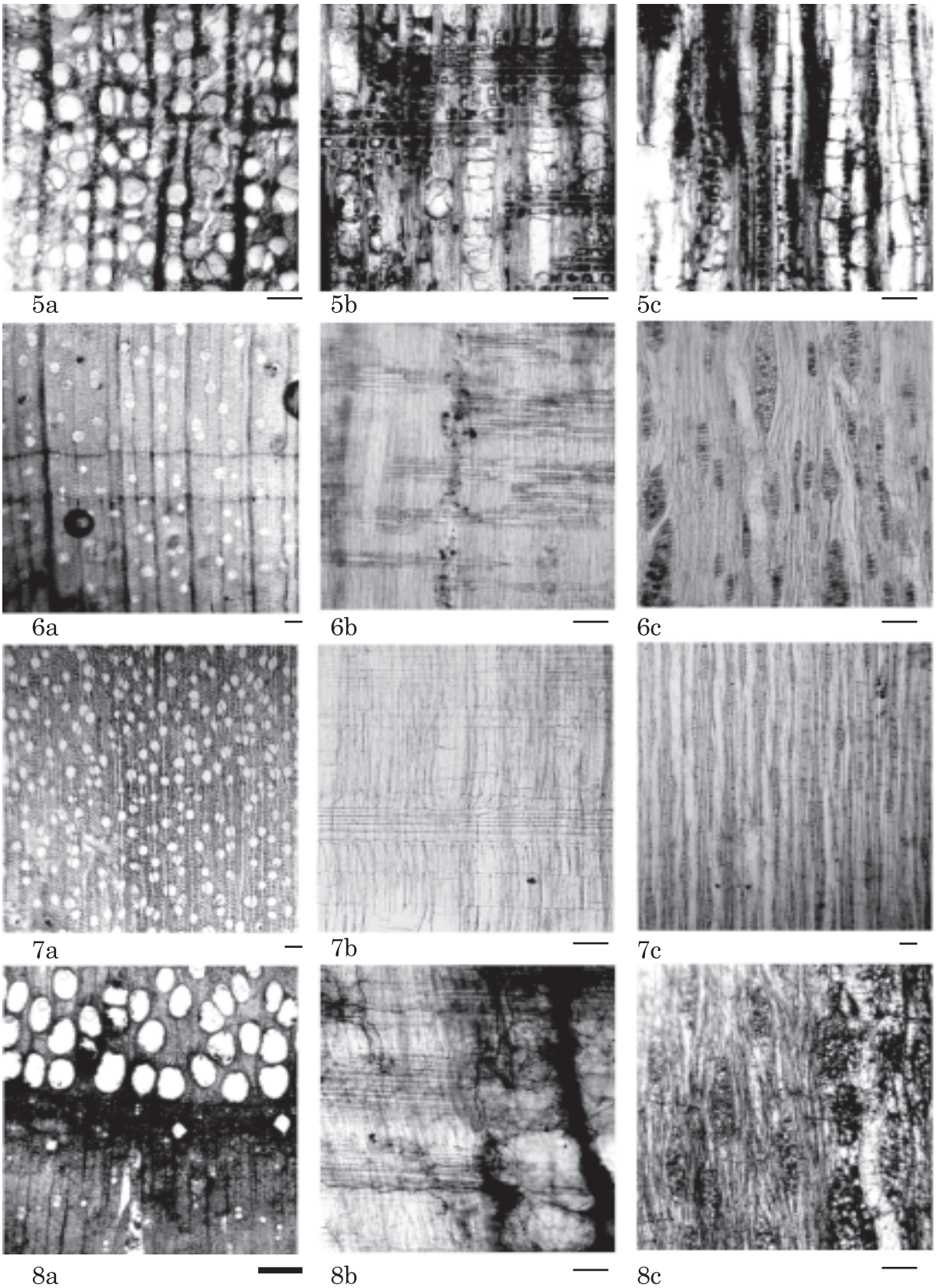
表2　三内遺跡・三内丸山(9)遺跡より出土した木質遺物の樹種同定結果

試料番号	層位	遺跡名	遺構名		状況	分類群	実測図版番号
1		三内丸山(9)	SX-05	W-5	板	アスナロ	−
2		〃	SX-05	W-6	板	アスナロ	−
3		〃	SX-05	W-7	板	アスナロ	−
4	ⅡB	三内			槽	アスナロ	43-02
5	ⅡB	〃			加工材	アスナロ	43-06
6	ⅡB	〃			板	アスナロ	45-13
7	ⅡB	〃			棒	カツラ	43-09
8	ⅡB	〃			加工材	オニグルミ	43-03
9	ⅡB	〃			棒	アスナロ	43-10
10	ⅡB	〃			板	アスナロ	45-14
11	ⅡB	〃			板	アスナロ	45-06
12	ⅡB	〃			細棒	アスナロ	44-32
13	ⅡB	〃			へら状板	アスナロ	45-09
14	ⅡB	〃			棒	アスナロ	44-28
15	ⅡB	〃			棒	アスナロ	44-27
16	ⅡB	〃			目盛り付き加工棒	アスナロ	43-11
17	ⅡB	〃			棒	アスナロ	44-35
18	ⅡB	〃			棒	アスナロ	45-11
19	ⅡB	〃			箸破片	アスナロ	44-20
20	ⅡB	〃			さい箸	アスナロ	44-01
21	ⅡB	〃			箸破片	アスナロ	44-18
22	ⅡB	〃			箸	アスナロ	44-04
23	ⅡB	〃			棒	アスナロ	44-34
24	ⅡB	〃			箸破片	アスナロ	45-04
25	ⅡB	〃			箸破片	アスナロ	44-13
26	ⅡB	〃			櫛破片	ハイノキ属	43-05
27	ⅡB	〃	SX-01		棒	カエデ属	08-01
28	ⅡB	〃			田下駄	アスナロ	43-01
29	ⅡB	〃	SX-03	W-1	棒	クリ	−
30	ⅡB	〃	SX-03	W-2	木片	カツラ	−
31	ⅡB	〃	SX-03	W-3	板	アスナロ	09-08
32	ⅡB	〃	SX-03	W-4	木片	ブナ属	−
33	ⅡB	〃	SX-03	W-5	棒	カエデ属	−
34	ⅡB	〃	SX-03	W-6	棒	アスナロ	09-02
35	ⅡB	〃	SX-03	W-7	木片	トネリコ属	−
36	ⅡB	〃	SX-03	W-8	木片	ブナ属	−
37	ⅡB	〃	SX-03	W-9	板	アスナロ	09-05
38	ⅡB	〃	SX-03	W-10	板	アスナロ	09-07
39	ⅡB	〃	SX-03	W-11	木片	オニグルミ	−
40	ⅡB	〃	SX-03	W-12	板	アスナロ	09-06
41	ⅡB	〃	SX-03	W-13	木片	ブナ属	−
42	ⅡB	〃	SX-03	W-14	木片	カエデ属	−
43	ⅡB	〃	SX-03	W-15	木片	ブナ属	−
44	ⅡB	〃	SX-03	W-16	加工材	クリ	−
45	ⅡB	〃	SX-03	W-17	棒	アスナロ	09-03
46	ⅡB	〃	SX-03	W-18	木片	アスナロ	09-10
47	ⅡB	〃	SX-03	W-20	木片	カツラ	−
48	ⅡB	〃	SX-03	W-21	棒	アスナロ	09-09
49	ⅡB	〃	SX-03	W-22	板	アスナロ	09-01
50	ⅡB	〃	SX-03	W-23	加工材	アスナロ	09-04



図版1　三内遺跡出土木製品切片の顕微鏡写真その1

1 アスナロ(No.50) 2 オニグルミ(No.39) 3 クリ(No.29) 4 ブナ属(No.41)
a:横断面,b:放射断面,c:接線断面,スケールは0.1mm



図版2　三内遺跡出土木製品切片の顕微鏡写真その2

5 カツラ(No.30) 6 カエデ属(No.27) 7 ハイノキ属(No.26) 8 トネリコ属(No.35)
a:横断面,b:放射断面,c:接線断面,スケールは0.1mm ただし、8aのみ1mm

第４章　三内遺跡・三内丸山（９）遺跡より出土した大型植物化石

吉川純子　（古代の森研究舎）

１．試料と方法

三内遺跡・三内丸山（９）遺跡は青森市西部の段丘上に位置し、縄文時代から平安時代、中世の遺構や遺物を出土する。段丘南東端の三内遺跡には縄文時代以降の堆積物で埋積された沢跡があり、この沢のⅢ層（縄文時代中期）、Ⅱ層（平安時代のおもに10世紀前後）、Ⅰ層（古代以降）の堆積物から水洗選別された試料を調査した。Ⅲ層はⅢa層から中期後半の遺物を出土しているが下位のⅢb～Ⅲe層は無遺物で時期を確定できない。Ⅱ層はⅡbとⅡc層から10世紀の土師器と須恵器が多量に出土しているが下位のⅡd～Ⅱf層と上位のⅡa層の帰属時期は不明である。Ⅰ層は中世以降の陶磁器の小破片などがわずかに含まれるだけであるため時期は不明である。三内丸山（９）遺跡は段丘上に形成された縄文時代中期後半を中心とする集落跡で、最花式、榎林式と円筒上層d・e式土器を出土する。この集落の住居床覆土などを水洗選別し得られた炭化種実を調査した。

試料の同定は実体顕微鏡および肉眼で行い、分類群・部位ごとに計数し表にまとめた。ウルシ属内果皮の破片は壁の切片プレパラートを作成し光学顕微鏡で観察、炭化内果皮は表面を反射顕微鏡で観察し、同定を行った。

２．結果

縄文時代中期の住居跡から出土した炭化種実を表１にまとめた。ほとんどが中期後半に帰属するが、第26号竪穴住居跡（SI-26）と第１号土器埋設遺構（SR-01）は中期前半と特定された。縄文時代中期後半の住居跡のほとんどから炭化したトチノキとオニグルミが多く出土した。また、クリ、キジムシロ属、サクラ節もわずかであるが出土している。中期前半の住居跡からは炭化したオニグルミとトチノキが出土した。沢堆積物Ⅲ層より出土した大型植物化石を表２に示した。中期中葉から後葉の土器が多量に含まれるⅢa層からはオニグルミ、トチノキのほかにわずかにクリ、キイチゴ属などを出土している。人間が利用した痕跡が認められたのはオニグルミ、クリ、トチノキ、タデ属でいずれも炭化していた。また、湿地に生育するホタルイ属、ハリイ属なども出土している。なお、分析に供された試料のうち、第17号竪穴住居跡炉（SI-17）、第21号竪穴住居跡炉（SI-21）、第５号竪穴住居跡付属施設（SI-05）、第73号土坑覆土（SK-73）からは種実を出土しなかった。

平安時代とされる沢堆積物のⅡ層から得られた大型植物化石を表３に示す。時期の確定されたⅡb層およびⅡc層からは人間の利用痕跡と考えられるオニグルミ、トチノキ、ハクウンボク、イネの破片のほか、クリ、ウルシ、ミズキ、アワ、タデ属の炭化種実の出土があった。そのほかの利用植物はアサ、エゴマ近似種を出土している。本層ではオニグルミやトチノキの完形果実も多く、ネズミ食痕、リス食痕のある果実や未熟果、未熟種子を出土している。また、ブナの殻斗、ホオノキ、ニワトコ属など周辺に生育していたとみられる種実を出土している。草本は湿地に生育するヘラオモダカ、ホタルイ属、周辺の斜面に生育していたと考えられるサナエタデ近似種、ハナタデ近似種やキジムシロ属、スミレ属、チドメグサ属などを比較的多く出土した。Ⅱc層より古く、縄文時代よりは新しいⅡf層からはオニグルミやイヌガヤの破片、サワグルミ、アサダやホオノキ、キブシ、カヤツリグサ属などを

表1　三内丸山(9)遺跡縄文時代中期の住居跡より出土した炭化種実

分類群		試料番号 遺構名 略号 出土部位／層位	- 第4号竪穴住居跡Ａ SI-04A 炉１層	- 第4号竪穴住居跡Ａ SI-04A 炉 覆土	D-15 第6号竪穴住居跡 SI-06 炉１層	D-16,28 第6号竪穴住居跡 SI-06 炉２層	D-17 第6号竪穴住居跡 SI-06 炉３層	D-18 第6号竪穴住居跡 SI-06 炉４層
オニグルミ	*Juglans ailanthifolia* Carr.	炭化内果皮破片	1		20	380	38	49
クリ	*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.	炭化子葉破片						1
ブナ科	*Fagaceae*	炭化果皮破片						
サクラ属	*Prunus*	炭化核						
キジムシロ属	*Potentilla*	炭化核	1					
トチノキ	*Aesculus turbinata* Blume	炭化種皮破片	4		3	1	14	70
		炭化子葉破片						1
核菌綱	Ascomycotina	菌核		+	+			
不明	Unknown		2					

分類群		試料番号 遺構名 略号 出土部位／層位	D-19 第6号竪穴住居跡 SI-06 炉５層	D-20 第6号竪穴住居跡 SI-06 炉６層	D-21 第6号竪穴住居跡 SI-06 土器埋設炉 焼土	D-23 第9号竪穴住居跡 SI-09 炉１層	D-24 第9号竪穴住居跡 SI-09 炉２層	D-26 第9号竪穴住居跡 SI-09 炉 覆土	-
オニグルミ	*Juglans ailanthifolia* Carr.	炭化内果皮破片	4	2	279	1	3		
クリ	*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.	炭化子葉破片							
ブナ科	*Fagaceae*	炭化果皮破片							
サクラ属	*Prunus*	炭化核							
キジムシロ属	*Potentilla*	炭化核							
トチノキ	*Aesculus turbinata* Blume	炭化種皮破片	12	6			4	1	
		炭化子葉破片							
核菌綱	Ascomycotina	菌核				+			
不明	Unknown								

分類群		試料番号 遺構名 略号 出土部位／層位	- 第12号竪穴住居跡Ａ SI-12Ａ 床面	D-27 第12号竪穴住居跡Ｂ SI-12Ｂ 炉 覆土	D-1,2,4,5,6 第17号竪穴住居跡 SI-17 覆土(付属施設)	D -9 第23号竪穴住居跡 SI-23 炉Ｂ焼土	D-8,10 第23号竪穴住居跡 SI-23 覆土（焼土）	B -1 第25号竪穴住居跡 SI-25 覆土
オニグルミ	*Juglans ailanthifolia* Carr.	炭化内果皮破片	150		30	4	15	3
クリ	*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.	炭化子葉破片				2		
ブナ科	*Fagaceae*	炭化果皮破片	11					
サクラ属	*Prunus*	炭化核					2	
キジムシロ属	*Potentilla*	炭化核						
トチノキ	*Aesculus turbinata* Blume	炭化種皮破片	30	26	7	5	2	3
		炭化子葉破片	2	2	1			
核菌綱	Ascomycotina	菌核	+				+	+
不明	Unknown		1		1			1

分類群		試料番号 遺構名 略号 出土部位／層位	B -3 第26号竪穴住居跡 SI-26 炉１層	B -4 第26号竪穴住居跡 SI-26 炉２層	B -2 第26号竪穴住居跡 SI-26 炉３層	B -5 第27号竪穴住居跡 SI-27 床面（灰状物質）	D-14 第74号土坑 SK-74 1層（焼土）	- 第1号埋設土器 SR-1 1層	- 第2号埋設土器 SR-2 埋設土器 覆土
オニグルミ	*Juglans ailanthifolia* Carr.	炭化内果皮破片	3	3	19	2	3		
クリ	*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.	炭化子葉破片							
ブナ科	*Fagaceae*	炭化果皮破片							
サクラ属	*Prunus*	炭化核							
キジムシロ属	*Potentilla*	炭化核							
トチノキ	*Aesculus turbinata* Blume	炭化種皮破片	12	53	97		23		
		炭化子葉破片							
核菌綱	Ascomycotina	菌核		+	+		+	+	+
不明	Unknown							6	

表2　三内遺跡III層縄文時代中期より出土した大型植物化石

分類群		試料番号 出土部位／層位	C-9, 14 ベルト１ Ⅲa	C-11, 13 ベルト１ Ⅲa下部	C-7 ベルト１ Ⅲb	C-8 ベルト２ Ⅲc2
オニグルミ	*Juglans ailanthifolia* Carr.	炭化内果皮破片	8	9		
クリ	*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.	炭化果皮破片	1			
		炭化子葉破片		1		
キイチゴ属	*Rubus*	核	1			
トチノキ	*Aesculus turbinata* Blume	炭化種皮破片	5	2	1	
		炭化子葉破片		2		
タラノキ	*Aralia elata* (Miq.) Seeman	内果皮	1			
木本	Arbor	芽				1
ヒメクグ近似種	*Cyperus* cf. *brevifolius* (Rottb.)Hassk.	果実	1			
ホタルイ属	*Scirpus*	果実	3			
ハリイ属	*Eleocharis*	果実	1			
タデ属	*Polygonum*	炭化果実	2	1	1	1
不明	Unknown	炭化種実				1
核菌綱	Ascomycotina	菌核	+	+	+	

表3　三内遺跡Ⅱ層平安時代より出土した大型植物化石

分類群		試料番号 出土部位／層位	C-21 ベルト1 Ⅱa	C-12,22 ベルト1 Ⅱb	C-16 ベルト2 Ⅱb	– 現取 Ⅱb	– 現取 Ⅱc	– 現取 Ⅱc-e	C-15 ベルト1 Ⅱf
イヌガヤ	*Cephalotaxus harringtonia* (Knight)K.Koch	種子						6	
		種子破片							3
オニグルミ	*Juglans ailanthifolia* Carr.	内果皮完形				8		16	
		ネズミ食痕					1	9	
		完形風化						2	
		内果皮半分				8		6	
		半分割跡				6		3	
		半分リス食痕				2		6	
		半分風化				5		2	
		内果皮破片		2					16
		炭化内果皮破片	1	3	1				
サワグルミ	*Pterocarya rhoifolia Sieb. et* Zucc.	内果皮							21
アサダ	*Ostrya japonica* Sarg.	果実							22
サワシバ	*Carpinus cordata* Blume	果実							2
クリ	*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.	炭化子葉破片			1				
ブナ	*Fagus crenata* Blume	殻斗			1	2	4	6	1
		果実							1
ブナ科	*Fagaceae*	果皮破片				1			
エノキ	*Celtis sinensis* Pers. *var. japonica* (Planch.) Nakai	内果皮							1
ヤマグワ	*Morus bombycis* Koidz.	種子							3
ホオノキ	*Magnolia obovata* Thunberg	種子					13	75	13
コブシ	*M. kobusu* DC.	種子							2
サクラ節	*Prunus sect. Pseudocerasus*	核							3
キイチゴ属	*Rubus*	核		12					
サンショウ	*Zanthoxylum piperitum* (Linn.)DC.	内果皮							2
キハダ	*Phellodendron amurense* Rupr.	種子							1
ウルシ	*Rhus verniciflua* Stokes	炭化内果皮		1					
ウルシ属	*Rhus*	内果皮							1
ハウチワカエデ近似種	*Acer cf. japonicum* Thunb.	種子							6
トチノキ	*Aesculus turbinata* Blume	果実完形						3	
		果皮破片				2		32	
		未熟果				2		6	3
		種子完形						7	
		種皮破片				4	4	21	7
		未熟種子				1		30	
		炭化種皮破片		2					
		炭化未熟種子		1					
ヤマブドウ	*Vitis coignetiae* Pulliat	種子			1				5
ブドウ属	*Vitis*	種子破片							4
サルナシ	*Actinidia arguta* (Sieb. et Zucc.) Planch. ex Miq.	種子							10
マタタビ	*Actinidia polygama* (Sieb. et Zucc.) Planch et Maxim.	種子		2					6
キブシ	*Stachyurus praecox* Sieb. et Zucc.	種子							18
ウコギ近似種	*Acanthopanax cf. sieboldianus* Makino	内果皮							1
タラノキ	*Aralia elata* (Miq.) Seeman	内果皮		3					5
ミズキ	*Cornus controversa* Hemsley	内果皮						2	19
		炭化内果皮		1					
クサギ	*Clerodendron trichotomum* Thunb.	内果皮			1				
ハクウンボク	*Styrax obassia* Sieb. et Zucc.	内果皮			8	11	16	38	
		内果皮破片				12	5	7	
コハクウンボク	*S. shiraiana* Makino	内果皮				2			
ニワトコ属A	*Sambucus* A	内果皮		25	1				
木本	Arbor	芽							9
ヘラオモダカ	*Alisma canaliculatum* A.Br. et Bouche	果実			1				
オモダカ科	Alismataceae	種子		1					
イネ	*Oryza sativa* L.	穎片			1				
アワ	*Setaria italica* Beauv.	炭化種子		1					
ヒエ属	*Echinochloa*	穎		1	1				
イネ科	Gramineae	果実		2					
ヒメクグ近似種	*Cyperus* cf. *brevifolius* (Rottb.)Hassk.	果実		157					
クグ近似種	*Cyperus* cf. *cyperoides* (Linn.)O.Kuntze	果実							2
カヤツリグサ属	*Cyperus*	果実	1	99					310
ホタルイ属	*Scirpus*	果実		16	4				
ハリイ属	*Eleocharis*	果実		1					
タチスゲ近似種	*Carex* cf. *maculata* Boott	果実							37
ヒメカンスゲ近似種	*Carex* cf. *conica* Boott	果実							5
スゲ属	*Carex*	果実		10					141
アサ	*Cannabis sativa* L.	種子		10	1				
シロザ近似種	*Chenopodium* cf. *album* L.	種子		19					
ヤナギタデ	*Polygonum hydropiper* Linn.	果実			3				
サナエタデ近似種	*P.* cf. *scabrum* Moench	果実			1				
ハナタデ近似種	*P.* cf. *posumbu* Ham. var. *laxiflorum* (Meisn.)Ohwi	果実		30					5
タデ属	*Polygonum*	炭化果実							
ノミノフスマ近似種	*Stellaria* cf. *alsine* Grimm var. *undulata* (Thunb.) Ohwi	種子		7					1
ナデシコ属	*Dianthus*	種子		2					
キジムシロ属	*Potentilla*	核		32					
オトギリソウ属	*Hypericum*	種子		2					
アブラナ科	Cruciferae	種子		4					
スミレ属	*Viola*	種子		57	1				6
ナス属	*Solanum*	種子		2					
ハリブキ	*Oplopanax japonicus* (Nakai)Nakai	内果皮							2
チドメグサ属	*Hydrocotile*	果実		92					
セリ	*Oenanthe javanica* (Blume) DC.	果実		7					
キランソウ属	*Ajuga*	果実		2					
イヌコウジュ属	*Mosla*	果実		15					
トウバナ属	*Clinopodium*	果実		14					
エゴマ近似種	*Perilla* cf. *frutescens* (Linn.)Britton var. *japonica* (Hassk.)Hara	果皮破片		1					
ニワトコ属B	*Sambucus B*	内果皮		25					
キク科	Compositae	果実							1

出土した。平安時代の住居跡試料、第３号竪穴住居跡カマド火床面（SI-03）からは、同定可能な種実は得られなかった。

古代以降とされる沢堆積物Ⅰ層から出土した大型植物化石を表４に示す。Ⅰ層からは利用植物のイネ、アワ、アサのほかにブドウ属、ニワトコ属や周辺に生育していたとみられるシロザ近似種、スゲ属などを出土した。

表4　三内遺跡Ⅰ層古代以降より出土した大型植物化石

		試料番号	C-19	C-6	C-20	C-18	C-17	C-10	C-23
			ベルト１	ベルト１	ベルト１	ベルト１	ベルト１	ベルト１	ベルト１
分類群		出土部位／層位	Ⅰa	Ⅰc	Ⅰd	Ⅰe	Ⅰf	Ⅰg	Ⅰh
ブドウ属	*Vitis*	種子破片						1	
ウコギ近似種	*Acanthopanax* cf. *sieboldianus* Makino	内果皮					1		
ニワトコ属A	*Sambucus* A	内果皮					4		
イネ	*Oryza sativa* L.	炭化胚乳			3	1	2	2	
アワ	*Setaria italica* Beauv.	炭化種子							2
イヌビエ近似種	*Echinochloa crus-galli* (Linn.) Beauv.	炭化種子							2
カヤツリグサ属	*Cyperus*	果実	1						
スゲ属	*Carex*	果実	1						
アサ	*Cannabis sativa* L.	種子					2		
シロザ近似種	*Chenopodium* cf. *album* L.	種子				1	12		
タデ属	*Polygonum*	炭化果実				1	3	1	
ナデシコ属	*Dianthus*	種子							1
ニワトコ属B	*Sambucus B*	内果皮					2		
核菌綱	Ascomycotina	菌核	+	+	+	+	+	+	

以下に出土した大型植物化石のうち特筆すべき分類群の形態記載を行う。

オニグルミ：内果皮壁に痕跡があるものとしては、人間による割跡、ネズミによる食痕、リスによる食痕が挙げられる。人間は叩き石などを用いてオニグルミの上下に破砕痕を残し、ときに内部までひびが入る。また、炭化している内果皮も人間による痕跡である。ネズミは内果皮の横に歯でかじって丸い穴を開ける。リスの場合には内果皮の縫合線に沿って歯を差し入れて削りながらあけていくので、肉眼で自然に割れたものと区別が難しいことがある。拡大すると写真のように削り取った痕跡が残っている。

ウルシ：ウルシ属の内果皮は化石ではかなり軟らかく保存が悪いことが多い。ウルシ属のうちウルシと他種を区別するには内果皮最外層の断面の柵状組織が長柱状の細胞であるかどうかと内果皮壁表面に細胞幅と対応したへこみが存在するかどうかで同定が可能となる。試料C-15Ⅱf層から出土した内果皮の破片は、切片観察の結果、やや柱状の細胞があるものの形状が明確ではなく、表面は平滑でへこみが全く認められなかったためウルシ属と同定するにとどめた。C-22Ⅱb層から出土した内果皮は炭化していたため表面を400倍で観察したところ、比較的規則的なほぼ円形のへこみが全面に認められたためウルシと同定した。

サルナシとマタタビ：両者とも同じマタタビ属で楕円形、下端にへそがあり大きさも2ミリメートル強と区別が難しいが、サルナシは表面に細い筋で多角形の網目が構成されており、その中がへこんで穴があいているが、マタタビの場合は楕円形の平滑な表面に多角形の穴があいて網目状に見えることで区別される。

ニワトコ属：ニワトコ属Aとした内果皮は下端のへそ部分が鈍角に開いたニワトコに近い形状であるが、ニワトコ属Bとした内果皮はへその部分がかなり鋭角に突出し、草本のソクズの形状に近似する傾向がある。しかし、出土したすべての内果皮を比較してみるとこの形状が漸移的に変化しているようでもあるため、種の同定に至らなかった。ニワトコは民間薬として利用例があるが、ソクズの場合は薬効が認められ漢方薬として利用されている。

３．考察

縄文時代中期後半の住居からはオニグルミやクリ、トチノキといった利用していた種実が炭化して出土した。いずれの試料からも比較的高い頻度で出土しているのがオニグルミ内果皮破片とトチノキ種皮破片である。オニグルミは縄文時代の炉を中心として比較的頻繁に出土する傾向があり、完形乾燥保存し、住居内で処理したと推察される。トチノキに関しては、さまざまなあく抜きおよび保存方法があるが、隣接する三内丸山遺跡（吉川2006）や八戸市新田遺跡（吉川2006）など、縄文時代中期後半の住居内では、子葉よりも炭化種皮破片を多く出土していることから、種皮を剥かないで保存し、必要に応じて住居内で皮むきとあく抜きを行って、剥いた種皮を炉にくべた可能性が考えられる。沢堆積物からも利用された炭化種実を出土するが、堆積物処理量約2キログラム中破片が10個以下とわずかであり、廃棄されたのではなく一部が集落付近から流れ込んで堆積したと考えられる。また、出土した種実数は極めて少なく、この時期の沢周辺は林分がきわめて疎であった可能性がある。

平安時代のⅡbおよびⅡc層からはオニグルミ、トチノキ、イネ、アサといった利用植物も出土しているが、そのほかの利用痕跡のないオニグルミやトチノキ種実のほか、ブナの殻斗やカヤツリグサ科の果実などを出土するため、沢周辺が林や草本に覆われていたと考えられる。木本起源の種実はオニグルミ、トチノキ、ハクウンボクのような湿地や湿地斜面に生育するような樹種がみられ、草本もヘラオモダカやカヤツリグサ科などを出土し、斜面はこれらの落葉広葉樹や草本に覆われ、これらの植物からの果実種子の供給があったと考えられる。植物の利用では、イネ、アワのほかにオニグルミやトチノキ、ハクウンボクも破片を出土しているので利用していたと考えられ、ミズキやウルシなども炭化していることから利用した可能性がある。

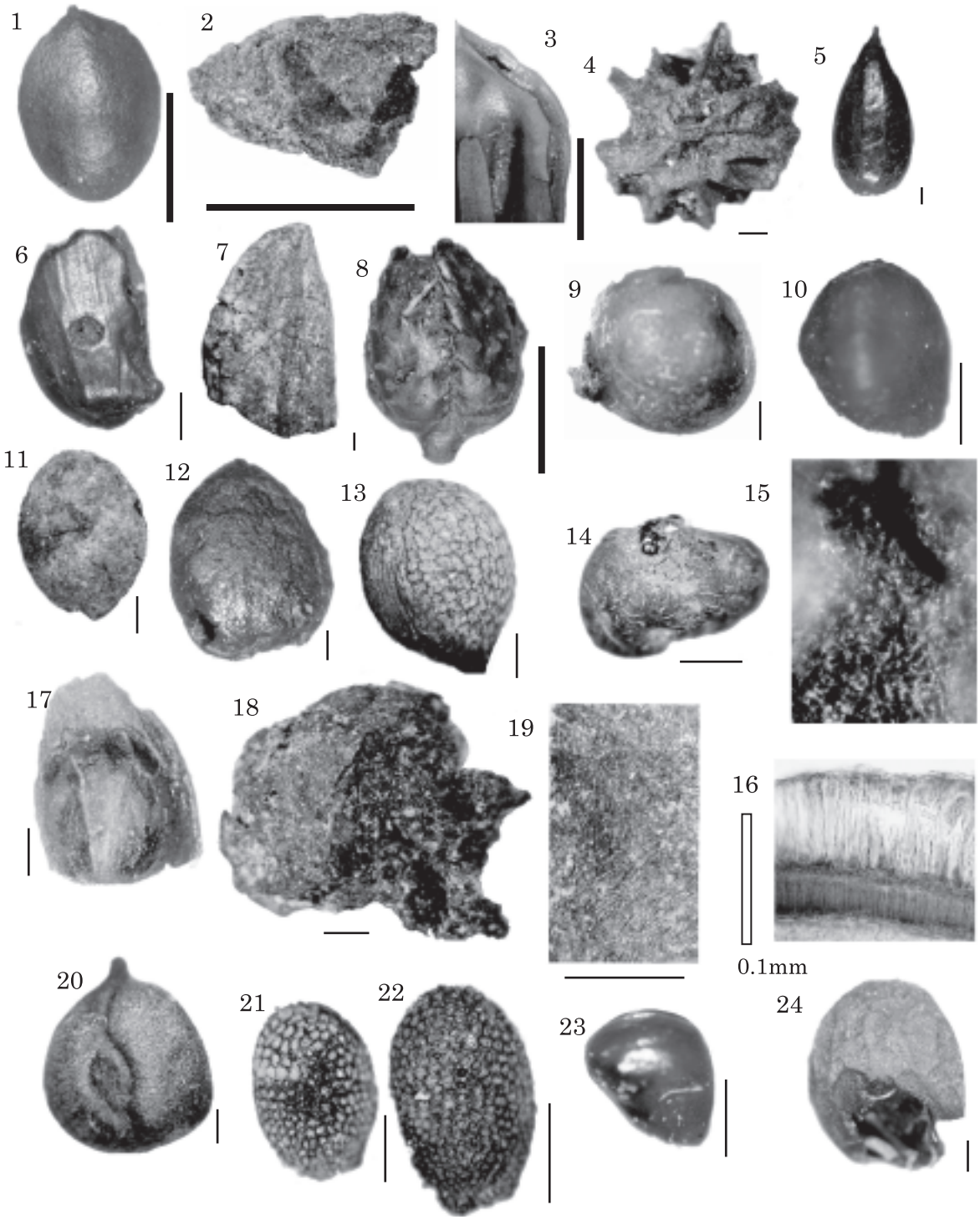
青森市内の同時期の遺跡では木組遺構が存在する野木遺跡の沢堆積物が検討され（吉川2000）、ブナ、トチノキ、ホオノキ、ニワトコなどの落葉広葉樹とヘラオモダカ、ヤナギタデなどの湿地性草本を出土しており、同様の傾向を示すが、本遺跡ではオニグルミを多く出土するのに対し、野木遺跡では全く出土しない。堆積物処理量は両遺跡とも各試料２～４キログラム前後であるが、野木遺跡では破損種子や炭化種子もやや多く、水場周辺での生業活動が本遺跡よりもやや活発であったのかもしれない。

引用文献

吉川純子．2000．野木遺跡より産出した大型植物化石．野木遺跡Ⅲ（第6分冊）．青森県教育委員会．83-88

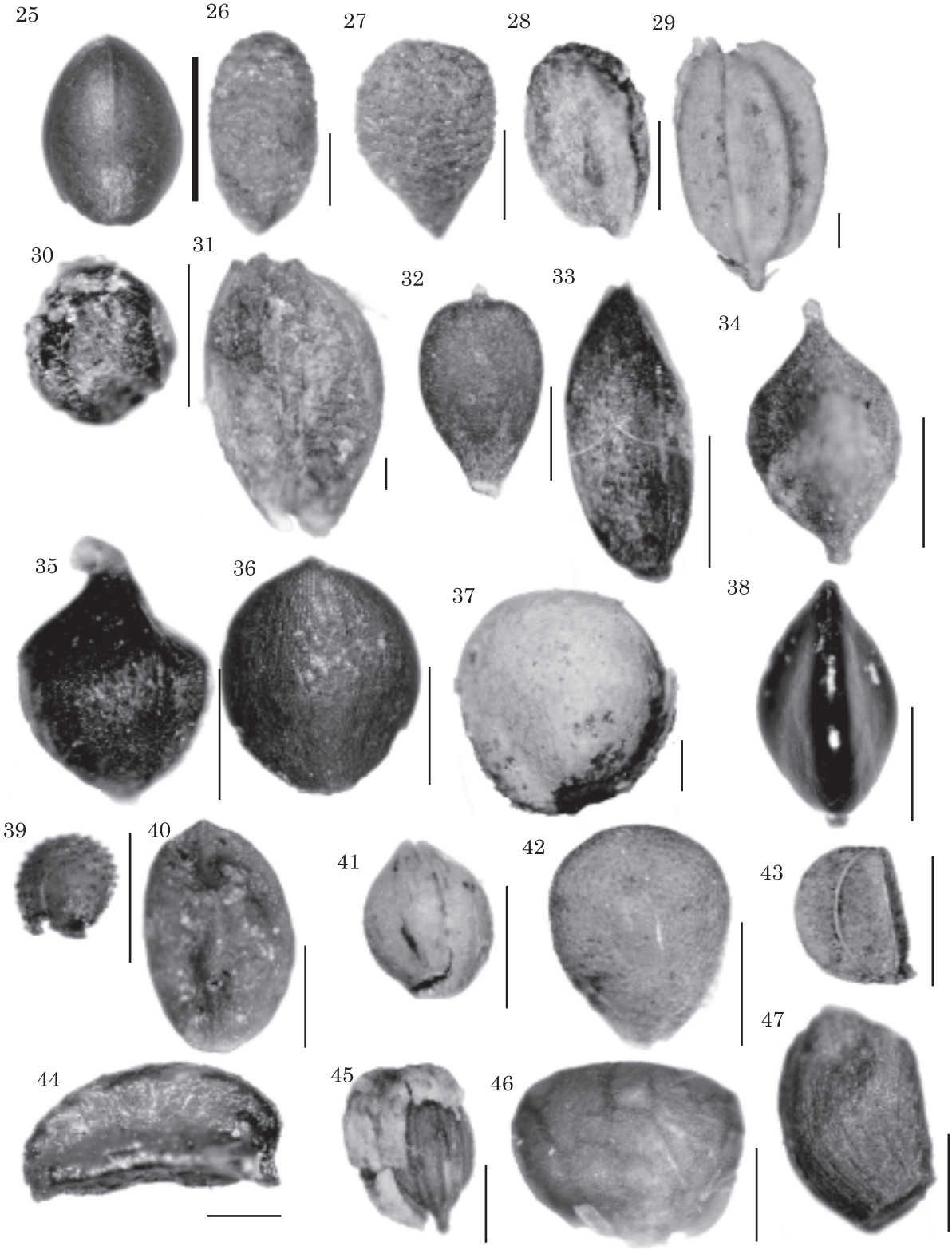
吉川純子．2006．八戸市新田遺跡縄文時代中期より出土した炭化種実．新田遺跡Ⅱ．青森県教育委員会．124-127.

吉川純子．2006．三内丸山遺跡第683号住居跡より出土した炭化種実．三内丸山遺跡29．青森県教育委員会．195-199.



図版1 三内遺跡・三内丸山(9)遺跡出土大型植物化石その1

1 イヌガヤ種子(Ⅱc-e現) 2 オニグルミ炭化内果皮破片(D-18) 3 オニグルミ内果皮のリスによる食痕(Ⅱc-e現) 4 サワグルミ内果皮(C-15) 5 アサダ果実(C-15) 6 サワシバ果実破片(C-15) 7 クリ炭化子葉破片(D-18) 8 ブナ殻斗(Ⅱc-e現) 9 エノキ内果皮(C-15) 10 ヤマグワ種子(C-15) 11 サクラ節炭化核(D-8) 12 サクラ節核 13 サンショウ内果皮(C-15) 14 ウルシ炭化内果皮(C-22) 15 14の表面拡大 16 ウルシ属内果皮壁断面(C-15) 17 ハウチワカエデ近似種種子(C-15) 18 トチノキ炭化子葉破片(D-2) 19 トチノキ種皮表面(D-2) 20 ヤマブドウ種子(C-15) 21 サルナシ種子(C-15) 22 マタタビ種子(C-15) 23 キブシ種子(C-15) 24 クサギ内果皮(C-16)　　スケールは1mm、ただし1,2,3,8,は10mm、16は0.1mm



図版2　三内遺跡・三内丸山(9)遺跡より出土した大型植物化石その2

25 ハクウンボク内果皮(Ⅱb現) 26 ニワトコ属A内果皮(C-22) 27 ニワトコ属B内果皮(C-22) 28 ヘラオモダカ果実(C-16) 29 イネ穎破片(C-16) 30 アワ炭化種子(C-22) 31 ヒエ属穎(C-16) 32 ヒメクグ近似種果実(C-22) 33 クグ近似種果実(C-15) 34 タチスゲ近似種果実(C-15) 35 ヒメカンスゲ近似種果実(C-15) 36 スゲ属果実(C-15) 37 アサ種子(C-22) 38 ハナタデ近似種果実(C-15) 39 ノミノフスマ近似種種子(C-15) 40 ナデシコ属種子(C-22) 41 スミレ属種子(C-15) 42 ナス属種子(C-22) 43 チドメグサ属果実(C-22) 44 ハリブキ果実(C-15) 45 セリ果実(C-22) 46 エゴマ近似種果実破片(C-22) 47 キク科果実(C-15)

スケールは1mm、ただし25は10mm

第５章　三内遺跡・三内丸山（９）遺跡放射性炭素年代測定結果について

加速器分析研究所（IAA）

１）前処理の工程は次のとおりである。

１．メス、ピンセットを用いて適量を採取した。この際、付着していた土をできるだけ除去した。炭化物については、内部より採取した。

２．１Nの塩酸を用いて、80℃で数時間処理した後、超純水で中性になるまで希釈した。

３．0.001～1Nの水酸化ナトリウム水溶液を用いて数時間処理した。その後、超純水で中性になるまで希釈した。

４．１Nの塩酸を用いて、80℃で数時間処理した後、超純水で中性になるまで希釈した。なお、酸・アルカリ処理後の希釈の際には遠心分離法を用いた。

５．試料を80℃で乾燥させた。

６．試料を1ｇの酸化銅と共に、外径９㎜、長さ30㎝の石英管に入れ、真空下で封じ切った。

７．６を500℃30分、850℃２時間で加熱し、試料中の炭素を二酸化炭素にした。

８．真空ライン中で冷媒を用いて、二酸化炭素を精製した。

９．精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイトにした。
得られたグラファイトを、内径１㎜のアルミニウム製の容器にハンドプレス機で詰め、ターゲットとした。

２）測定機器は、134試料装填可能なイオン源が設置された、3MV小型タンデム加速器をベースとした14C-AMS専用装置（NEC　Pelletron　9SDH-2）を使用した。
AMS測定時には、標準試料である米国国立標準局（NIST）から提供されるシュウ酸（HOX-Ⅱ）とバッググラウンド試料の測定も行なう。また、測定では加速器により測定中同時に$^{13}C/^{12}C$の測定も行うため、この値を用いて$\delta^{13}C$を算出する。

３）年代値の算出には、Libbyの半減期5568年を使用している。

４）BP年代値は、1950年からさかのぼること何年前かを表している。

５）付記した誤差は、次のように算出している。
複数回（通常は４回）の測定値についてχ^2検定を行い、通常報告する誤差は測定値の統計誤差から求めた値を用い、測定値が１つの母集団とみなせない場合には標準誤差を用いている。

６）$\delta^{13}C$の値は、通常は質量分析計を用いて測定するが、AMS測定の場合に同時に測定される$\delta^{13}C$の値を用いることもある。
$\delta^{13}C$補正をしない場合の同位体比および年代値も参考に掲載しておく。
同位体比は、いずれも基準値からのずれを千分偏差（‰；パーミル）で表したものである。

$$\delta^{14}C = [(^{14}A_S - {}^{14}A_R) / {}^{14}A_R] \times 1000 \qquad (1)$$

$$\delta^{13}C = [(^{13}A_S - {}^{13}A_{PDB}) / {}^{13}A_{PDB}] \times 1000 \qquad (2)$$

ここで、$^{14}A_S$：試料炭素の^{14}C濃度：$(^{14}C/^{12}C)_S$または$(^{14}C/^{13}C)_S$

$^{14}A_R$：標準現代炭素の^{14}C濃度：$(^{14}C/^{12}C)_R$または$(^{14}C/^{13}C)_R$

$\delta^{13}C$ は、質量分析計を用いて試料炭素の^{13}C 濃度（$^{13}A_S = {}^{13}C/{}^{12}C$）を測定し、PDB（白亜紀のベレムナイト（矢石）類の化石）の値を基準として、それからのずれを計算する。

但し、加速器分析研究所（IAA）では加速器により測定中に同時に$^{13}C/^{12}C$も測定しているので、標準試料の測定値との比較から算出した$\delta^{13}C$を用いることもある。この場合には表中に〔加速器〕と注記している。

また、$\Delta^{14}C$は、試料炭素が$\delta^{13}C = -25.0$（‰）であるとしたときの^{14}C濃度（$^{14}A_N$）に換算した上で計算した値である。（１）式の^{14}C濃度を、$\delta^{13}C$の測定値をもとに次式のように換算している。

$$^{14}A_N = {}^{14}A_S \times (0.975 / (1 + \delta^{13}C / 1000))^2$$ （$^{14}A_S$として$^{14}C/^{12}C$を使用するとき）

または

$$= {}^{14}A_S \times (0.975 / (1 + \delta^{13}C / 1000))$$ （$^{14}A_S$として$^{14}C/^{13}C$を使用するとき）

$$\Delta^{14}C = [(^{14}A_N - {}^{14}A_R) / {}^{14}A_R] \times 1000 \ (‰)$$

貝殻などの海洋が炭素起源となっている試料については、海洋中の放射性炭素濃度が大気の炭酸ガス中の濃度と異なるため、同位体補正のみを行なった年代値は実際の年代との差が大きくなる。

多くの場合、同位体補正をしない$\delta^{14}C$に相当するBP年代値が比較的よくその貝と同一時代のものと考えられる木片や木炭などの年代値と一致する。

^{14}C濃度の現代炭素に対する割合のもう一つの表記として、pMC（ percent Modern Carbon）がよく使われており、$\Delta^{14}C$との関係は次のようになる。

$$\Delta^{14}C = (pMC / 100 - 1) \times 1000 \ (‰)$$

$$pMC = \Delta^{14}C / 10 + 100 \ (\%)$$

国際的な取り決めにより、この$\Delta^{14}C$あるいはpMCにより、放射性炭素年代（Conventional Radiocarbon Age；yrBP）が次のように計算される。

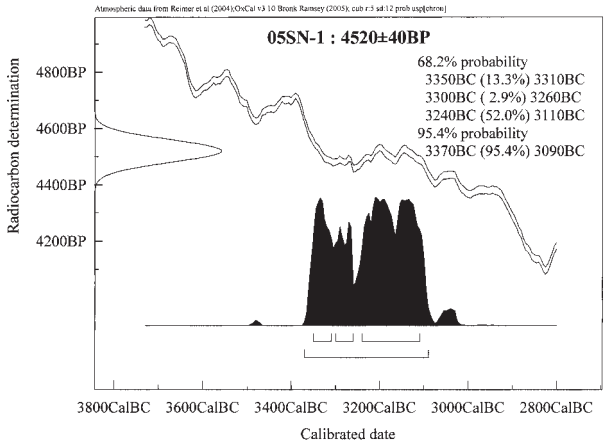
$$T = -8033 \times \ln [(\Delta^{14}C / 1000) + 1]$$

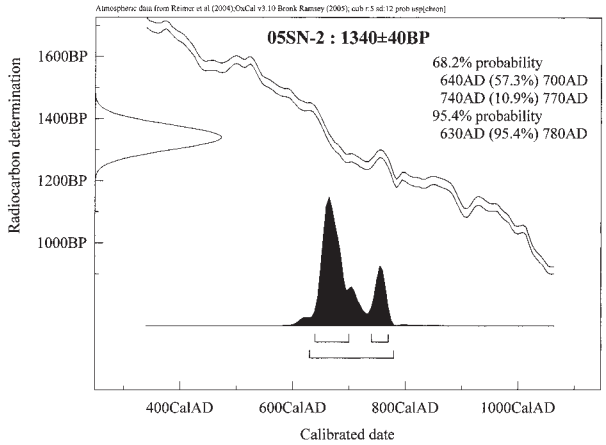
$$= -8033 \times \ln (pMC / 100)$$

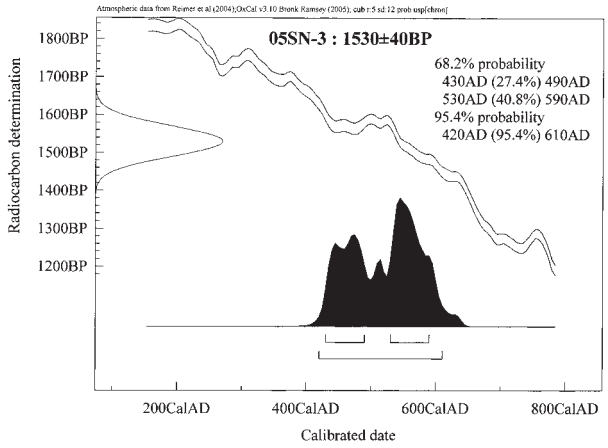
７）暦年較正はOxCal Ver3.10を用いている。

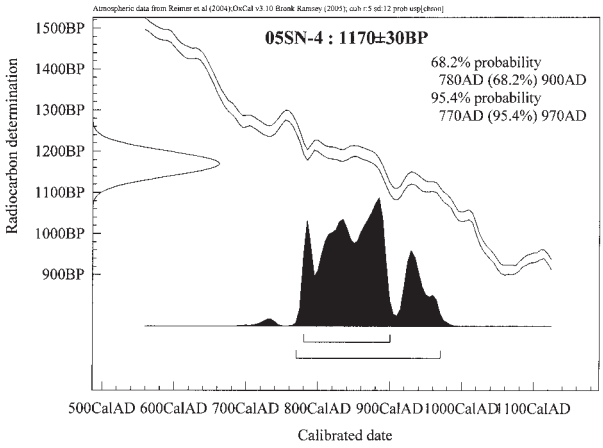
IAA

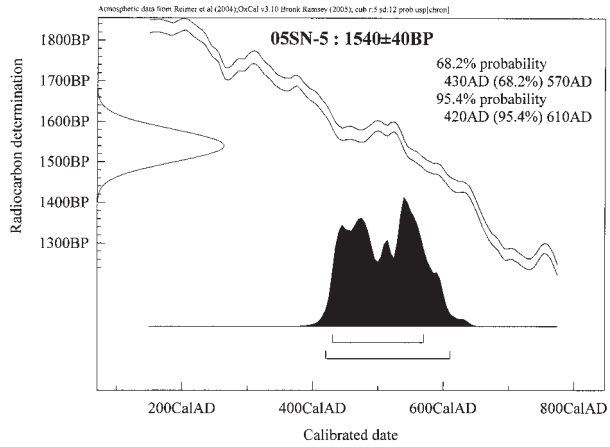
IAA Code No.	試　　料	ＢＰ年代および炭素の同位体比
IAAA-51680	試料採取場所 ：青森市三内字丸山地内	Libby Age(yrBP) : 4,520 ± 40
	三内丸山(9)遺跡　SI-06　炉内炭化種子(クルミ)	δ 13C(‰)、(加速器) = -20.79 ± 0.92
	試料形態 ： 炭化物	Δ 14C(‰) = -430.4 ± 2.7
	試料名(番号) ：05 SN-1	pMC(%) = 56.96 ± 0.27
	(参考)　δ 13C の補正無し	δ 14C(‰) = -425.4 ± 2.5
		pMC(%) = 57.46 ± 0.25
#1100-1		Age (yrBP) : 4,450 ± 40
IAAA-51681	試料採取場所 ：青森市三内字丸山地内	Libby Age(yrBP) : 1,340 ± 40
	三内遺跡　SX-02（Ⅱb層下部）	δ 13C(‰)、(加速器) = -18.11 ± 1.04
	試料形態 ： 木片	Δ 14C(‰) = -153.7 ± 4.1
	試料名(番号) ：05 SN-2	pMC(%) = 84.63 ± 0.41
	(参考)　δ 13C の補正無し	δ 14C(‰) = -141.7 ± 3.7
		pMC(%) = 85.83 ± 0.37
#1100-2		Age (yrBP) : 1,230 ± 40
IAAA-51682	試料採取場所 ：青森市三内字丸山地内	Libby Age(yrBP) : 1,530 ± 40
	三内丸山(9)遺跡　SI-10　焼失住居炭化材（床面）	δ 13C(‰)、(加速器) = -21.71 ± 0.81
	試料形態 ： 木炭	Δ 14C(‰) = -173.6 ± 3.6
	試料名(番号) ：05 SN-3	pMC(%) = 82.64 ± 0.36
	(参考)　δ 13C の補正無し	δ 14C(‰) = -168.0 ± 3.3
		pMC(%) = 83.20 ± 0.33
#1100-3		Age (yrBP) : 1,480 ± 30
IAAA-51683	試料採取場所 ：青森市三内字丸山地内	Libby Age(yrBP) : 1,170 ± 30
	三内丸山(9)遺跡　SX-05　第1号木組遺構（W6）	δ 13C(‰)、(加速器) = -22.81 ± 0.86
	試料形態 ： 木片	Δ 14C(‰) = -136.0 ± 3.4
	試料名(番号) ：05 SN-4	pMC(%) = 86.40 ± 0.34
	(参考)　δ 13C の補正無し	δ 14C(‰) = -132.1 ± 3.1
		pMC(%) = 86.79 ± 0.31
#1100-4		Age (yrBP) : 1,140 ± 30
IAAA-51684	試料採取場所 ：青森市三内字丸山地内	Libby Age(yrBP) : 1,540 ± 40
	三内遺跡　自然木（Ⅱb層）	δ 13C(‰)、(加速器) = -25.40 ± 0.77
	試料形態 ： 木片	Δ 14C(‰) = -174.4 ± 4.2
	試料名(番号) ：05 SN-5	pMC(%) = 82.56 ± 0.42
	(参考)　δ 13C の補正無し	δ 14C(‰) = -175.1 ± 4.0
		pMC(%) = 82.49 ± 0.40
#1100-5		Age (yrBP) : 1,550 ± 40


Atmospheric data from Reimer et al (2004);OxCal v3.10 Bronk Ramsey (2005); cub r:5 sd:12 prob usp[chron]
05SN-1 : 4520±40BP
68.2% probability
3350BC (13.3%) 3310BC
3300BC (2.9%) 3260BC
3240BC (52.0%) 3110BC
95.4% probability
3370BC (95.4%) 3090BC
Radiocarbon determination
4800BP
4600BP
4400BP
4200BP
3800CalBC 3600CalBC 3400CalBC 3200CalBC 3000CalBC 2800CalBC
Calibrated date


Atmospheric data from Reimer et al (2004);OxCal v3.10 Bronk Ramsey (2005); cub r:5 sd:12 prob usp[chron]
05SN-2 : 1340±40BP
68.2% probability
640AD (57.3%) 700AD
740AD (10.9%) 770AD
95.4% probability
630AD (95.4%) 780AD
Radiocarbon determination
1600BP
1400BP
1200BP
1000BP
400CalAD 600CalAD 800CalAD 1000CalAD
Calibrated date


Atmospheric data from Reimer et al (2004);OxCal v3.10 Bronk Ramsey (2005); cub r:5 sd:12 prob usp[chron]
05SN-3 : 1530±40BP
68.2% probability
430AD (27.4%) 490AD
530AD (40.8%) 590AD
95.4% probability
420AD (95.4%) 610AD
Radiocarbon determination
1800BP
1700BP
1600BP
1500BP
1400BP
1300BP
1200BP
200CalAD 400CalAD 600CalAD 800CalAD
Calibrated date


Atmospheric data from Reimer et al (2004);OxCal v3.10 Bronk Ramsey (2005); cub r:5 sd:12 prob usp[chron]
05SN-4 : 1170±30BP
68.2% probability
780AD (68.2%) 900AD
95.4% probability
770AD (95.4%) 970AD
Radiocarbon determination
1500BP
1400BP
1300BP
1200BP
1100BP
1000BP
900BP
500CalAD 600CalAD 700CalAD 800CalAD 900CalAD 1000CalAD 1100CalAD
Calibrated date


Atmospheric data from Reimer et al (2004);OxCal v3.10 Bronk Ramsey (2005); cub r:5 sd:12 prob usp[chron]
05SN-5 : 1540±40BP
68.2% probability
430AD (68.2%) 570AD
95.4% probability
420AD (95.4%) 610AD
Radiocarbon determination
1800BP
1700BP
1600BP
1500BP
1400BP
1300BP
200CalAD 400CalAD 600CalAD 800CalAD
Calibrated date

第６章　青森県三内丸山（９）遺跡の^{14}C年代測定

小林謙一（国立歴史民俗博物館）

概要

青森県青森市三内丸山（９）遺跡から出土した資料について加速器を用いた年代測定を行ったので、その結果を報告する。試料の採取は、青森県埋蔵文化財センターにおいて、村本周三とともに、小林謙一が、他の遺跡出土試料とともに採取した。資料の出土層位や大凡の所属土器型式は、県埋蔵文化財調査センターの見解によるものである。

試料の前処理は、炭素年代測定グループが行い、測定は東京大学工学研究系で行ったものである。測定結果は計測値（補正）とともに実年代の確率を示す較正年代値を示した。また、その根拠となった較正曲線を示した。

この遺跡の年代測定の考古学的目的は、この遺跡の年代を調べることであるが、同時に東北地方縄文時代中期の土器型式の実年代が推定可能な測定結果を得ることができた。

１　採取試料と炭化物の処理

三内丸山（９）遺跡からは中期土器５個体から付着物７試料（２個体は異なる部位の２試料）を採取した。前処理した結果、土器付着物の一部は、土壌等不純物の混入が多く、炭素量が十分ではないと判断され、結果的に土器付着物５点について測定結果を得ることができた。表１に示すように、AOMB-54a（内面の付着物）およびAOMB-56とした試料は、試料を燃焼した結果、十分な炭素量が回収できなかった。これらの試料については炭化物よりも土壌や汚れが多かったと考えられる。
測定できた土器については、表２に一覧を付す。

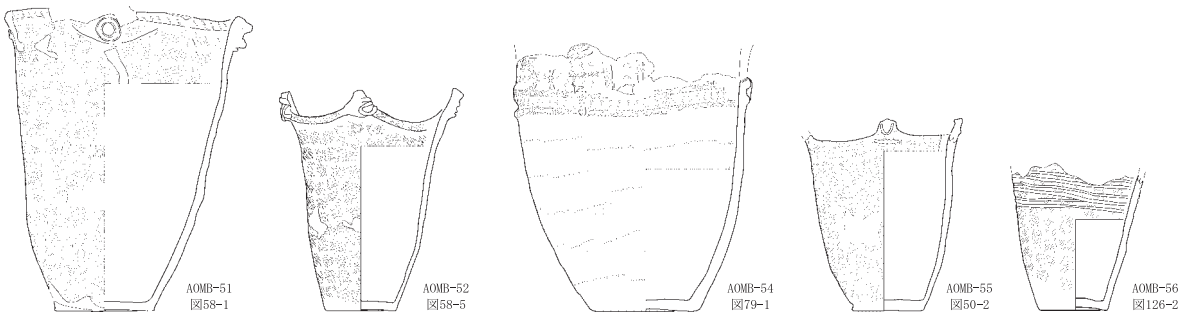


図1　付着炭化物採取資料

試料については、補注１に示す手順で試料処理を行った。(1) 前処理の作業は、国立歴史民俗博物館の年代測定資料実験室において遠部慎、(2) 燃焼と (3) グラファイト化の作業は、坂本稔が行った。試料の調整時における炭素含有率は、表１に示す。すべて、土器付着物としては年代測定に支障はないと判断した。

２　測定結果と暦年較正

AMSによる^{14}C測定は、坂本稔・松崎浩之が東京大学工学系のタンデム加速器施設（機関番号MTC）で、国立歴史民俗博物館で同時に調製した標準試料とともに測定した。測定結果については、補注２

に示す方法で、補正し、較正年代を計算した。

３　測定結果について

暦年較正年代については、図２及び表２に示す。円筒上層b式のAOMB-54は、紀元前3525～3350年（cal BC）に含まれる可能性が90%以上であり、これまでの測定例からみて縄文中期前葉に位置づけられる。円筒上層d・e式のAOMB-51～53は、おおよそ前3300年ころ～3000年ころ（cal BC）に含まれる。円筒上層d・e式のAOMB-55は、測定誤差が大きいため、前3360-2865年（cal BC）と較正年代を絞り込むことはできないが、円筒上層d式よりは新しい年代である可能性が指摘できる。

この分析は、平成18年度科学研究費補助金（C）「AMS炭素14年代を利用した東日本縄紋時代前半期の実年代の研究」（研究代表 小林謙一）、平成18年度科学研究費補助金（学術創成研究）「弥生農耕の起源と東アジア－炭素年代測定による高精度編年体系の構築－」（研究代表　西本豊弘）の成果である。

暦年較正については今村峯雄・坂本稔の方法に従う。本稿は、遠部慎・坂本稔・松崎浩之・村本周三の記録をもとに、小林謙一（以上国立歴史民俗博物館）が執筆した。

＜補注＞

(1) 前処理：酸・アルカリ・酸による化学洗浄（AAA処理）。

AAA処理に先立ち、土器付着物については、アセトンに浸け振とうし、油分など汚染の可能性のある不純物を溶解させ除去した（２回）。AAA処理として、80℃、各１時間で、希塩酸溶液（1N-HCl）で岩石などに含まれる炭酸カルシウム等を除去（２回）し、さらにアルカリ溶液（NaOH、１回目0.01N、３回目以降0.1N）でフミン酸等を除去した。アルカリ溶液による処理は、５回行い、ほとんど着色がなくなったことを確認した。さらに酸処理（1N-HCl 12時間）を行いアルカリ分を除いた後、純水により洗浄した（４回）。

(2) 二酸化炭素化と精製：酸化銅により試料を燃焼（二酸化炭素化）、真空ラインを用いて不純物を除去。

AAA処理の済んだ乾燥試料を、500mgの酸化銅とともに石英ガラス管に投じ、真空に引いてガスバーナーで封じ切った。このガラス管を電気炉で850℃で３時間加熱して試料を完全に燃焼させた。得られた二酸化炭素には水などの不純物が混在しているので、ガラス製真空ラインを用いてこれを分離・精製した。

(3) グラファイト化：鉄触媒のもとで水素還元し、二酸化炭素をグラファイト炭素に転換。アルミ製カソードに充填。

1.5mgの炭素量を目標に二酸化炭素を分取し、水素ガスとともに石英ガラス管に封じた。これを電気炉でおよそ600℃で12時間加熱してグラファイトを得た。ガラス管にはあらかじめ触媒となる鉄粉が投じてあり、グラファイトはこの鉄粉の周囲に析出する。グラファイトは鉄粉とよく混合した後、穴径１mmのアルミニウム製カソードに600Nの圧力で充填した。

＜補注２＞

年代データの^{14}CBPという表示は、西暦1950年を基点にして計算した^{14}C年代（モデル年代）であることを示す。^{14}C年代を算出する際の半減期は、5,568年を用いて計算することになっている。誤差は測定における統計誤差（１標準偏差、68%信頼限界）である。

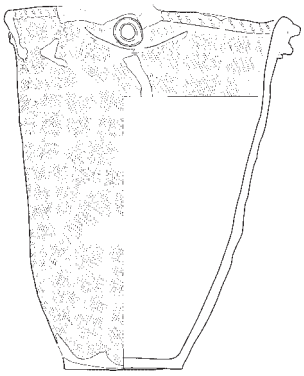
AMSでは、グラファイト炭素試料の^{14}C/^{12}C比を加速器により測定する。正確な年代を得るには、試料の同位体効果を測定し補正する必要がある。同時に加速器で測定した^{13}C/^{12}C比により、^{14}C/^{12}C比に対する同位体効果を調べ補正する。^{13}C/^{12}C比は、標準体（古生物 belemnite 化石の炭酸カルシウムの^{13}C/^{12}C比）に対する千分率偏差δ^{13}C（パーミル，‰）で示され、この値を－25‰に規格化して得られる^{14}C/^{12}C比によって補正する。補正した^{14}C/^{12}C比から、^{14}C年代値（モデル年代）が得られる。δ^{13}C値については、加速器による測定は同位体効果補正のためであり、必ずしも^{13}C/^{12}C比を正確に反映しないこともあるため、東京大学測定分については、加速器による測定を参考として、表に（　）で付す。

測定値を較正曲線IntCal04（^{14}C年代を暦年代に修正するためのデータベース、2004年版）（Reimer.P et al 2004）と比較することによって暦年代（実年代）を推定できる。両者に統計誤差があるため、統計数理的に扱う方がより正確に年代を表現できる。すなわち、測定値と較正曲線データベースとの一致の度合いを確率で示すことにより、暦年代の推定値確率分布として表す。暦年較正プログラムは、歴博で独自に開発したプログラムRHcal（OxCal Programを応用した方法）を用いる。統計誤差は２標準偏差に相当する、95%信頼限界で計算した。年代は、較正された西暦（cal BC）で示す。（　）内は推定確率である。図は、各試料の暦年較正の確率分布である。

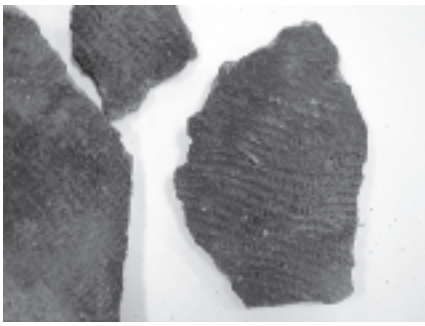
＜参考文献＞

今村峯雄2004『課題番号13308009基盤研究（A・１）（一般）縄文弥生時代の高精度年代体系の構築』（代表今村峯雄）

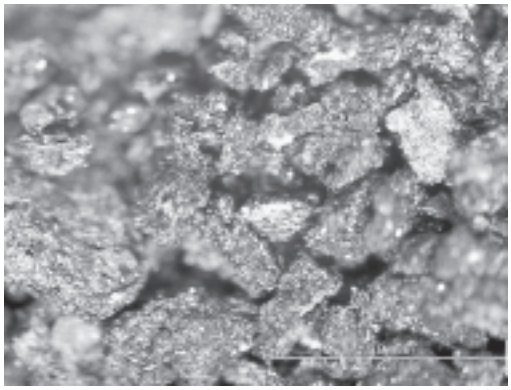
Reimer, Paula J., et al. 2004 IntCal04 Terrestrial Radiocarbon Age Calibration, 0-26 cal kyr BP *Radiocarbon* 46（3）, 1029-1058



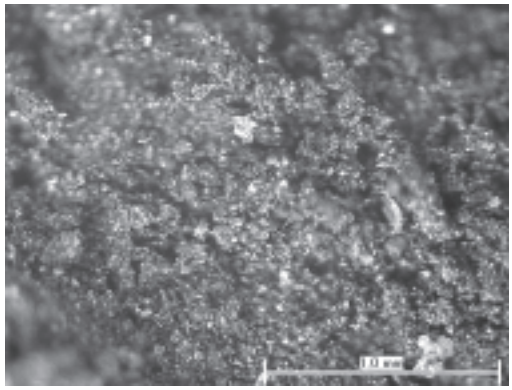
測定対象土器 AOMB51（図58-1）



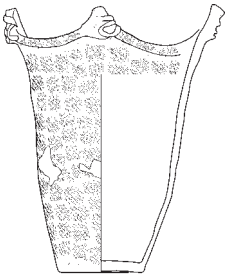
測定試料付着状況



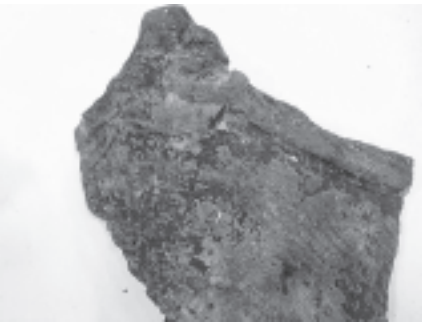
炭化物の状態　AAA処理前　約32倍



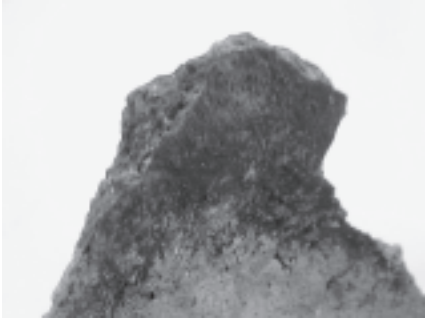
AAA処理後　約32倍



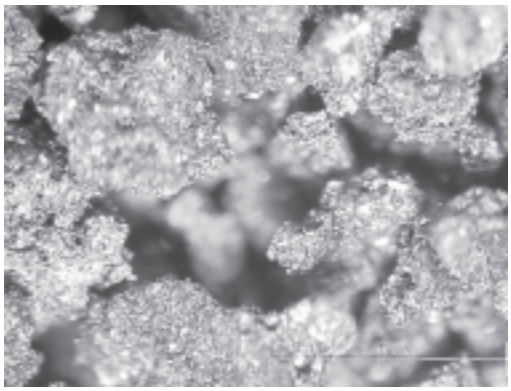
測定対象土器 AOMB52･53(図58-5)



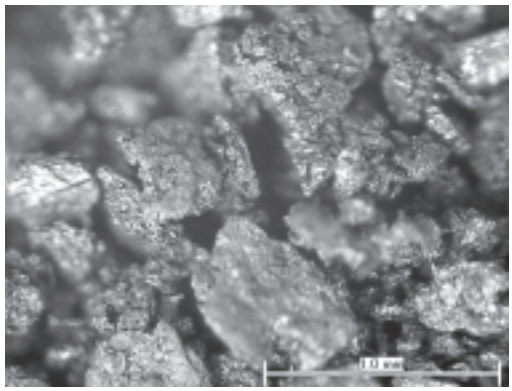
測定対象土器 AOMB52



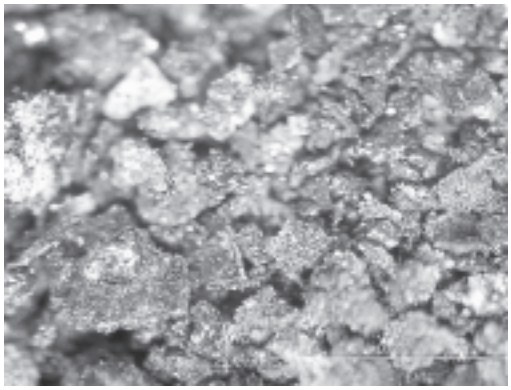
測定試料付着状況



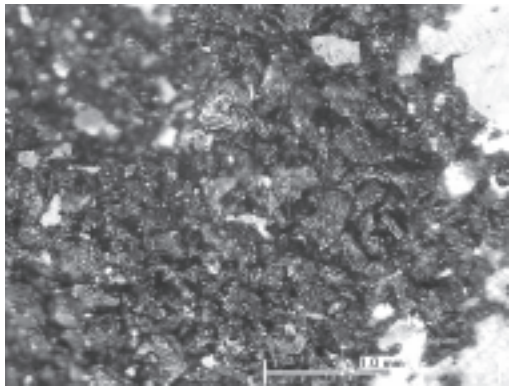
炭化物の状態　AAA処理前　約32倍



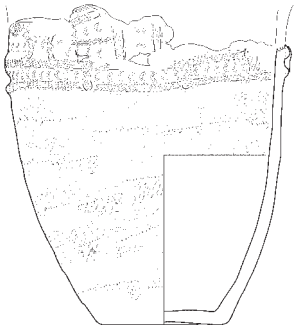
AAA処理後　約32倍



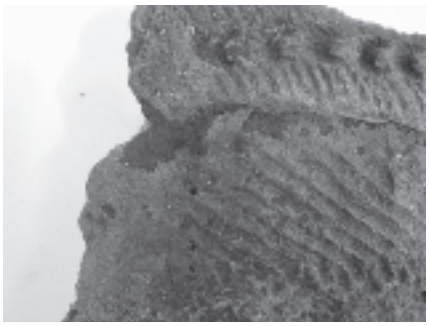
炭化物の状態　53　AAA処理前　約32倍



AAA処理後　約32倍

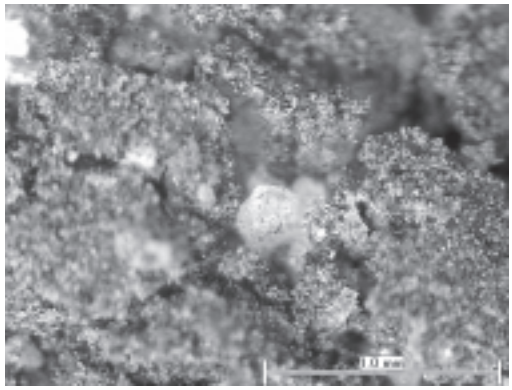


測定対象土器 AOMB54（図79-1）

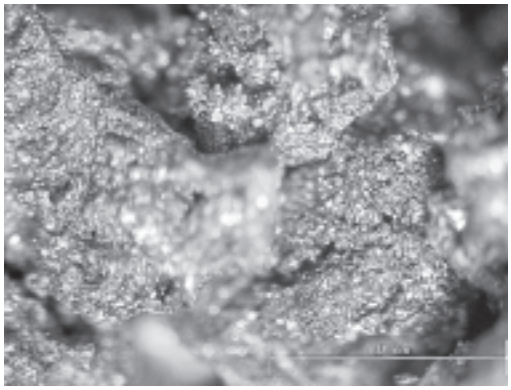


測定試料付着状況（AOMB54b）

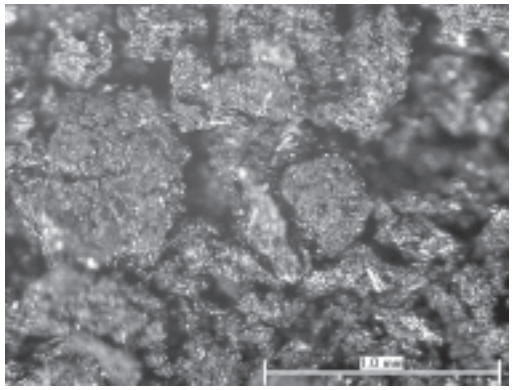
炭化物の状態　54a内面　AAA処理前　約32倍



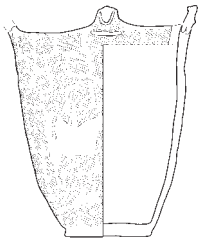
AAA処理後　約32倍



炭化物の状態　54b外面　AAA処理前　約32倍

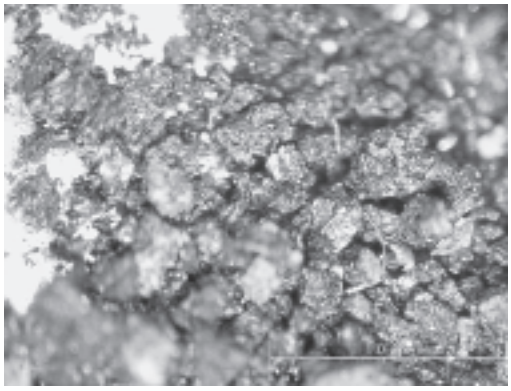


AAA処理後　約32倍

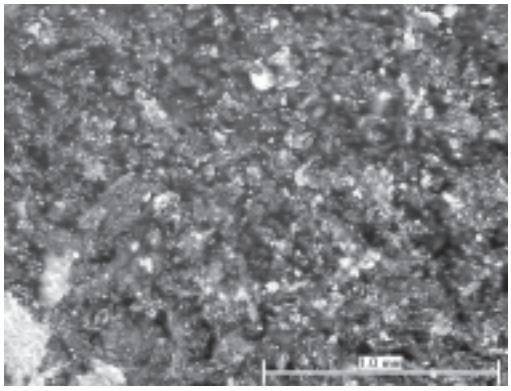


測定対象土器 AOMB55(図50-2)

測定試料付着状況



炭化物の状態　AAA処理前　約32倍



AAA処理後　約32倍

表1　試料の重量

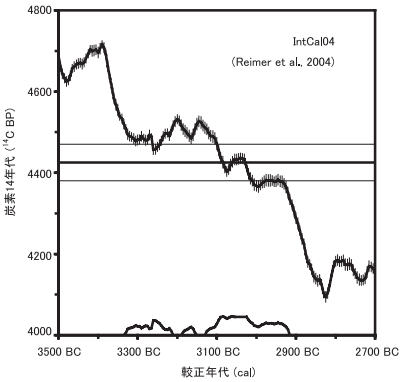
試料番号	採取量	処理量	回収量	回収/処理	燃焼量	CO_2	炭素含有率
AOMB-51	50	50	7.47	14.9%	3.00	1.15	38.3%
AOMB-52	93	93	11.10	11.9%	3.01	1.80	59.8%
AOMB-53	12	12	2.46	20.2%	1.70	0.63	37.1%
AOMB-54-a	142	61	5.23	8.5%	4.43	0.19	4.3%
AOMB-54-b	99	99	8.66	8.8%	3.03	1.71	56.4%
AOMB-55	72	72	1.58	2.2%	1.42	0.53	37.3%
AOMB-56	44	44	4.96	11.3%	4.96	0.00	0.0%

採取量・処理量・回収量・燃焼量は、炭化物の重量(mg) 、ガスは二酸化炭素の炭素相当量(mg)、率は%
回収量/処理量(%)、炭素含有率はCO2/燃焼量(%).

表2　測定結果と暦年較正年代

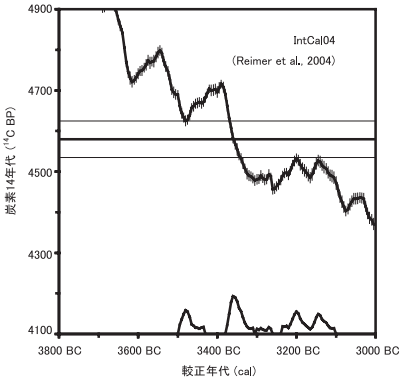
試料番号	測定機関番号	炭素年代 $\delta^{13}C$‰	^{14}C BP (補正値)	暦年較正cal BC	(%)は確率密度
AOMB-51	MTC-08487	(-28.4)	4425±45	3330-3215	24.5%
D区SI6住炉体	円筒上層d・e式	胴部外面		3185-3155	4.6%
				3125-2915	66.4%
AOMB-52	MTC-08488	(-25.7)	4580±45	3500-3430	19.3%
D区SI6住覆土18層	円筒上層d・e式	口縁外面		3380-3305	33.1%
				3305-3260	4.8%
				3240-3100	38.2%
AOMB-53	MTC-08489	(-28.8)	4600±45	3520-3390	42.9%
D区SI6住覆土18層	円筒上層d・e式	底部内面		3385-3320	31.4%
				3290-3290	0.3%
				3275-3265	0.5%
				3235-3170	11.2%
				3160-3110	9.1%
AOMB-54b	MTC-08490	(-27.7)	4650±45	3625-3595	4.8%
B区SI2住炉体	円筒上層b式	口縁外面		3525-3350	90.7%
AOMB-55	MTC-08491	(-31.5)	4380±100	3360-2865	93.9%
D区SI1住床直	円筒上層d・e式	口縁外面		2805-2775	1.2%
				2770-2760	0.3%

試料番号　AOMB-51
機関番号　MTC-08487
炭素14年代　4425±45 ^{14}C BP



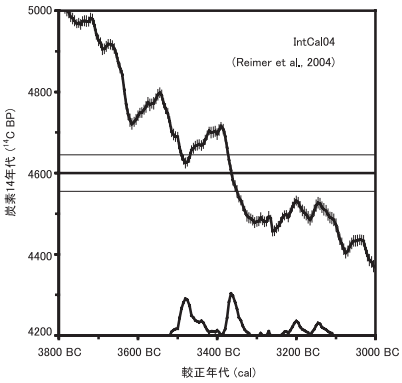
試料番号	AOMB-51			
機関番号	MTC-08487			
炭素14年代	4425	± 45	^{14}C BP	
較正年代	3330 cal BC	–	3215 cal BC	24.5%
	3185 cal BC	–	3155 cal BC	4.6%
	3125 cal BC	–	2915 cal BC	66.4%
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
				95.45%
中央値	3070 cal BC			
最頻値	3060 cal BC			

試料番号　AOMB-52
機関番号　MTC-08488
炭素14年代　4580±45 ^{14}C BP



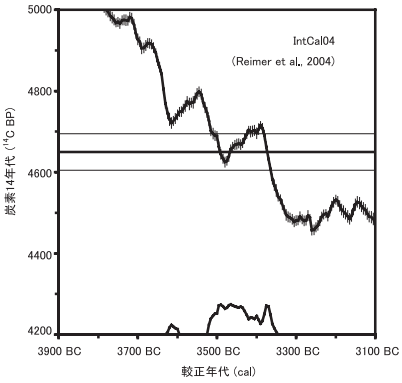
試料番号	AOMB-52			
機関番号	MTC-08488			
炭素14年代	4580	± 45	^{14}C BP	
較正年代	3500 cal BC	–	3430 cal BC	19.3%
	3380 cal BC	–	3305 cal BC	33.1%
	3305 cal BC	–	3260 cal BC	4.8%
	3240 cal BC	–	3100 cal BC	38.2%
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
				95.45%
中央値	3340 cal BC			
最頻値	3360 cal BC			

試料番号　AOMB-53
機関番号　MTC-08489
炭素14年代　4600±45 ^{14}C BP



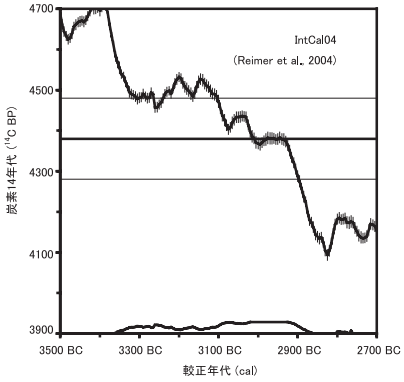
試料番号	AOMB-53			
機関番号	MTC-08489			
炭素14年代	4600	± 45	^{14}C BP	
較正年代	3520 cal BC	–	3390 cal BC	42.9%
	3385 cal BC	–	3320 cal BC	31.4%
	3290 cal BC	–	3290 cal BC	0.3%
	3275 cal BC	–	3265 cal BC	0.5%
	3235 cal BC	–	3170 cal BC	11.2%
	3160 cal BC	–	3110 cal BC	9.1%
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
				95.45%
中央値	3375 cal BC			
最頻値	3365 cal BC			

試料番号　AOMB-54b
機関番号　MTC-08490
炭素14年代　4650±45 ^{14}C BP



試料番号	AOMB-54b			
機関番号	MTC-08490			
炭素14年代	4650	± 45	^{14}C BP	
較正年代	3625 cal BC	–	3595 cal BC	4.8%
	3525 cal BC	–	3350 cal BC	90.7%
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
				95.45%
中央値	3455 cal BC			
最頻値	3465 cal BC			

試料番号　AOMB-55
機関番号　MTC-08491
炭素14年代　4380±100 ^{14}C BP



試料番号	AOMB-55			
機関番号	MTC-08491			
炭素14年代	4380	± 100	^{14}C BP	
較正年代	3360 cal BC	–	2865 cal BC	93.9%
	2805 cal BC	–	2775 cal BC	1.2%
	2770 cal BC	–	2760 cal BC	0.3%
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
	–	–		–
				95.45%
中央値	3060 cal BC			
最頻値	2960 cal BC			

図2　暦年較正確率密度分布

第７章　新田（１）遺跡周辺の地質について

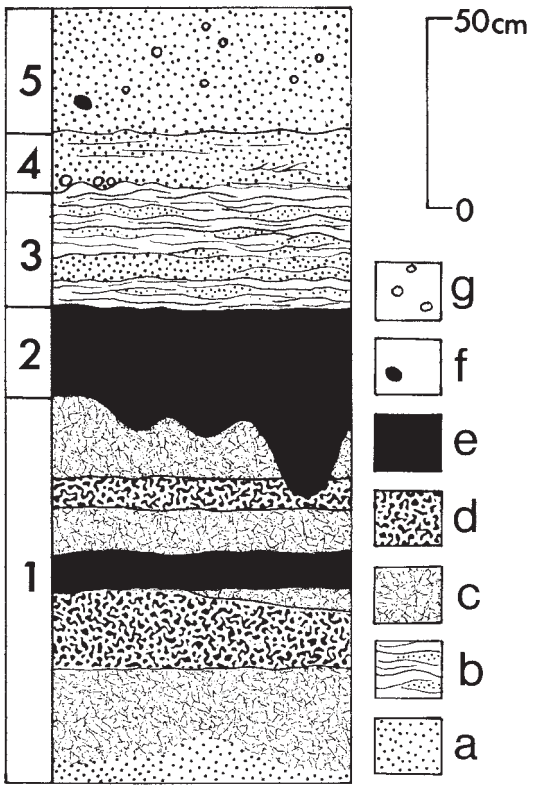
鎌田耕太郎（弘前大学教育学部）

はじめに

青森市西部の平野部に位置する縄文後期から平安時代の遺構が保存された新田（1）遺跡について地質学的検討を行った結果、平安期の堆積物中に潮汐作用の影響下で形成される潮汐リズマイトの存在が確認された。潮汐リズマイトは一般に干潟堆積物に見られ、堆積環境を限定することのできる指標堆積物である。新田（1）遺跡の堆積物から得られる地質情報は、縄文後期から平安期における海岸域がどのような地形要素、堆積環境から構成されていたのかを復元する上で、さらに国特別史跡三内丸山遺跡、三内丸山（9）遺跡そして三内遺跡のより海側に位置することから、三内丸山遺跡近隣域の自然環境を考える上でも重要な資料と言える。

地質の概要

新田（1）遺跡は平安期の遺構の下位の堆積物から、縄文後期の遺物の出土が確認される。発掘調査のために掘削されたトレンチ断面に見られる堆積物について、平成18年11月に地質調査を行った。トレンチ断面の堆積物は、下部はシルト質の堆積物からなり、その上を砂質堆積物が覆う。すなわち下部から上部に向かって有機質シルトと淡緑色シルトの互層（unit 1）、黒色有機質シルト層（unit 2）、薄い砂層を伴う淡色シルト層（unit 3）、クロスラミナの見られる砂層（unit 4）、白色塊状砂層（unit 5）と区分できる。unit 1からunit 5は全体に上方粗粒化堆積相を呈する。以下に堆積相解析に必要な基礎資料を中心に、当該地点の岩相層序の特徴について述べる。



第１図　新田（1）遺跡の掘削断面を構成する堆積物の模式層序。地質柱状図の左欄の数字は岩相層序区分によるユニット番号を示し、文章中の記載に対応する。
a：砂層　b：レンズ状砂薄層を挟む淡色シルト層（潮汐リズマイト）　c：火砕物起源の淡緑色シルト層　d：火砕物起源の淡灰緑色有機質シルト層　e：火砕物起源の黒色有機質シルト層　f：シルト小塊　g：軽石円礫

岩相層序の記載

有機質シルトと淡緑色シルトの互層（unit 1）の厚さは102cmで、トレンチに見られるセクションの最下部を構成する。間に淡紫色シルトをはさむ有機質シルト層の二つのサイクルからなる泥質堆積物で、サイクルの境界に、より有機質な黒色シルト層をはさむ。このユニットを構成するシルト層は、極粗粒砂サイズ以下の斑状砕屑粒子からなり、もともとは極粗粒砂サイズ以下の火山砕屑物

起源の不淘汰堆積物が粘土化したものと考えられる。淡灰色シルト層には植物遺体を含み、上部の淡灰色シルト層にはルートレット（植物根の跡）もみられる。ユニットの基底付近には細粒から中粒砂サイズの砂層がみられる。この砂層は側方へ追跡すると層厚が変化する。また砂層頂部とその上のシルト層との境界は明瞭ではない。

黒色有機質シルト層（unit 2）の厚さは23cmで、基底に凹凸に富む侵食構造が発達し、所によって下方に深さ20cmを越えるチャネル構造を呈する。unit 1と同じように極粗粒砂サイズ以下の斑状粒子から構成されており、火山灰質堆積物（火砕物）の粘土化によるシルトと判断する。

薄い砂層を伴う淡色シルト層（unit 3）は厚さが32cmで間に厚さ７cmの極粗～粗粒砂サイズ砂層をはさむ。上部に薄いガラス質火山灰層をはさむ。このシルト卓越堆積物は、薄いシルト質層にレンズ状の砂層を挟むもので、シルトとレンズ砂層の互層である。レンズ砂層はリップルのベッドフォームをなすもので、このような岩相組み合わせと特徴を示す堆積物は潮汐リズマイト（tidal rhythmites）とよばれる。

クロスラミナの見られる砂層（unit 4）は厚さ20cmで茶色を呈した粗粒砂層で粗粒砂を含み、unit 5に比べると淘汰がよい。小規模トラフ型クロスラミナが認められ、連続性に乏しい砂鉄質の平行ラミナもみられる。基底に小規模な侵食構造がみられる。基底部付近には砂鉄質平行ラミナが認められる部分もあり、また細円礫を散点的に含む。

白色塊状砂層（unit 5）は厚さ25cmで細礫サイズの軽石の円礫や、粗粒砂を含む砂層からなる。場所によってはごく弱い平行ラミナが認められる。unit 4の砂層と比較するとやや淘汰が不良である。下部に黒色有機質シルトの細礫サイズの塊を含む。白色塊状砂層の堆積頂面には植物遺体と思われるものや、底生動物の巣穴の跡の可能性のある黒色の斑状痕が認められる。

なお、白色塊状砂層（unit 5）の堆積頂面が平安時代の遺構の基底となっており、同時期に掘削された水路（溝）の基底は淡色シルト層（unit 3）の上面に設置されている。

考察

新田（１）遺跡のトレンチ断面の堆積物は概して上方粗粒化堆積相を呈し、青森平野の完新統を構成する堆積物として期待される、三角州堆積システムに見られる堆積相の特徴と矛盾しない。

黒色有機質シルトと淡緑色シルトの互層（unit 1）からなる堆積物は、エネルギーレベルの極めて小さな環境の堆積を示唆する。またルートレットの存在や有機質シルトの堆積とあわせて考えると沼沢地環境とみなされる。unit 1は上部へ向かってより黒色有機質シルトが卓越する傾向が認められ、沼沢地環境の中で、調査地点が次第に陸側の環境に移行したことを示す。さらに色調の異なる堆積物の境界を縦断して、垂直に植物の茎が保存されていることから、シルトの起源となった火山灰は、水流で運搬されて堆積したものではなく、植物の繁茂する水域に降下して堆積したことを示している。

淡色シルト層（unit 3）は堆積相の記載の項で述べたように、その特徴から潮汐リズマイトとみなすことができる。シルトは流速1.3mm/秒以下のほとんど停滞した水理条件で堆積するが、粗粒砂や中粒砂は流速１～10cm/秒以下で堆積する。同一の堆積域で、シルトと砂粒子が堆積できるような、異なる水理条件が規則的に反復して起き、しかも水塊の停滞も伴う環境としては干潟があげられる。実際、干潟の堆積物には上述のような縞状堆積物が観察されており、tidal rhythmites（Reineck &

Singh, 1980; Dalrymple,1992;など）あるいはheterolithic bedding（Ricci Lucchi,1995）とよばれている。したがって、unit 3にみられるレンズ状砂層は、流速の比較的早い時に運ばれた砂が作るリップルの断面であり、シルト質堆積物は満潮の静穏時における泥の沈積によるもので、当時の干潟を構成していた堆積物と結論づけられる。

unit 4を構成する砂層は、その堆積構造からやや波浪作用の顕著な前浜環境の堆積物と考えられ、unit 5の砂層は淘汰がやや不良なことや、シルト片を含むことから、河口域の干潟の潮上帯環境（規模の小さな干潟のより陸側）が考えられる。

写真１　淡色シルト層（ユニット３）を構成する堆積相。ユニット３の中部の砂層(sl)より上位を示す。粗粒砂サイズ以下の粗粒砕屑物層を頻繁にはさむことと、それらの粗粒砕屑物層がリプルの断面に相当する上に凸のレンズ状であることは、潮汐リズマイトに特有の堆積相であることを示唆する。上部に白色の火山灰の薄層(t)をはさむ。

まとめ

青森市新田付近の平安時代の堆積物中に、潮汐作用の影響下で形成される潮汐リズマイトの存在が確認された。潮汐リズマイトは干潟環境に形成される特有の堆積物で、特に泥質のものは潮間帯の環境を限定する堆積物である。今回のように干潟環境の堆積物が確認されたことは、堆積相解析により古環境を考察する際に、その上下の堆積物の堆積環境についても、より精度の高い環境解析を実施できる。

写真２　淡色シルト層（ユニット３）を構成する堆積相。ユニット３の中部の砂層(sl)より下位を示す。ユニット２の有機質黒色シルト層から漸移するように重なるシルト質堆積物中に、ゆるく波状にうねった砂の薄層をはさむ。

既述のように、青森平野を構成する完新世の堆積物として、三角州堆積システムの上部を構成するとみなすことに矛盾はない。しかし、これまでに同平野の堆積物について、堆積学的に検討されてはいないので、今回の調査で得られた堆積環境に関する資料は貴重である。今後の問題は、潮汐リズマイトが新田(1)遺跡の中でどのような広がりを持ち、側方への岩相変化があるのかを確認することである。また上下の堆積相との重なり関係から、当時の干潟環境が三角州堆積システムのどのような部分であったのかを具体的に検討する必要がある。

今後さらに堆積学的な検討を進めることにより、完新世の氷河性海水準変動と連動した平野堆積物の形成についての説明がはじめて可能となり、遺跡の立地する古地理変遷に関する議論がいっそう深まると考える。

文献

Dalrymple, R. W. (1992) Tidal depositional Systems. In Walker, R. G. and N. P. James, eds. Facies models: Response to sea level change. Geological Association of Canada, p.195-218.

Reineck, H.-E. and Singh, I. B. (1980) Depositional sedimentary environments. 551p. Springer-Verlag.

Ricci Lucchi, F. (1995) Sedimentographica: photographic atlas of sedimentology. Columbia Univ. Press. 255p.

第 5 編　まとめと考察

第１章　三内遺跡のまとめ

第１節　三内遺跡埋没沢の変遷について

三内遺跡調査区内では段丘頂部が大規模な削平を受けており、竪穴住居跡、土坑等の遺構を確認することができなかった。本節では、段丘に隣接する埋没沢における遺物の出土状況、土層観察に基づいて設定した画期と、土壌分析の結果から調査区内段丘斜面地の変遷についてまとめる。

（１）第Ⅰ期　縄文時代中期中葉以前

第Ⅲb、Ⅲb1、Ⅲb2層、コラムサンプルの25・26が本段階に対比される。粘性の強い黒色土が主体となり、土器などの人工遺物は一切含まれていない。この段階で、削平された調査区西側段丘上に人の関与はほとんどなかったことが想定される。花粉分析からは後述する第Ⅱ期とあわせて花粉帯Ⅰに分類されている。クリの多出を特徴としているが、第Ⅲa層と対比するとイネ科の量が相対的に多い。プラントオパールではクマザサ属型が多く検出されており、第Ⅲa層にかけて漸減する。珪藻殻が希薄な状態であったことから、調査区内までは水の影響が及ばなかったと考えられる。これは、第Ⅲb層の堆積物が基盤に対してほぼ平行して斜方向に堆積しており、ラミナ等の水成堆積的特徴がみられないこととも整合する。

（２）第Ⅱ期　縄文時代中期中葉

第Ⅲa層、コラムサンプルの22～24が本段階に対比される。炭化物や焼土、完形および、個体復元可能な状態の縄文土器、石器、土・石製品が大量に含まれている。土器の時期は前期に遡る破片がわずかに含まれているが、中期後半段階にほぼ限定される。とりわけ円筒上層d～ｅ式は全体の８割以上を占め、廃棄層の形成年代もこれに相当するものと思われる。遺物量を考慮すれば、本段階では沢を挟んで対峙する三内丸山（９）遺跡と同規模の集落が存在していたことが推測される。

本段階では花粉およびプラントオパールの分析によって第Ⅲb層からクリが漸増し、これに反比例する形でイネ科（ササ類）の漸減が確認されている。第Ⅲb層同様、珪藻殻の検出は少なく、陸域環境下にあったことが推定されている。大型植物遺体ではオニグルミ、トチノキ、クリ等の堅果類が検出されているが、未炭化状態で検出されているものは含まれず、珪藻分析の結果を支持する。第Ⅱd2、Ⅱf層の花粉・珪藻・プラントオパールの組成は第Ⅲa、Ⅲb層に近似することが指摘されている。出土した土器の接合関係から第Ⅲa層と第Ⅱf層の間で接合関係が確認されるものが多くみられた。これらについては第Ⅲa層に由来する土壌が流水によって浸食され、再堆積したものと想定されるが、第Ⅱf層については第Ⅲa層と包含される遺物、花粉、珪藻、プラントオパールといった微化石の内容でも大きな差が認められないことが確認されている。

第Ⅲa層からは主体的ではないが、東北地方南部に分布する大木式土器と共通した施文要素のみられる土器群が出土している。これらの中で、大木8b式に併行する榎林式を除けば、大木8a式に併行するものが最も多く、円筒上層ｄ・ｅ式と大木8a式が併行関係にあるという従来の見解（鈴木1998、成田2000）とも矛盾しない。

（３）第Ⅲ期　縄文時代中期後葉～十和田a火山灰降下以前

第Ⅲa層上面の不整合面から上位を第Ⅱ層としているが、このうち、人工遺物が空白になる第Ⅱc、Ⅱc1、Ⅱc2、Ⅱd、Ⅱd1、Ⅱd2、Ⅱe、Ⅱe1、Ⅱe2、Ⅱf層、コラムサンプルの15～21が本段階に相当

する。いずれの層からも年代的な根拠を確定する遺物の出土が確認できないが、第Ⅱc層より出土した自然木の年代測定結果、ならびに第Ⅱb層で検出された十和田a火山灰の存在から、縄文時代中期後葉以後、10世紀以前におさまる。

遺物の出土がみられなくなることから台地上の集落は規模の縮小化、ないしは断絶し、前段階にみられたような大規模な遺物廃棄層の形成が途絶えたことが想定される。本段階で、クリ属の大幅な減少と、これに代わる形でトチノキ属が多く検出され始める。隣接する三内丸山遺跡でも大木10式併行期以降にトチノキ林の拡大がみられ、集落の終焉と一致することが指摘されている（吉川ほか2006）。

第Ⅱf層以降は砂層がレンズ状に介在し、水成堆積の特徴がみられる。第Ⅱc4層の下部では調査区内にまで水の影響が及んだことが考えられる。

（４）第Ⅳ期　十和田ａ火山灰降下～白頭山苫小牧火山灰降下

第Ⅰf、Ⅰg、Ⅰh、Ⅱa、Ⅱa1、Ⅱa2、Ⅱb、Ⅱb1、Ⅱb2層が本段階に相当する。第Ⅱb層の底面で帯状に十和田a火山灰が検出され、この前後で土師器、須恵器、羽口、鉄滓、木器が多量に出土している。第Ⅱb層から上位は草本質泥炭を主体とし、自然木の出土が少なくなる。Ⅱb層下部に形成された平坦面はこの段階に流路が調査区外へと縮小し、水草の繁茂する湿地的な環境に変化した画期と考えられる。三内遺跡の周辺では、白頭山苫小牧火山灰降下以前の年代が与えられる集落跡が数多く検出されており、調査区の所在する丘陵斜面地は10世紀前半段階に再び廃棄域としての利用が開始される。

本段階に特筆される事項として、田下駄（大足）の出土があげられる。該期の集落遺跡では、カマド周辺から炭化米が出土する事例や、羽口の胎土に籾殻が混ぜられていることなど、水稲生産を示唆する事例が多く確認されている。青森県内では、水田関連遺構として細越遺跡で検出された水路跡、三内丸山遺跡の土層断面で検出された畦畔状遺構などの報告があり、大足については水木館遺跡で断片的な資料が確認されている。本遺跡に関しては、水田関連施設の可能性のある遺構が確認されておらず、木製農具が多量に出土するような状況もみられなかったが、水田耕作に特化して用いられる田下駄の出土と堆積土壌の分析からイネ科花粉、イネのプラントオパールが検出されたことは三内遺跡に近接した場所で水稲耕作が行われていたことを示唆するものである。

（５）第Ⅴ期　白頭山苫小牧火山灰降下以後

第Ⅰa、Ⅰb、Ⅰc、Ⅰd、Ⅰe層が本段階に相当する。第Ⅰ層上位から近世の陶磁器片の出土がみられた。上層に向かうにつれて、沼沢湿地指標となる珪藻殻が減少し、反対に陸域種が増加する。本段階ではとくに第Ⅰc層の段階でイネのプラントオパールが大量に検出され、穎の破片も検出され始める。前段階に成立した水田耕作がより本格化したことを示す。

（斉藤）

第２章　三内丸山（９）遺跡のまとめと考察

第１節　竪穴住居跡（縄文時代）について

三内丸山（９）遺跡Ｂ区およびＤ区で検出された竪穴住居跡の年代は炉体土器、堆積土中より出土した個体復元土器から概ね縄文時代中期中葉（円筒上層ｄ・ｅ式期）に帰属するものと判断される。

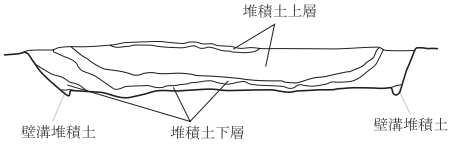


図153　竪穴住居跡堆積土模式図

写真：SI-01堆積土中央で検出された十和田a火山灰

短期間で集落主体部の調査を実施せざるを得なかったため、遺構内の層位的帰属の不明確なものが多く含まれ、調査終了後には帰属する遺構、層位の認識に多くの混乱が確認された。遺物の出土状況、座標記録から再整理を行い、これによって得られた、集落の変遷についての若干の知見をまとめる。

（１）住居跡の年代

各住居跡の帰属年代については出土遺物の型式に基づき、分類することとした。また、三内丸山(9) 遺跡の通時的な集落変遷についての概要を把握する目的で、住居跡内出土層位を下記類型に大別した。番号が若いものほど遺構の廃絶年代に近いものと考えられる。

１：炉体、２：床面、３：壁溝、ピット、付属施設堆積土、４：堆積土下層、５：堆積土上層、６：覆土一括

Ｄ区で検出された複数の竪穴住居跡は、下部に黄褐色ロームが多く含まれ、上部に黒色土が堆積するという特徴が確認されている（図153）。また、多くの住居跡で、これら上部と下部の堆積土の層理面に個体復元可能な土器片が集中し、堆積土上層で砕片が多く出土するという傾向が確認されている。Ｄ区SI-01では、上層の中央で十和田a火山灰の堆積が確認されており、住居跡の窪みが10世紀を降る年代まで残存していたことが明らかである（写真）。

こうした出土状況の一般的傾向から堆積土上層から出土した土器は住居跡廃絶後に遺構周辺から流入したものや時間差を置いた時点で廃棄されたものが含まれており、住居跡の帰属年代決定の根拠として相対的に低く位置づけられるものと判断した。また、土層の検討が十分に行われないまま一括して取り上げられた資料（「覆土一括」）については、推定年代の根拠としては最も確度の低いものとした。推定年代の根拠とした遺物の型式と出土層位の帰属については表８に、想定される年代幅と確度については、各遺構の個別記載の中に示した。

調査区内における推定年代ごとの住居跡配置を図155に示した。第１編第１章第５節で述べたように、本報告書では突起や器形から中期中葉と判断された資料のうち、胴部上半に隆線文、沈線文等の文様の確認できない一群を「中期中葉」、「円筒上層d・e式」としており、円筒上層d式あるいはe式のいずれかに帰属する可能性があるものと捉えた。ここでも、こうした一群を除いて年代決定の根拠となる遺物が堆積土中から出土していない住居跡については上層d式ないしはe式のいずれかに帰属

する可能性があるものとして両型式の配置図に網掛けを加えて図示した。

（２）住居構造

・平面形態と柱穴配置

本遺跡で検出された住居跡床面の平面形態は円形（SI-06, 15, 25）、楕円形（SI-05, 09, 17, 21, 23, 27）、蒲鉾形（SI-04A）、隅丸方形（SI-01, 04C, 11, 12A, 24）などがあり、後述する付属施設の存在によって壁の一部が突出し、オーバーハングされるものもみられる。サイズの上では中規模のものと小型のものとがあり、前者の床面積は10㎡前後、後者は５㎡前後にまとまる傾向がある。

柱穴配置については主柱が４本になるもの（SI-01, 04A , 08）と２本になるもの（SI-05, 15, 23, 26）が主体を占める。また、特に小型の住居跡では、ピットの検出されなかったものも多い。SI-08およびSI-13は壁際に２個１対のピットがみられ、特徴的である。出入口施設の可能性も視野に入れ、検討を要する。

・炉構造

区画施設の形態によって以下の種別に分類される。

周堤炉：粘土を用いて火床面の周囲に盛土が回らされている炉構造。三内丸山遺跡、近野遺跡等の近隣の遺跡で比較的多く検出されている。

地床炉：火床面の周囲に区画施設を伴わない炉構造を「地床炉」とした。床面中央部分で直に火を焚いたものをⅠ類とし、あらかじめ床面をわずかに掘り、窪んだ状態を作出しているものをⅡ類とした。

土器埋設炉：掘方に深鉢形土器を据え、土器内堆積土に焼土が形成されているもの。底部から口縁部までが埋設されているものと胴部のみが埋設されているものの二形態がある。前者については突起部があらかじめ人為的に打ち欠かれた状態で出土している。

・付属施設

住居跡の壁面近くに環状に地山を削り残したもの、ないしは粘土による盛土が構築されているものが多くの住居で確認されている。これらについては、その機能が明確にされておらず、本報告書では、これまで周辺遺跡や同時期の報告で用いられてきた「付属施設」という呼称によってその名称を規定している。

（３）住居跡の時期変遷

円筒上層b式期：該期に帰属する住居跡はＢ区SI-26のみである。Ｄ区北西側斜面では中期前葉の土器埋設遺構２基が検出されており、中期前半の遺物が集中する範囲と概ね一致する。また、住居跡に近いＢ区北側の埋没沢周辺では円筒上層b式に比定される土器が多く出土した。SI-26の周囲には著しい攪乱が及んでおり、住居跡内の堆積土や壁の大部分は破壊されていた。壁際にU字・土手状に削り出された付属施設が構築されており、土器埋設炉が硬化した床面のほぼ中央に設置されている。

円筒上層c式期：Ｂ区北側、Ｄ区北西斜面部から若干の遺物が出土しているが、本型式に帰属する竪穴住居跡は検出されていない。

円筒上層d式期：円筒上層d式に比定される竪穴住居跡は５軒、掘立柱建物跡は１棟が検出されている。台地先端部の標高13.5～15.5mに立地し、掘立柱建物跡は北西－南東方向に軸を構える。床面で土手状の張り出しをもつもの（SI-05, 06）や土坑あるいはピット状の掘り込みがみられるもの（SI-09, 21）など、付属施設が壁際に構築されたものが大半を占める。炉の形状は周堤炉、土器埋設炉の二形

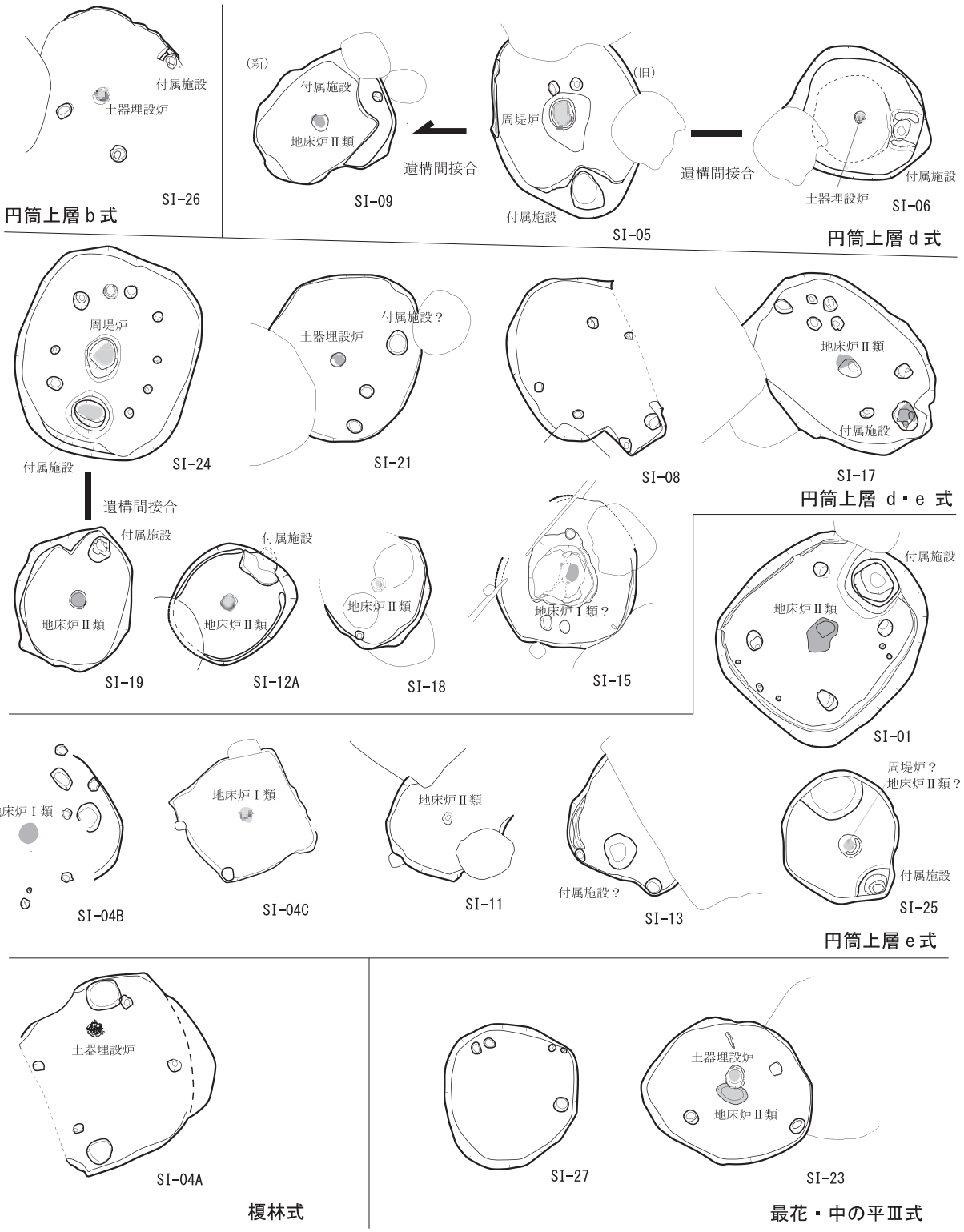


図154　三内丸山(9)遺跡の竪穴住居跡

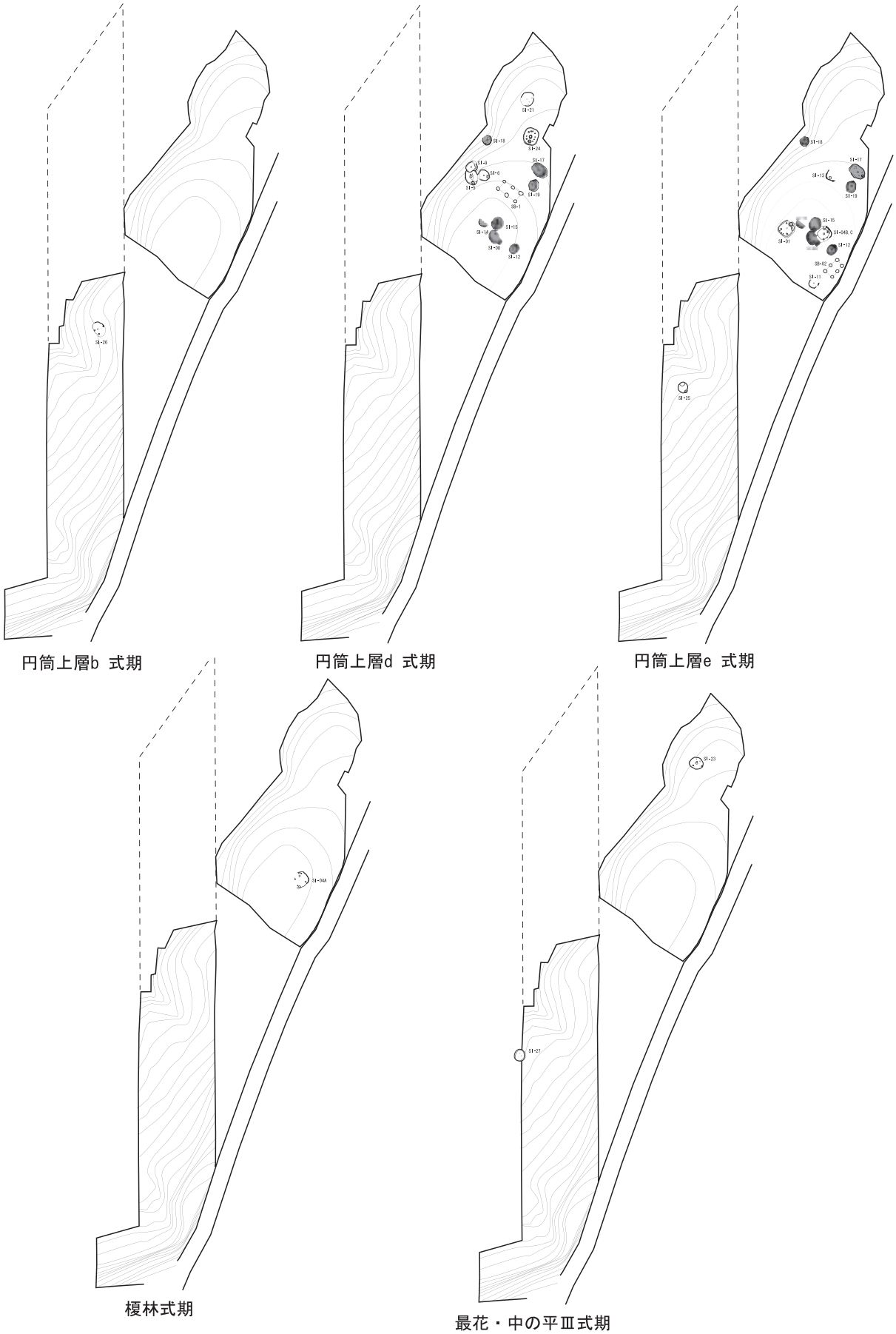


図155　三内丸山(9)遺跡住居跡分布の変遷図

表8　竪穴住居跡（縄文時代）の推定帰属時期

	炉体	床　面	ピット、付属施設覆土	覆土下層	覆土上層	覆土一括	推定帰属時期
SI-01（D区）	―	上e	―	上e	上e	―	上e
SI-04A（D区）	榎	―	―	―	―	―	榎
SI-04B（D区）	―	―	―	（上e）	―	―	上e
SI-04C（D区）	―	―	―	（上e）	―	―	上e
SI-05（D区）	―	上d・e	上d	上d	―	上d、上e	上d
SI-06（D区）	上d・e	―	―	上d	上d・e	上a、上c	上d
SI-08（D区）	―	―	―	―	―	上e、上d、上d・e	上d・e
SI-09（D区）	―	上d	―	―	―	上c、上d・e	上d
SI-11（D区）	―	―	―	上e、大木8a併行	上d・e	上d	上e
SI-12A(D区)	―	―	―	―	上d・e	上b、上e	上d・e
SI-12B(D区)	―	―	―	―	―	―	上e
SI-13（D区）	―	上e、上d・e	―	―	―	上d・e	上e
SI-14（D区）	―	―	―	―	―	上d・e	上d・e
SI-15（D区）	―	―	―	―	―	上d・e	上d・e
SI-17（D区）	―	―	上d・e	大木8a併行、上d・e	上d	上d・e	上d・e
SI-18（D区）	―	―	―	―	―	上d・e	上d・e
SI-19（D区）	―	上d・e	―	―	上d主、上e、上a、表	―	上d・e
SI-21（D区）	上d	―	―	―	―	―	上d
SI-23（D区）	最？	―	―	―	最	上c、最	最？
SI-24（D区）	―	上d・e	―	―	上d、上e	上a、上d・e	上d
SI-25（B区）	―	上d・e	―	上e主、大10	上e、上b	―	上e
SI-26（Ｂ区）	上b	―	―	―	―	―	上b
SI-27（B区）	―	―	―	上d・e、最？	上d・e、最	―	最

上a：円筒上層a式、上b：円筒上層b式、上c：円筒上層c式、上d：円筒上層d式、上e：円筒上層e式、榎：榎林式、最：最花式、表：表館式、大10：大木10式併行
括弧付で表記しているものは写真記録から判断したもの

態がみられる。

SI-05とSI-09には重複関係が確認されており、前者は後者よりも古い段階に位置づけられる。SI-05とSI-06も近接した位置関係にあるが、SK-27が両者を切る形で構築されており、両者の前後関係を押さえることが出来なかった。また、SI-24の覆土上層から出土した資料がSI-19覆土上層出土資料と接合している。

SB-01は柱穴掘方から円筒上層d式の小片が出土しており、本時期に帰属させた。

円筒上層e式期：竪穴住居跡５軒、掘立柱建物跡１棟が検出されている。標高14.5～16mに立地しているが前段階よりも標高の高い台地奥部へと住居跡の集中が移ってくる。住居構造は前段階で多く確認されていたU字・土手状に削り出された付属施設がなお、残存し、これに加えて柱穴の不明確な小型住居（SI-04C, 25）や、壁際に２基のピットが並ぶもの（SI-04C, 13）などが目立つようになる。中規模に該当するSI-01では４本主柱の柱穴配置がとられている。炉の形態は周堤炉と同一の系統に属すると考えられる地床炉Ⅱ類が主体をなす。

円筒上層d・e式期：本段階に帰属する住居跡は８軒が検出されている。土器の内容から、円筒上層d式、e式のいずれとも判断のつかなかったものを一括している。小型住居が多く、柱穴の確認されなかったものが多く含まれる。炉の形状は大部分が地床炉Ⅱ類であり、SI-18, 15以外の住居跡の全てに付属施設が伴う。SI-15は床面で大型のフラスコ形土坑が検出されており、SI-06の特徴と共通点が多い。

榎林式期：本段階の竪穴住居跡はSI-04Aのみである。床面で土器埋設炉が検出されており、壁際に２基の小土坑を伴う。柱穴配置は４基が主柱となる。

最花・中の平Ⅲ式期：SI-23、SI-27が本段階にあたる。平面形は楕円形を呈し、SI-23は土器埋設炉を伴う。Ｂ区で検出されたSI-27については、中期中葉の個体復元土器が覆土下層から出土しており、年代的に遡る可能性もある。SI-23の炉体土器は地文縄文に対し縦位に蛇行沈線が施文されたもので、中期末葉に降る可能性もある。

以上、時期毎の概要を述べてきたが、集落の基本的な流れとしては、円筒上層b式期に最初の住居跡がＢ区の沢沿いに作られるが、円筒上層d式期に至るまで、大規模な集落は台地上に形成されなかった。円筒上層d・e式期（中期中葉）の段階で集落は最盛期を迎え、榎林式、最花式の段階には散漫な状態となる。円筒上層d式から上層e式にかけて住居の立地が段丘の低位から上位、先端部から奥部へと移る可能性が示唆されるが、限られた調査区内で捉えられた傾向であり、さらには「円筒上層d・e式」とした一群に帰属する住居跡の位置づけなど、今後の課題となる。

隣接する三内遺跡埋没沢では円筒上層e式が主体をなし、d式を大きく上回る（図160）。集落の時期的な比重については、円筒上層d式と上層e式で個体数、住居跡の検出軒数がほぼ均等であった三内丸山（９）遺跡と削平された段丘上に形成されていた三内遺跡集落とでは若干の差が予想される。しかしながら主体をなす第Ⅲa層の時期的な消長等については円筒上層d・e式～最花式に大きな偏りがあり、両遺跡は本来同一集落として捉えるべき内容を有するものと考えられる。

（斉藤）

第２節　竪穴住居跡（平安時代）について

平安時代の竪穴住居跡は４軒検出された。検出数が少ないため、個々の調査成果について項目ごとにまとめていくこととする。

（１）平面形・規模・主軸方向・柱穴配置

平面形は第３号竪穴住居跡（以下SI-03）が方形、第２号竪穴住居跡（以下SI-02）・第７号竪穴住居跡（以下SI-07）が長方形である。規模は、大きい順にSI-03が７ｍ、SI-02が6.5m、SI-07が５ｍである。第10号竪穴住居跡（以下SI-10）は、平面形・規模ともに不明である。主軸方向は、４軒ともほぼ同じで、Ｎ－140°～144°－Ｅの範囲内に収まる。

柱穴の配置は３通りに分けられる。①カマド構築の壁面に接して２本の主柱穴・これに対応して２本の主柱穴を配置するもの（SI-02）。②壁に接しないでほぼ正方形に主柱穴を配置するもの（SI-03）。③主柱穴は無く、壁柱穴が住居跡の四隅に配置するもの（SI-07）。SI-02の柱穴は、やや南西側に偏って配置している。SI-10は、２基のピットのみ確認されているが全体の配置は不明である。

（２）堆積土・降下火山灰

堆積土は、黒色土や黒・暗褐色土中心の自然堆積の様相が全ての住居跡で見られる。また、住居跡の堆積土中に、白頭山起源苫小牧火山灰の堆積が２通り確認されている。①２層中に、ブロック状に堆積している（SI-03）。②２層中に層状に堆積している（SI-07）。なお、SI-02は、カマド周辺に薄く堆積しており、SI-10では確認されていない。

（３）カマド

カマドは、SI-10を除く３軒の住居跡で半地下式のカマドが検出された。

SI-02・03の煙出部・煙道部は削平や攪乱によりはっきりとしないが、SI-07のようなスロープ状になるものと判断する。壁面には、灰白色の粘土を貼った痕跡がすべての住居跡で見られ、中でも、SI-02は壁面全体が赤褐色に被熱している。また、SI-02・07は、煙道部先端に焼土範囲が検出されており煙出口の可能性がある。

火床面は、全ての住居跡カマドで確認された。特に、SI-03の火床面は、径60～70㎝と大きめであ

る。袖は、全ての住居跡カマドで灰白色の粘土が検出されており、中でもSI-02は被熱している。SI-03は、出土地点から判断すると、平坦に加工された石皿状の礫や土師器甕が芯材として使われた可能性がある。

支脚は、SI-02出土の土製支脚のほかSI-07出土の甕底部（図99-15）や、SI-02のカマド覆土から出土している輪積み痕顕著な坏形（図92-6）が、支脚であると考えられる。

（４）その他（土坑・焼失家屋・改築）

その他の特徴的な事項についてまとめる。

住居内で柱穴とは考えにくい、大きめのピット・土坑についてまとめる。平面形は円形・楕円形で規模は径60～70cm程度である。位置は、住居のほぼ中央（SI-02）、カマドの脇（SI-03）、カマドからほぼ対角の壁際（SI-03・07）である。土坑内部からは、円礫が出土しているものもある（SI-03）。

SI-10は焼失家屋である。北東壁際で、腰板と思われる板材が炭化した状態で出土している。

SI-03・10は重複関係にあり、SI-03が新しく、SI-10が古い。重複の状態から、SI-10の竪穴部分を利用してSI-03が建てられたという可能性はうかがえるが、意図的に改築したり、SI-10の部分を張り出し施設として使用していたという可能性は低い。

（新山）

第３節　掘立柱建物跡について

掘立柱建物跡は４棟検出された。２棟は１間×２間、他の２棟は１間×１間の建物跡である。検出数が少ないため、個々の調査成果について項目毎にまとめていくこととする。

（１）平面形・規模・深さ

１間×２間の建物跡と１間×１間の建物跡をそれぞれのグループとして、比較しながら記述していくこととする。第１号（以下SB-01）・第２号（以下SB-02）掘立柱建物跡は６本柱であるが、底面の平面形はほぼ円形となる。底面規模は平面径40～100cmである。深さは60cm～90cmの間に収まる。第３号（以下SB-03）・第４号（以下SB-04）掘立柱建物跡は４本柱であるが、底面の平面形はほぼ円形である。規模は平面径25cm～50cmとなり、６本柱に比べると一回り小さい。深さは30cm～95cmであり、６本柱とさほど違いはないことがわかる。

（２）主軸方向

６本柱のSB-01は北西－南東に、SB-02は北東－南西に主軸をとる。偶然なのか、意図的なのかは分からないが、２つの６本柱は、主軸方向を延長していくと、ほぼ垂直に交わる（図156）。４本柱のSB-03・SB-04は、北東から南西に主軸をとるものと思

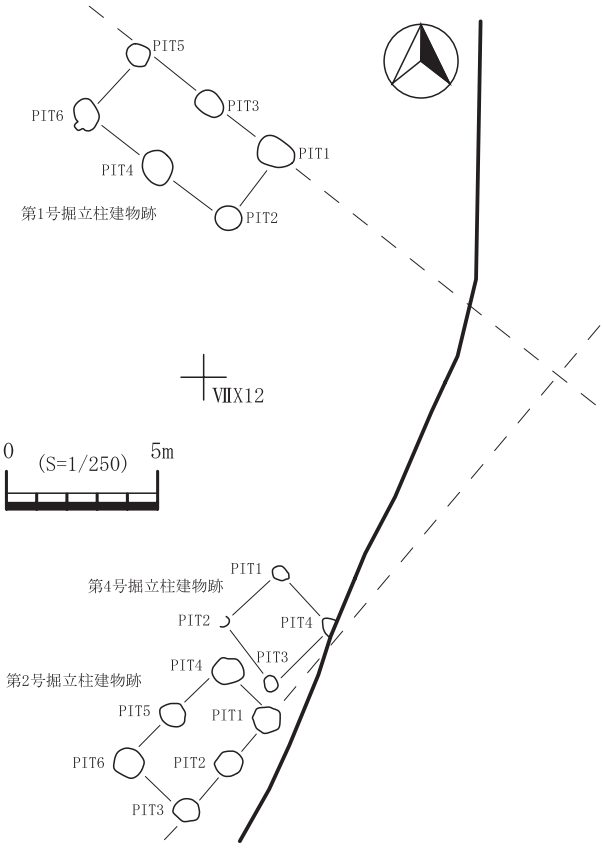


図156　掘立柱建物跡の主軸方向

われる。

（３）柱痕・抜き取り痕

６本柱のSB-01は３つのピットで、SB-02は５つのピットで、底面に円形の落ち込みを確認している。確認された柱痕規模は概ね径25～35㎝で、最大のものでSB-01のPIT３が径約40㎝である。また、堆積土断面にも柱痕らしき痕跡が見られたものもある。また、SB-01では、柱の切り取りなのか抜き取りなのかはっきりしないが、柱を取り除いた痕跡がPIT５・６で見られる。これは、抜き穴と考えられる浅い土坑が、上端ラインを壊すような形状で検出されていることからも言える。

（４）遺物・時期

遺物は、SB-01・02・03のピット内覆土中からそれぞれ土器片が出土している。帰属時期は、出土遺物から判断すると縄文時代中期後半ということになるが、掘立柱建物跡のピット内に意図的に土器を埋設させたり、何らかの目的で使ったりということは考えにくく、ピットが埋没する際に紛れ込んだ可能性が高いものである。ただ、６本柱については、近隣の三内丸山遺跡・近野遺跡・三内丸山（６）遺跡でも同じような平面形・規模のものが検出されているため、同じ時期に帰属するものと考えられる。４本柱については、堆積土が新しい様相であることから、古代以降の可能性がある。

（新山）

第４節　土坑について

土坑は、131基検出された。配置の特徴や帰属時期などについて考察を交えながらまとめていきたい。

（１）土坑の配置

土坑の配置は、大きく７つのグループに分けられる（図157参照）。まず、①大型土坑を中心としたグループがＤ区中央よりやや北側にあり、中型土坑（大型土坑以外の土坑）グループは、②Ｄ区南東側・③Ｄ区中央南側・④Ｄ区中央・⑤Ｄ区北端・⑥Ｂ区北側・⑦Ｂ区南側に分けられる。なお、中型土坑③グループは中型でも底面が２ｍを超える大型に近いフラスコ形のものが多い。土坑が集中する区域は、縄文時代の竪穴住居跡に隣接する位置が多いが、中型グループ②・⑤は住居跡からやや離れた位置にあり、土坑の規模や形状から言って、意図的に土坑が集められたような印象を受ける。⑤は、住居跡からの距離が特に遠い。また、縄文時代の竪穴住居跡の床面で土坑を検出した例もある（SK-49・61・66・67・102）。全体的に見て土坑の配置は、計画的かつ意図的に行われたと考えられるが、どのような計画・意図があったのかは、明らかではない。

（２）帰属時期

土坑の帰属時期は、出土した土器をもとに決定した。ただ、ほとんどが覆土中の遺物であり、土坑が埋没する際に混入したと考えられるものが多いため、土坑使用時期というよりも、土坑埋没時期と判断するものである。このような考え方で帰属時期を判断すると、縄文時代中期中葉が圧倒的に多く、27基を数えた（図157参照）。内訳は、円筒上層ｄ・ｅ式が22基、ｄ式が１基、ｅ式が４基である。その他、中期前半が４基（円筒上層式ａ・ｂ式含む）、中期後半が１基、中期後葉（最花式）が２基、中期末葉（大木10式併行）が２基、晩期前葉（大洞BC・C1式含む）が７基、平安時代が１基である。上述した土坑グループで見てみると、大型土坑グループ①の３基（SK-102・116・117）は縄文時代中期中葉（円筒上層ｄ・ｅ式）である。残りの１基（SK-74）は縄文時代中期末葉（大木10式併行）である。またこのグループに含まれる中型の土坑で、中期後・末葉に含まれるものもある（SK-78・93・98・

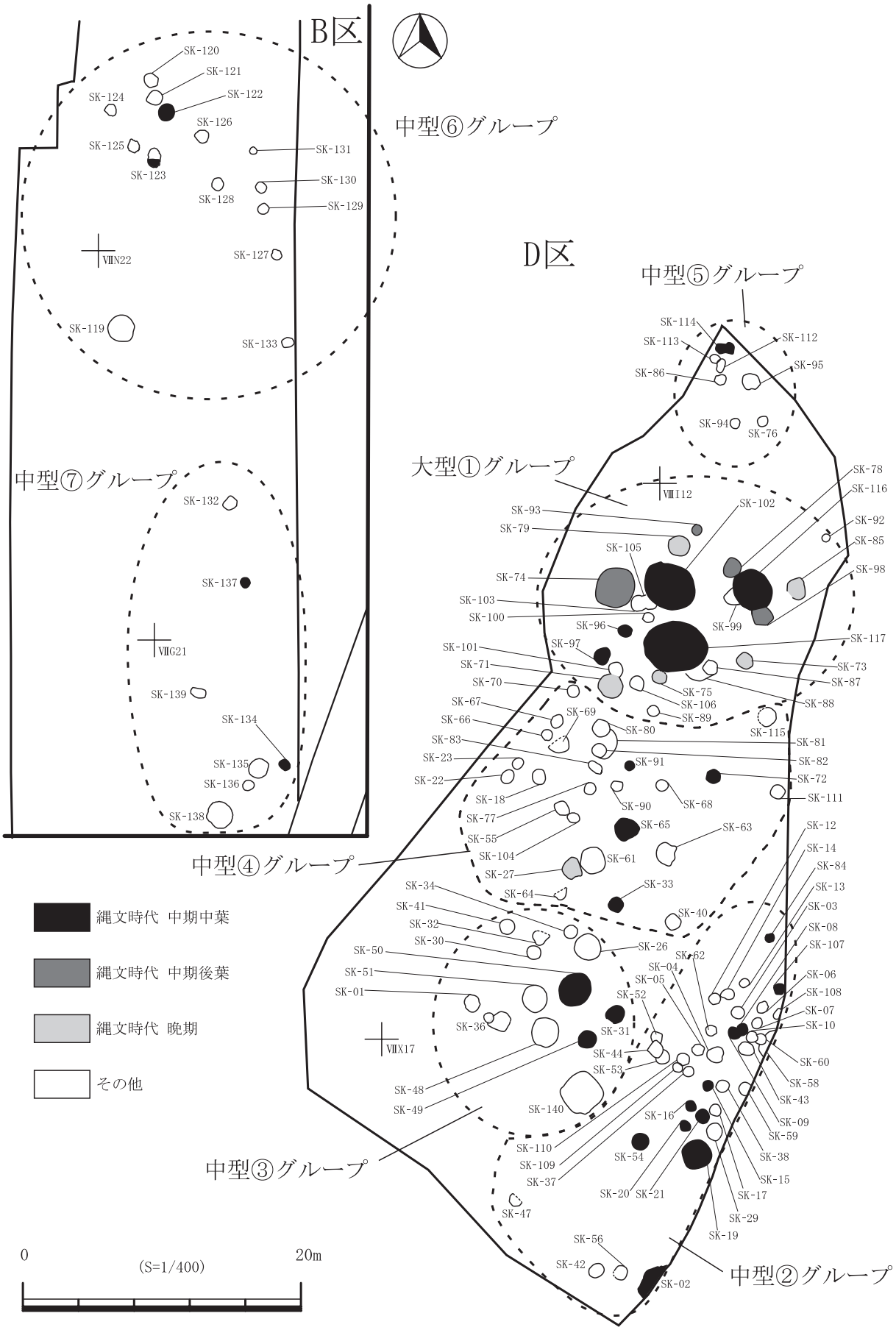


図157　土坑の配置・帰属時期

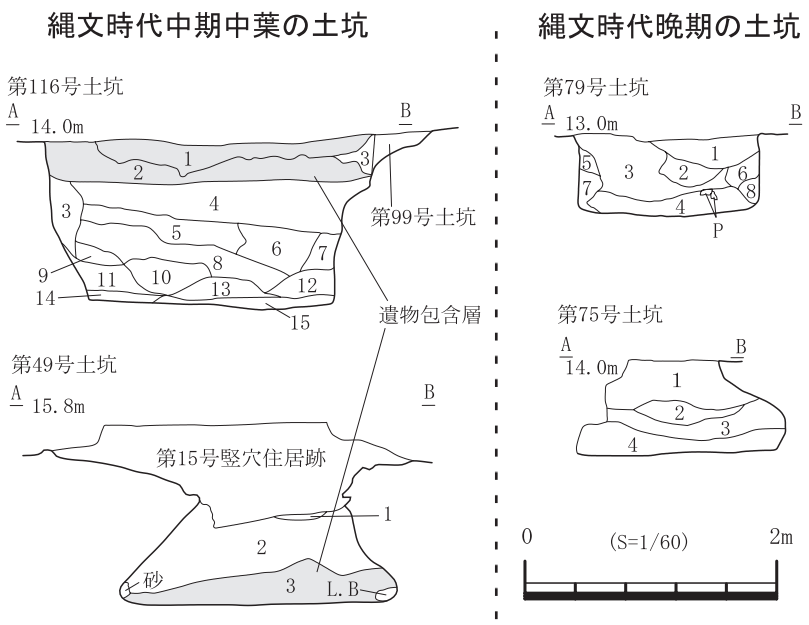


図158　土層の比較

103)。さらに中型の土坑で、縄文時代晩期前葉に含まれるものもある（SK-71・73・75・79・85)。中型土坑グループ②～⑦については、縄文時代中期中葉が多い。特にグループ②は、集中した形で検出している（SK-02・08・09・15・16・19・20・21・54・84・107)。また、グループ③・④でも、グループ②に片寄る状態で中期中葉が多い（SK-31・49・50・33・65・72・91)。また、グループ③には、晩期前葉が１基ある（SK-27)。

（３）時期による形状の特徴

ここでは、SK-116（AⅡ類）・SK-49（BⅠ類）・SK-79（BⅠａ類）・SK-75（CⅠ類）を取り上げる。「土坑計測表」に示した帰属時期によると、SK-49・116は縄文時代中期中葉（円筒上層ｄ・ｅ式)、SK-79・75は縄文時代晩期前半（大洞BC式・C１式）としている。SK-49・SK-116を１グループ、SK-79・75を２グループとしてそれぞれを比較・検討する。

まずは、１グループであるが、図158の土層図で比較してみる。SK-116は、遺物の包含する層が覆土上層であるのに対し、SK-49は覆土下層である。SK-116のような状況は、周囲にある大型の土坑（SK-74・102・117）にも共通して言えることであり、一旦埋没した土坑上部の埋まりきらない部分に土器を捨てたものと考えられる。また、覆土下位2/3部分及び底面から遺物が全く出土していないのも共通の特徴である。一方、SK-49は、上に第15号竪穴住居跡が作られており、その住居跡の帰属時期も縄文時代中期中葉である。つまり、同時期に土器と一緒に埋め戻したのか、または、底面近くで土器を置いて使用していたところを埋め戻したものと考えられる。ただ、周囲の土坑でこのような埋まり方をしたものはなく、この土坑が特殊であると言える。以上のことから、SK-116は縄文時代中期中葉より古い可能性があり、SK-49は中期中葉であると判断できる。一概には言えないが、周囲にある大型Ａ類の土坑（SK-74を除く）は、SK-116同様、縄文時代中期中葉以前の可能性が考えられる。また、SK-49の周囲にある同規模の土坑（SK31・49・50）は、埋没の仕方に違いはあるものの形状や出土遺物（円筒上層ｅ式、ｄ・ｅ式）から縄文時代中期中葉の同時期である可能性が高い。なお、今回検出した大型土坑（Ａ類）は、近隣の遺跡に限定すると、三内丸山遺跡・近野遺跡で小竪穴遺構や竪穴遺構として取り扱っている。

次にSK-79・75のグループについて図158の土層図で比較してみる。SK-79は、覆土下層から縄文時代晩期（大洞BC）の土器が出土していることから帰属時期は縄文時代晩期前葉としている。SK-49・116に比べると深さはそれほどなく、開きも小さいフラスコ形であることがわかる。また、底面に小

ピットが２基付属しているという特徴がある。ピットが付属するという点では、同じ縄文時代晩期前葉のSK-27にもやや大きめのピットが１基検出されている。また、SK-75は、開きは大きいものの、浅いフラスコ形の特徴がうかがわれる。同じ晩期前葉のSK-85も同様に浅いフラスコ形の特徴をもつ。SK-73は、他の晩期の土坑に比べて深さはあるが、中期中葉の土坑から見ると全体的に一回り小さいことがわかる。以上のことから、三内丸山（９）遺跡検出の縄文時代晩期（前葉）の土坑は、縄文時代中期中葉の土坑に比べると一回り小さくなおかつ浅くなり、小ピットが付属するものもあるという特徴をもつことが言える。

（新山）

第５節　集石遺構について

集石遺構は２基検出された。ここでは、県内にある遺跡での検出例と比較しながら、特徴をまとめていきたい。比較する遺跡は、青森市（旧浪岡町）平野遺跡と、五戸町（旧倉石村）西張平遺跡の２遺跡に絞り、以下の項目に従って検討していきたいと思う。

表9　集石遺構検出3遺跡の比較

	三内丸山（９）遺跡 （第２号集石）	平野遺跡（第２号集石）	西張平遺跡（第１号集石）
位置	標高約43.8m、やや西側に傾斜する丘陵のほぼ頂上部	石棺墓から西南側に斜面を降りた箇所。標高約85.2m	標高約144m、低位段丘の緩斜面
平面形	不整円形	ほぼ円形　（同心円状に２基検出）	ほぼ円形
規模	検出面で1.7m×1.2m	南側：　径100cm、北側：径130cm	径約70cm
断面形	明確な掘り方は確認できなかった（逆台形？）	埋設土器の掘り方部分が、底面起伏のある浅箱形	逆台形状の掘り方を確認
堆積土	褐色土で、ロームと腐葉土が混合したような土中心	褐色土に、明黄褐色砂質土・小～中粒状の礫を含む土が中心	暗褐色土中心、浮石や炭化物を微量含む土が中心
礫	にぎり拳大の礫を約110個含む。被熱痕のある礫が多い。	ほとんどが川原石（浪岡側から運搬）	握り拳大の礫を148個含む。被熱痕のある礫が多い。
遺物	縄文時代中期末～後期初頭の土器が潰れたような状況で出土	縄文時代後期初頭の土器が、正立した状態で出土	特になし

三内丸山（９）遺跡第２号集石遺構と平野遺跡第２号集石遺構を比較したときに、規模や土器が出土している点など類似するが、集まっている礫に違いがあることがわかる。また、西張平遺跡第１号集石遺構と比較したときに、握り拳大の礫100個以上を含み、被熱痕のある礫が多い点など類似するが、遺物（土器）が出土していない点に違いがある。また、本遺跡と西張平遺跡の集石遺構は、掘り込みの底面近くまで礫が入り込むのに対し、平野遺跡の集石遺構は、検出面に並ぶ（上部は耕作時に失われた可能性がある）という状態である。

集石遺構の用途については２遺跡とも触れられていないが、本遺跡検出の集石遺構もはっきりとした用途は不明である。ただ、最近の説として多いのは、「集石炉」ということである。石蒸調理施設（アースオーブン）、または焼き石での煮沸（ストーンボイリング）の跡というものである。南洋諸島で現在もさかんな「石蒸し料理」は、掘り窪めた地面に大きな植物の葉を敷き、葉でくるんだ食物の間に葉で包んだ焼け石を挟み、それを完全に覆って蒸し焼きにする調理法である。アメリカ先住民の調理法として知られるストーンボイリング法は、食物と水の入った容器の中に焼いた石を直接ほうり込んで煮沸させる調理法である。日本では、新潟県の粟島という所で「ワッパ汁」という、海岸で小石を焼いて作るストーンボイリング法が行われている。今回、本遺跡で検出した集石遺構は、上述し

た調理法に似ているものであると判断するが、全く違う観点に立てば違う遺構であるのかも知れない。「集石炉」である可能性を含ませながら、今後、好資料が発掘されることを期待するものである。

（新山）

第３章　出土遺物についてのまとめと考察

第１節　縄文・弥生土器について

三内遺跡・三内丸山（９）遺跡ではコンテナ約300箱分の縄文・弥生土器が出土した。本節では、両遺跡から出土した縄文・弥生土器の内容と調査区内の分布傾向を述べ、まとめとする。

（１）縄文時代早期・前期

両遺跡とも早・前期に帰属する土器は少ない。三内丸山（９）遺跡Ｂ区で出土した図139-7は土器の内外面に縄文が施文されており、早期末から前期初頭に位置づけられる。両遺跡出土土器の中では最も古い年代が与えられる。

前期前葉の資料はＤ区SI-19、SI-10（平安）、SK-117、SX-01の堆積土中から出土しており、いずれも覆土上層から出土した小片であるため、遺構廃絶後に周囲から流入したものと考えられる。前期中葉、後葉の資料についてはいずれも調査区内に点在する状況である。円筒下層b式は調査区北側の三内丸山（９）遺跡Ｂ区および三内遺跡から出土しており、Ａ区からは出土していない。

（２）縄文時代中期

縄文時代中期前葉（円筒上層a～c式）は三内丸山（９）遺跡Ｂ区からＤ区にかけての北西部分に集中しており、Ａ区および三内遺跡からの出土量はわずかである。円筒上層a式に伴う明確な遺構は確認されなかったが、三内丸山（９）遺跡Ｂ区北側のSI-26 、Ｄ区の北西斜面のSR-01は円筒上層b式の土器が埋設されており、該期の遺物分布範囲と重なる。

縄文時代中期中葉（円筒上層d・e式）は三内丸山（９）遺跡Ｂ・Ｄ区、三内遺跡第Ⅲa層で主体をなす。とりわけ、三内遺跡は円筒上層e式が圧倒的に主体を占めており、円筒上層d式、榎林式、最花式の出土量を大きく上回る（図159）。これらの中で、円筒上層d式、榎林式については、円筒上層

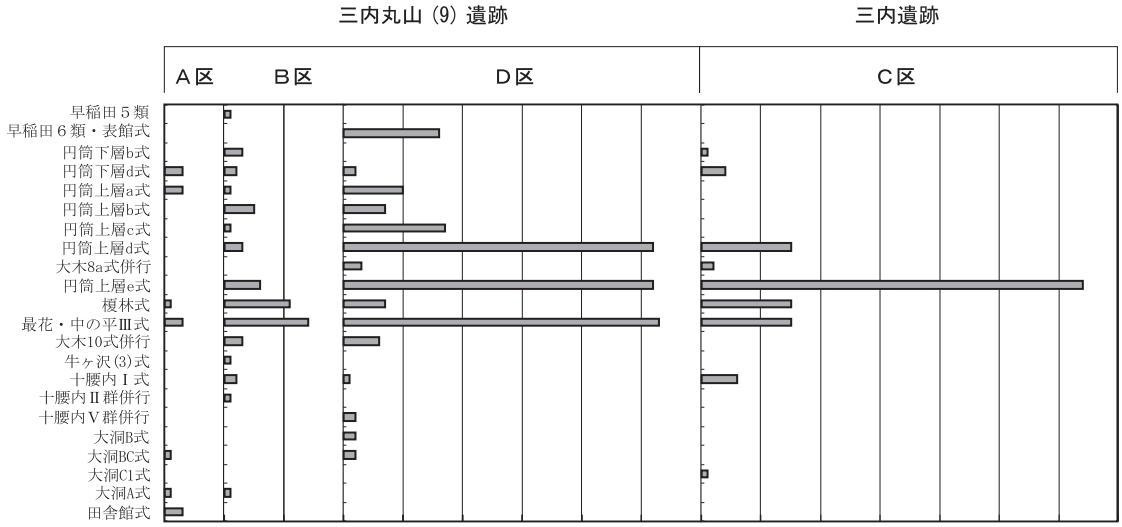


図159　三内・三内丸山（9）遺跡調査区内における縄文・弥生土器型式別出土傾向（「円筒上層ｄ・ｅ式」を除く）

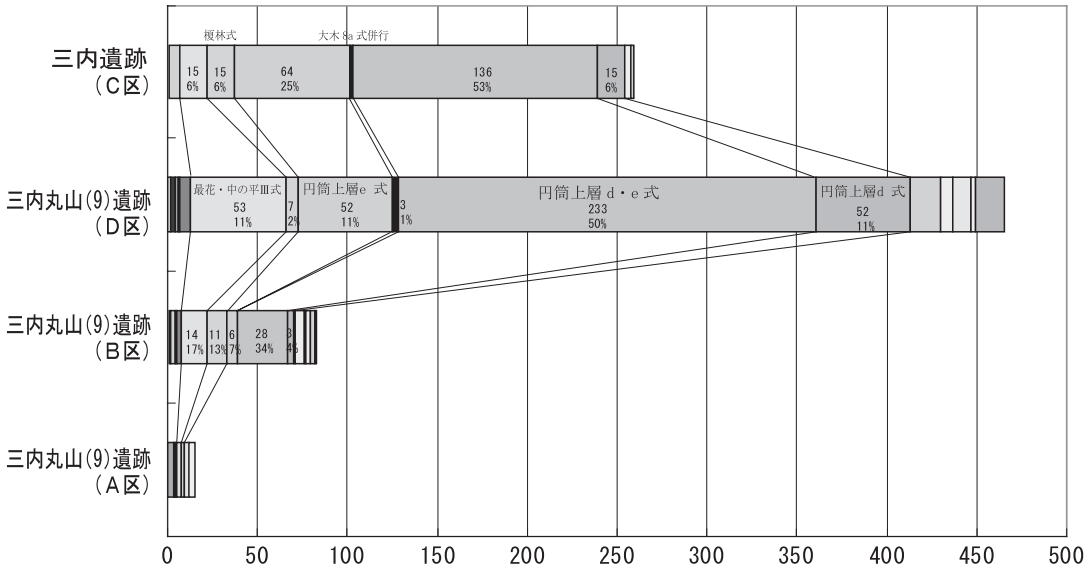


図160　三内・三内丸山(9)遺跡調査区内における土器型式別出土傾向(「円筒上層ｄ・ｅ式」を含む)

e式と混在した状態（写真２）で出土しており、層位、レベル差を明確に捉えることが出来なかった。三内丸山（９）遺跡では円筒上層d式、e式、最花・中の平Ⅲ式の出土量が近似するが、「円筒上層d・e式」とした一群を加えると中期中葉の資料が圧倒的に多数を占める（図160）。竪穴住居跡の帰属する時期も炉体土器の内容から判断して、上層d～e式期に帰属するものが大半を占めるものと考えられる。

三内丸山（９）遺跡Ｄ区SI-17、SK-111堆積土から出土した図67-4と図130-22は同一個体と考えられ、口縁部に渦巻文を加飾した波状文が施文されている。器形は口縁部がキャリパー状に膨らみ、共伴する円筒上層d・e式土器と比較して地文縄文、器面調整の手法に違いがみられる。また、Ｄ区SI-11出土資料（図62-2）は口唇部の成形、原体の施文手法などでは基本的に円筒上層d・e式のそれと共通しながら、口縁部がキャリパー状に膨らみ、粘土紐貼付によって山形の隆線が描出されるなど、大木8a式を意識した要素がみられる。三内遺跡第Ⅲa層では、粘土紐貼付によって波状文の施文される資料が多く出土しており（図26-6, 8～11）、同様の手法によって渦巻文が表現された橋状把手（図26-12）、や装飾突起（図26-13, 14）もこれに相当すると考えられる。また、三内丸山（９）遺跡Ｄ区SI-4から出土した図53-5も波状文の変形と考えられる。

縄文時代中期後葉は三内丸山（９）遺跡、三内遺跡調査区内全域から出土しており、特にＢ区とＤ区に分布が集中する。Ｄ区SI-23からは最花・中の平Ⅲ式に相当する土器がまとまった状態で出土している。同遺構内出土土器には小片ではあるが大木９式に併行するもの（図73-15）も含まれる。Ｄ区SK-117の図131-10は波状口縁で幅広の無文帯をもつ台付深鉢形土器である。県内では類例に乏しく、秋田県鹿角市天戸森遺跡出土例が知られている（鹿角市教育委員会1984）。

（３）中期末葉～後期初頭

三内丸山（９）遺跡Ｄ区SI-23（図73-16）、SK-74（図128-7）、SK-78（図129-3）、Ｂ区SQ-02（図85-1）などが大木10式併行期に比定され、SK-74、SQ-02などの遺構が本段階に帰属する可能性がある。Ｂ区丘陵頂部に位置するSQ-02周辺とⅥD～G23・24グリッドでは該期の資料がまとまった状態で出土している。

（３）縄文時代後期

全体的に出土量が少なく、全て遺構外からの出土資料である。三内丸山（９）遺跡Ｂ区ⅥＤ～Ｇ23・24グリッドの範囲では中期末葉～後期初頭に比定される土器（図139-5, 図146-3, 5, 11）が比較的集中した状態で出土している。また、ⅦＥ22グリッドからは中空で塔状の装飾突起（図146-6）が出土している。類例は岩手県新山権現社遺跡（（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1994）、宮城県宝ヶ峯遺跡（志間1991）などで報告されており後期中葉に比定される。図146-7は磨消縄文による入組帯状文が横位に展開しており、後期後葉に位置づけられる。

（４）縄文時代晩期

調査区全域から出土しているが、量的に多く出土しているのは晩期前葉（大洞Ｂ～BC式）期で、三内丸山（９）遺跡Ｄ区丘陵先端部では該期に帰属する土坑が検出されている。いずれの遺構も小型のフラスコ状土坑であり、小ピットを伴うものもみられる。堆積土中からは深鉢形粗製土器、半精製土器、鉢形粗製土器などが一括で出土している。Ｄ区SK-27（図124-3）、SK-79（図129-7）から出土した個体は外面に赤色顔料の滴下した痕跡がみられ、内面は全面に赤色顔料が付着している。特に図129-7については粉状の顔料が付着した状態を確認することができる。SK-27から出土した磨石（図124-9）は、研磨によって平滑に発達した機能面に赤鉄鉱粒が挟まっており、赤色顔料の精製に使用されたものと考えられる。これら晩期の小土坑から出土した遺物については、赤色顔料に関連した使用痕が高い割合で確認されており、特徴的である。

また、Ｄ区SK-73から出土した粗製深鉢（図128-5）は口縁部の一部がSK-27内にあるピット覆土から出土しており、両遺構が時期的に大きく隔たらないものであることが確認された。

晩期中葉～後葉の資料は全体的に少ないが、三内遺跡の調査区南側表土、三内丸山（９）遺跡Ｂ区、Ｄ区でわずかに出土している。

（５）弥生時代

弥生土器は三内丸山（９）遺跡Ａ区およびＤ区で出土している。いずれも、破片資料が断片的に出土している状態であり、これに伴う明確な遺構は検出されていない。

Ｄ区から弥生時代前期前半に比定される小破片１点（図147-1）と前期後半に相当する鉢形土器（図127-4）が出土している。また、Ａ区では中・後期に帰属すると考えられる破片（図147-2・3・6）がややまとまった状態で出土している。

（斉藤）

第２節　石器について

三内遺跡・三内丸山（９）遺跡を合わせた石器は、総数639点である（報告書に掲載した剥片石器類の石核・使用痕剥片・二次調整のある剥片を含む）。それぞれの種類の数量的関係や特徴的な事項について、考察を交えながら以下にまとめることとする。

剥片石器類は、両遺跡合わせて、石鏃176点、石槍26点、石匙16点、石錐６点、石篦43点、掻器・削器13点、異形石器３点、両極石器４点、石核２点、使用痕剥片７点、二次調整のある剥片10点（使用痕剥片・二次調整のある剥片は掲載した点数）の総数306点である。圧倒的に出土量が多かった石鏃について詳しく見ていく。まず、遺跡毎の数量は、三内遺跡が81点で、三内丸山（９）遺跡が95点である。

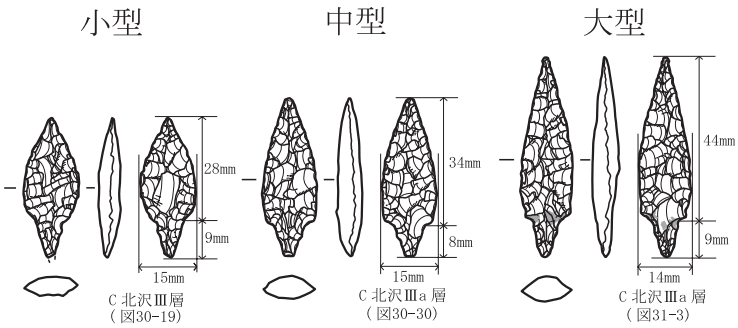


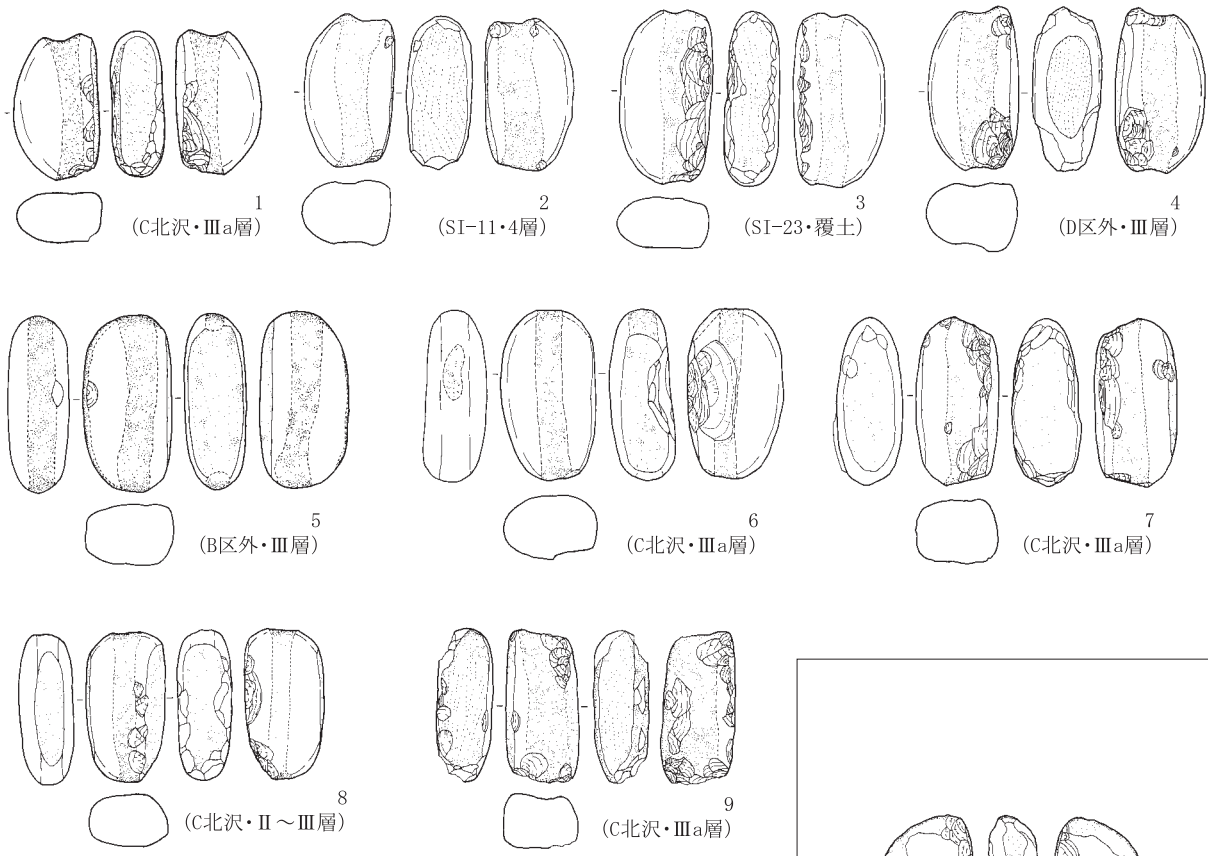
図161　石鏃Ｉｃ類の細分

一見、半々に見える数字であるが、両遺跡の調査面積を比べると、三内丸山（９）遺跡が9,000㎡あるのに対し、三内遺跡は600㎡しかないわけで、いかに三内遺跡埋没沢から集中して出土したかがわかる。次に、報告書に掲載した石鏃（総数114点）を類型毎に見てみると、Ｉａ類３点、Ｉb類21点、Ｉc類71点、Ｉd類12点、Ⅱａ類４点、Ⅱb類２点、Ⅱc類１点、Ⅱd類０点である。Ｉc類が圧倒的多数だが、内訳は、三内遺跡埋没沢から31点、三内丸山（９）遺跡の遺構内から30点、遺構外から10点である。ここでも、三内遺跡埋没沢からの出土が際だつ。Ｉc類を長さの観点からさらに細分すると、図161（三内遺跡埋没沢Ⅲ層から出土した３点を抽出して示した）の通り、大型・中型・小型に分類できる。この３点を比較すると、全体が小さくなったり大きくなったりしたように見えるが、よく観察すると、器幅や茎部の長さがほぼ同じであるのに対し、尖頭部の長さだけが変化していることが分かる。元々尖頭部の長さに変化をつけたのか、使い込みによって短くなったものを再調整したのかは不明である。帰属時期は、三内遺跡埋没沢のⅢ層からの出土がほとんどであり、土器と混在して出土していることから、Ⅲ層出土の土器と同じ帰属時期と考えられる。

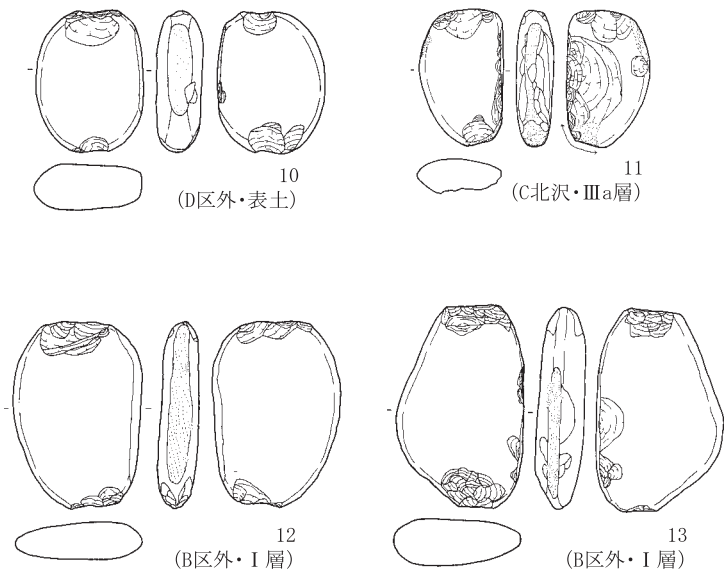
石斧類は、磨製石斧32点、打製石斧４点、総数36点である。出土量の多かった磨製石斧は、石鏃Ｉc類同様、三内遺跡からの出土が多く、14点を数えた。このうち埋没沢Ⅲ層から出土したものが11点あった。

礫石器類は、半円状扁平打製石器４点、磨り石77点、北海道式石冠28点、敲き石166点、石錘１点、石皿44点、砥石13点、総数333点である。数量的に敲き石が多いが、北海道式石冠が割と多く出土しているため、詳しく見ていきたい。まず、遺跡毎の数量は、三内遺跡が16点、三内丸山（９）遺跡が12点である。数量的に見て同じくらいであるが、これも石鏃同様、面積的なことを加味すると、三内遺跡での密集度が高いことになる。特に埋没沢Ⅲ層からの出土が10点と多い。三内丸山（９）遺跡では、遺構内から２点、遺構外から10点出土している。遺構内は、第11・23号竪穴住居跡覆土中から出土している。遺構外は、Ｂ区Ⅲ層やＤ区西側斜面Ⅲ層から出土したものが合わせて７点ある。今回出土した北海道式石冠の帰属時期であるが、遺構内出土のものは、それぞれの住居の帰属時期に伴うものと考えてよいであろう。遺構外出土のものは、三内遺跡埋没沢Ⅲ層やＢ・Ｄ区Ⅲ層から、縄文時代中期中葉を中心とした土器が多量に出土していることから、土器の時期に帰属するものと考えられる。

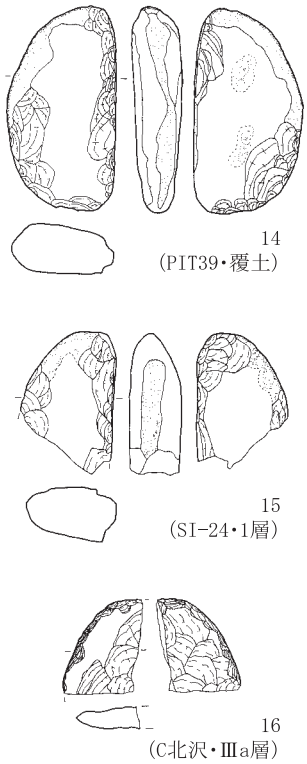
最後に、北海道式石冠の使用方法について考察する。全てのものが基底部面を幅広く磨っており、頭部に磨り痕や敲打痕をもつもの（図162-5～9）や、両端部に敲打痕をもつものもある（図162-5・6）。また、基底部が不規則に剥離しているものも多い。以上の痕跡から、「磨り」の作用だけでなく、「敲き」の作用も加えられていたということが推測できるが、「磨り」や「敲き」が作業として行われていたのか、成形目的で行われていたのかは不明である。また、基底部の剥離に



北海道式石冠(S=1/6)



磨り石Ⅳ類(S=1/6)



半円状扁平打製石器(S=1/6)

※C北沢=三内遺跡(C区)埋没沢北側の意。B・D区外=三内丸山(9)遺跡(A・B・D区)遺構外の意。

図162　礫石器集成

ついても同様のことが言える。また、北海道式石冠に類似するものとして、磨り石Ⅳ類と半円状扁平打製石器を取り上げた。磨り石Ⅳ類は、両端を打ち欠いて抉り部を作り、基底部面を磨っている特徴をもつ（図162-10～13）。形状や磨り面などは北海道式石冠に類似するものの、抉り部以外に敲打痕の痕跡はないことから、あくまでも「磨り」の作用だけを目的としたものなのかも知れない。また、半円状扁平打製石器は、北海道式石冠・磨り石Ⅳ類同様、基底部面を磨っている特徴をもつ（図162-14・15）。ただ、側縁部両面及び基底部両面に規則的な剥離痕があることから、北海道式石冠・磨り石Ⅳ類とは異なる特徴をもつことがわかる。以上、３種類の礫石器の特徴を述べてきたが、使用方法としては、いずれも頭部を片手で持ち、基底部の磨り面を下にして「磨り」の作業をしたと推測できる。また、そのような作業を行ったとき、共通した特徴として、北海道式石冠は帯状の敲打痕部分を、磨り石Ⅳ類は抉り部を通るように紐状のものを巻き付けて、半円状扁平打製石器は部分的につけた敲打部（図163-14）を、それぞれ「すべり止め」としての利用したのではないかということである。あくまでも推測であるため、今後、そのような痕跡がある遺物の出土に期待するものである。

（新山）

第３節　土偶について

三内丸山（９）遺跡から９点、三内遺跡から９点の土偶が出土している（図163）。形態は十字形板状土偶で、すべて破損品である。出土部位は、頭部破片２点（２・６）・腕部破片２点（３・17）・胴部下半を欠くもの２点（７・８）・胴部上半を欠くもの５点（１・５・９・10・13）・胴部の上半と下端を欠くもの５点（４・11・14・15・16）・腕部を欠くもの１点（12）・頭部と片腕部を欠くもの１点（18）である。

出土状態をみると、三内丸山（９）遺跡では遺構内から４点が出土している。これらは竪穴住居跡を埋める廃棄土中から土器と混在して出土しており、第５号竪穴住居跡覆土からは、同一個体と思われる６と９の２点が出土しているが、特別な出土状態を示すものとは捉えられていない。ほかは遺構外出土である。また、三内遺跡出土のものもすべて遺構外出土であり、大半が土器と共に沢に廃棄されたか、または流入したものと捉えられており、隣接する特別史跡三内丸山遺跡およびその周辺遺跡での出土状況と変わるところはない。

これら土偶の個体特徴については前述しているが、以下に個々の帰属時期を考えてみる。まとめるにあたっては、土偶の出土数では群を抜いた特別史跡三内丸山遺跡（小笠原2002）を引用参考にした。

土偶の施文文様をみると、刺突によるもの（１）、押圧縄文によるもの（２・３）、沈線によるもの（５～18）があり、後者が多い。また、地文に縄文が施文されるもの（４・５）もある。土偶の文様が、各土器型式の文様要素と同様であることからみると、１は、角状の刺突文という点から円筒上層ｃ式期に帰属するものと思われる。２は、表裏に縦位の押圧縄文が施文されており、顔面と頭部が剥落しているが、本来は三内丸山遺跡を代表する高さ32㎝の大型板状土偶に類似するものと推測され、円筒上層ｄ式期に帰属するものと思われる。原体押圧の手法は円筒上層ａ式期からみられるが、この時期の押圧は前代よりも原体が細かで施文も密な感じを受ける。３の腕部も２と同様な時期のものと思われるが、縦位に平行施文するモチーフから円筒上層ｅ式期の可能性もある。５は、地文縄文に沈線文が施されているもので、円筒上層ｅ式期に帰属するものと思われる。８は、円筒上層ｅ式期の土

図163　三内・三内丸山(9)遺跡土偶集成

偶に典型的な、腕部に縦位の平行沈線、体部に横位沈線文が施されたものである。10と11も同様な文様モチーフで同じ時期に捉えられものと思われる。12と14も沈線文が施されるもので、円筒上層ｅ式期のものとして捉えられるが、体部表面の縦位沈線と短沈線の組み合わせや、12の背面に見られる曲線文から円筒上層ｅ式期でも新しめのもの、ないしは円筒上層ｅ式期以降に帰属する可能性もある。17の腕部表面の沈線文は、円筒上層ｃおよびｄ式に刺突や原体押圧による同様なモチーフがあることから、その時期のものと思われる。

前述のように、これら土偶の文様は原則的に土器型式の文様を反映させるが、土偶も漸移的に変化するものと考えられることから、各土偶が上記の前後の時期も含めて帰属する可能性がある。

次に、土偶の大きさとつくりからみてみる。一般に円筒土器文化の土偶は、円筒上層ｃ式およびｄ式期に大型化し、円筒上層ｅ式期には大型土偶がなくなるといわれている。１は破片の大きさから、推定で30㎝を超える大型土偶であったと思われ、２と17も20㎝以上の中型ないしは大型の部類に属する大きさで捉えられ、前者の時期に収まる。それ以外は後者の時期に収まるものと思われ、概ね文様からみた帰属時期に符合するものである。

つくりの上からみると、顔面のわかるもの（６～８・12）は、頭部の前面に、鼻と眉がＴ字ないしはＹ字状の隆線で表現され、口と目、鼻孔は刺突で表現されている。このような人体の具体的な凹凸表現は、円筒上層ｃ式期以降には定着しており、本調査で出土した土偶もこれとかわるところはない。また、体部に貫通孔（穿孔）のあるものは、１・５・10・11・13・14の６点あるが、１と11以外は未貫通であり、特に13は臍下と体部末端から刺突を施しただけの簡易なもので、円筒上層ｅ式期以降に体部の貫通孔が形骸化している点では追認するものである。製作方法がわかるものとしては、12と16がある。12は、体部と両腕部が別々につくられた分割塊製作法であることが明確である。16は、円筒上層ｃ式ないし円筒上層ｄ式期のものと思われるが、芯となる粘土から剥落した外面の破片であり、この時期にこの手の製作技法がわかるものとしては稀少である。

以上のように、本土偶は円筒上層ｃ～ｅ式期に帰属するもので、その中でも円筒上層ｅ式期のものが大半を占める。検出遺構および出土土器の主体が円筒上層ｄ・ｅ式であることから、それらと共に作られ、使われたものと判断される。

土偶が第二の道具で、大多数が破片で出土することは周知のことであり、土偶の変遷や機能についての研究も多い。土偶破壊説のうち、谷口康浩氏のいう「板状土偶が壊される土偶ではなかった」（谷口1990）という点について、小笠原氏（小笠原2002）は、破壊が故意か自然か慎重に判断すべきと指摘している。谷口氏の「こわされた土偶」の分配または分散説とは、時期が異なるものの、特別史跡三内丸山遺跡出土の多量の土偶と、本調査で出土した土偶片の接合関係を調べることは可能であり、出土土偶単体の研究はいうまでもなく、各遺跡との相対的な研究がもっと必要であろう。

（小田川）

第４節　土師器・須恵器について

三内遺跡・三内丸山（９）遺跡を合わせた土師器の総数は144点、須恵器の総数は37点である（いずれも胴部破片を除く）。ここでは、それぞれの種類の数量・器形・器面調整などの特徴をまとめるとともに、遺物の特徴から捉えた年代観についても若干考察することとする。

土師器は、両遺跡合わせて、坏52点、皿１点、甕88点、鉢１点、塝１点、小型土器２点を抽出した。このうち、出土量が多かった坏・甕について詳しくまとめていくこととする。

まず坏について器形の分類を数量的に見てみるとⅠ類21点、Ⅱ類２点と、圧倒的にⅠ類が多い。器面調整の分類では、ａ類６点、b類46点と、これも一方的にb類が多い。組み合わせで見た場合でもⅠａ類３点、Ⅰb類18点、Ⅱａ類１点、Ⅱb類１点で、Ⅰb類が一番多い。

次に甕について器形の分類を数量的に見てみるとⅠ類が42点、Ⅱ類が５点、Ⅲ類が５点と、Ⅰ類が圧倒的に多い。外面調整の分類では、ａ類が25点、b類が49点、c類が10点と、多種多様になる。組み合わせで見た場合、Ⅰａ類21点・Ⅰb類16点・Ⅰc類５点・Ⅱb類５点・Ⅱc類１点・Ⅲb類２点・Ⅲc類３点であり、Ⅰａ類・Ⅰｂ類が多くなることがわかる。ちなみに、Ⅱａ類・Ⅲａ類という組み合わせは出土していない。遺跡毎で見た場合、埋没沢（遺構外）のみから出土した三内遺跡では、外面調整b類が多くなり、ａ類は全く無いという特徴がある。一方、三内丸山（９）遺跡では、外面調整b類についてａ類の割合が高くなるという特徴がある。

次に年代観であるが、近隣の旧浪岡町の資料をもとにして、考察してみたいと思う。

まず、坏は、Ⅰb類が一番多いということで、その特徴を旧浪岡町の資料と比較してみると、９世紀後半のロクロ成形・再調整なし・糸切り痕主体の深碗形と類似してくる。９世紀前半の指標となる、ロクロ成形で底部ケズリ再調整の坏は、ほとんどないし、10世紀に入ると増えてくる浅碗形や皿形の坏は、三内遺跡遺構外で数点見られる程度である。

また、甕は、三内丸山（９）遺跡だけで見られるⅠａ類に注目してみると、旧浪岡町で出土している、９世紀後半に見られる胴部張り出しが少ない外反形のものと類似してくる。また、ロクロ成形の甕は、９～10世紀の長期間にわたって見られるが、割合的には９世紀代の方が多いし、10世紀に入ると、外面ケズリ・内面ナデ調整が主流となってくる。

以上のことから、三内丸山（９）遺跡出土土師器の年代を、竪穴住居跡出土遺物で考えてみると、上記に示した理由と堆積土の状況から、９世紀後半の年代観が妥当であると思われる。また、三内遺跡埋没沢出土の土師器については、三内丸山（９）遺跡との比較や上記に示した理由、火山灰との関係から判断したときに、10世紀前半の年代観が妥当であると言えよう。

須恵器は、両遺跡合わせて、坏25点・長頸壺２点・広口壺３点・壺５点・鉢２点を抽出した。出土量の多かった坏について詳しくまとめていくこととする。坏は、還元焼成18点、酸化焔焼成７点に分けられる。火襷痕のつくものは合わせて７点、ヘラ記号・線刻があるものが２点ある。ほとんどが内外面ロクロ成形であるが、外面底部にケズリ再調整を施すものが１点だけある（図42-9）。胎土分析等を行っていないため、はっきりとしたことは言えないが、ほとんどが五所川原産の様相を呈している。

年代観についてだが、三内丸山（９）遺跡の竪穴住居跡に共伴しているものは土師器の年代とほぼ同じ時期になってくると思われるが、個体数自体が少ないため判断が難しい。また、三内遺跡埋没沢から出土したものは、外面底部ケズリ再調整の坏で判断すると、五所川原市ＫＹ１号窯跡で１点出土したものに器形・調整が類似する。十和田ａ火山灰降灰直後の遺物であることや、ＫＹ１号窯跡の編年試案から判断すると、９世紀後葉～末ということになる。ただ、ＫＹ１号窯跡の坏とはヘラケズリの仕方に若干の違いがあるため、産地が違ったり、年代観に幅が出てきたりする可能性はある。

（新山）

引用・参考文献

青森県教育委員会　1978　『三内遺跡』　青森県埋蔵文化財調査報告書第37集
青森県教育委員会　1978　『近野遺跡Ⅳ』　青森県埋蔵文化財調査報告書第47集
青森県教育委員会　1994　『三内丸山(2)遺跡Ⅱ』　青森県埋蔵文化財調査報告書第157集
青森県教育委員会　1999　『三内丸山(6)遺跡Ⅰ』　青森県埋蔵文化財調査報告書第257集
青森県教育委員会　2000　『野木遺跡Ⅲ』　青森県埋蔵文化財調査報告書第281集
青森県教育委員会　2001　『三内丸山(6)遺跡Ⅲ』　青森県埋蔵文化財調査報告書第307集
青森県教育委員会　2002　『安田(2)遺跡Ⅲ』　青森県埋蔵文化財調査報告書第321集
青森県教育委員会　2005　『近野遺跡Ⅷ』　青森県埋蔵文化財調査報告書第394集
青森県教育委員会　2005　『山元(1)遺跡』　青森県埋蔵文化財調査報告書第395集
青森県教育委員会　2006　『野尻(3)遺跡』　青森県埋蔵文化財調査報告書第414集
青森県教育委員会　2006　『西張平遺跡』　青森県埋蔵文化財調査報告書第416集
青森県教育委員会　2006　『近野遺跡Ⅸ』　青森県埋蔵文化財調査報告書第418集
青森県史編さん考古部会　2002　『青森県史　別編　三内丸山遺跡』
秋山浩三　1993　「「大足」の再検討」　『考古学研究』40-3
天辰正義ほか編　2005　『鉄関連遺物の分析評価に関する研究会報告　－鉄関連遺物の発掘・整理から分析調査・保存までー』（社）日本鉄鋼協会　社会鉄鋼工学部会
小笠原雅行　1999　「円筒文化圏における前期の土偶について」　『土偶研究の地平３』　勉誠出版
小笠原雅行　2002　「土偶・岩偶」　『青森県史 別編三内丸山遺跡 』
小保内裕之　2004　「八戸市松ヶ崎遺跡出土の縄文時代中期後半の土器について」　『東北・北海道の縄文時代中期後半の諸問題　－資料集－』
鹿角市教育委員会　1984　『天戸森遺跡』　鹿角市文化財調査資料26
金子昭彦　2005　「縄文時代晩期東北地方北部の袋状転用墓」　『北奥の考古学　葛西勵先生還暦記念論文集』
北林八洲晴　1994　「青森県」　『日本土器製塩研究』　青木書店
工藤清泰　2000　「浪岡町の古代遺跡」　『浪岡町史　第１巻』
工藤清泰　2005　「津軽平野の様相」　『第31回古代城柵官衙遺跡検討会資料集』
工藤大　2002　「早稲田第６類土器と表館式土器について」　『リングサイド』2
五所川原市教育委員会　2003　『五所川原須恵器窯跡群』　五所川原市埋蔵文化財調査報告書第25集
五所川原市教育委員会　2005　『ＫＹ１号窯跡』　五所川原市埋蔵文化財調査報告書第26集
児玉大成　2005　「亀ヶ岡文化を中心としたベンガラ生産の復元」　『日本考古学』20
(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　1993　『新山権現社遺跡発掘調査報告書』　岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第188集
(財)北海道埋蔵文化財センター　1989　『小樽市忍路土場遺跡・忍路５遺跡』（財）北海道埋蔵文化財センター調査報告第53集
(財)北海道埋蔵文化財センター　1995　『美沢川流域の遺跡群ⅩⅧ』　（財）北海道埋蔵文化財センター調査報告第102集
齋藤淳　2004　「北奥における古代の鉄器」　『研究紀要』9　（青森県埋蔵文化財調査センター）
坂口隆　2003　『縄文時代貯蔵穴の研究』
札幌市教育委員会　2001　『Ｋ39遺跡』　札幌市文化財調査報告書65
志間泰治・桑月鮮　1991　『宝ヶ峯』　財団法人齋藤報恩会
鈴木克彦　1976　「東北地方北部に於ける大木系土器文化の編年的考察」　『北奥古代文化』8
鈴木克彦　1998　「東北地方北部の縄文中期後半の土器　－大木系土器層位的共伴関係土器集成－」　『研究紀要』3　（青森県埋蔵文化財調査センター）
鈴木克彦　1999　「大木系(土器)文化の土偶の研究」　『土偶研究の地平３』　勉誠出版
谷口康浩　1990　「土偶のこわれ方」　『季刊考古学』30
茅野嘉雄　2002　「畑内遺跡のフラスコ状土坑について」　『海と考古学とロマン　－市川金丸先生古稀記念献呈論文集－』
辻誠一郎　2006　「三内丸山遺跡の層序と編年」　『植生史研究』特別2
浪岡町教育委員会　2002　『平野遺跡発掘調査報告書』　浪岡町埋蔵文化財緊急発掘調査報告書第7集
奈良国立文化財研究所　1984　『木器集成図録　近畿古代篇』　奈良国立文化財研究所研究史料第27冊
成田滋彦　1989　「入江・十腰内土器様式」　『縄文土器大観４』　小学館
成田滋彦　1999　「目立たない土偶－第Ⅰ章－」　『土偶研究の地平３』勉誠出版
成田滋彦　2000　「円筒上層式に於ける大木7b・8a式について」　『村越潔先生古稀記念論文集』
成田滋彦　2002　「大型土偶の分割について　目立たない土偶－第Ⅳ章－」　『海と考古学とロマン　－市川金丸先生古稀記念献呈論文集－』
丹羽茂　1989　「中期大木式土器様式」　『縄文土器大観１』　小学館
町田勝則　1996　「石器の研究法」　『長野県の考古学』
三浦栄一郎・鈴木克彦　1984　「五戸町次郎左衛門長根遺跡の十腰内Ⅱ式土器」　『青森県考古学』1
三浦圭介　1993　「青森県における律令期の土器様相」　『第18回古代城柵官衙遺跡検討会　特集シンポジウム「北日本における律令期の土器様相」』
三浦圭介　1995　「古代」　『弘前市史　資料編１考古編』
三宅徹也　1989　「円筒土器下層様式」　『縄文土器大観１』　小学館
三宅徹也　1989　「円筒土器上層様式」　『縄文土器大観１』　小学館
三宅徹也　1990　「十字形土偶」　『季刊考古学』30
村越潔　1974　『円筒土器文化』　雄山閣
吉川昌伸ほか　2006　「三内丸山遺跡の植生史と人の活動」　『植生史研究』特別2

遺物観察表

縄文土器・弥生土器(1)

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド・トレンチ	層位	器形	残存部位	時期	型式	付着物・穿孔	文様・原体・施文手法
010-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、LR押圧)、突起部(粘土紐貼付)、口縁～胴部(地文LR横位、橋状把手、粘土紐貼付)
010-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、LR押圧)、突起部(粘土紐貼付、内面工具刺突)、口縁～胴部(地文LR横位、ボタン状貼付、粘土紐貼付、4弁状突起)
010-03	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d式	―	口唇部(LR押圧)、口縁～胴部(地文LR横位、粘土紐貼付)
010-04	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d式	―	口唇部(肥厚、粘土紐貼付)、口縁部(橋状把手、粘土紐貼付)、胴部(地文RL+LR結束第1種横位、粘土紐LR回転)
011-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d式	―	口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(地文RL+RL横位、結束第1種、粘土紐貼付)
011-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(肥厚、RL押圧)、突起部(内外面粘土紐貼付)、口縁～胴部(地文RL横位、粘土紐貼付、沈線、突起)
011-03	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	胴～底部	中期中葉	円筒上層e式	外面炭化物付着	胴部上半(地文横位RL、縦位隆帯貼付、沈線)、底部(平底)
011-04	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層e式	―	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(肥厚、LR押圧)、口縁～胴部(地文LR横位、沈線、突起)
011-05	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層e式	―	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(地文RL横位、結節回転文、沈線、4弁状突起)、底部(平底)
012-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層e式	内外面炭化物付着	突起部(地文RL横位、沈線)、口唇部(肥厚、LR押圧)、口縁～胴部(地文RL横位、沈線、4弁状突起)
012-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層e式	外面炭化物付着	突起部(RL押圧)、口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(地文RL横位、沈線)
012-03	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層e式	―	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(RL押圧)、口縁～胴部(地文RL横位、粘土紐貼付、RL押圧、沈線)
012-04	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、LR押圧)、口縁～胴部上半(地文LR横位、沈線)
012-05	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(地文RL横位、沈線)、底部(平底)
012-06	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	胴～底部	中期中葉	円筒上層e式	―	胴部(地文LR横位、沈線)、底部(平底)
012-07	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	胴～底部	中期中葉	円筒上層e式	―	胴部(地文RL+LR横位、結束第1種、結節回転文、沈線)、底部(平底)
012-08	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(肥厚、地文RL横位、RL押圧)、口縁～胴部(地文RL横位、沈線、4弁状突起)
012-09	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層e式	外面炭化物付着	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(LR押圧)、口縁～胴部(地文RLR横位、沈線、2弁状突起)
012-10	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層e式	―	突起部(RL押圧)、口唇部(肥厚、RL横位)、口縁～胴部(地文RL+LR横位、結束第1種、沈線)、底部(平底)
012-11	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(肥厚、沈線)、突起部(粘土紐貼付)、口縁～胴部(地文LR横位、沈線、4弁状突起)
012-12	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層e式	外面炭化物付着、焼成後外面片側穿孔	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(肥厚、刻み)、口縁～胴部(地文RLR横位、沈線)、底部(平底)
012-13	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf・Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(肥厚、LR押圧)、突起部(粘土紐貼付)、口縁～胴部(地文LRL横位、沈線、3弁状突起)
013-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層e式	外面炭化物付着	突起部(LR押圧)、口唇部(肥厚、LR押圧)、口縁～胴部(地文LR+RL横位、結束第2種、LR+RL押圧、4弁状突起)
013-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層e式	―	突起部(ボタン状貼付、内面沈線)、口唇部(R押圧)、口縁～胴部(地文R横位、沈線、4弁状突起)、底部(平底)
013-03	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(肥厚、刻み)、口縁～胴部(地文RL横位、沈線)、底部(平底)
013-04	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	小型土器(深鉢)	口縁～底部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(地文LR横位、LR押圧)、突起部(粘土紐貼付)、口縁～胴部(地文LR・RL横位)、底部(平底)
013-05	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(肥厚、粘土紐・ボタン状貼付)、口縁～胴部(RL横位、4弁状突起)
013-06	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚、粘土紐貼付)、突起部(粘土瘤貼付)、口縁～胴部(L・RL横位)
013-07	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	突起部(粘土紐貼付、内面円形刺突)、口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(RL+RL横位、結束第1種、4弁状突起)、底部(平底)
013-08	三内	C区	遺構外	ⅧM～Q20～22	Ⅲ層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚、0段多条RL押圧)、口縁～胴部(0段多条RL横位、4弁状突起)、底部(平底)
013-09	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	突起部(粘土紐・粘土瘤貼付)、口唇部(肥厚、LR押圧)、口縁～胴部(LR+RL横位、結束第1種、4弁状突起)
013-10	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(LR押圧)、口縁～胴部(LR+RL横位、結束第2種、4弁状突起)、底部(平底)
013-11	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	突起部(粘土紐貼付、LR押圧)、口唇部(肥厚、LR押圧)、口縁～胴部(LR横位、4弁状突起)、底部(平底)
013-12	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	突起部(粘土紐貼付、ボタン状貼付)、口唇部(肥厚、LR押圧)、口縁～胴部(LR横位、4弁状突起)、底部(平底)
014-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅰ・Ⅲ層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚)、突起部(粘土瘤貼付)、口縁～胴部(L横位、突起)
014-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	突起部(粘土紐貼付)、口縁～胴部(RL横位、4弁状突起)
014-03	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	突起部(ボタン状装飾)、口縁～胴部(RL横位・斜位・縦位、4弁状突起)
014-04	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着、焼成後片側穿孔	口唇部(肥厚、RL・LR押圧)、突起部(RL・LR押圧)、口縁～胴部(RL・LR横位、4弁状突起)
014-05	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、RL押圧)、突起部(RL押圧)、口縁～胴部(RL横位)
014-06	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(粘土紐貼付)、口縁～胴部(RL横位、4弁状突起)
014-07	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(LR+RL横位、結束第2種、4弁状突起)、底部(平底)
014-08	三内	C区	遺構外	ⅦU23	Ⅲ層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(RL横位)、底部(平底)
014-09	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	内外面炭化物付着	口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(RL横位)、底部(平底)
014-10	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(RL横位、突起)

縄文土器・弥生土器(2)

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド・トレンチ	層位	器形	残存部位	時期	型式	付着物・穿孔	文様・原体・施文手法
014-11	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	突起部(沈線)、口唇部(刻み)、口縁～胴部(RL横位)、底部(平底)
014-12	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(RL+LR横位、結束第2種、突起)
015-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	突起部(粘土紐貼付、粘土瘤貼付)、口唇部(肥厚、LR押圧)、口縁～胴部(LR+RL横位、結束第1種)
015-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(肥厚、LR押圧)、口縁～胴部(LR+RL横位、結束第2種、4突起)、底部(平底)
015-03	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	内外面炭化物付着	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(LR+RL横位、結束第2種)
015-04	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(肥厚、LR横位)、口縁～胴部(LR横位)、底部(平底)
015-05	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	内外面炭化物付着	口唇部(肥厚、LR押圧)、突起部(粘土紐貼付、LR押圧、内面円形刺突)、口縁～胴部(RL+LR横位、結束第2種)
015-06	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(RL押圧)、口縁～胴部(縦位粘土紐貼付、LR+RL横位、結束第2種、4弁状突起)
015-07	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚、LR押圧)、突起部(粘土紐貼付、LR押圧)、口縁～胴部(LR横位、4弁状突起)
015-08	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(縦位粘土紐貼付、LR+RL横位、結束第2種、4突起)
015-09	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(RL横位、4弁状突起)
015-10	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚、LR横位)、突起部(粘土紐貼付)、口縁～胴部(LR横位)
016-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、LR押圧)、口縁～胴部(LR+LR横位、結束第1種)、突起部(粘土紐貼付、LR押圧)
016-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(RL横位、4弁状突起)、底部(平底)
016-03	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf・Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(RL横位、3弁状突起)、底部(平底)
016-04	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚、RL押圧、粘土紐貼付)、口縁部(ボタン状貼付、隆帯貼付、LR横位、4弁状突起)
016-05	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚、RL押圧、粘土瘤貼付)、口縁～胴部(RL横位、4弁状突起)
016-06	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	突起部(粘土瘤貼付)、口唇部(肥厚、LR押圧)、口縁～胴部(RL+LR横位、結束第1種)
016-07	三内	C区	遺構外	ⅧW～R20～24	Ⅲ層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	突起部(粘土瘤貼付)、口唇部(肥厚、LR+RL横位、結束第1種)、口縁～胴部(LR+RL横位、結束第1種)
016-08	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚、LR横位)、突起部(LR横位、粘土瘤貼付)、口縁～胴部(LR横位、3弁状突起)
016-09	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	内外面炭化物付着	突起部(RL押圧、ボタン状貼付)、口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(RL横位)、底部(平底)
016-10	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚、LR押圧)、突起部(LR押圧、ボタン状貼付)、口縁～胴部(LR+RL横位、結束第2種、4弁状突起)、底部(平底)
016-11	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf・Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚、LR押圧)、突起部(LR横位、ボタン状貼付)、口縁～胴部(LR横位、結節回転文)
017-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(LR押圧)、胴部(RL横位)
017-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf・Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚、LR押圧)、口縁～胴部(LR横位)、底部(平底)
017-03	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(RL+LR横位、結束第1種)
017-04	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、突起部(粘土紐貼付)、口縁～胴部(LR横位、3突起)
017-05	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(肥厚、LR横位)、口縁～胴部(LR横位)
017-06	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(RL横位)
017-07	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、LR押圧)、口縁～胴部(LR・RL横位、結束第2種)、突起部(粘土紐貼付)、底部(平底)
017-08	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	内外面炭化物付着	口唇部(0段多条RL横位)、口縁～胴部(0段多条RL+LR横位、結束第2種、6?突起)、底部(平底)
017-09	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	突起部(爪刺突)、口唇部(爪刺突)、口縁～胴部(RL横位、4弁状突起)、底部(平底)
017-10	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、L押圧)、口縁～胴部(RL横位)、底部(平底)
017-11	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	胴～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚)、口縁～胴部上半(LR横位)、胴部下半(LR縦位)、底部(平底)
017-12	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	―	―	口唇部(肥厚)、口縁～胴部(LR横位、1突起？)、底部(平底)
017-13	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	突起部(粘土紐貼付、LR押圧)、口唇部(肥厚、LR・RL横位)、口縁～胴部(LR+RL横位、結束第1種)、底部(上げ底)
017-14	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	―	―	口縁～胴部(RL横位)、底部(平底)
017-15	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	小型土器(深鉢)	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚、LR押圧)、突起部(粘土瘤・粘土紐貼付)、口縁～胴部(LR横位、結節回転文横位、縦位隆帯貼付、突起)、底部(平底)
017-16	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	小型土器(深鉢)	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚)、口縁～胴部(LR横位)
017-17	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	小型土器(深鉢)	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、LR横位)、口縁～胴部(RL+LR横位、結束第1種)、底部(平底)
017-18	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期	―	―	口縁～胴部(RL+LR横位、結束第1種)、底部(平底)
018-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期後葉	榎林式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚)、口縁部(無文、突起)、胴部(地文RL縦位、粘土紐貼付、ミガキ)、底部(平底)
018-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	胴～底部	中期後葉	榎林式	―	胴部下半(地文RL縦位・横位、沈線、懸垂文)、底部(平底)
018-03	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	深鉢	胴～底部	中期中葉	円筒上層e式	―	胴部(地文RLR縦位、沈線)、底部(平底)
018-04	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	広口壺	胴～底部	中期後葉	最花式	外面炭化物付着	口縁部(無文)、胴部(地文LR斜位、沈線、懸垂文)、底部(平底)
018-05	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期	―	外面炭化物付着	口縁～胴部(RL横位)

縄文土器・弥生土器(3)

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド・トレンチ	層位	器形	残存部位	時期	型式	付着物・穿孔	文様・原体・施文手法
018-06	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～底部	中期	－	－	口縁～胴部(無文)、底部(上げ底)
018-07	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa・Ⅲb層	深鉢	口縁～底部	中期	－	－	口縁～胴部(無文)、底部(平底)
018-08	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期	－	－	口唇部(肥厚)、口縁～胴部(無文)
018-09	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	小型土器	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	－	口唇部(肥厚)、口縁～胴部(無文)、底部(平底)
018-10	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	浅鉢	口縁～底部	中期	－	－	口縁～胴部(無文)、底部(上げ底)
018-11	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	浅鉢	口縁～底部	中期	－	－	口縁～底部(無文)、底部(平底)
018-12	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	胴～底部	中期	－	内外面炭化物付着	胴部下半(RL横位)、底部(平底)
018-13	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	胴～底部	中期	－	－	胴部(RL+LR横位、結束第1種)、底部(上げ底)
019-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	深鉢	胴～底部	中期	－	－	胴部下半(LR・RL横位)、底部(上げ底、網代圧痕)
019-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	胴～底部	中期	－	－	胴部下半(RL横位)、底部(平底)
019-03	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	胴～底部	中期	－	－	胴部下半(RL横位)、底部(平底)
019-04	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf層、Ⅲa層	深鉢	胴～底部	中期	－	－	胴部(RLR斜位、横位、縦位)、底部(平底)
019-05	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	前期中葉	円筒下層b式	－	口縁部(LR側面圧痕)
019-06	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱc層	深鉢	口縁部	前期中葉	－	－	口縁部(RLR横位)
019-07	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	前期後葉	円筒下層d式	－	口縁部(Rl、LR側面圧痕、LR+RL結束第1種、横位)
019-08	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	前期後葉	円筒下層d式	－	口縁部(Rl側面圧痕)
019-09	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	前期後葉	円筒下層d式	－	口縁部(LR側面圧痕)
019-10	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	前期後葉	円筒下層d式	－	口縁部(RL側面圧痕)
019-11	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	深鉢	胴部	前期後葉	円筒下層d式	－	胴部上半(LR押圧)、隆帯(LR押圧)
019-12	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層a・b式	－	口縁部(LR押圧、粘土紐貼付、粘土紐LR押圧)
019-13	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	－	口唇部(粘土紐貼付、粘土紐Lr押圧)、口縁部(地文LR横位、粘土紐貼付)
019-14	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	－	口唇部(LR押圧)、口縁部(地文LR+RL結束第1種、横位、粘土紐貼付)
019-15	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	－	口唇部(Rl押圧、粘土紐貼付)、口縁部(地文RL横位、粘土紐貼付)
019-16	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	－	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL横位、粘土紐貼付)
019-17	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	－	口唇部(刻み)、口縁部(RL横位)
019-18	三内	C区	遺構外	ⅧW～Q20～23	Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	－	口唇部(LR、RL、LR+RL押圧)、口縁部(地文RL+R結束第1種、横位、粘土紐貼付)
020-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa・Ⅱb層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	－	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL横位、粘土紐貼付)
020-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(LR押圧、0段多条)、口縁部(LR横位、0段多条)
020-03	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層e式	－	口縁部(粘土紐貼付、地文RL横位、沈線)
020-04	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(沈線)、口縁部(地文縄文、沈線)
020-05	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(RL横位)、口縁部(地文RL横位、沈線)
020-06	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(RL横位)、口縁部(粘土紐貼付、地文RL横位、沈線)
020-07	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(RLR押圧)、口縁部(地文RLR横位、沈線)
020-08	三内	C区	遺構外	ⅨA22	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(沈線)、口縁部(地文RL横位、沈線)
020-09	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL横位、沈線)
020-10	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(LR押圧)、口縁部(地文LR横位、沈線)
020-11	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(LR押圧、粘土紐貼付)、口縁部(地文RL横位、沈線)
020-12	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa・Ⅱf層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(L押圧)、口縁部(地文RL横位、沈線、橋状把手)
020-13	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(沈線)、口縁部(地文RL横位、沈線)
021-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL横位、沈線)
021-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL横位、沈線)
021-03	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(LR押圧)、口縁部(地文RL横位、結節回転、沈線、粘土紐貼付)
021-04	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(沈線)、口縁部(地文LR横位、沈線)
021-05	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口縁部(粘土紐貼付、沈線)
021-06	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(Rl押圧)、口縁部(粘土紐貼付、沈線)
021-07	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文、LR斜位、沈線)
021-08	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL、沈線)
021-09	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(沈線)、口縁部(地文RL横位、粘土紐貼付、沈線)
021-10	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(沈線)、口縁部(粘土紐貼付、地文RL横位、沈線)
021-11	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL横位、粘土紐貼付、沈線)
021-12	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL+LR結束第1種、横位、沈線)
021-13	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(RL押圧、沈線)
021-14	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	－	口唇部(LR押圧)、口縁部(地文LR横位、沈線)

縄文土器・弥生土器(4)

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド・トレンチ	層位	器形	残存部位	時期	型式	付着物・穿孔	文様・原体・施文手法
021-15	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	外面炭化物付着	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL横位、沈線、粘土紐貼付)
021-16	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	内外面炭化物付着	口唇部(押圧縄文)、口縁部(地文RLR横位、沈線)
021-17	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口縁部(粘土紐貼付、円形刺突、沈線)
021-18	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(沈線)、口縁部(地文RL横位、沈線)
021-19	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	外面炭化物付着	口唇部(沈線、刺突)、口縁部(隆線文、地文RL縦位、沈線)
022-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL横位)
022-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	外面炭化物付着、焼成後片側穿孔	口唇部(沈線)、口縁部(地文LR横位、沈線)
022-03	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲb層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(沈線)
022-04	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口縁部(粘土紐貼付、沈線)
022-05	三内	C区	遺構外	ⅧM～Q20～22	Ⅱ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	外面炭化物付着	口唇部(LR押圧、粘土紐貼付)、胴部上半(地文LR縦位、沈線)
022-06	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口縁部(沈線)
022-07	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(RL押圧、粘土紐貼付)、口縁部(地文LR+RL結束第1種、横位、沈線)
022-08	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層e式	―	胴部上半(地文R1斜位、沈線)
022-09	三内	C区	遺構外	ⅧU22	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(粘土紐貼付)、口縁部(LR縦位、沈線)
022-10	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(地文LR横位、沈線)
022-11	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層e式	外面炭化物付着	胴部(地文RL横位、沈線)
022-12	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(沈線)、口縁部(粘土紐貼付、RL横位、結節回転)
022-13	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(工具刺突)、口縁部(粘土紐貼付、LR+RL結束第1種、横位、縦位)
022-14	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(RL+LR結束第2種、横位)
022-15	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(RL横位)
022-16	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(LR横位)
022-17	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口唇部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(沈線、Lr横位)
023-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL横位)、口縁部(RL横位)
023-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(RL押圧)、口縁部(粘土紐貼付、粘土紐RL押圧、RL横位)
023-03	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(LR+RL結束第1種、横位)
023-04	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(粘土紐貼付)、口縁部(LR+R1結束第1種、横位)
023-05	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL横位、粘土紐貼付)
023-06	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(RL横位)
023-07	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧、粘土紐貼付、粘土紐RL押圧)、口縁部(地文RL横位、粘土紐貼付)
023-08	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(R1押圧)、口縁部(粘土紐貼付)、胴部(RL横位、結節回転(LR+RL))
024-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(粘土紐貼付、RL+LR結束第1種、横位)
024-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付)
024-03	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(RL横位)
024-04	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(粘土紐貼付、RL横位)
024-05	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(粘土紐貼付、RL横位)
024-06	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(RL押圧)、口縁部(RL横位)
024-07	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(LR横位)
024-08	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR横位、LR押圧)、口縁部(LR横位)
024-09	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(粘土瘤貼付)
024-10	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(沈線)、口縁部(RL横位)
024-11	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付)
024-12	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(Lr押圧)
024-13	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(LR押圧)、口縁部(地文LR横位、LR押圧)
024-14	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)口縁部(地文RL横位)
024-15	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(粘土紐貼付)
024-16	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(RL横位)
024-17	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(粘土紐貼付、RL横位)
024-18	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(LR横位)
024-19	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付)
024-20	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RLR押圧)、口縁部(地文RLR横位、粘土紐貼付)
024-21	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(LR横位、粘土紐貼付)
024-22	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(沈線)、口縁部(Lr押圧、LR+RL結束第1種、横位)

縄文土器・弥生土器(5)

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド・トレンチ	層位	器形	残存部位	時期	型式	付着物・穿孔	文様・原体・施文手法
024-23	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口縁部(粘土紐貼付、粘土紐LR押圧、LR横位)
024-24	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(LR押圧)、口縁部(RL+LR結束第2種、横位)
024-25	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付)
024-26	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(粘土紐貼付)
024-27	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(Lr押圧、粘土紐貼付、粘土紐Lr押圧)
024-28	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(沈線)、口縁部(地文RL横位、粘土紐貼付)
024-29	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(地文RL横位、粘土紐貼付)
025-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付、粘土紐LR押圧)
025-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(LR押圧、LR横位)
025-03	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	内面炭化物付着	口縁部(粘土紐貼付、地文LR横位)
025-04	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(横位斜縄文)、口縁部(LR縦位)
025-05	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(RL横位、橋状把手)
025-06	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(粘土紐貼付)
025-07	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(地文RL横位、粘土紐貼付)
025-08	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付、粘土紐RL横位)
025-09	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(RL横位)
025-10	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(LR縦位)
025-11	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧、粘土紐貼付、粘土紐LR押圧)、口縁部(LR横位)
025-12	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR、RL押圧)、口縁部(粘土紐貼付、粘土紐LR押圧、地文LR横位、RL押圧)
025-13	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL横位、粘土紐貼付)
025-14	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧、粘土紐貼付、粘土紐RL押圧)、口縁部(LR+RL結束第2種、横位)
025-15	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(RL+LR結束第1種、横位)
025-16	三内	C区	遺構外	ⅨA22	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	内面炭化物付着	口唇部(LR押圧)、口縁部(粘土紐貼付、LR横位、0段多条)
025-17	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(RL横位、粘土紐貼付)
025-18	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(RL横位、粘土紐貼付、円形刺突)
025-19	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(沈線)、口縁部(粘土紐貼付、LR縦位)
025-20	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(RL横位、粘土紐貼付)
025-21	三内	C区	遺構外	ⅧM～Q20～22	Ⅲ層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(刻み)、口縁部(地文RL横位、粘土紐貼付)
025-22	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(LR押圧)、口縁部(LR横位)
025-23	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL横位、結節回転(LR開端))
025-24	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(刻み)
026-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(Lr押圧)、口縁部(Lr横位、粘土紐貼付)
026-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(RL、LR押圧)、口縁部(LR横位、粘土紐貼付)
026-03	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(粘土紐貼付)、口縁部(LR横位)
026-04	三内	C区	遺構外	―	Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL横位)
026-05	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb・Ⅱf層	深鉢	口縁部	中期中葉	―	外面炭化物付着	口縁部(地文LR縦位、粘土紐貼付)
026-06	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	大木7b～8a式併行	―	口唇部(押圧縄文)、口縁部(RL押圧、0段多条、地文RL(0段多条)+LR、結束第1種横位、粘土紐貼付)
026-07	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	大木8a式併行	―	口縁部(沈線)
026-08	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	大木8a式併行	―	口縁部(地文RLR、粘土紐貼付)
026-09	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb・Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	大木8a式併行	―	口縁部(RL縦位、粘土紐貼付)
026-10	三内	C区	遺構外	ⅧU23	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	大木8a式併行	―	口縁部(地文RL横位、粘土紐貼付)、胴部上半(RL縦位)
026-11	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	大木8a式併行	外面炭化物付着	口縁部(地文RL横位、横位、粘土紐貼付)、胴部(RL縦位)
026-12	三内	C区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	胴部	中期中葉	大木8a式併行	―	胴部(橋状把手、粘土紐貼付、沈線、渦巻文)
026-13	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期中葉	大木8a式併行	―	突起部(粘土紐貼付、沈線、渦巻文)
026-14	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb層	深鉢	突起部	中期中葉	大木8a式併行	―	突起部(粘土紐貼付、渦巻文)
026-15	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	胴部	中期中葉	大木8a式併行	―	胴部(地文LR縦位、粘土紐貼付)
026-16	三内	C区	遺構外	ⅧL22	表土	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式	―	口唇部(沈線)、口縁部(LR横位)
026-17	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式	外面炭化物付着	口唇部(沈線)、口縁部(地文LR横位、沈線)
026-18	三内	C区	遺構外	ⅧT23	Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式	内外面炭化物付着	口唇部(沈線)、口縁部(地文RL横位、沈線)
026-19	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式	焼成後片側穿孔	口唇部(沈線)
026-20	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式	―	口唇部(沈線)、口縁部(地文LR横位、沈線)
027-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式	―	口唇部(沈線、地文LR縦位、沈線)

縄文土器・弥生土器(6)

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド・トレンチ	層位	器形	残存部位	時期	型式	付着物・穿孔	文様・原体・施文手法
027-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式	―	口唇部(沈線)、口縁部(地文RL縦位、沈線)
027-03	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式	―	口唇部(円形刺突)、口縁部(地文LR横位、沈線)
027-04	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式	―	口唇部(沈線、LR横位)
027-05	三内	C区	遺構外	ⅧN23	Ⅰ層	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式？	―	口縁部(LR横位)
027-06	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb層	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式	外面炭化物付着	口唇部(沈線)、口縁部(地文LR横位、沈線、円形連続刺突)
027-07	三内	C区	遺構外	ⅧS21	Ⅰ層	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式？	―	口縁部(RL横位)
027-08	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式？	―	口縁部(無文)
027-09	三内	C区	遺構外	ⅨA22	Ⅲa・Ⅱc層	深鉢	胴部	中期後葉	榎林式	外面炭化物付着	胴部下半(地文RL縦位、沈線)
027-10	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	深鉢	口縁～胴部	中期後葉	―	―	口縁部(無文)、胴部上半(橋状把手)
027-11	三内	C区	遺構外	ⅧU23	Ⅱb層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(無文、円形刺突)、胴部上半(地文RL横位、円形刺突)
027-12	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(折り返し、沈線)
027-13	三内	C区	遺構外	ⅨA22	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(折り返し、連続刺突、沈線)
027-14	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	胴部	中期後葉	―	―	胴部(無文)
027-15	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb・Ⅱc層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(粘土瘤貼付、無文)
027-16	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(地文LR縦位、円形刺突、沈線)
027-17	三内	C区	遺構外	ⅧM21	Ⅰ層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(折返し、LR横位)
027-18	三内	C区	遺構外	ⅨA22	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	外面炭化物付着	口縁部(地文LR横位)、胴部上半(地文LR縦位)
027-19	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期後葉	最花式	―	口縁部(無文)、胴部上半(地文RL横位、円形刺突、沈線)
027-20	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(Lr押圧、折り返し、RL横位)
028-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期後葉	最花式	外面炭化物付着	口縁部(無文)、胴部上半(地文RL横位、円形刺突、沈線)
028-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁～胴部	中期後葉	最花式	外面炭化物付着	口縁部(無文)、胴部上半(地文RL斜位、沈線、円形刺突)
028-03	三内	C区	遺構外	ⅧU22	Ⅲa層	深鉢	胴部	中期後葉	最花式	―	口縁部(無文)、胴部上半(地文RL横位、斜位、円形刺突、沈線)
028-04	三内	C区	遺構外	ⅧT21	Ⅰ層	深鉢	口縁部	中期後葉	大木９式併行	―	口縁部(沈線、充填縄文)
028-05	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期後葉	大木９式併行	―	口縁部(沈線、RL縦位)
028-06	三内	C区	遺構外	ⅧV21	Ⅰ層	深鉢	口縁部	中期後葉	大木９式併行	―	口縁部(沈線、LR充填)
028-07	三内	C区	遺構外	ⅧU23	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期後葉	大木10式併行	―	口縁部(LR横位)
028-08	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期	―	―	口縁部(横位斜縄文)
028-09	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb・Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期	―	―	口縁部(無文)
028-10	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期	―	―	口縁部(無文)
028-11	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期	―	―	口縁部(無文)
028-12	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲb層	深鉢	底部	中期	―	―	底部(網代圧痕)
028-13	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	底部	中期	―	―	胴部下半(RL横位、LR横位、結節回転文)、底部(網代圧痕)
028-14	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期後葉	―	―	口縁部(RL横位)
028-15	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期後葉	―	―	口縁部(RL横位)
028-16	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	深鉢	口縁部	中期後葉？	―	―	口唇部(LR横位)、口縁部(Lr押圧、RL横位)
028-17	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf層	深鉢	口縁部	中期後葉	―	―	口唇部(RL横位)、口縁部(RL横位)
029-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	胴部	中期	―	―	胴部下半(LR+RL横位、結束第1種)
029-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	胴部	中期	―	―	胴部下半(LR+RL横位、結束第1種)
029-03	三内	C区	遺構外	ⅧU20	Ⅰ層	深鉢	胴部	後期前葉	十腰内Ⅰ式	―	胴部(沈線)
029-04	三内	C区	遺構外	ⅧM～Q20～22	Ⅱ層	深鉢	胴部	後期前葉	十腰内Ⅰ式	―	胴部上半(沈線、RL縦位)
029-05	三内	C区	遺構外	ⅧN22	Ⅰ層	深鉢	胴部	後期前葉	十腰内Ⅰ式	―	胴部(沈線)
029-06	三内	C区	遺構外	ⅧM22	Ⅰ層	深鉢	胴部	後期前葉	十腰内Ⅰ式	外面炭化物付着	胴部(沈線、LR充填)
029-07	三内	C区	遺構外	ⅧT21	Ⅰ層	深鉢	胴部	後期前葉	十腰内Ⅰ式	赤褐色化粧粘土塗布	胴部(沈線)
029-08	三内	C区	遺構外	ⅧO22	Ⅰ層	深鉢	胴部	後期前葉	十腰内Ⅰ式	―	胴部(沈線)
029-09	三内	C区	遺構外	ⅧN22	Ⅰ層	深鉢	胴部	後期前葉	十腰内Ⅰ式	赤色顔料塗布	胴部(沈線)
029-10	三内	C区	遺構外	―	Ⅰ層	深鉢?鉢?	口縁部	晩期前葉	―	―	口縁部(羊歯状文)
029-11	三内	C区	遺構外	ⅨA22	Ⅰc層	浅鉢？	胴部	晩期前葉	―	―	胴部(沈線、LR充填)
029-12	三内	C区	遺構外	ⅨA22	Ⅰh層	皿	胴部	晩期中葉	大洞C1式	―	胴部(沈線、LR充填)
029-13	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅰ・Ⅱ層	浅鉢	胴部	晩期前葉	―	―	胴部(LR充填)
029-14	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅰ層	鉢	口縁部	晩期後葉	―	―	口縁部(平行沈線)
029-15	三内	C区	遺構外	ⅥH14	表土	浅鉢	口縁部	晩期後葉	―	―	口縁部(工字文)
029-16	三内	C区	遺構外	ⅥH14	表土	高坏？		晩期後葉	―	―	口縁部(工字文)
029-17	三内	C区	遺構外	ⅥH14	表土	鉢		晩期後葉	―	―	口縁部(工字文)

縄文土器・弥生土器(7)

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド・トレンチ	層位	器形	残存部位	時期	型式	付着物・穿孔	文様・原体・施文手法
029-18	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	底部	晩期？	―		底部(縄文)
050-01	三内丸山(9)	D区	SI01	―	床面・3層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(地文RL・LR横位、沈線)
050-02	三内丸山(9)	D区	SI01	―	床面直上	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	突起部(RL横位、粘土紐貼付)、口縁～胴部(RL横位、4弁状突起)、底部(平底)
050-03	三内丸山(9)	D区	SI01	―	3b層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	突起部(L押圧)、口縁～胴部(RL横位)、底部(平底)
050-04	三内丸山(9)	D区	SI01	―	床面直上	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	内外面炭化物付着	口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(LR横位、4突起)
050-05	三内丸山(9)	D区	SI01	―	覆土	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁～胴部(RL横位、4弁状突起)
050-06	三内丸山(9)	D区	SI01	―	床面直上	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁～胴部(LR横位、3弁状突起)
050-07	三内丸山(9)	D区	SI01	―	3層、2層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	内外面炭化物付着	口縁部(地文LR横位、沈線)
050-08	三内丸山(9)	D区	SI01	―	床面直上,3層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	焼成後片側穿孔	口唇部(RL押圧)、口縁部(粘土紐貼付、地文RL横位、沈線)
050-09	三内丸山(9)	D区	SI01	―	3層	深鉢	口縁部	中期中葉	―	―	口縁部(沈線)
050-10	三内丸山(9)	D区	SI01	―	2層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口縁部(粘土紐貼付、地文RL横位、沈線)
050-11	三内丸山(9)	D区	SI01	―	2層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	外面炭化物付着	口唇部(LR押圧)、口縁部(粘土紐貼付、地文LR横位、沈線)
050-12	三内丸山(9)	D区	SI01	―	3層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL横位)、口縁部(RL横位、粘土紐貼付)
050-13	三内丸山(9)	D区	SI01	―	3層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付、RL横位)
050-14	三内丸山(9)	D区	SI01	―	床面	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付、RL押圧、沈線)
050-15	三内丸山(9)	D区	SI01	―	3層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(RL押圧、地文RL横位)
050-16	三内丸山(9)	D区	SI01	―	3層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(沈線)、口縁部(RL押圧)
050-17	三内丸山(9)	D区	SI01	―	覆土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層a式	―	口縁部(R1押圧)
050-18	三内丸山(9)	D区	SI01	―	3層	深鉢	胴部	中期後葉	円筒上層e式	内外面炭化物付着	胴部上半(地文RL横位、沈線)
050-19	三内丸山(9)	D区	SI01	―	3層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口縁部(RL横位)
050-20	三内丸山(9)	D区	SI01	―	3層	深鉢	胴部	中期後葉	榎林式？	―	胴部上半(橋状把手)
050-21	三内丸山(9)	D区	SI01	―	2層下部,3層	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層e式	―	胴部下半(地文RL縦位、沈線)
050-22	三内丸山(9)	D区	SI01	―	2層下部	深鉢	胴～底部	中期中葉	円筒上層e式？	―	胴部下半(地文RLR横位、沈線)
053-01	三内丸山(9)	D区	SI04A	―	炉体土器	深鉢	口縁～胴部	中期後葉	榎林式	―	口縁(沈線、渦巻文)、胴部(地文RLR横位、斜位、沈線)
053-02	三内丸山(9)	D区	SI04	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL横位、沈線)
053-03	三内丸山(9)	D区	SI04	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	―	―	口縁部(R1横位)
053-04	三内丸山(9)	D区	SI04	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付、RL横位)
053-05	三内丸山(9)	D区	SI04	―	覆土	深鉢	胴部	中期中葉	大木8a式併行？	―	胴部上半(粘土紐貼付)
053-06	三内丸山(9)	D区	SI04	―	覆土	深鉢	底部	中期	―	―	胴部下半(縄文)
053-07	三内丸山(9)	D区	SI04	―	覆土	深鉢	胴～底部	中期中葉	―	―	胴部下半(R1横位)
054-01	三内丸山(9)	D区	SI08、(SI10)	―	覆土	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(地文RL横位、粘土紐貼付)、底部(平底)
054-02	三内丸山(9)	D区	SI08	―	覆土	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層e式	外面炭化物付着	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(肥厚、0段多条RL押圧)、口縁～胴部(地文0段多条RL横位、4突起、沈線)、底部(上げ底)
054-03	三内丸山(9)	D区	SI08	―	覆土	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(肥厚、LR押圧)、口縁～胴部(地文LR・RL横位、L+L押圧)、底部(平底)
054-04	三内丸山(9)	D区	SI08	―	覆土	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、LRL横位)、口縁～胴部(LRL横位、4弁状突起)
054-05	三内丸山(9)	D区	SI08	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧、粘土紐貼付)
054-06	三内丸山(9)	D区	SI08	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL横位、粘土紐貼付、粘土紐RL横位)
054-07	三内丸山(9)	D区	SI08	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	外面炭化物付着	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL横位、沈線)
054-08	三内丸山(9)	D区	SI08	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(RL横位)
056-01	三内丸山(9)	D区	SI05	―	覆土	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(地文RL横位、隆帯貼付、沈線)
056-02	三内丸山(9)	D区	SI05	―	覆土	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(RL横位)
056-03	三内丸山(9)	D区	SI05	―	4層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(RL押圧)、口縁～胴部(RL横位、突起)
056-04	三内丸山(9)	D区	SI05	―	床面直上	深鉢	胴～底部	中期中葉	―	―	胴部下半(地文RL+LR横位)、底部(上げ底)
056-05	三内丸山(9)	D区	SI05Pit1	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(地文RL横位、粘土紐貼付)
056-06	三内丸山(9)	D区	SI05	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	内外面炭化物付着	口唇部(RL押圧、RL横位)
056-07	三内丸山(9)	D区	SI05Pit1	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL+LR結束第1種、横位、粘土紐貼付)
056-08	三内丸山(9)	D区	SI05	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付、LR横位)
056-09	三内丸山(9)	D区	SI05	―	3層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式？	―	口縁部(無文)
056-10	三内丸山(9)	D区	SI05	―	覆土	深鉢	胴部	中期	―	―	胴部下半(LR+RL結束第1種、0段多条、横位)
056-11	三内丸山(9)	D区	SI05	―	床面	深鉢	胴部	中期	―	―	胴部下半(LR+RL結束第1種、横位)
056-12	三内丸山(9)	D区	SI05	―	覆土	深鉢	胴部	中期中葉	―	―	胴部下半(LR横位)

縄文土器・弥生土器(8)

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド・トレンチ	層位	器形	残存部位	時期	型式	付着物・穿孔	文様・原体・施文手法
056-13	三内丸山(9)	D区	SI05付属施設	—	床面	深鉢	胴部	中期中葉	—	—	胴部下半(LR+RL結束第1種、横位)
056-14	三内丸山(9)	D区	SI05	—	2層、覆土	深鉢	底部	中期	—	—	胴部下半(RL横位)、底部(網代圧痕)
058-01	三内丸山(9)	D区	SI06	—	炉体土器	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、LR押圧)、口縁～胴部(粘土紐貼付、ボタン状貼付、LR横位、4突起)、底部(平底)
058-02	三内丸山(9)	D区	SI06	—	18・19層・覆土	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口唇部(肥厚)、突起部(粘土紐貼付)、口縁部(粘土紐貼付)、口縁～胴部(RL横位)
058-03	三内丸山(9)	D区	SI06、(SI05)	—	覆土、18層、4層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d式	—	突起部(粘土紐貼付、内面沈線)、口唇部(肥厚、L押圧)、口縁～胴部(地文L、LR、R横位、粘土紐貼付)
058-04	三内丸山(9)	D区	SI06	—	覆土	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、LR横位)、突起部(LR押圧、粘土紐貼付)、口縁～胴部(LR横位)、底部(平底)
058-05	三内丸山(9)	D区	SI06	—	18層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	内外面炭化物付着	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(肥厚、RL横位)、口縁～胴部(RL横位、4弁状突起)、底部(平底)
058-06	三内丸山(9)	D区	SI06	—	2層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口縁部(無文)、胴部(R横位)、底部(平底)
058-07	三内丸山(9)	D区	SI06	—	2・18層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、RL横位)、突起部(RL横位、粘土紐貼付)、口縁～胴部(RL横位、3弁状突起)
059-01	三内丸山(9)	D区	SI06	—	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(RL押圧)、口縁部(RL横位)
059-02	三内丸山(9)	D区	SI06	—	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口縁部(粘土紐貼付、RL、LR押圧、LR横位)
059-03	三内丸山(9)	D区	SI06	—	15層	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層d式	焼成後両側穿孔	胴部上半(地文RL横位、粘土紐貼付、粘土紐RL押圧)
059-04	三内丸山(9)	D区	SI06	—	18層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(LR横位)、口縁部(LR横位)
059-05	三内丸山(9)	D区	SI06	—	15層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口縁部(粘土紐貼付)
059-06	三内丸山(9)	D区	SI06	—	15層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口唇部(Lr押圧、粘土紐貼付)
059-07	三内丸山(9)	D区	SI06	—	18層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(LR押圧)
059-08	三内丸山(9)	D区	SI06	—	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	内面炭化物付着	口唇部(粘土紐貼付、粘土紐LR押圧、LR横位)
059-09	三内丸山(9)	D区	SI06	—	覆土	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	胴部上半(LR、RL横位、0段多条、粘土紐貼付)
059-10	三内丸山(9)	D区	SI06、(SK117)	—	覆土、(2層)	深鉢	胴部	中期前葉	円筒上層c式	—	胴部上半(粘土紐貼付、粘土紐Lr押圧、工具刺突)
059-11	三内丸山(9)	D区	SI06	—	覆土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層a式	—	口縁部(Rl押圧、Lr押圧、粘土紐貼付)
059-12	三内丸山(9)	D区	SI06	—	11層	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層a・b式	—	口縁部(粘土紐貼付、押圧縄文)
059-13	三内丸山(9)	D区	SI06	—	覆土	深鉢	底部	中期後葉	最花式?	—	胴部下半(Lr横位、斜位)
060-01	三内丸山(9)	D区	SI09、(SI05、SK27)	—	覆土	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、R横位)、口縁～胴部(R横位、4弁状突起)
060-02	三内丸山(9)	D区	SI09	—	覆土	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、R押圧)、突起部(粘土瘤貼付、内面円形刺突)、口縁～胴部(R横位、4突起)、底部(平底)
060-03	三内丸山(9)	D区	SI09Pit1	—	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口縁部(粘土紐貼付)
060-04	三内丸山(9)	D区	SI09	—	覆土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層c式	—	口縁部(Lr押圧、工具刺突)
060-05	三内丸山(9)	D区	SI09	—	底面	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	—	口縁部(粘土紐貼付、RL横位)
062-01	三内丸山(9)	D区	SI11	—	3層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層e式	—	突起部(粘土紐貼付、ボタン状貼付)、口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(地文RL横位、沈線、4弁状突起)、底部(平底)
062-02	三内丸山(9)	D区	SI11	—	3層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式/大木8a式併行	—	口唇部(肥厚)、口縁部(地文LR横位、粘土紐貼付、キャリパー状)、胴部(LR,RL横位)、底部(平底)
062-03	三内丸山(9)	D区	SI11	—	3層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口縁部粘土紐貼付
062-04	三内丸山(9)	D区	SI11	—	3層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口唇部(RL+LR結束第1種押圧)、口縁(RL横位)
062-05	三内丸山(9)	D区	SI11	—	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	外面炭化物付着	口唇部(RL押圧)、口縁部(粘土紐貼付、地文RL横位、粘土紐RL横位)
062-06	三内丸山(9)	D区	SI11	—	3層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口唇部(Lr+Rl結束第1種押圧)、口縁部(Lr横位、Rl横位)
063-01	三内丸山(9)	D区	SI12	—	1層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(RL横位)、口縁部(RL横位)
063-02	三内丸山(9)	D区	SI12	—	覆土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層b式	—	口唇部(LR押圧)、口縁部(LR、RL押圧、C字状押圧)
063-03	三内丸山(9)	D区	SI12	—	1層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	—	口唇部(LR押圧)、口縁部(地文LR横位、沈線)
063-04	三内丸山(9)	D区	SI12	—	1層	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	胴部上半(LR+RL横位、結束第1種、粘土紐貼付)
063-05	三内丸山(9)	D区	SI12	—	覆土	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層e式	外面炭化物付着	胴部上半(地文LR横位、沈線)
064-01	三内丸山(9)	D区	SI13	—	床面	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	—	口縁部(地文RL横位、沈線)
064-02	三内丸山(9)	D区	SI13	—	床面	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口唇部(LR刺突、0段多条)、口縁部(LR横位、0段多条)
064-03	三内丸山(9)	D区	SI13	—	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口唇部(Rl押圧)、口縁部(Rl縦位)
064-04	三内丸山(9)	D区	SI13	—	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口縁部(Rl横位)
065-01	三内丸山(9)	D区	SI14	—	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口唇部(RL押圧)、口縁部(粘土紐貼付)
066-01	三内丸山(9)	D区	SI15	—	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口縁部(円形刺突、粘土紐貼付)
066-02	三内丸山(9)	D区	SI15	—	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口縁部(粘土紐貼付、沈線)
066-03	三内丸山(9)	D区	SI15	—	覆土	深鉢	口縁部	中期	—	外面炭化物付着	口縁部(Rl横位)

縄文土器・弥生土器(9)

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド・トレンチ	層位	器形	残存部位	時期	型式	付着物・穿孔	文様・原体・施文手法
067-01	三内丸山(9)	D区	SI17	―	1層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(粘土紐貼付)
067-02	三内丸山(9)	D区	SI17	―	6層	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	胴部(地文LR、RL、0段多条、横位、粘土紐貼付)
067-03	三内丸山(9)	D区	SI17	―	1層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(LR横位)
067-04	三内丸山(9)	D区	SI17	―	6層	深鉢	口縁部	中期中葉	大木8a式併行	外面炭化物付着	口縁部(地文RLR横位、沈線)、頸部(RLR縦位、沈線)、図130-22と同一個体
067-05	三内丸山(9)	D区	SI17付属施設	―	覆土	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(Rl横位)
067-06	三内丸山(9)	D区	SI17	―	1層	深鉢	胴部	中期中葉	―	―	胴部下半(LR横位)
068-01	三内丸山(9)	D区	SI18	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉		―	口縁部(無文)
069-01	三内丸山(9)	D区	SI19	―	床面直上	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(RL横位)、底部(平底)
069-02	三内丸山(9)	D区	SI19	―	1層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚)、口縁～胴部(LR横位)、底部(平底)
069-03	三内丸山(9)	D区	SI19、(SI24)	―	1層	深鉢	胴～底部	中期	―	―	胴部下半(LR,RL横位、結節回転文)、底部(平底)
069-04	三内丸山(9)	D区	SI19	―	1層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d式	―	口唇部(LR+RL押圧、肥厚)、胴部(地文LR+RL横位、粘土紐貼付、縦位隆帯貼付)
069-05	三内丸山(9)	D区	SI19	―	1層、同一個体	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(Rl押圧)、口縁部(Rl横位)
069-06	三内丸山(9)	D区	SI19	―	1層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(Lr横位)、口縁部(Lr横位、結節回転)
069-07	三内丸山(9)	D区	SI19	―	1層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付、Rl押圧)
069-08	三内丸山(9)	D区	SI19	―	1層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(LR押圧、粘土紐貼付)、口縁部(地文LR横位、沈線)
069-09	三内丸山(9)	D区	SI19	―	1層	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層d式	―	胴部上半(地文RL横位、砂粒、粘土紐貼付)
070-01	三内丸山(9)	D区	SI19	―	1層、同一個体	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(Rl押圧)、口縁部(Rl横位)
070-02	三内丸山(9)	D区	SI19	―	1層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧、粘土紐貼付)、口縁部(LR横位)
070-03	三内丸山(9)	D区	SI19	―	1層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧、粘土紐貼付)、口縁部(LR横位)
070-04	三内丸山(9)	D区	SI19	―	2層	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層a式	―	口縁部(粘土紐貼付、粘土紐Lr押圧、LR+RL結束第1種、横位)
070-05	三内丸山(9)	D区	SI19	―	2層	深鉢	胴部	中期前葉	円筒上層a式	―	胴部上半(橋状把手Lr押圧)
070-06	三内丸山(9)	D区	SI19	―	2層	深鉢	胴部	前期前葉	表館式	―	胴部上半(竹管刺突)
070-07	三内丸山(9)	D区	SI19	―	1層	深鉢	胴部	前期前葉	表館式	―	胴部(竹管刺突)
070-08	三内丸山(9)	D区	SI19	―	2層	深鉢	胴部	前期前葉	早稲田6類・表館式	内面炭化物付着	胴部上半(RL組縄)
071-01	三内丸山(9)	D区	SI21、(SK102)	―	炉体土器	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層d式	―	胴部上半(地文LR+RL結束第1種、粘土紐貼付)
071-02	三内丸山(9)	D区	SI21	―	覆土	深鉢	胴部	中期	―	―	胴部下半(LR横位)
072-01	三内丸山(9)	D区	SI23、(SK74)	ⅧD13	炉A覆土、1層、覆土	深鉢	口縁～胴部	中期後葉	最花式	外面炭化物付着	口縁部(無文)、胴部上半(地文RL斜位、円形刺突、沈線、懸垂文)
072-02	三内丸山(9)	D区	SI23、(SK102)	―	覆土	深鉢	口縁～胴部	中期後葉	最花式	外面炭化物付着、焼成後片側穿孔	口縁部(折り返し、無文)、胴部(LR縦位・斜位)
072-03	三内丸山(9)	D区	SI23	―	1層	深鉢	口縁～胴部	中期後葉	最花式	―	口縁～胴部上半(地文RL横位、沈線、懸垂文、円形刺突)
073-01	三内丸山(9)	D区	SI23	―	覆土	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	外面炭化物付着	口縁部(RL横位、波状)、胴部(RL横位)
073-02	三内丸山(9)	D区	SI23	―	1層	深鉢	口縁部	中期後葉	―	―	口縁部(縦位LR)
073-03	三内丸山(9)	D区	SI23	―	覆土	広口壺	胴～底部	中期後葉	最花式	外面炭化物付着	胴部下半(地文RL斜位、沈線、懸垂文)、底部(平底)
073-04	三内丸山(9)	D区	SI23	―	覆土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層c式	―	口縁部(粘土紐貼付、粘土紐Lr押圧、工具刺突)
073-05	三内丸山(9)	D区	SI23	―	覆土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層c式	―	口縁部(粘土紐貼付、Lr押圧、工具刺突)
073-06	三内丸山(9)	D区	SI23	―	覆土	深鉢	口縁部	中期前葉	―	―	口縁部(粘土紐貼付、刻み)
073-07	三内丸山(9)	D区	SI23	―	覆土	深鉢	胴部	中期前葉～中葉	円筒上層c・d式	―	胴部上半(地文LR+RL結束第1種、横位、粘土紐貼付、粘土紐Lr押圧)
073-08	三内丸山(9)	D区	SI23	―	1層	深鉢	口縁～胴部	中期後葉	最花式	外面炭化物付着	口縁部(折り返し、無文)、胴部上半(地文RL横位、斜位、沈線)
073-09	三内丸山(9)	D区	SI23	―	1層	深鉢	口縁～胴部	中期後葉	最花式？	―	口縁部(LR横位)、胴部上半(LR横位)
073-10	三内丸山(9)	D区	SI23	―	1層、覆土	深鉢	胴部	中期後葉	最花式	―	胴部上半(地文RL横位、沈線、工具刺突)
073-11	三内丸山(9)	D区	SI23、(SK103)	―	1層	深鉢	胴部	中期後葉	最花式	―	口縁部(折り返し、無文)、胴部上半(地文RL横位、沈線)
073-12	三内丸山(9)	D区	SI23	―	覆土	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(地文LR横位、斜位、沈線円形刺突)
073-13	三内丸山(9)	D区	SI23	―	1層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(地文LR横位、沈線)
073-14	三内丸山(9)	D区	SI23	―	覆土	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(無文)、胴部上半(地文RL横位、円形刺突、沈線)
073-15	三内丸山(9)	D区	SI23	―	覆土	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(無文、地文RL横位、沈線)

縄文土器・弥生土器(10)

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド・トレンチ	層位	器形	残存部位	時期	型式	付着物・穿孔	文様・原体・施文手法
073-16	三内丸山(9)	D区	SI23、(SK74)	—	土器埋設炉、(覆土)	深鉢	胴部	中期後葉	最花式？	—	胴部下半(地文RL横位、沈線)
075-01	三内丸山(9)	D区	SI24	—	1層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(肥厚、粘土紐貼付)、口縁～胴部(RL+LR横位、結束第1種、突起)、底部(平底)
075-02	三内丸山(9)	D区	SI24	—	2層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、LR押圧)、口縁～胴部(RL横位、結節回転文、4弁状突起)、底部(平底)
075-03	三内丸山(9)	D区	SI24	—	1・2層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口唇部(肥厚、粘土紐貼付)、突起部(粘土紐貼付、橋状把手)、口縁～胴部上半(RL+LR横位、結束第1種、突起)
075-04	三内丸山(9)	D区	SI24	—	2層	鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	突起部(粘土紐貼付)、口縁～胴部(無文)、底部(平底)
076-01	三内丸山(9)	D区	SI24、(DSI19、DSK65)	—	1・2層、覆土	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d式	—	口唇部(LR押圧)、口縁部～胴部上半(地文LR+RL結束第1種、横位、粘土紐貼付)
076-02	三内丸山(9)	D区	SI24、SI19	—	1層、(1層)	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	—	口唇部(LR押圧、粘土紐貼付)、口縁部(地文LR横位、沈線)
076-03	三内丸山(9)	D区	SI24	—	2層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口唇部(RL押圧)、口縁部(RL横位)
076-04	三内丸山(9)	D区	SI24	—	1層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口唇部(RL押圧、0段多条)、口縁部(RL横位、0段多条)
076-05	三内丸山(9)	D区	SI24	—	2層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口縁部(LR横位)
076-06	三内丸山(9)	D区	SI24	—	床直	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(LR押圧)、口縁部(LR横位)
076-07	三内丸山(9)	D区	SI24	—	1層	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層a式	—	口縁部(粘土紐貼付、粘土紐LR押圧、LR押圧)
078-01	三内丸山(9)	B区	SI25	—	2層	深鉢	胴～底部	中期	—	内面炭化物付着	胴部下半(RL横位)、底部(平底)
078-02	三内丸山(9)	B区	SI25	VIIJ22、VIIJ23、VIIM23	2層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	—	口唇部(刻み)、口縁部(地文RL横位、沈線)
078-03	三内丸山(9)	B区	SI25	—	2層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	—	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL横位、沈線)
078-04	三内丸山(9)	B区	SI25	—	2層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	—	口縁部(RL横位)
078-05	三内丸山(9)	B区	SI25	—	2層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	—	口縁部(LR横位)
078-06	三内丸山(9)	B区	SI25	—	1層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	—	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL横位、沈線)
078-07	三内丸山(9)	B区	SI25	—	2層	深鉢	口縁～胴部	中期後葉	大木10式併行	外面炭化物付着	口唇部(RL横位)、口縁部(RL横位)
078-08	三内丸山(9)	B区	SI25	—	床面	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口唇部(押圧縄文)、口縁部(RL横位)
078-09	三内丸山(9)	B区	SI25	—	1層	深鉢	胴部	中期前葉	円筒上層b式	—	胴部上半(粘土紐貼付、粘土紐Lr押圧、C字状押圧、RL横位、0段多条)
079-01	三内丸山(9)	B区	SI26	—	炉体土器	深鉢	胴～底部	中期前葉	円筒上層b式	外面炭化物付着	胴部(粘土紐貼付、平行押圧文、C字状押圧、L+R横位、結束第1種)、底部(平底)
081-01	三内丸山(9)	B区	SI27	—	2層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口縁～胴部(粘土紐貼付、RL横位)
081-02	三内丸山(9)	B区	SI27	—	1・2層	深鉢	胴～底部	中期中葉	—	内面炭化物付着	胴部(LR横位)、底部(上げ底)
081-03	三内丸山(9)	B区	SI27	—	2層	深鉢	胴～底部	中期中葉	—	—	胴部(RL斜位)、底部(平底)
081-04	三内丸山(9)	B区	SI27	—	1層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	—	口縁部(地文RL横位、円形刺突、沈線)
081-05	三内丸山(9)	B区	SI27	—	1層	深鉢	底部	中期	—	—	胴部下半(RL横位)、底部(網代圧痕、ミガキ)
082-01	三内丸山(9)	D区	SR01	—	埋設土器	深鉢	口縁～胴部	中期前葉	円筒上層b式	—	突起部(粘土紐貼付、平行押圧文、C字状押圧)、口唇部(肥厚、平行押圧文)、口縁～胴部(LR+RL横位、結束第1種)
083-01	三内丸山(9)	D区	SR02	VIID14	埋設土器	深鉢	胴～底部	中期前葉	—	—	胴部(LR+RL横位、結束第1種)、底部(平底、焼成後穿孔)
086-01	三内丸山(9)	B区	SQ02	—	1層	深鉢	口縁～胴部	中期末葉	大木10式併行	—	口縁～胴部下半(RL縦位)
087-01	三内丸山(9)	D区	SX01	—	底面	台付鉢	口縁～台部	晩期前葉	大洞B式	内外面炭化物付着	口唇部(刻み)、口縁部(平行沈線)、胴部(LR横位)、台部(無文)
087-02	三内丸山(9)	D区	SX01	—	覆土	台付鉢	口縁～底部	晩期前葉	大洞B式	内外面炭化物付着	口縁部(無文、区画沈線)、胴部(LR横位)、底部(上げ底)
087-03	三内丸山(9)	D区	SX01	—	覆土	深鉢	胴～底部	晩期前葉	—	内外面炭化物付着	胴部下半(LR横位)、底部(上げ底)
087-04	三内丸山(9)	D区	SX01	—	覆土	深鉢	口縁部	前期前葉	表館式	—	口縁部(竹管連続刺突)、胴部上半(RL末端環付、横位)
087-05	三内丸山(9)	D区	SX01	—	覆土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層c式	—	口縁部(粘土紐貼付、Lr押圧、工具刺突)
087-06	三内丸山(9)	D区	SX01	—	覆土	深鉢	胴部	前期前葉	表館式	—	胴部(RL横位)
087-07	三内丸山(9)	D区	SX01	—	覆土	深鉢	胴部	中期後葉	最花式？	—	胴部下半(地文RL横位、沈線)
087-08	三内丸山(9)	D区	SX01	—	覆土	深鉢	胴部	後期初頭	十腰内Ⅰ式	—	胴部(沈線)
088-01	三内丸山(9)	B区	SX04	—	覆土	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口唇部(肥厚、L押圧、粘土紐貼付)、口縁～胴部(RL横位、3弁状突起?)、底部(平底)
088-02	三内丸山(9)	B区	SX04	VIIG20	1層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口縁部(粘土紐貼付、RL横位)
088-03	三内丸山(9)	B区	SX04	VIIG20	1層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口縁部(RL横位)
088-04	三内丸山(9)	B区	SX04	—	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口縁部(RL横位)
088-05	三内丸山(9)	B区	SX04	VIIG20	1層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口縁部(粘土紐貼付)
088-06	三内丸山(9)	B区	SX04	—	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	—	口縁部(粘土紐貼付、LR横位)
102-01	三内丸山(9)	D区	SB01PIT6	—	4層	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層d式	—	胴部上半(地文RL横位、粘土紐貼付)
103-01	三内丸山(9)	D区	SB02PIT6	—	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	焼成後穿孔	口縁部(地文LR横位、沈線)
104-01	三内丸山(9)	B区	SB03PIT3	—	2層	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層d式	—	胴部(地文縄文、粘土紐貼付)

縄文土器・弥生土器(11)

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド・トレンチ	層位	器形	残存部位	時期	型式	付着物・穿孔	文様・原体・施文手法
122-01	三内丸山(9)	D区	SK01	―	覆土	鉢？	胴部	中期？	―	―	胴部下半(無文)
122-02	三内丸山(9)	D区	SK02	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(RLR押圧、RLR横位)
122-03	三内丸山(9)	D区	SK08、SK09	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(LR横位、沈線)
122-06	三内丸山(9)	D区	SK14	―	底面	深鉢	口縁～底部	中期中葉？	―	―	口縁部(無文、隆帯貼付、橋状把手)、胴部(無文)、底部(平底、網代圧痕)
123-01	三内丸山(9)	D区	SK15	―	覆土	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、4ボタン状貼付)、口縁～胴部(RL+LR横位、結束第1種)
123-02	三内丸山(9)	D区	SK15	―	床面直上、覆土	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口縁部(粘土紐貼付、LR押圧、LR横位)
123-03	三内丸山(9)	D区	SK15	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付、LR押圧)
123-06	三内丸山(9)	D区	SK16	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(RL押圧、RL横位)
123-07	三内丸山(9)	D区	SK20	―	覆土	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚、LR・RL押圧)、口縁～胴部(LR・RL横位)
123-08	三内丸山(9)	D区	SK21	―	覆土	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層e式	―	胴部上半(地文縄文、沈線)
123-09	三内丸山(9)	D区	SK26	―	覆土	深鉢	口縁部	中期前葉	―	―	口縁部(粘土紐貼付、粘土紐Lr押圧)
124-01	三内丸山(9)	D区	SK27	―	14・18・19層、(Pit1覆土)	深鉢	口縁～底部	晩期前葉	―	内外面炭化物付着	口唇部(刻み)、口縁～胴部(LR横位)、底部(上げ底)
124-02	三内丸山(9)	D区	SK27	―	12層	深鉢	口縁～胴部	晩期前葉	―	外面炭化物付着、焼成後片側穿孔	口唇部(刻み)、口縁～胴部(LR横位)
124-03	三内丸山(9)	D区	SK27	―	覆土	鉢	口縁～底部	晩期前葉	―	内外面赤色顔料付着	口縁～胴部(LR横位)、底部(上げ底)
124-04	三内丸山(9)	D区	SK27	―	19層、Pit1覆土	深鉢	胴～底部	晩期前葉	―	内外面炭化物付着	胴部下半(LR横位)、底部(上げ底)
124-05	三内丸山(9)	D区	SK27	―	1層、覆土	深鉢	口縁～胴部	晩期前葉	―	外面炭化物付着	口縁～胴部上半(RL横位)
124-06	三内丸山(9)	D区	SK27Pit1	―	覆土	深鉢	胴部	晩期前葉	―	―	胴部下半(RL斜位)
124-12	三内丸山(9)	D区	SK31	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口縁部(LR押圧、地文RL横位、沈線)
124-13	三内丸山(9)	D区	SK31	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(RL押圧、LR横位)
124-14	三内丸山(9)	D区	SK31	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧、LR横位)
124-15	三内丸山(9)	D区	SK31	―	覆土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層c式	―	口縁部(工具刺突)
125-01	三内丸山(9)	D区	SK33	―	覆土	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層d式	―	胴部上半(地文LR+RL結束第1種、横位、粘土紐貼付)
125-02	三内丸山(9)	D区	SK33	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(Rl押圧)
125-06	三内丸山(9)	D区	SK36	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付)
125-07	三内丸山(9)	D区	SK36	―	覆土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層c式	―	口縁部(工具刺突、粘土紐貼付、LR横位)
125-11	三内丸山(9)	D区	SK48	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(Lr押圧)、口縁部(地文RL横位、沈線)
125-12	三内丸山(9)	D区	SK48	―	覆土	深鉢	口縁部	中期後葉	―	―	口縁部(RL横位)
125-13	三内丸山(9)	D区	SK48	―	覆土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層a・b式	―	口唇部(Lr押圧)、口縁部(RL押圧)
126-01	三内丸山(9)	D区	SK49	―	覆土下層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚、刻み)、突起部(粘土紐貼付)、口縁～胴部(LR横位、4弁状突起)、底部(平底)
126-02	三内丸山(9)	D区	SK49	―	覆土下層	深鉢	胴～底部	中期中葉	円筒上層e式	内面炭化物付着	胴部下半(地文LR横位、沈線)、底部(上げ底)
126-03	三内丸山(9)	D区	SK49	―	覆土下層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(地文LR横位、粘土紐貼付)
126-04	三内丸山(9)	D区	SK49	―	覆土下層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(地文横位RL、沈線)
127-01	三内丸山(9)	D区	SK50	―	底面	深鉢	口縁～底部	中期中葉	―	―	口唇部(LR横位)、口縁～胴部(LR横位)、底部(上げ底)
127-02	三内丸山(9)	D区	SK51	―	覆土	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層d式	―	胴部上半(地文RL,LR横位、粘土紐貼付)
127-03	三内丸山(9)	D区	SK51	―	覆土	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層d式	―	胴部上半(地文RL+LR結束第1種、横位、粘土紐貼付)
127-04	三内丸山(9)	D区	SK51	―	覆土	鉢	口縁部、底部	弥生前期	二枚橋式併行	内外面炭化物付着	口唇部(刻み)、口縁部(無文)、胴部(RL斜位)
127-05	三内丸山(9)	D区	SK54	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(RL押圧)、口縁部(RL+LR結束第2種、横位)
127-06	三内丸山(9)	D区	SK54	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	―	口縁部(粘土紐貼付、粘土紐Lr押圧、RL横位)
127-07	三内丸山(9)	D区	SK54	―	覆土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層b式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(LR押圧、RL押圧、C字状押圧)
127-08	三内丸山(9)	D区	SK54	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(RL+LR結束第1種、RL+LR結束第1種横位)
127-11	三内丸山(9)	D区	SK65	―	覆土	深鉢	胴～底部	中期	―	内外面炭化物付着	胴部下半(LR+RL結束第1種、横位、縦位)
127-12	三内丸山(9)	D区	SK65	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(RL押圧、RL+LR結束第1種)
127-15	三内丸山(9)	D区	SK71	ⅦY15	1層	壺	胴～底部	晩期前葉	―	内面炭化物付着	胴部(LR横位・斜位)、底部(上げ底)
127-16	三内丸山(9)	D区	SK71	ⅧF14	表土	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(RL横位)
127-17	三内丸山(9)	D区	SK71	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(押圧縄文)、口縁部(粘土紐貼付)
128-03	三内丸山(9)	D区	SK72	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(粘土紐貼付、粘土紐平行刻み)、口縁部(LR横位)
128-04	三内丸山(9)	D区	SK73	―	覆土	深鉢	底部	中期	―	―	底部(網代圧痕)

縄文土器・弥生土器(12)

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド・トレンチ	層位	器形	残存部位	時期	型式	付着物・穿孔	文様・原体・施文手法
128-05	三内丸山(9)	D区	SK73、(SK27)	―	1層、(Pit1覆土)	深鉢	口縁～底部	晩期前葉	―	内外面炭化物付着	口唇部(刻み)、口縁～胴部(横位LR)、底部(上げ底)
128-06	三内丸山(9)	D区	SK74	―	1層	深鉢	胴部	中期後葉	最花式	―	胴部上半(RL横位、円形刺突、沈線)
128-07	三内丸山(9)	D区	SK74	―	1層	深鉢	口縁部、胴部	中期後葉	最花式？	外面炭化物付着	口縁部(LR横位)、胴部上半(地文LR斜位、0段多条、沈線、円形刺突)
128-08	三内丸山(9)	D区	SK74	―	1層	深鉢	胴～底部	中期末葉	大木10式併行	外面炭化物付着	胴部下半(LR縦位)、底部(平底、網代圧痕)
128-09	三内丸山(9)	D区	SK74	―	1層、覆土	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式	―	口縁部(LR縦位)
128-10	三内丸山(9)	D区	SK74	ⅧF14	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式	―	口縁部(円形刺突、LR縦位)
129-01	三内丸山(9)	D区	SK75	―	覆土	深鉢	口縁～底部	晩期前葉	大洞BC式	内外面炭化物付着	口唇部(B字状突起)、口縁部(列点文、平行沈線)、胴部(LR横位)、底部(上げ底)
129-02	三内丸山(9)	D区	SK75	―	覆土	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(連続刺突、地文縄文、沈線)
129-03	三内丸山(9)	D区	SK78	―	覆土	深鉢	口縁～底部	中期後葉	大木10式併行	外面炭化物付着	口縁～胴部(LR縦位、沈線)、底部(平底)
129-04	三内丸山(9)	D区	SK78	―	床面	深鉢	胴～底部	中期中葉	円筒上層e式	外面炭化物付着	口縁部(沈線)、胴部(LR横位)、底部(上げ底)
129-06	三内丸山(9)	D区	SK79	―	底面	深鉢	口縁～底部	晩期前葉	大洞BC式	外面炭化物付着	口唇部(B字状突起)、口縁部(羊歯状文、平行沈線)、胴部(LR横位)、底部(上げ底)
129-07	三内丸山(9)	D区	SK79	―	覆土	深鉢	胴～底部	晩期前葉	―	内外面赤色顔料付着	胴部下半(LR横位)、底部(上げ底)
129-08	三内丸山(9)	D区	SK80	―	1層	台付深鉢	胴～台部	晩期前葉	―	外面黒色付着物	胴部下半(LR横位)、台部(上げ底)
129-09	三内丸山(9)	D区	SK80	―	1層	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層a式	―	口唇部(Lr押圧)、口縁部(Lr押圧)
129-10	三内丸山(9)	D区	SK85	―	覆土	深鉢	口縁部	晩期前葉	―	外面炭化物付着	口縁部(LR横位)
129-11	三内丸山(9)	D区	SK89	―	覆土	深鉢	胴部	中期前葉	円筒上層c式	―	胴部上半(粘土紐貼付、平行刻み)
129-12	三内丸山(9)	D区	SK91	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR+RL結束第1種、横位、0段多条)
129-13	三内丸山(9)	D区	SK93	―	覆土	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(無文)
129-16	三内丸山(9)	D区	SK96	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付)
129-17	三内丸山(9)	D区	SK96	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付)
129-18	三内丸山(9)	D区	SK97	―	覆土	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、RL押圧)、突起部(粘土瘤貼付、内面円形刺突)、口縁～胴部(RL+LR横位、結束第1種)
130-01	三内丸山(9)	D区	SK98	―	覆土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層c式	―	口縁部(粘土紐貼付、粘土紐R1押圧、工具刺突)
130-02	三内丸山(9)	D区	SK98	―	覆土	深鉢	胴部	中期後葉	最花式	―	胴部下半(地文RL斜位、沈線)
130-05	三内丸山(9)	D区	SK102	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(LR押圧、粘土紐貼付)、口縁部(LR横位)
130-06	三内丸山(9)	D区	SK102	―	覆土	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式？	―	口縁部(RL横位)
130-07	三内丸山(9)	D区	SK102	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(粘土紐貼付)
130-08	三内丸山(9)	D区	SK103	―	覆土	深鉢	胴部	中期	―	―	胴部下半(LR横位)
130-13	三内丸山(9)	D区	SK108	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付、粘土紐Lr押圧)
130-14	三内丸山(9)	D区	SK108	―	覆土	深鉢	胴部	中期	―	外面炭化物付着	胴部下半(LR横位)
130-15	三内丸山(9)	D区	SK108	―	覆土	深鉢	胴部	中期	―	内面炭化物付着	胴部下半(RL横位)
130-16	三内丸山(9)	D区	SK108	―	覆土	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層e式？	―	胴部上半(地文RLR横位、沈線)
130-17	三内丸山(9)	D区	SK111	―	覆土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層a式	―	口唇部(Lr押圧)、口縁部(Lr押圧)
130-18	三内丸山(9)	D区	SK111	―	覆土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層a式	―	口唇部(Lr押圧)、口縁部(Lr押圧)
130-19	三内丸山(9)	D区	SK111	―	底面	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層a式	―	口唇部(Lr押圧)、口縁部(Lr押圧)
130-20	三内丸山(9)	D区	SK111	―	底面	深鉢	胴部	中期前葉	円筒上層a式	―	口縁部(Lr押圧、粘土紐貼付、粘土紐Lr押圧)
130-21	三内丸山(9)	D区	SK111	―	覆土	深鉢	口縁部	中期前葉	―	―	口唇部(Lr押圧)、口縁部(R1、Lr押圧)
130-22	三内丸山(9)	D区	SK111	―	覆土	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	大木8a式併行	外面炭化物付着	頸部(RLR縦位)、胴部上半(RLR縦位、沈線)、図67-4と同一個体
130-23	三内丸山(9)	D区	SK111	―	覆土	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口縁部(LR横位、RL横位、結節回転)
130-24	三内丸山(9)	D区	SK111	―	底面	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(粘土紐貼付、RL横位)
131-01	三内丸山(9)	D区	SK114	―	覆土	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚)、口縁～胴部(LR+RL横位、結束第1種)、底部(平底)
131-02	三内丸山(9)	D区	SK114	―	覆土	深鉢	胴部	中期前葉～中葉	円筒上層c・d式	―	胴部上半(地文LR横位、粘土紐貼付、粘土紐Lr押圧)
131-03	三内丸山(9)	D区	SK116、(SX01)	―	1層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層e式	外面炭化物付着、焼成後片側穿孔(内面から)	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(肥厚、LR押圧)、口縁～胴部(地文LR横位、沈線)、底部(平底)
131-04	三内丸山(9)	D区	SK116	―	底面	深鉢	胴～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	胴部下半(LR横位)、底部(平底)
131-05	三内丸山(9)	D区	SK116	―	1層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(LR+RL横位、結束第1種)、底部(平底)
131-06	三内丸山(9)	D区	SK116	―	2層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	突起部(RL押圧)、口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(RL横位、4弁状突起)
131-07	三内丸山(9)	D区	SK116	―	1層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(粘土紐貼付、LR横位)
131-08	三内丸山(9)	D区	SK116	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	―	―	口縁部(LR横位)
131-09	三内丸山(9)	D区	SK116	―	1層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付、RL横位)
131-10	三内丸山(9)	D区	SK117	―	覆土	台付深鉢	口縁～底部	中期後葉	最花式	内面炭化物付着	口縁部(無文)、胴部上半(地文RL横位、円形刺突)、胴部下半(地文RL斜位、沈線、懸垂文)

縄文土器・弥生土器(13)

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド・トレンチ	層位	器形	残存部位	時期	型式	付着物・穿孔	文様・原体・施文手法
131-11	三内丸山(9)	D区	SK117	―	覆土	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、LR押圧)、突起部(R押圧、円環状装飾)、口縁～胴部(LR・RL横位、結節回転文、4弁状突起)
131-12	三内丸山(9)	D区	SK117	―	覆土	鉢	口縁～底部	中期中葉～後葉	―	―	口唇部(LR横位)、口縁～胴部(LR横位)、底部(平底)
131-13	三内丸山(9)	D区	SK117	―	覆土	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、LR押圧)、突起部(ボタン状貼付)、口縁～胴部(LR横位、4突起)
131-14	三内丸山(9)	D区	SK117、(SK72)	ⅧE13	2層、(覆土)	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(RL+LR横位、結束第2種)、底部(平底)
132-01	三内丸山(9)	D区	SK117	―	2層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d式	―	突起部(粘土紐貼付、RL押圧)、口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(地文RL横位、粘土紐貼付)
132-02	三内丸山(9)	D区	SK117	―	2層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(肥厚、LR,RL押圧)、口縁～胴部(地文LR+RL横位、結束第2種、隆帯貼付、沈線)
132-03	三内丸山(9)	D区	SK117	―	1層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(RL横位、4弁状突起)
132-04	三内丸山(9)	D区	SK117	―	1・2層、覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	突起部(粘土紐貼付、RL押圧)、口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(地文LR+RL横位、結束第1種、隆帯貼付、沈線)
132-05	三内丸山(9)	D区	SK117	―	覆土	深鉢	口縁部	前期前葉	表館式	―	口縁部(竹管連続刺突)、胴部上半(RL末端環付、横位)
132-06	三内丸山(9)	D区	SK117	―	2層	深鉢	胴部	前期前葉	表館式	―	胴部(RL横位、層状施文)
132-07	三内丸山(9)	D区	SK117	―	覆土	深鉢	胴部	前期前葉	表館式	―	胴部(RL横位、層状施文)
132-08	三内丸山(9)	D区	SK117	―	覆土	深鉢	底部	前期前葉	早稲田6類・表館式	―	底部(R1押圧)
132-09	三内丸山(9)	D区	SK117	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	―	口縁部(粘土紐貼付、粘土紐RL押圧、地文RL横位)
132-10	三内丸山(9)	D区	SK117	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(LR+RL、結束第2種押圧)、口縁部(地文RL横位、沈線)
132-11	三内丸山(9)	D区	SK117	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口縁部(粘土紐貼付、粘土紐R1+Lr結束第2種押圧、地文R1横位、沈線)
132-12	三内丸山(9)	D区	SK117	―	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	―	口縁部(粘土紐貼付、RL横位)
132-13	三内丸山(9)	D区	SK117	―	2層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(粘土紐貼付、LR横位)
132-14	三内丸山(9)	D区	SK117	―	2層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付、LR横位)
132-15	三内丸山(9)	D区	SK117	―	2層	深鉢	胴部	中期？	―	内面炭化物付着	胴部上半(連続工具刺突)
132-16	三内丸山(9)	D区	SK117	―	覆土	深鉢	胴部	中期後葉	最花式	―	胴部上半(地文縄文、刺突、沈線)
132-17	三内丸山(9)	D区	SK117	―	2層	深鉢	胴部	中期後葉	最花式？	―	胴部下半(地文RL斜位、沈線)
132-18	三内丸山(9)	D区	SK117	―	2層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧、粘土紐貼付、LR横位、RL+LR結束第1種、横位)
133-09	三内丸山(9)	B区	SK122	―	底面	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付、粘土紐Lr押圧、工具刺突)
133-10	三内丸山(9)	B区	SK123	―	1層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚、LR押圧)、口縁～胴部(RL横位)、底部(平底)
133-11	三内丸山(9)	B区	SK125	―	3層	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層b式	―	口唇部(R1押圧)、口縁部(C字状押圧)
133-12	三内丸山(9)	B区	SK134	―	1層、覆土	深鉢	胴部	中期中葉	―	内面炭化物付着	胴部下半(RL横位)
133-13	三内丸山(9)	B区	SK137	―	1層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(RL横位)
138-01	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦO22・23	Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	口縁～胴部	中期前葉	円筒上層b式	―	突起部(粘土紐貼付、平行押圧文)、口縁～胴部(粘土紐貼付、L押圧、平行押圧文、C字状押圧、LR+RL横位、結束第1種)
138-02	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦP21・22	Ⅰ・Ⅱ層	深鉢	口縁～胴部	中期前葉	円筒上層b式	外面炭化物付着	突起部(C字状押圧)、口唇部(肥厚、L押圧)、口縁～胴部上半(粘土紐貼付、平行押圧文、C字状押圧)
138-03	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅦV13・14	表土	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	内外面炭化物付着	突起部(粘土瘤?貼付)、口唇部(肥厚、LR横位)、口縁～胴部(LR横位)、底部(平底)
138-04	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(肥厚、粘土紐貼付、LR・RL横位)、口縁～胴部(LR+RL横位、結束第1種)、底部(平底)
138-05	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d式	―	口唇部(肥厚、粘土紐貼付)、突起部(粘土紐貼付)、口縁部(地文RL横位、粘土紐貼付)
138-06	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦO・P21・22・23	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	胴～底部	中期中葉	円筒上層e式	―	胴部下半(地文横位RL、沈線)、底部(底部)
138-07	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧC16	表土	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(RL横位)、底部(平底)
138-08	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	1層	深鉢	完形	中期中葉	円筒上層d・e式	―	
138-09	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	突起部(粘土紐貼付)、口唇部(肥厚、RL押圧)、口縁～胴部(RL+LR横位、結束第1種、4弁状突起)、底部(平底)
138-10	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧL23	Ⅲ層	深鉢	口縁～胴部	中期	―	―	口唇部(肥厚)、口縁～胴部(無文)
138-11	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	鉢	口縁～底部	中期	―	―	口縁～胴部(無文)、底部(丸底)
138-12	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	口縁～底部	中期後葉	大木10式併行？	外面炭化物付着	口縁～胴部(LR横位)、底部(平底)
139-01	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁～底部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(肥厚、刻み)、突起部(粘土紐貼付)、口縁～胴部(RL横位)、底部(平底)
139-02	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦK21、ⅦM21、ⅦN22・23、ⅦR22	Ⅰ層、Ⅱ層、Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式	―	口縁部(地文LR、沈線)
139-03	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦP22	Ⅰ層	深鉢	胴～底部	中期後葉	榎林式？	―	胴部(LR斜位)、底部(平底)
139-04	三内丸山(9)	B区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	口縁～胴部	中期末葉	大木10式併行	―	口縁部(LR縦位)
139-05	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦD～G23・24	Ⅲ層	深鉢	口縁～胴部	後期初頭	牛ヶ沢(3)式	―	口縁～胴部上半(粘土紐貼付、横位RL、4弁状突起)、胴部下半(RL縦位)
139-06	三内丸山(9)	A区	遺構外	ⅢP14	Ⅰ層	台付鉢	口縁～底部	晩期前葉	大洞BC式	―	口唇部(刻み)、口縁部(羊歯状文、粘土瘤貼付、平行沈線)、胴部(LR横位)
139-07	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦL22	Ⅰ層	深鉢	胴部	早期後葉	早稲田5類	―	胴部下半(表裏縄文、内外面R1絡条体)

縄文土器・弥生土器(14)

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド・トレンチ	層位	器形	残存部位	時期	型式	付着物・穿孔	文様・原体・施文手法
139-08	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧE13	表土	深鉢	胴部	前期前葉	早稲田6類・表館式	―	胴部(LR側面還付、横位)
139-09	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧF14	表土	深鉢	胴部	前期前葉	早稲田6類・表館式	―	胴部(LR側面環付、0段多条、横位)
139-10	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧF14	表土	深鉢	胴部	前期前葉	早稲田6類・表館式	―	胴部(LR側面還付、横位)
139-11	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧY12	表土	深鉢	胴部	前期前葉	早稲田6類・表館式	―	胴部下半(RL末端還付)
139-12	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	胴部	前期前葉	表館式	―	胴部下半(工具刺突、RL横位)
139-13	三内丸山(9)	B区	遺構外	―	Ⅰ層	深鉢	口縁部	前期中葉	円筒下層b式	―	口縁部(短軸絡条体第5類、Lr、横位)
139-14	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦM24	Ⅲ層	深鉢	口縁部	前期中葉	円筒下層b式	―	口縁部(短軸絡条体第6A類R1、横位)
139-15	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦO22	Ⅲ層	深鉢	胴部	前期後葉	円筒下層d式	―	胴部上半(多軸絡条体RL)
139-16	三内丸山(9)	A区	遺構外	(ATR01)	Ⅱ層	深鉢	胴部	前期後葉	円筒下層d式	―	胴部上半(多軸絡条体縦位、隆帯竹管状工具刺突)
139-17	三内丸山(9)	A区	遺構外	―	Ⅱ層	深鉢	胴部	前期後葉	円筒下層d式	―	胴部(多軸絡条体縦位)
139-18	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧB14	表土	深鉢	胴部	前期後葉	―	内面漆状物質付着	胴部下半(RL斜位)
139-19	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧC16	表土	深鉢	胴部	前期後葉	円筒下層d式	―	胴部下半(単軸絡条体第1A類)
139-20	三内丸山(9)	A区	遺構外	ⅣO17	Ⅱ層	深鉢	胴部	前期後葉	円筒下層d式	―	胴部下半(短軸絡条体第1A類、縦位)
139-21	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦO22	Ⅱ層	深鉢	口縁部	前期後葉	円筒下層d式	―	口縁部(多軸絡条体RL)
139-22	三内丸山(9)	A区	遺構外	ⅣG14、(ATR05)	表土	深鉢	胴部	前期	―	―	胴部(結節回転)
139-23	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧB16	表土	深鉢	底部	前期	―	―	胴部下半(単軸絡条体第1類)
140-01	三内丸山(9)	B区	遺構外	VN・018～22	Ⅰ層	深鉢	胴部	前期	―	―	胴部下半(短軸絡条体第1類、R1、縦位)
140-02	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦM24	Ⅲ層	深鉢	胴部	前期	―	―	胴部下半(短軸絡条体第1類、Lr、縦位)
140-03	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層a式	―	口唇部(R1押圧)、口縁部(R1押圧、粘土紐貼付、粘土紐R1押圧)
140-04	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層a式	―	口縁部(R1押圧、粘土紐貼付)
140-05	三内丸山(9)	D区	遺構外	DTR06	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層a式	―	口縁部(LR押圧、粘土紐貼付、粘土紐LR押圧)
140-06	三内丸山(9)	A区	遺構外	ATR35	Ⅰ層	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層a式	―	口唇部(Lr押圧)、胴部上半(LR横位、0段多条)
140-07	三内丸山(9)	A区	遺構外	ATR35	Ⅰ層	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層a式	―	口唇部(Lr押圧)
140-08	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI03：平安)	覆土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層a・b式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(LR押圧)
140-09	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦP22	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層a式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(粘土紐貼付、粘土紐LR押圧、LR押圧)
140-10	三内丸山(9)	A区	遺構外	ⅢM15～17	Ⅰ層	深鉢	胴部	中期前葉	円筒上層a・b式	―	
140-11	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層b式	―	口唇部(R1押圧)、口縁部(粘土紐貼付、粘土紐R1押圧、C字状押圧)
140-12	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層b式	―	口唇部(Lr押圧、C字状押圧、粘土紐貼付)
140-13	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI07：平安)	覆土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層b式	―	口縁部(Lr押圧、C字状押圧Lr)
140-14	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層b式	外面炭化物付着	口縁部(粘土紐貼付、粘土紐Lr押圧、C字状押圧)
140-15	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層c式	―	口縁部(粘土紐貼付、工具刺突、粘土紐Lr押圧)
140-16	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦP22	Ⅰ層	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層c式	―	口唇部(工具刺突、L押圧)、突起部(工具刺突)
140-17	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層c式	―	口縁部(粘土紐貼付、Lr押圧、工具刺突)
140-18	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表採	深鉢	口縁部	中期前葉～中葉	円筒上層c・d式	―	口縁部(粘土紐貼付、粘土紐刻み)
140-19	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧF14	表土	深鉢	口縁部	中期前葉～中葉	円筒上層c・d式	―	口唇部(粘土紐貼付、粘土紐平行刻み)、口縁部(粘土紐貼付、粘土紐平行押圧文)
140-20	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	埋設土器	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層c式	―	口縁部(粘土紐貼付、粘土紐Lr押圧、工具刺突))
140-21	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	1層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層c・d式	―	口縁部(LR横位)
141-01	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層c式	―	口唇部(Lr押圧)、口縁部(工具刺突、粘土紐貼付、粘土紐Lr押圧)
141-02	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	―	口唇部(RL横位、粘土紐貼付)、口縁部(地文RL横位、粘土紐貼付、工具刺突)
141-03	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧF14	表土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	―	口唇部(粘土紐貼付、粘土紐平行刻み、LR+RL結束第1種、横位)
141-04	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	―	口縁部(粘土紐貼付、粘土紐Lr押圧)
141-05	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期前葉	円筒上層c式	―	口唇部(粘土紐貼付、粘土紐R1押圧、地文LR+RL結束第1種、横位)
141-06	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦO22	Ⅲ	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	外面炭化物付着	口唇部(粘土紐貼付、粘土紐刻み)、口縁部(地文LR横位、粘土紐貼付、粘土紐刻み)
141-07	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期前葉～中葉	円筒上層c・d式	外面炭化物付着	口縁部(粘土紐貼付、粘土紐Lr押圧)
141-08	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI07：平安)	2層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(地文LR横位、粘土紐貼付)
141-09	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	―	口縁部(粘土紐貼付、工具刺突)
141-10	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧD16	表土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	―	口唇部(粘土紐貼付、粘土紐R1押圧、地文LR+RL結束第1種、横位)

縄文土器・弥生土器(15)

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド・トレンチ	層位	器形	残存部位	時期	型式	付着物・穿孔	文様・原体・施文手法
141-11	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期前葉～中葉	―	―	口縁部(粘土紐貼付)
141-12	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI07：平安)	1層、(Ⅲ層)	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層d式	―	胴部上半(地文RL+LR結束第1種、0段多条、横位)
141-13	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧB14	表土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(粘土紐貼付、粘土紐LR押圧、地文RL+LR結束第1種、横位)
141-14	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦN21	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d式	外面炭化物付着	口唇部(粘土紐貼付)、口縁部(地文LR+RL結束第1種、横位、粘土紐貼付)
142-01	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI02：平安)	掘方	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層d式	―	胴部上半(地文LR+RL横位、粘土紐貼付)
142-02	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI10：平安)	覆土	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層d式	―	胴部上半(粘土紐貼付、RL横位、開端自条結節)
142-03	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI03：平安)	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(RL押圧、粘土紐貼付)、口縁部(地文LRL横位、沈線)
142-04	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI02ｶﾏﾄﾞ：平安)	確認面	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口縁部(粘土紐貼付、沈線)
142-05	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(地文LR横位)
142-06	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅦV14	表土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	内外面炭化物付着	口唇部(平行刻み)、口縁部(地文LRL横位、沈線)
142-07	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	外面炭化物付着	口唇部(RL+RL結束第2種、粘土紐貼付)、口縁部(地文LR横位、沈線、粘土紐貼付)
142-08	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口縁部(粘土紐貼付、沈線)
142-09	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI03：平安)	貼床	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL横位、沈線)
142-10	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦH22	Ⅰ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層e式	―	口縁部(地文縄文、平行沈線)
142-11	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI03：平安)	2層	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層e式	―	胴部上半(地文RL横位、沈線)
142-12	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層e式	―	胴部上半(地文RL斜位、沈線)
142-13	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI02：平安)	覆土	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層e式	―	胴部(地文RL横位、沈線)
142-14	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧE14	表土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文RL横位、粘土紐貼付)
142-15	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦK20	1層、Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(粘土紐貼付)
142-16	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI02：平安)	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(LR横位)
142-17	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧB13	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(LR押圧)
142-18	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表採	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付)
142-19	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦM19	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(RL横位、橋状把手)
142-20	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦJ22	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付、RL横位)
142-21	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦP22	Ⅰ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(RL横位)
142-22	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI03：平安)	2層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付、RL横位)
142-23	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI03：平安)	2層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(LR横位)
143-01	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦO22	Ⅱ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(RL横位)
143-02	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦO22	Ⅱ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(RL横位)、口縁部(RL横位)
143-03	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦO22	Ⅱ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口縁部(粘土紐貼付)
143-04	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧB13	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(粘土紐貼付、粘土紐RL押圧、地文RL押圧、RL横位)
143-05	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦS22	Ⅰ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付、LR横位)
143-06	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧE14	表土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(地文縄文、沈線)
143-07	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧA17	表土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(LR横位)
143-08	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧB13	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧、粘土紐貼付、橋状把手、地文LR横位)
143-09	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(LR横位)
143-10	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付)
143-11	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI02：平安)	覆土、掘方	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(Lr押圧)、口縁部(RL+RL結束第1種横位)
143-12	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦO22	Ⅰ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(RL横位)
143-13	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦO22	Ⅱ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(LR横位)
143-14	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(LR横位)
143-15	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付)
143-16	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧA12	表土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(粘土紐貼付、粘土紐連続刺突)
143-17	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI02：平安)	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(RL横位)
143-18	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI07：平安)	2層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR+LR結束第2種、押圧)、口縁部(LR横位)
143-19	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI02カマドﾞ：平安)	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(RL横位)
143-20	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧC16	表土	深鉢	口縁部	中期中葉	―	―	口縁部(無文)
143-21	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI02：平安)	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(RL押圧)、口縁部(RL横位)
143-22	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI03：平安)	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(RL横位)
143-23	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧB13	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口縁部(LR+RL結束第1種、横位)
143-24	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI03：平安)	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(RL横位)
143-25	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI03：平安)	覆土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(RL押圧)、口縁部(RL横位)

縄文土器・弥生土器(16)

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド・トレンチ	層位	器形	残存部位	時期	型式	付着物・穿孔	文様・原体・施文手法
143-26	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧD14、ⅧF14	表土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口縁部(LR横位、RL横位)
143-27	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI02：平安)	掘方	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(LR横位)
144-01	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(RL横位)、口縁部(LR+RL横位、結節回転)
144-02	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI02：平安)	床直	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(押圧縄文)、口縁部(RL横位)
144-03	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(粘土紐貼付)、口縁部(RL横位)
144-04	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	口唇部(LR押圧)、口縁部(RL横位)
144-05	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI02：平安)	覆土	深鉢	口縁～胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	外面炭化物付着	口唇部(Rl横位)、口縁部(Rl横位)
144-06	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI02：平安)	掘方	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	胴部(RL+RL結束第1種、粘土紐貼付)
144-07	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI02：平安)	掘方	深鉢	胴部	中期中葉	円筒上層d・e式	―	胴部上半(地文LR+RL結束第2種、横位、LR+RL結束第2種、押圧、粘土紐貼付)
144-08	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式	―	口縁部(地文LR斜位、沈線)
144-09	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式	外面炭化物付着	口縁部(地文RL横位、沈線)
144-10	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦP22	Ⅰ層	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式	―	口唇部(沈線)、口縁部(地文LR横位、沈線)
144-11	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦN23	Ⅰ層	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式	―	口唇部(沈線)、口縁部(地文RL縦位、沈線)
144-12	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦN22、ⅦN23	Ⅱ層	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式	―	口唇部(沈線)、口縁部(地文RLR斜位、沈線)
144-13	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦO23	Ⅱ層	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式	焼成後片側穿孔	口唇部(沈線)、口縁部(地文LR横位、沈線)
144-14	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦK24	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式	―	口縁部(無文、橋状把手、隆帯貼付)
144-15	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅥV～ⅦT19～25	Ⅲ層	深鉢	胴部	中期後葉	―	―	胴部上半(橋状把手)
144-16	三内丸山(9)	A区	遺構外	ⅣG14(ATR05)	Ⅰ層	深鉢	胴部	中期後葉	榎林式	―	胴部上半(地文RL縦位、沈線)
144-17	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦO22	Ⅱ層	深鉢	口縁部	中期後葉	榎林式	―	口唇部(沈線)、口縁部(地文RLR横位、沈線)
144-18	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧE13	表土	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(無文)、胴部上半(連続刺突、地文RL横位、沈線)
144-19	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI07：平安)	Ⅱ層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(無文、刺突)、口縁～胴部(懸垂文)
144-20	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(地文RL斜位、沈線)
144-21	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	外面炭化物付着	口縁部(Lr押圧、LR横位)
144-22	三内丸山(9)	B区	遺構外	―	Ⅰ層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(地文RL横位、沈線)
144-23	三内丸山(9)	A区	遺構外	―	Ⅱ層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(LR斜位、0段多条)
144-24	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(RL横位、沈線)
144-25	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(Rl横位)
144-26	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	外面炭化物付着	口縁部(地文LR横位、沈線、円形刺突)
144-27	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦN24	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	焼成後両側穿孔	口縁部(地文RLR、沈線)
145-01	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦL23	Ⅰ層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	外面炭化物付着	口縁部(無文)
145-02	三内丸山(9)	A区	遺構外	ⅣP16(ATR01)	Ⅱ層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(無文)
145-03	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦM19	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	外面炭化物付着、焼成後片側穿孔	口縁部(無文)
145-04	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(無文)
145-05	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(無文)
145-06	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI03：平安)	2層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(LR縦位)
145-07	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI07：平安)	2層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式？	―	口縁部(LR縦位、(横位))
145-08	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(RL縦位)
145-09	三内丸山(9)	A区	遺構外	―	Ⅱ層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(RL縦位)
145-10	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦO22	Ⅱ層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(RL斜位、円形刺突)
145-11	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(RLR縦位)
145-12	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期後葉	最花式	―	口縁部(地文LR横位、RL横位、沈線)
145-13	三内丸山(9)	B区	遺構外	―	Ⅰ層	深鉢	口縁部	中期末葉	大木10式併行？	―	口縁部(RL縦位)
145-14	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI03：平安)	覆土	深鉢	口縁部	中期後葉	―	外面炭化物付着	口縁部(RL横位)
145-15	三内丸山(9)	B区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期末葉	大木10式併行？	―	口縁部(LR縦位)
145-16	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦO22	Ⅰ層	深鉢	胴部	中期後葉	最花式	―	口縁部(無文)、胴部上半(地文RL斜位、沈線)
145-17	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	胴部	中期後葉	最花式	―	胴部下半(地文RL斜位、沈線)
145-18	三内丸山(9)	B区	遺構外	―	Ⅰ層	深鉢	胴部	中期後葉	最花式	―	胴部上半(地文縄文、円形刺突、沈線)
145-19	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅥD～G23	Ⅰ層	深鉢	口縁部	中期末葉	大木10式併行	―	口縁部(LR押圧、0段多条、LR縦位、開端結束)
145-20	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	胴部	中期後葉	最花式	―	胴部下半(地文LR縦位、沈線)
145-21	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧF14	Ⅲ層	深鉢	胴部	中期後葉	最花式	―	胴部(LR縦位)
145-22	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI03：平安)	覆土	深鉢	口縁部	中期後葉	―	―	口唇部(LR縦位)、口縁部(LR縦位)
145-23	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅦY17	表土	深鉢	口縁部	中期後葉	―	―	口縁部(RL横位)

縄文土器・弥生土器(17)

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド・トレンチ	層位	器形	残存部位	時期	型式	付着物・穿孔	文様・原体・施文手法
145-24	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦH22	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期後葉	―	―	口縁部(RL横位)
145-25	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦI23	Ⅰ層	深鉢	口縁部	中期後葉	―	―	口縁部(地文短軸絡条体斜位、沈線)
145-26	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦP21	Ⅰ層	深鉢	胴部	中期	―	―	胴部下半(LR+RL結束第1種、横位)
145-27	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧB16	表土	深鉢	胴部	中期	―	―	胴部下半(LR+RL結束第1種、横位)
145-28	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧA17	Ⅲ層	深鉢	胴部	中期	―	―	胴部下半(RL+LR結束第1種、横位)
145-29	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	深鉢	胴部	中期	―	―	胴部下半(RR横位)
145-30	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦS22	Ⅰ層	深鉢	胴部	中期	―	―	胴部下半(LR+RL結束第1種、0段多条、横位)
145-31	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦI23、ⅦJ22・24・ⅦK22、ⅦL23	Ⅰ層、Ⅱ層、Ⅲ層	深鉢	胴部	中期	―	―	胴部下半(RL横位)
146-01	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI02：平安)	覆土	深鉢	胴部	後期初頭？	―	―	胴部(RL横位充填、沈線)
146-02	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI02：平安)	覆土	深鉢	胴部	後期初頭？	―	―	胴部(RL横位、沈線)
146-03	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦD～G23	Ⅰ層	深鉢	口縁部	後期前葉	十腰内Ⅰ式？	―	口縁部(無文)
146-04	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦV24	Ⅰ・Ⅱ層	深鉢	胴部	後期前葉	十腰内Ⅰ式	―	胴部(沈線)
146-05-1	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦD～G23・24	Ⅲ層	深鉢	口縁部	後期	―	―	口縁部(短軸絡条体第6類、R1、縦位)
146-05-2	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦD～G23・24	Ⅲ層	深鉢	底部	後期	―	―	胴部下半(短軸絡条体第6類、R1、縦位)
146-06	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦE22	Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	装飾突起	後期中葉	十腰内Ⅱ群併行	―	突起部(中空、粘土紐貼付)
146-07	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI07：平安)	2・3層	深鉢	口縁部	後期後葉	十腰内Ⅴ群併行	―	口縁部(LR(末端Lr)横位)、胴部上半(LR充填、帯状入組文)
146-08	三内丸山(9)	A区	遺構外	―	Ⅰ層	鉢	胴部	晩期後葉	―	―	口縁部(沈線)、胴部(RL斜位)
146-09	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦG23	Ⅰ層	浅鉢	口縁部	晩期後葉	大洞A式	―	口縁部(地文LR横位、平行沈線)
146-10	三内丸山(9)	A区	遺構外	―	Ⅱ層	浅鉢	胴部	晩期後葉	大洞A式	―	胴部上半(地文縄文、沈線、匹字文、粘土瘤貼付)
146-11	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦD～G23・24	Ⅲ層	深鉢	口縁部	中期末葉～後期初頭	大木10式併行？	―	口縁部(RL縦位)
146-12	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦO23	Ⅱ層	深鉢	口縁部	晩期	―	―	口縁部(無文)
146-13	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	深鉢	口縁部	晩期	―	―	口縁部(条痕横位)
146-14	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅧD13	Ⅲ層	深鉢	口縁部	晩期		外面炭化物付着	口縁部(RL横位)
146-15	三内丸山(9)	A区	遺構外	ⅣP15(ATR07)	Ⅱ層	深鉢	口縁部	晩期	―	―	口縁部(無文)
146-16	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI07：平安)	1層	深鉢	口縁部	晩期	―	―	口縁部(LR横位)
147-01	三内丸山(9)	D区	遺構外	(SI07：平安)	Ⅲ層	高坏？	口縁部	弥生前期	砂沢式	赤色顔料？付着	口唇部(LR横位)、口縁部(変形工字文)
147-02	三内丸山(9)	A区	遺構外	ⅢM15～17	Ⅰ層	壷	頸部	弥生中期～後期	―	―	頸部(沈線、連続山形文)
147-03	三内丸山(9)	A区	遺構外	ⅣG14(ATR05)	Ⅰ層	鉢	胴部	弥生中期～後期	―	―	胴部(地文RL横位、沈線、連続山形文)
147-04	三内丸山(9)	A区	遺構外	―	Ⅰ層	鉢	頸～胴部	弥生	―	外面炭化物付着	頸部(無文)、胴部上半(RL斜位)
147-05	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	鉢	口縁部	晩期後葉～弥生前期	―	―	口縁部(RL横位、内外面平行沈線)
147-06	三内丸山(9)	A区	遺構外	―	Ⅰ層	壷	胴部	弥生中期～後期	―	―	胴部上半(地文RL横位、沈線、連続山形文、RL斜位)
147-07	三内丸山(9)	A区	遺構外	ATR11	Ⅰ層	鉢	胴～底部	弥生	―	外面炭化物付着	胴部下半(RL縦位)、底部(上げ底)
147-08	三内丸山(9)	A区	遺構外	ⅣB15(ATR07)	表土	甕	胴部	弥生中期～後期	―	―	胴部上半(RL横位)、胴部下半(RL縦位)

石器（剥片石器類）(1)

図	No.	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	器種	類型	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考
30	1	三内	C	遺構外	VIX23	Ⅲ層	石鏃	Ⅰb	珪質頁岩	31.4	16.5	5.4	2.0	
30	2	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf層	石鏃	Ⅰb	珪質頁岩	29.8	15.3	4.7	1.5	
30	3	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb層	石鏃	Ⅰb	珪質頁岩	31.5	14.6	6.0	2.0	アスファルト付着
30	4	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf層	石鏃	Ⅰb	珪質頁岩	35.0	15.4	5.9	2.9	アスファルト付着
30	5	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	不明	石鏃	Ⅰb	珪質頁岩	32.3	12.1	5.2	1.8	
30	6	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅰ～Ⅲ層	石鏃	Ⅰb	珪質頁岩	39.1	17.6	5.2	2.8	
30	7	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰb	珪質頁岩	37.8	14.4	6.2	2.5	
30	8	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰb	珪質頁岩	38.5	17.3	6.0	2.9	
30	9	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	石鏃	Ⅰb	珪質頁岩	40.9	17.3	7.4	3.8	アスファルト付着
30	10	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf層	石鏃	Ⅰb	珪質頁岩	41.1	17.1	5.7	2.9	
30	11	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰb	珪質頁岩	56.2	16.3	8.3	5.3	アスファルト付着
30	12	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰb	珪質頁岩	45.1	15.8	6.2	3.3	
30	13	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層下部①	石鏃	Ⅰb	珪質頁岩	52.1	14.1	5.4	3.0	アスファルト付着
30	14	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲb層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	37.5	14.9	6.0	2.8	アスファルト付着
30	15	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	25.0	11.7	5.9	1.5	
30	16	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	28.9	13.9	6.5	2.1	
30	17	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲb層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	34.0	15.8	5.0	2.1	アスファルト付着
30	18	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	34.9	16.2	5.7	2.5	アスファルト付着
30	19	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	37.0	14.8	6.0	2.5	
30	20	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	32.2	11.5	5.9	1.9	アスファルト付着
30	21	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	38.3	15.0	6.7	3.0	アスファルト付着
30	22	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	35.3	15.7	8.2	3.5	
30	23	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	37.7	13.8	5.5	2.4	アスファルト付着
30	24	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	36.1	12.7	6.8	2.3	
30	25	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	40.3	13.6	7.5	3.4	
30	26	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	39.3	11.5	6.7	2.5	アスファルト付着
30	27	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	38.5	13.9	7.0	2.1	
30	28	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅰc層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	40.8	13.0	6.1	2.5	アスファルト付着
30	29	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	攪乱	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	43.0	11.5	6.4	2.2	
30	30	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	41.9	14.8	7.0	3.6	
30	31	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	44.1	14.2	5.2	3.0	
30	32	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	41.7	13.9	6.4	3.2	
30	33	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	不明	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	42.6	14.4	6.0	3.2	
30	34	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	43.4	12.7	6.8	3.3	
30	35	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅰ層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	43.5	15.7	8.9	5.2	アスファルト付着
31	1	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	44.0	12.0	6.2	2.9	
31	2	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	47.1	13.8	6.2	3.6	
31	3	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	52.9	13.9	7.3	3.9	アスファルト付着
31	4	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	攪乱	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	51.2	15.7	7.0	4.3	アスファルト付着
31	5	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	48.5	15.4	7.3	3.7	
31	6	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	45.1	14.9	7.4	4.6	アスファルト付着
31	7	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	54.6	12.2	8.3	4.1	
31	8	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	46.3	15.3	8.8	5.4	
31	9	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	攪乱	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	35.6	15.6	6.7	3.6	未製品
31	10	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰd	珪質頁岩	38.2	16.2	11.1	5.9	未製品
31	11	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石鏃	Ⅰd	珪質頁岩	45.4	15.0	8.6	5.5	
31	12	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb層	石鏃	Ⅱa	珪質頁岩	30.5	14.9	4.4	1.2	
31	13	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	石鏃	Ⅱb	珪質頁岩	21.6	11.7	3.3	0.6	アスファルト付着
31	14	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	表土	石鏃	Ⅱb	珪質頁岩	30.9	13.6	4.1	1.5	
31	15	三内	C	遺構外	VIX23	Ⅲ層	石槍	Ⅰc	珪質頁岩	53.9	19.2	8.3	7.2	
31	16	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb層	石槍	Ⅰd	珪質頁岩	51.4	16.8	8.5	5.8	未製品
31	17	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	表土	石槍	Ⅱb	珪質頁岩	61.9	24.2	9.4	11.9	
31	18	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅰ層	石槍	Ⅱb	珪質頁岩	68.5	18.7	9.0	8.9	石鏃の可能性あり
31	19	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	清掃土	石槍	Ⅱb	珪質頁岩	76.0	33.2	18.8	32.1	
31	20	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石槍	Ⅱd	珪質頁岩	61.0	32.1	14.6	21.5	未製品
31	21	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅰ層	石槍	Ⅱc	珪質頁岩	92.6	28.7	13.6	29.8	
31	22	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石槍	Ⅱd	珪質頁岩	75.9	36.7	17.1	35.3	
31	23	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ層	石篦	Ⅱd	珪質頁岩	93.7	25.1	15.5	34.4	刃部先端摩耗
31	24	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石槍	Ⅲc	珪質頁岩	103.1	37.7	14.3	49.7	
32	1	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	表土	縦形石匙	Ⅰa	珪質頁岩	66.9	23	8.9	13.1	刃部に光沢あり
32	2	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲb層	縦形石匙	Ⅰa	珪質頁岩	78.4	25.6	10.7	17.4	右辺刃部に光沢あり
32	3	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	一括	石錐	Ⅱ	珪質頁岩	57.5	20.0	12.8	9.8	
32	4	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石錐	Ⅱ	珪質頁岩	84.4	24.6	15.1	25.0	

石器(剥片石器類)(2)

図	No.	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	器種	類型	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考
32	5	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石篦	Ⅰa	珪質頁岩	67.3	20.9	13.6	15.0	未製品、刃部加工不明瞭
32	6	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石篦	Ⅰb	珪質頁岩	67.1	23.6	12.8	17.2	未製品、刃部加工不明瞭
32	7	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石篦	Ⅰd	珪質頁岩	60.2	29.3	13.7	25.9	
32	8	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	一括	石篦	Ⅱb	珪質頁岩	74.1	29.7	14.3	30.8	未製品、刃部加工不明瞭
32	9	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf層	石篦	Ⅱb	珪質頁岩	73.5	32.4	11.5	24.9	
32	10	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	石篦	Ⅱb	珪質頁岩	77.6	34.1	17.2	47.7	未製品、刃部加工不明瞭
32	11	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石篦	Ⅱc	珪質頁岩	74.2	30.7	13.1	25.1	未製品、刃部加工不明瞭
32	12	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf層	石篦	Ⅱc	珪質頁岩	100.4	36.1	15.7	40.4	
32	13	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石篦	Ⅱb	珪質頁岩	71.3	29.3	19.1	31.7	
32	14	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	石篦	Ⅱb	珪質頁岩	87.2	31.6	19.8	48.3	未製品、刃部加工不明瞭
32	15	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲb層	石篦	Ⅱb	珪質頁岩	99.0	37.4	20.1	62.5	未製品、刃部加工不明瞭
33	1	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb層	石篦	Ⅱa	珪質頁岩	90.1	49.7	24.2	85.7	
33	2	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石篦	Ⅱd	珪質頁岩	82.7	31.5	17.1	43.5	刃部欠損
33	3	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石篦	Ⅲa	珪質頁岩	79.3	24.7	16.4	26.6	
33	4	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石篦	Ⅲa	珪質頁岩	94.8	28.2	23.2	45.2	未製品
33	5	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	石篦	Ⅲb	緑色凝灰岩	87.6	24.1	16.2	27.8	
33	6	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石篦	Ⅳd	珪質頁岩	132.4	41.0	25.4	105.2	
33	7	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	掻器	―	珪質頁岩	69.2	39.6	12.0	35.9	刃部片面加工、掻器状の刃部。
33	8	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	削器	Ⅰb	珪質頁岩	79.0	26.5	5.2	12.2	尖頭状に加工
33	9	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	削器	―	珪質頁岩	65.6	41.1	11.5	27.3	
33	10	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ層	削器	―	珪質頁岩	106.0	66.4	17.4	65.5	
33	11	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	削器	―	珪質頁岩	69.3	39.3	13.2	26.3	左辺刃部に光沢あり
34	1	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅰ層	異形石器	―	鉄石英	49.1	22.1	8.8	7.0	
34	2	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	異形石器	Ⅱd	珪質頁岩	45.9	27.6	10.7	9.8	
34	3	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	両極石器	―	珪質頁岩	31.3	24.7	8.1	6.1	
34	4	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	両極石器	―	珪質頁岩	30.9	23.2	7.1	3.3	
34	5	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	両極石器	―	珪質頁岩	35.1	28.9	11.8	12.1	
34	6	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	二次調整	―	珪質頁岩	38.4	25.4	14.1	11.2	石篦もしくは石槍の未製品
34	7	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	二次調整	―	珪質頁岩	57.3	35.9	17.1	31.3	石篦もしくは石槍の未製品
34	8	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	使用痕剥片	―	珪質頁岩	75.4	38.2	16.8	32.4	両辺に微小剥離痕
34	9	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	二次調整	―	珪質頁岩	58.8	27.4	16.1	19.4	石篦もしくは石槍の未製品
34	10	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	二次調整	―	珪質頁岩	59.7	27.0	12.8	18.7	石篦もしくは石槍の未製品
34	11	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層下部①	二次調整	―	珪質頁岩	43.5	22.1	8.5	7.5	石篦もしくは石槍の未製品
34	12	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf層	石核	―	珪質頁岩	59.8	73.0	52.2	257.8	
34	13	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	石核	―	珪質頁岩	125.5	70.2	43.9	369.1	
51	1	三内丸山(9)	D	SI-01	―	覆土	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	21.3	13.4	4.9	1.0	
51	2	三内丸山(9)	D	SI-01	―	覆土	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	24.9	12.2	5.1	0.9	
51	3	三内丸山(9)	D	SI-01	―	3層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	33.7	11.5	6.8	2.0	
51	4	三内丸山(9)	D	SI-01	―	覆土	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	31.2	12.7	6.0	2.2	
51	5	三内丸山(9)	D	SI-01	―	2層下	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	34.6	13.6	6.2	2.2	
51	6	三内丸山(9)	D	SI-01	―	表土	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	34.0	13.0	6.5	2.5	アスファルト付着
51	7	三内丸山(9)	D	SI-01	―	覆土	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	33.2	13.7	8.2	3.5	基部やや摩耗、石錐に転用？
51	8	三内丸山(9)	D	SI-01	―	表土	石鏃	Ⅰd	珪質頁岩	42.9	13.9	6.5	2.9	火ハネ
51	9	三内丸山(9)	D	SI-01	―	2層	石鏃	Ⅱc	珪質頁岩	30.6	15.4	9.1	3.7	
51	10	三内丸山(9)	D	SI-01	―	2層	石鏃	Ⅰd	珪質頁岩	39.7	17.6	9.7	5.7	未製品
51	11	三内丸山(9)	D	SI-01	―	2層	二次調整	Ⅱa	珪質頁岩	81.9	22.8	14.5	23.8	石篦の未製品？
51	12	三内丸山(9)	D	SI-01	―	覆土	削器	Ⅰa	珪質頁岩	42.8	24.6	12.0	9.1	
51	13	三内丸山(9)	D	SI-01	―	3層	異形石器	―	珪質頁岩	23.0	34.3	5.7	2.8	
51	14	三内丸山(9)	D	SI-01	―	覆土	二次調整	―	珪質頁岩	(25.1)	21.0	4.5	2.4	破片、石槍？
54	9	三内丸山(9)	D	SI-08	―	覆土	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	45.2	13.6	5.1	2.6	
54	10	三内丸山(9)	D	SI-08	―	覆土	削器	Ⅱa	珪質頁岩	62.9	39.5	13.2	26.4	
56	15	三内丸山(9)	D	SI-05	―	付属施設	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	50.4	13.6	8.3	4.8	
56	16	三内丸山(9)	D	SI-05	―	覆土	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	33.9	12.7	7.3	2.9	アスファルト付着
56	17	三内丸山(9)	D	SI-05	―	覆土	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	34.3	13.9	6.5	2.8	
56	18	三内丸山(9)	D	SI-05	―	覆土	石槍	Ⅰd	珪質頁岩	44.0	24.3	8.7	8.1	
56	19	三内丸山(9)	D	SI-05	―	1層	二次調整	―	珪質頁岩	(29.5)	28.2	7.2	7.2	破片、石篦もしくは石槍？
56	20	三内丸山(9)	D	SI-05	―	付属施設床面	二次調整	―	珪質頁岩	(20.6)	22.8	4.9	2.8	破片、石篦もしくは石槍？
59	14	三内丸山(9)	D	SI-06	―	覆土	石鏃	Ⅰa	珪質頁岩	34.3	16.1	7.2	2.7	アスファルト付着
59	15	三内丸山(9)	D	SI-06	―	覆土	石鏃	Ⅰb	珪質頁岩	30.2	16.1	6.5	2.8	
59	16	三内丸山(9)	D	SI-06	―	覆土	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	34.5	14.2	5.8	2.1	アスファルト付着
59	17	三内丸山(9)	D	SI-06	―	トレンチ	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	32.1	12.0	6.2	2.1	
59	18	三内丸山(9)	D	SI-06	―	15層	石鏃	Ⅰb	珪質頁岩	54.0	14.7	5.3	3.1	
59	19	三内丸山(9)	D	SI-06	―	覆土	石鏃	Ⅰd	珪質頁岩	38.1	17.8	9.1	4.1	未製品

石器(剥片石器類)(3)

図	No.	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	器種	類型	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考
59	20	三内丸山(9)	D	SI-06	―	覆土	縦形石匙	Ⅰc	珪質頁岩	37.7	12.7	4.9	1.8	摘み部欠損、アスファルト付着
59	21	三内丸山(9)	D	SI-06	―	19層	二次調整	―	珪質頁岩	46.7	74.8	19.7	60.5	
59	22	三内丸山(9)	D	SI-06	―	19層	二次調整	―	珪質頁岩	82.2	43.3	15.2	47.4	
62	7	三内丸山(9)	D	SI-11	―	覆土	石匙	Ⅰ	珪質頁岩	(36.0)	20.6	4.0	2.4	破片、摘み部
62	8	三内丸山(9)	D	SI-11	―	覆土	二次調整	―	珪質頁岩	(31.0)	20.6	7.0	5.0	破片、掻器？
63	6	三内丸山(9)	D	SI-12		覆土	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	44.1	12.9	6.2	2.9	
63	7	三内丸山(9)	D	SI-12	―	1層	石鏃	Ⅰb	珪質頁岩	33.5	13.1	5.1	1.9	
66	4	三内丸山(9)	D	SI-15	―	3層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	34.6	12.0	7.0	2.5	
66	5	三内丸山(9)	D	SI-15	―	覆土	石鏃	Ⅰd	珪質頁岩	34.0	12.6	6.4	2.4	未製品
67	7	三内丸山(9)	D	SI-17	―	ピット4覆土	横形石匙	Ⅱb	珪質頁岩	49.6	70.2	12.1	27.3	摘み部以外加工なし
68	2	三内丸山(9)	D	SI-18	―	覆土	二次調整	Ⅱa	珪質頁岩	72.1	28.6	15.6	26.6	おそらく石篦の未製品
70	9	三内丸山(9)	D	SI-19	―	1層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	34.5	15.3	5.8	2.7	アスファルト付着
70	10	三内丸山(9)	D	SI-19	―	1層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	35.9	13.8	6.3	2.5	アスファルト付着
70	11	三内丸山(9)	D	SI-19	―	1層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	37.0	13.6	6.2	2.8	アスファルト付着
70	12	三内丸山(9)	D	SI-19	―	1層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	49.8	13.4	6.7	3.9	
70	13	三内丸山(9)	D	SI-19	―	2層	石鏃	Ⅰd	珪質頁岩	44.3	20.9	10.2	7.5	未製品
70	14	三内丸山(9)	D	SI-019	―	1層	削器	Ⅱa	珪質頁岩	67.9	45.6	13.4	39.5	左辺刃部に光沢あり
73	17	三内丸山(9)	D	SI-23	―	覆土	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	40.4	17.4	6.3	2.4	アスファルト付着
73	18	三内丸山(9)	D	SI-23	―	覆土	石錐	Ⅰ	珪質頁岩	40.2	36.1	12.0	17.7	
73	19	三内丸山(9)	D	SI-23	―	床	石篦	Ⅱd	珪質頁岩	97.5	36.6	21.3	65.2	
73	20	三内丸山(9)	D	SI-23	―	覆土	削器	Ⅱb	珪質頁岩	75.8	23.6	10.0	16.7	
74	1	三内丸山(9)	D	SI-23	―	覆土	二次調整	―	珪質頁岩	79.2	35.0	19.6	46.3	石篦もしくは石槍の未製品
74	2	三内丸山(9)	D	SI-23炉B	―	覆土	石匙	―	珪質頁岩	32.2	50.5	13.9	17.4	
76	8	三内丸山(9)	D	SI-24	―	1層	石鏃	Ⅰb	珪質頁岩	32.9	15.7	5.5	2.8	
76	9	三内丸山(9)	D	SI-24	―	1層	石鏃	Ⅰb	珪質頁岩	49.6	16.5	7.3	4.1	
76	10	三内丸山(9)	D	SI-24	―	2層	石鏃	Ⅰa	珪質頁岩	28.1	16.1	5.3	2.0	アスファルト付着
76	11	三内丸山(9)	D	SI-24	―	2層	石鏃	Ⅰb	珪質頁岩	39.6	14.7	6.9	2.7	アスファルト付着
76	12	三内丸山(9)	D	SI-24	―	1層	石鏃	Ⅰb	珪質頁岩	60.9	12.6	6.7	4.0	アスファルト付着
76	13	三内丸山(9)	D	SI-24	―	1層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	39.1	15.2	5.7	2.7	
76	14	三内丸山(9)	D	SI-24	―	床直	石鏃	Ⅰc	黒曜石	29.2	12.5	6.3	1.9	
76	15	三内丸山(9)	D	SI-24	―	1層	石篦	Ⅱd	珪質頁岩	82.0	35.6	15.9	51.0	
78	10	三内丸山(9)	B	SI-25	―	2層	石鏃	Ⅰd	珪質頁岩	49.9	22.2	12.0	10.5	未製品
78	11	三内丸山(9)	B	SI-25	―	1層	石鏃	Ⅰd	珪質頁岩	35.3	12.0	6.5	2.1	未製品
85	2	三内丸山(9)	B	SQ-01	―	3層	石鏃	Ⅱa	珪質頁岩	32.9	14.5	4.4	1.0	
87	9	三内丸山(9)	D	SX-01	―	覆土	石篦	Ⅱc	珪質頁岩	77.1	37.2	22.2	56.2	未製品
88	7	三内丸山(9)	B	SX-04	―	覆土	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	41.5	12.4	6.5	2.6	
88	8	三内丸山(9)	B	SX-04	―	1層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	36.8	13.3	6.7	2.3	
123	4	三内丸山(9)	D	SK-15	―	覆土	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	45.4	14.0	6.2	3.4	アスファルト付着
124	8	三内丸山(9)	D	SK-27	―	12層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	43.7	14.7	6.7	3.8	
125	9	三内丸山(9)	D	SK-42	―	覆土下層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	41.9	13.9	7.6	3.4	
126	6	三内丸山(9)	D	SK-49	―	3層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	51.8	15.0	8.3	5.3	
127	10	三内丸山(9)	D	SK-54	―	覆土	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	40.9	15.3	6.3	2.8	アスファルト付着
127	14	三内丸山(9)	D	SK-65	―	覆土	石錐	Ⅰd	珪質頁岩	54.2	17.1	9.9	7.2	
129	15	三内丸山(9)	D	SK-96	―	覆土	石篦	Ⅲd	緑色凝灰岩	75.8	25.1	14.4	25.1	刃部欠損
130	10	三内丸山(9)	D	SK-106	―	覆土	石篦	Ⅱb	珪質頁岩	84.1	36.5	17.1	57.2	刃部欠損
132	19	三内丸山(9)	D	SK-117	―	覆土	石鏃	Ⅱa	珪質頁岩	19.1	12.0	4.1	0.7	
132	20	三内丸山(9)	D	SK-117	―	1層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	50.6	18.1	8.3	5.4	未製品
132	21	三内丸山(9)	D	SK-117	―	覆土	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	50.4	14.6	6.5	4.6	
132	22	三内丸山(9)	D	SK-117	―	覆土	二次調整	―	珪質頁岩	(28.4)	23.0	6.7	4.8	破片、石篦？
133	1	三内丸山(9)	D	SK-117	―	1層	石槍	Ⅱc	珪質頁岩	72.6	22.4	9.3	14.1	
133	2	三内丸山(9)	D	SK-117	―	覆土	石篦	Ⅱd	珪質頁岩	94.3	38.2	24.6	83.9	
133	3	三内丸山(9)	D	SI-22	―	3層	石篦	Ⅳa	珪質頁岩	118.1	29.0	19.2	56.7	
148	1	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅦT・U13・14	貼床	石鏃	Ⅰa	珪質頁岩	37.5	17.9	4.6	1.9	SI-03
148	2	三内丸山(9)	D	遺構外	―	不明	石鏃	Ⅰb	珪質頁岩	35.9	13.4	6.4	2.4	
148	3	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦO22	Ⅲ層	石鏃	Ⅰc	緑色凝灰岩	22.3	12.9	4.6	1.0	
148	4	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦO22	Ⅱ層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	29.8	15.4	6.3	2.1	
148	5	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅦT・U13・14	床	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	25.3	10.5	5.9	1.3	SI-03
148	6	三内丸山(9)	B	遺構外	―	不明	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	32.9	13.0	4.6	1.4	
148	7	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦN21	Ⅱ層	石鏃	Ⅱa	珪質頁岩	35.8	14.4	6.2	2.3	
148	8	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅧB15	Ⅲ層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	37.5	13.6	7.9	3.4	アスファルト付着
148	9	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦO22	Ⅰ層	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	45.2	16.6	7.0	3.7	
148	10	三内丸山(9)	D	遺構外	―	表土	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	46.2	11.9	7.4	3.5	
148	11	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅧB14	表土	石鏃	Ⅰc	珪質頁岩	45.9	15.5	6.3	3.8	

石器(剥片石器類)(4)

図	No.	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	器種	類型	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考
148	12	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅦT・U13・14	覆土	石鏃	Ⅰd	珪質頁岩	39.3	22.1	10.7	7.6	未製品、SI-03
148	13	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅧC16	表土	石槍	Ⅰb	珪質頁岩	57.5	24.1	8.6	9.5	
148	14	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦJ14	Ⅲ層	石鏃	Ⅱa	珪質頁岩	30.8	12.9	4.4	1.3	
148	15	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅧF14	表土	縦形石匙	Ⅰa	珪質頁岩	80.3	28.0	10.8	21.6	左辺刃部に光沢あり
148	16	三内丸山(9)	A	遺構外	ⅣL11	不明	縦形石匙	Ⅰb	珪質頁岩	71.3	27.5	10.6	16.8	左辺刃部に光沢あり、ATR04
148	17	三内丸山(9)	A	遺構外	ⅢX15	表土下	縦形石匙	Ⅰb	珪質頁岩	75.0	31.7	10.6	17.1	ATR10
148	18	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅥR・S24	Ⅰ層	縦形石匙	Ⅱd	珪質頁岩	80.0	31.7	10.5	26.0	BTR21
148	19	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅧF14	表土	縦形石匙	Ⅰc	珪質頁岩	121.5	30.7	13.1	40.2	尖頭形態
148	20	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦM23	Ⅰ層	横形石匙	Ⅱa	珪質頁岩	42.9	55.7	7.3	9.2	
148	21	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅥG23	Ⅰ層	横形石匙	Ⅱb	珪質頁岩	43.4	64.2	12.6	20.1	摘み部以外に加工なし,BTR03
148	22	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅧA12	トレンチ	石錐	Ⅰ	珪質頁岩	33.9	18.2	6.1	2.4	SI-07
148	23	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅦT・U13・14	覆土	石錐	Ⅰ	珪質頁岩	46.3	14.9	7.3	3.7	SI-03
148	24	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅦT・U13・14	2層	二次調整	―	珪質頁岩	68.7	26.0	13.3	24.0	石篦の未製品？SI-03
149	1	三内丸山(9)	B	遺構外	Ⅶ021	Ⅱ層	石篦	Ⅱd	珪質頁岩	78.7	34.5	18.7	49.1	
149	2	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅦY10・11	表土	石篦	Ⅱa	珪質頁岩	82.0	36.9	18.4	51.3	SK-84付近
149	3	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅧA17	表土	石篦	Ⅱb	珪質頁岩	87.7	34.4	19.5	52.5	
149	4	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅦT・U13・14	貼床	使用痕剥片	―	珪質頁岩	37.6	42.6	9.3	7.5	SI-03

石器(石斧類・礫石器類)(1)

図	No.	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	種類	類型	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	備考
35	1	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅰ	磨製石斧	―	151.0	62.0	34.0	477.6	ホルンフェルス	刃部欠損
35	2	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	磨製石斧	―	123.0	40.0	26.5	209.8	泥岩	破片
35	3	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲb	磨り石	Ⅰ	121.5	58.0	78.5	659.2	安山岩	１面スリ
35	4	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	敲き石・磨り石	Ⅰ	141.0	53.0	72.0	688.1	安山岩	1面スリ
35	5	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ	磨り石	Ⅰ	128.0	69.0	56.0	95.6	安山岩	1面スリ顕著
35	6	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	半円状扁平打製石器？	―	73.0	56.0	16.0	95.6	砂岩	破片
35	7	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲb	磨り石	Ⅱ	121.0	55.0	43.0	350.2	安山岩	2端スリ
35	8	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf	磨り石	Ⅱ	111.5	76.0	52.5	491.0	安山岩	2端スリ
35	9	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	磨り石	Ⅳ	107.5	66.5	27.0	317.0	安山岩	1面スリ、両端打欠
35	10	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	磨り石	Ⅱ	119.5	66.0	39.0	491.1	砂岩	2面スリ
35	11	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ	磨り石	Ⅲ	48.0	40.5	26.0	63.4	泥岩	全面擦痕、ほぼ球形
35	12	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf	磨り石	Ⅴ	50.0	(43.0)	3.4	74.8	泥岩	みがき石？
35	13	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	磨り石	Ⅴ	44.0	33.0	26.0	27.4	泥岩	2面擦痕
35	14	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅰ	磨り石	Ⅴ	46.0	37.0	25.5	48.2	泥岩	みがき石？
35	15	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	北海道式石冠	Ⅰ	113.0	68.0	41.5	525.5	安山岩	帯状敲打痕、1面スリ
35	16	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ	北海道式石冠	Ⅰ	118.0	62.5	42.0	458.9	安山岩	帯状敲打痕、2面スリ
35	17	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	北海道式石冠	Ⅰ	131.5	66.0	51.0	750.8	安山岩	帯状敲打痕、2面スリ
36	1	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	北海道式石冠	Ⅰ	(116.0)	58.0	43.0	506.2	安山岩	帯状敲打痕、2面スリ
36	2	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	北海道式石冠	Ⅱ	134.0	75.5	51.0	829.3	安山岩	帯状敲打痕、１面スリ・１面タタキ
36	3	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	試掘⑪	敲き石	Ⅱ	123.5	81.0	55.5	724.5	安山岩	4面タタキ
36	4	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	敲き石・磨り石	Ⅱ	137.0	90.0	61.0	1109.8	デイサイト	6面タタキ
36	5	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	敲き石	Ⅱ	72.0	59.0	28.5	180.0	安山岩	2端タタキ、磨製石斧転用？
36	6	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	敲き石	Ⅱ	139.5	66.5	52.5	663.8	安山岩	2端・2面タタキ
36	7	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	敲き石	Ⅱ	111.0	67.0	41.5	319.3	安山岩	2面タタキ
36	8	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	敲き石・磨り石	Ⅲ	138.0	80.0	65.0	980.6	安山岩	2面タタキ、1面スリ
36	9	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ	敲き石・磨り石	Ⅲ	86.0	56.5	46.0	302.1	泥岩	１面、2端タタキ
36	10	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	敲き石・磨り石	Ⅲ	93.0	89.0	42.0	358.8	デイサイト	1面タタキ、1面スリ
36	11	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ	敲き石・凹石	Ⅲ	127.0	61.0	39.0	432.7	安山岩	1面スリ、３面タタキ
37	1	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	磨り石	Ⅲ	147.0	70.0	47.0	768.0	安山岩	２面スリ、２面タタキ
37	2	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	敲き石・磨り石	Ⅲ	108.0	84.0	57.5	747.0	安山岩	1端・1面タタキ、1面スリ
37	3	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	敲き石・磨り石	Ⅲ	156.5	91.0	56.0	1151.9	安山岩	１面クボミ、２面スリ
37	4	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ	磨り石	Ⅲ	122.0	66.0	42.0	519.7	安山岩	１端スリ、２端タタキ
37	5	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ	敲き石・磨り石	Ⅲ	111.0	50.0	51.0	439.6	安山岩	４端タタキ
37	6	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	敲き石	Ⅳ	56.0	54.5	53.5	223.7	安山岩	ほぼ全面タタキ
37	7	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	敲き石	Ⅳ	45.5	41.0	40.0	74.4	泥岩	2端敲き、球形
37	8	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	敲き石・磨り石	Ⅳ	53.0	50.0	46.0	136.4	安山岩	半面タタキ、1端タタキ
37	9	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ	敲き石・磨り石	Ⅳ	43.0	41.5	31.5	69.4	安山岩	2面タタキ、1面スリ、球形
37	10	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	敲き石・凹石	Ⅴ	119.0	58.0	39.0	415.9	安山岩	1端・2面タタキ、1カ所クボミ
37	11	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	敲き石・凹石	Ⅴ	97.0	56.0	46.0	300.7	安山岩	2面、2カ所クボミ

石器(石斧類・礫石器類)(2)

図	No.	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	種類	類型	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	備考
37	12	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb	敲き石・凹石	Ⅳ	99.0	106.0	51.0	631.0	安山岩	１面２カ所クボミ、１面タタキ
37	13	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	石錘？	―	51.5	51.0	11.5	62.9	デイサイト	端部打欠
38	1	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	表土	石皿	Ⅱ	380.0	(306.0)	118.0	15600.0	安山岩	破片、2面スリ、1面有機物付着
38	2	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	石皿	Ⅲ	(275.0)	(297.5)	84.5	10900.0	安山岩	破片、1面タタキ
51	15	三内丸山(9)	D	SI-01	―	2	磨り石	Ⅲ	50.0	44.0	38.5	106.2	安山岩	全面擦痕、球形
51	16	三内丸山(9)	D	SI-01	―	1	打製石斧	―	151.5	77.5	37.0	570.0	安山岩	完形
51	17	三内丸山(9)	D	SI-01	―	3	敲き石・磨り石	Ⅲ	128.0	85.0	54.0	647.3	安山岩	2端タタキ、1面スリ
51	18	三内丸山(9)	D	SI-01	―	2	敲き石・磨り石	Ⅲ	195.0	83.5	55.0	1358.5	安山岩	2面・1端タタキ、2面スリ
53	8	三内丸山(9)	D	SI-04	―	覆土	磨り石	Ⅰ	123.0	65.0	31.0	382.6	安山岩	1面スリ
53	9	三内丸山(9)	D	SI-04B	―	覆土	砥石	―	126.0	81.5	37.5	276.1	デイサイト	完形、4面使用、筋状の擦痕
53	10	三内丸山(9)	D	SI-04	―	覆土	石皿？	Ⅰ	(71.0)	(65.0)	37.5	158.6	安山岩	破片、２面スリ
57	1	三内丸山(9)	D	SI-05	―	床面	石皿	Ⅲ	208.5	(201.0)	65.5	4235.4	安山岩	1面タタキ、S-1
57	2	三内丸山(9)	D	SI-05	―	床面	敲き石	Ⅱ	(71.0)	(65.0)	53.0	266.5	安山岩	1端・1面タタキ、S-6
59	23	三内丸山(9)	D	SI-06	―	19	磨り石	Ⅱ	73.0	45.0	36.0	192.4	安山岩	5面スリ
59	24	三内丸山(9)	D	SI-06	―	Pit1・19	敲き石・磨り石	Ⅲ	110.0	67.5	38.5	398.7	安山岩	2面タタキ・1面スリ
59	25	三内丸山(9)	D	SI-06	―	Pit1・19	敲き石・磨り石	Ⅲ	(86.0)	(39.0)	23.5	138.8	安山岩	2端タタキ、2面スリ
59	26	三内丸山(9)	D	SI-06	―	Pit1・1	石皿	Ⅳ	(115.0)	(85.0)	56.0	775.4	デイサイト	破片
60	6	三内丸山(9)	D	SI-09	―	床面	磨製石斧	―	48.0	20.0	12.0	19.7	黒色変岩	刃部破片
62	9	三内丸山(9)	D	SI-11	―	4	北海道式石冠	Ⅰ	121.0	70.5	50.0	762.5	安山岩	帯状敲打痕、1面スリ
62	10	三内丸山(9)	D	SI-11	―	床面	敲き石	Ⅱ	158.0	82.0	49.0	950.5	安山岩	1端・4面タタキ、S-1
62	11	三内丸山(9)	D	SI-11	―	3	磨り石	Ⅴ	72.5	59.0	33.0	159.2	泥岩	5面擦痕、みがき石？
66	6	三内丸山(9)	D	SI-15	―	床直	磨り石	Ⅱ	132.0	78.0	56.0	834.0	安山岩	2面スリ、S-1
66	7	三内丸山(9)	D	SI-15	―	床面？	石皿	Ⅰ	(306.0)	211.0	112.0	6700.0	安山岩	破片、1面スリ、S-3
67	8	三内丸山(9)	D	SI-17	―	1	磨り石	Ⅰ	134.5	76.5	74.0	769.1	安山岩	1面スリ
67	9	三内丸山(9)	D	SI-17	―	1	敲き石・磨り石	Ⅲ	131.5	62.0	40.0	517.2	安山岩	2面タタキ・1面スリ
67	10	三内丸山(9)	D	SI-17	―	1	敲き石・磨り石	Ⅲ	114.0	(44.0)	48.5	272.2	安山岩	破片、2面タタキ、1面スリ
70	15	三内丸山(9)	D	SI-09	―	1	磨製石斧		71.0	47.0	13.0	94.2	ﾎﾙﾝﾌｪﾙｽ	半完形
70	16	三内丸山(9)	D	SI-19	―	覆土	磨り石	Ⅰ	86.0	50.0	55.5	381.5	安山岩	1面スリ
70	17	三内丸山(9)	D	SI-19	―	覆土	敲き石	Ⅳ	67.0	56.0	45.0	237.2	黒色頁岩	ほぼ半面タタキ
70	18	三内丸山(9)	D	SI-19	―	覆土	敲き石	Ⅱ	56.5	46.5	41.5	147.0	赤鉄鉱	2端タタキ
74	3	三内丸山(9)	D	SI-23	―	覆土	磨り石	Ⅱ	108.0	83.5	36.5	472.3	安山岩	破片、2面スリ、端部打欠、S-10
74	4	三内丸山(9)	D	SI-23	―	床直	磨り石	Ⅰ	110.0	96.5	29.0	402.1	安山岩	破片、1面スリ、S-1
74	5	三内丸山(9)	D	SI-23	―	覆土	北海道式石冠	Ⅰ	137.5	72.5	41.0	715.5	安山岩	帯状敲打痕、1面スリ
74	6	三内丸山(9)	D	SI-23	―	覆土	砥石？	Ⅰ	124.0	87.0	58.0	623.4	安山岩	1面擦痕、被熱痕あり、S-11
74	7	三内丸山(9)	D	SI-23	―	覆土	石皿	Ⅳ	315.0	(272.0)	46.0	5000.0	デイサイト	破片、脚部？有り、S-7
76	16	三内丸山(9)	D	SI-24	―	1	半円状扁平打製石器	―	112.0	72.5	42.5	463.1	安山岩	破片、1面スリ
76	17	三内丸山(9)	D	SI-24	―	床直	磨り石	Ⅲ	60.0	44.5	30.0	101.9	黒色頁岩	全面擦痕、球形
77	1	三内丸山(9)	D	SI-24	―	1	敲き石	Ⅱ	103.0	48.0	41.0	309.2	安山岩	2端・5面タタキ
77	2	三内丸山(9)	D	SI-24	―	2	磨り石・敲き石	Ⅲ	105.0	68.0	41.0	396.8	安山岩	1面・2端タタキ、2面スリ
77	3	三内丸山(9)	D	SI-24	―	1	敲き石・磨り石	Ⅲ	97.0	64.0	46.0	376.5	安山岩	1面スリ、1端タタキ
77	4	三内丸山(9)	D	SI-24	―	2	石皿	Ⅱ	308.0	161.0	110.0	5700.0	安山岩	2面スリ、S-2
77	5	三内丸山(9)	D	SI-24	―	1	石皿	Ⅳ	(291.5)	(300.0)	101.5	9300.0	安山岩	破片、片面クボミ、S-1
77	6	三内丸山(9)	D	SI-24	―	2	石皿	Ⅱ	(159.5)	(106.0)	28.0	630.6	デイサイト	破片、2面スリ
81	6	三内丸山(9)	D	SI-27	―	1	磨製石斧	―	(38.5)	(45.0)	7.5	17.2	泥岩	破片
81	7	三内丸山(9)	D	SI-27	―	1	磨り石	Ⅱ	(60.0)	52.0	33.5	113.1	安山岩	2面スリ
81	8	三内丸山(9)	D	SI-27	―	1	磨り石	Ⅰ	(132.5)	(51.0)	71.0	546.8	安山岩	1面スリ
81	9	三内丸山(9)	D	SI-27	―	1	石皿	Ⅳ	(167.0)	160.0	51.0	1301.0	安山岩	破片
81	10	三内丸山(9)	D	SI-27	―	1	石皿	Ⅳ	(353.5)	(175.0)	93.0	6900.0	安山岩	破片
81	11	三内丸山(9)	D	SI-27	―	2	石皿・磨り石	Ⅱ	239.0	241.0	99.0	7900.0	安山岩	3面スリ
83	2	三内丸山(9)	D	SR-02	―	埋設	敲き石・磨り石	Ⅲ	130.0	72.0	49.0	659.1	安山岩	1面タタキ・1面スリ
103	2	三内丸山(9)	D	SB-02 PIT4	―	覆土	磨製石斧	―	74.0	43.0	13.0	71.8	ﾎﾙﾝﾌｪﾙｽ	刃部のみ
122	4	三内丸山(9)	D	SK-12	―	覆土	石皿	Ⅰ	265.0	205.0	94.0	8700.0	安山岩	1面スリ
122	5	三内丸山(9)	D	SK-12	―	覆土	石皿	Ⅰ	316.0	275.0	152.0	23100.0	安山岩	1面スリ
123	5	三内丸山(9)	D	SK-16	―	2	石皿	Ⅱ	189.0	123.0	63.0	1746.6	安山岩	完形、3面スリ
123	10	三内丸山(9)	D	SK-26	―	覆土上部	敲き石	Ⅳ	61.5	51.5	38.0	175.6	黒色頁岩	ほぼ全面タタキ
123	11	三内丸山(9)	D	SK-26	―	覆土上部	敲き石・磨り石	Ⅲ	(110.0)	62.0	46.5	458.1	安山岩	2面・1端タタキ、1面スリ
123	12	三内丸山(9)	D	SK-26	―	覆土上部	金床石	―	(129.5)	104.0	99.0	1762.7	安山岩	有機物付着
124	9	三内丸山(9)	D	SK-27	―	19	磨り石	Ⅴ	37.0	35.0	24.0	30.1	泥岩	赤鉄鉱粒付着、みがき石？
124	10	三内丸山(9)	D	SK-27	―	14	敲き石・凹石	Ⅲ	84.0	53.0	46.0	302.3	安山岩	3面タタキ・1カ所クボミ
124	11	三内丸山(9)	D	SK-30	―	1	敲き石	Ⅰ	96.0	85.0	41.0	495.0	安山岩	縁辺部タタキ

石器(石斧類・礫石器類)(3)

図	No.	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	種類	類型	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	備考
125	3	三内丸山(9)	D	SK-33	—	覆土	石皿	Ⅰ	342.0	215.0	95.0	11000.0	安山岩	1面スリ
125	4	三内丸山(9)	D	SK-34	—	確認面	石皿	Ⅱ	(217.5)	(223.5)	70.0	6900.0	安山岩	2面スリ
125	5	三内丸山(9)	D	SK-34	—	確認面	石皿	Ⅱ	(176.0)	(85.5)	(40.0)	537.8	安山岩	図125-4と同一個体？
125	6	三内丸山(9)	D	SK-47	—	2	石皿	Ⅳ	198.0	(119.0)	79.0	2063.1	安山岩	破片
126	7	三内丸山(9)	D	SK-49	—	覆土下層	石皿	Ⅰ	360.0	195.0	120.0	13100.0	安山岩	1面スリ
126	8	三内丸山(9)	D	SK-49	—	覆土下層	敲き石	Ⅰ	120.0	(56.0)	39.0	544.4	安山岩	1端タタキ
127	13	三内丸山(9)	D	SK-65	—	覆土	石皿	Ⅰ	(116.0)	(54.0)	34.0	290.0	砂岩	破片、筋状の擦痕有り
128	1	三内丸山(9)	D	SK-72	—	覆土	石皿	Ⅳ	(252.0)	(188.0)	98.0	6600.0	安山岩	破片
128	2	三内丸山(9)	D	SK-74	—	1	石皿	Ⅳ	(291.5)	(300.0)	101.5	9300.0	安山岩	完形、遺構間接合(SI-24)
128	11	三内丸山(9)	D	SK-74	—	1	石皿	Ⅳ	151.0	107.5	58.0	1412.9	安山岩	破片
129	14	三内丸山(9)	D	SK-95	—	覆土	敲き石・磨り石	Ⅲ	134.0	79.5	37.0	582.0	安山岩	1面タタキ、1面スリ
130	3	三内丸山(9)	D	SK-98	—	7	磨り石	Ⅰ	125.0	101.0	75.0	1299.8	安山岩	1面スリ
130	4	三内丸山(9)	D	SK-99	—	覆土	石皿？	Ⅳ	(123.5)	(52.5)	(47.0)	366.1	デイサイト	破片
130	9	三内丸山(9)	D	SK-103	—	1	磨り石	Ⅰ	125.0	91.0	71.5	730.4	安山岩	1面スリ
130	11	三内丸山(9)	D	SK-106	—	覆土	敲き石・磨り石	Ⅳ	50.0	43.5	35.0	73.5	安山岩	全面タタキ、1面スリ、球形
130	12	三内丸山(9)	D	SK-106	—	覆土	敲き石・磨り石	Ⅲ	77.0	67.5	36.0	255.1	安山岩	破片、2面タタキ、1面スリ
133	4	三内丸山(9)	D	SK-117	—	1	打製石斧？	—	138.0	(63.0)	25.0	275.9	安山岩	未製品？
133	5	三内丸山(9)	D	SK-117	—	2	磨り石	Ⅰ	(85.0)	52.5	66.0	432.8	安山岩	破片、1面スリ
133	6	三内丸山(9)	D	SK-117	—	1	磨り石	Ⅲ	(56.5)	(73.5)	(49.0)	233.5	安山岩	破片、全面擦痕
133	7	三内丸山(9)	D	SK-117	—	覆土	敲き石・磨り石	Ⅲ	118.5	69.0	24.0	317.5	安山岩	2面・1端タタキ、1面スリ
133	8	三内丸山(9)	D	SK-119	—	底面	石皿	Ⅱ	176.0	159.0	64.0	2413.6	安山岩	2面スリ
137	1	三内丸山(9)	D	PIT39	—	覆土	半円状扁平打製石器	—	161.5	86.5	39.5	787.2	安山岩	完形、1面スリ
149	5	三内丸山(9)	D	遺構外	—	表採	打製石斧？	—	79.0	66.0	30.5	204.7	閃緑岩	1面加工
149	6	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦO-22	Ⅱ	磨製石斧	—	(66.0)	59.0	25.0	156.2	ﾎﾙﾝﾌｪﾙｽ	刃部のみ残
149	7	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅦF-14	表土	磨製石斧	—	160.0	47.0	33.0	412.2	閃緑岩	完形
149	8	三内丸山(9)	D	遺構外	—	不明	磨製石斧	—	134.0	53.0	35.0	356.1	安山岩	刃部若干欠損
149	9	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅦB-13	Ⅲ層	磨製石斧	—	74.0	31.0	15.5	56.3	ﾎﾙﾝﾌｪﾙｽ	小型
149	10	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦM-23	Ⅱ	磨り石	Ⅰ	88.0	27.5	44.5	120.8	安山岩	1面スリ
149	11	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦA-23	Ⅱ	磨り石	Ⅱ	148.5	76.5	31.5	685.5	安山岩	2面スリ、部分的にタタキ
149	12	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅦE-13	表土	磨り石	Ⅴ	40.0	36.0	21.5	31.4	泥岩	1面擦痕、みがき石？
149	13	三内丸山(9)	D	遺構外	—	表土	磨り石	Ⅳ	111.5	85.5	32.0	610.5	閃緑岩	1面スリ、両端打欠
149	14	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦE-22	Ⅰ	磨り石	Ⅳ	160.5	100.5	37.5	851.1	安山岩	1面スリ、両端打欠
149	15	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦE-23	Ⅰ	磨り石	Ⅳ	150.0	100.5	30.0	703.3	安山岩	1面スリ、両端打欠
150	1	三内丸山(9)	D	遺構外	—	Ⅲ	北海道式石冠	Ⅰ	128.0	72.0	55.0	763.0	安山岩	帯状敲打痕、1面スリ
150	2	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦG-20	Ⅲ	北海道式石冠	Ⅱ	139.0	70.5	49.5	802.3	安山岩	帯状敲打痕、1端・1面タタキ、1面スリ
150	3	三内丸山(9)	D	遺構外	—	Ⅲ	敲き石	Ⅰ	125.0	87.0	57.0	768.9	安山岩	1面タタキ
150	4	三内丸山(9)	D	遺構外	—	床直	敲き石	Ⅱ	(87.5)	76.5	56.0	553.3	安山岩	破片、2面タタキ、S-3
150	5	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦN-22	Ⅱ	敲き石	Ⅱ	110.0	57.0	45.0	272.1	安山岩	2面タタキ
150	6	三内丸山(9)	D	遺構外	—	Ⅲ	敲き石・磨り石	Ⅲ	117.0	74.5	44.0	516.4	デイサイト	1端・1面タタキ、1面スリ
150	7	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦK-24	Ⅱ	敲き石	Ⅱ	117.0	94.5	64.0	879.9	安山岩	3面タタキ
150	8	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦY-23	Ⅱ	敲き石・凹石	Ⅴ	114.0	50.5	46.0	359.7	デイサイト	2端・3面タタキ、5カ所クボミ
150	9	三内丸山(9)	A	遺構外	—	Ⅱ	石皿	Ⅲ	218.0	173.5	90.0	3355.7	安山岩	１面タタキ
150	10	三内丸山(9)	D	遺構外	—	攪乱	石皿	Ⅳ	(171.0)	(159.0)	78.0	2514.2	安山岩	破片
150	11	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅦY-14	Ⅳ	砥石(平安)	—	116.5	29.0	31.0	123.1	頁岩	4面研磨、擦痕顕著
92	7	三内丸山(9)	D	SI-02	—	覆土	敲き石	Ⅱ	106.5	74.0	58.0	586.9	安山岩	2面タタキ
92	8	三内丸山(9)	D	SI-02	—	床直	敲き石・磨り石	Ⅲ	133.5	95.0	53.5	739.0	安山岩	3面タタキ、1面スリ
92	9	三内丸山(9)	D	SI-02	—	床直	砥石？(平安)	—	(122.0)	108.0	72.0	1269.2	デイサイト	1面研磨、カマド袖芯材？
96	1	三内丸山(9)	D	SI-03	—	右袖	石皿？	Ⅳ	175.0	93.0	51.0	1383.0	デイサイト	カマド芯材？カマドS-3
96	2	三内丸山(9)	D	SI-03	—	右袖	石皿？	Ⅳ	(258.0)	(202.0)	70.8	3332.2	安山岩	破片、カマド芯材？カマドS-2
96	3	三内丸山(9)	D	SI-03	—	覆土	砥石？(平安)	—	(26.0)	(24.0)	(20.0)	48.2	安山岩	1面研磨
96	4	三内丸山(9)	D	SI-03	—	Pit4・覆土	砥石(平安)	—	134.0	91.0	35.0	421.2	泥岩	2面研磨
96	5	三内丸山(9)	D	SI-03	—	床面	石皿？	Ⅰ	138.5	90.0	(80.0)	1335.3	安山岩	破片、1面スリ
97	6	三内丸山(9)	D	SI-10	—	覆土	砥石(平安)	—	73.0	(68.0)	75.0	332.2	泥岩	2面研磨、S-1
99	24	三内丸山(9)	D	SI-07	—	1	磨り石	Ⅰ	118.0	40.0	57.0	403.0	安山岩	1面スリ
99	25	三内丸山(9)	D	SI-07	—	13	砥石？	Ⅰ	(78.0)	43.0	42.0	166.7	安山岩	破片、1面スリ

土製品（小型・ミニチュア土器類）

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	器種	部位	外面施文文様等	内面調整	胎土	時期	器高(mm)	口径(mm)	底径(mm)	備考
038-03	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	小型	口縁	突起・隆線上竹刺突・沈線文・ＲＬ	―	砂	縄文	―	―	―	36と同一個体
038-04	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	小型	口縁	突起・隆線上竹刺突・沈線文・ＲＬ	―	砂	縄文	―	―	―	35と同一個体
038-05	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	小型	口縁	小突起・側面圧痕・ＬＲ(横)	―	砂	縄文	―	―	―	
038-06	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	ミニチュア	口縁	口唇斜位刻み・横位沈線６条	―	砂	縄文	―	―	―	
038-07	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ	ミニチュア	口縁	口唇工具連続刻み・無文	―	砂	縄文	―	―	―	
038-08	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ	ミニチュア	口縁	口唇縄側面圧痕・ＲＬ(横)	―	砂	縄文	―	―	―	
038-09	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	小型	1/4欠	ＲＬ(横)	ナデ	砂	縄文	83	78	33	
038-10	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ	小型	1/4残	口唇１突起・ボタン状貼付け・ＬＲ(横)	ナデ	砂多	縄文	79	―	36	
038-11	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ	小型	1/4残	口唇端部縄押圧刻み・ＲＬ(縦)	ミガキ	砂多	縄文	81	(92)	(42)	高台付き
038-12	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	―	小型	底部	ＲＬ(横)	ナデ	砂	縄文	(55)	―	47	
038-13	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	ミニチュア	口縁	口唇端部縄回転・隆線貼付・ＬＲ(横)	―	砂	縄文	―	―	―	
038-14	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	小型	1/3残	口縁部隆帯・Ｌ(横)	ナデ	砂	縄文	59	―	38	
038-15	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	ミニチュア	口縁部破損	ＬＲ(横)部分的に施文	ナデ	砂	縄文	(47)	―	22	上げ底
038-16	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb	小型	底部	無文	ナデ	砂	縄文	(40)	―	40	
038-17	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ	小型	1/4欠	無文	ナデ	砂	縄文	75	(57)	34	
038-18	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	小型	1/4欠	無文	ナデ	砂	縄文	60	(76)	(40)	
038-19	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	小型	略完形	無文	―	砂・酸化鉄	縄文	59	55	45	
038-20	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	ミニチュア	1/2残	無文	ナデ	砂多	縄文	57	(43)	20	
038-21	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ	ミニチュア	完形	無文	ナデ	砂	縄文	29	27	17	
038-22	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ	ミニチュア	1/3残	無文	ナデ	砂	縄文	(30)	(36)	―	
038-23	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf	ミニチュア	口縁部破片	無文	ナデ	砂	縄文	(29)	(43)	―	
038-24	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ・Ⅲ	ミニチュア	略完形	無文	ナデ	砂多	縄文	31	(34)	(９)	台付き？
038-25	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	ミニチュア	略完形	無文	ナデ	砂・酸化鉄	不明	15	51	40	皿・土師器？
038-26	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	ミニチュア	口縁	山形突起・口端刻み・沈線弧状文	―	砂	縄文	―	―	―	
038-27	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	ミニチュア	口縁	貼付突起・無文	―	砂	縄文	―	―	―	
038-28	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	ミニチュア	口縁	山形突起・沈線文	―	砂	縄文	―	―	―	
038-29	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa	ミニチュア	口縁	横位隆線	―	砂	縄文	―	―	―	
038-30	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ	ミニチュア	口縁	口唇隆帯刻み・横位沈線・穿孔	―	砂	縄文	―	―	―	
038-31	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ	ミニチュア	底部	沈線２条・ＬＲ(横)	―	砂	縄文	―	―	―	
051-19	三内丸山(9)	D区	SI01	―	３層	小型	底部破損	波状口縁・２突起・波頂部から垂下する隆帯	ナデ	砂・酸化鉄	縄文	(86)	98	―	隆帯(対)に穿孔
051-20	三内丸山(9)	D区	SI01	―	３層	ミニチュア	完形	口縁に穿孔４カ所・無文・弱いナデ	ナデ	砂多	縄文	50	19	22	
051-21	三内丸山(9)	D区	SI01	―	２層	ミニチュア	口縁	口唇刻み・横位沈線・ＲＬ？	―	砂	縄文	―	―	―	
057-03	三内丸山(9)	D区	SI05	―	床面	小型	口縁部破損	無文・弱いナデ	ナデ	砂・酸化鉄	縄文	(83)	―	43	P-11
057-04	三内丸山(9)	D区	SI05	―	覆土	小型	口縁部破損	ＲＬ附加条・ＲＬ(横)・側面圧痕	ナデ	砂	縄文	(64)	―	(32)	
059-27	三内丸山(9)	D区	SI06	―	15層	小型	1/2残	波状口縁・突起・波頂部直下ボタン状貼付け・工具ナデ	ナデ	砂	縄文	79	―	35	
059-28	三内丸山(9)	D区	SI06	―	覆土	小型	底部	ＬＲ(縦)部分的に施文	ナデ	砂多	縄文	(59)	―	44	
059-29	三内丸山(9)	D区	SI06	―	覆土	ミニチュア	底部	無文・弱いナデ	―	砂多	縄文	(16.5)	―	19	
070-19	三内丸山(9)	D区	SI19	―	１層	小型	完形	口唇１突起・ボタン状貼付け・ＲＬ(縦)	ナデ	砂	縄文	73	69	34	
096-06	三内丸山(9)	D区	SI03	―	床面	小型	完形	無文	ナデ	砂・酸化鉄	平安	52	60	50	P-4
096-07	三内丸山(9)	D区	SI03	―	覆土	ミニチュア	1/2残	無文	ナデ	砂多	平安	48	(40)	28	
124-07	三内丸山(9)	D区	SK27	―	覆土	小型	底部	無文	ナデ	砂	縄文	(53)	―	49	
126-05	三内丸山(9)	D区	SK49	―	覆土	小型	口縁部破損	ＲＬ(横)	ナデ	砂・酸化鉄	縄文	(57.5)	―	52	P-7
127-09	三内丸山(9)	D区	SK54	―	覆土	ミニチュア	底部	ハケ目状工具	―	砂	縄文	―	―	―	
129-05	三内丸山(9)	D区	SK78	―	覆土	小型	口縁	無文	ナデ	砂多	不明	(44)	(97)	―	土師器？
132-23	三内丸山(9)	D区	SK117	―	覆土	ミニチュア	底部	ＬＲ(横)	―	砂多	縄文	(21)	―	31	
151-01	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅦV14	表土	小型	底部	ナデ・外底面中央に窪み	―	砂多	縄文	(54)	―	66	
151-02	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦM24	Ⅲ層	小型	口縁～底部	無文	ナデ	砂多	不明	―	―	―	
151-03	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表採	ミニチュア	口縁	リング状突起・ＬＲ(斜)	―	砂	縄文	―	―	―	
151-04	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	ミニチュア	略完形	無文	―	砂	縄文	22	(29)	(11)	
151-05	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表採	ミニチュア	口縁	縦位沈線４条・ボタン状隆帯貼付	―	砂	縄文	―	―	―	

土製品(土偶・その他)

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	種別	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備考
039-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	土偶	(91.5)	124.0	22.0	133.0	胴部下半を欠失
039-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	土偶	149.0	(65.5)	18.0	234.3	両腕部破損、鼻・眉・臍剥落
039-03	三内	C区	遺構外	南側	Ⅲ層	土偶	(56.0)	(55.0)	12.5	15.5	頭部～胴部上半
039-04	三内	C区	遺構外	南側	Ⅱ層	土偶	(56.0)	(46.0)	19.0	51.5	胴部中央(臍破損)
039-05	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb1層	土偶	(68.0)	(63.0)	24.0	88.7	胴部下半、末端破損、(胴部孔未貫通)
039-06	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	土偶	(105.0)	(97.0)	23.0	274.9	胴部下半(胴部貫通孔)
039-07	三内	C区	遺構外	ⅦT-23	Ⅱ・Ⅲ層	土偶	(23.5)	(40.5)	18.0	12.5	腕部？胴部下半？土偶以外？
039-08	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb層	土偶	(65.5)	(46.5)	25.5	76.9	胴部下半(胴部孔未貫通)
039-09	三内	C区	遺構外	－	Ⅲ層	土偶	(37.0)	(55.5)	24.5	40.5	胴部上半片
039-10	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	耳飾り？	(34.0)	(27.5)	14.0	8.5	
039-11	三内	C区	遺構外	－	Ⅲa層	耳飾り	(30.0)	(27.0)	(23.5)	11.2	
039-12	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	耳飾り	(38.0)	38.0	38.0	27.1	
039-13	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	耳飾り	(42.0)	(34.5)	(30.5)	22.8	
039-14	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	耳飾り	43.0	44.5	(38.0)	22.4	
039-15	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb層	耳飾り	(44.5)	(27.5)	(28.0)	21.2	
039-16	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	三角形土製品	(36.0)	(35.0)	11.5	7.1	
039-17	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf層	三角形土製品	(32.0)	(35.0)	11.0	9.8	未製品の破損？
039-18	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf層	三角形土製品	44.0	(46.0)	18.0	22.9	
039-19	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱc層	舟形土製品	(46.0)	(67.0)	4.5	20.9	
039-20	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	舟形土製品	(36.0)	(36.0)	7.5	8.0	
039-21	三内	C区	遺構外	ⅦV-23	Ⅲ層	土製玉	36.0	36.0	25.0	33.5	
039-22	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	土版？	(72.5)	(49.5)	(20.0)	21.5	
039-23	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	クルミ押圧土製品	24.0	27.0	11.0	4.8	
039-24	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	粘土塊	33.0	33.0	14.0	10.7	
039-25	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱc層	粘土塊	32.0	18.0	12.0	5.3	
042-25	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅰf層	土製玉(平安)	13.0	13.0	7.5	1.5	
042-26	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb層	土製玉(平安)	12.5	13.0	9.0	1.8	
057-05	三内丸山(9)	D区	SI05	－	覆土	土偶	(46.5)	(44.5)	15.0	24.8	頭部(目・口・鼻・眉・乳房・頭髪)、鼻穴・貫通孔
057-06	三内丸山(9)	D区	SI05	－	覆土	土偶	(41.5)	(38.0)	10.5	15.7	胴部下半(臍剥落)、末端と臍下から下に向かい刺突(胴部孔未貫通)
059-30	三内丸山(9)	D区	SI06	－	覆土	土偶	(36.5)	(33.0)	19.5	17.5	胴部下半(胴部貫通孔)
059-31	三内丸山(9)	D区	SI06	－	覆土	流線形土製品	(39.5)	20.0	11.0	6.8	柿種状
063-08	三内丸山(9)	D区	SI12	－	覆土	耳飾り	(23.0)	50.5	(32.0)	13.7	
069-10	三内丸山(9)	D区	SI19	－	1層	舟形土製品	(71.5)	(25.0)	9.0	21.1	44と同一個体。匙状土製品か
077-07	三内丸山(9)	D区	SI24	－	1層	土偶	(48.0)	(59.5)	12.5	22.0	胴部上半(一乳房剥落・背面剥落？)
077-08	三内丸山(9)	D区	SI24	－	1層	舟形土製品	(40.0)	(27.0)	12.0	8.0	45と同一個体。匙状土製品か
078-12	三内丸山(9)	B区	SI25	－	2層	耳飾り	(32.0)	(49.0)	(43.0)	34.3	
081-12	三内丸山(9)	B区	SI27	－	覆土	焼成粘土塊	30.0	28.0	15.0	10.6	工具痕
151-06	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦS-22	Ⅰ層	土偶	(73.0)	(69.0)	20.0	117.7	頭部(目・口・鼻・眉・乳房・頭髪、剥落)、貫通孔
151-07	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦO-23	Ⅰ層	土偶	(75.5)	(63.0)	20.0	72.3	腕部
151-08	三内丸山(9)	D区	遺構外	－	Ⅰ層	土偶	(43.5)	(24.0)	12.0	10.3	胴部下半(胴部貫通孔)
151-09	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦO-22	Ⅱ層	土偶	(47.5)	(32.0)	15.0	24.2	胴部下半(臍剥落)、末端と臍下から下に向かい刺突(胴部孔未貫通)
151-10	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦN-21	Ⅱ層	土偶	(32.5)	(29.0)	6.0	3.1	頭部・右腕破損、動物形(海獣？)
151-11	三内丸山(9)	B区	遺構外	BTR3	Ⅲ層	耳飾り	(26.5)	38.5	38.0	26.8	
151-12	三内丸山(9)	D区	遺構外	ⅦB-13	Ⅲ層	耳飾り	(32.0)	(41.0)	(30.0)	13.3	
151-13	三内丸山(9)	D区	遺構外	－	Ⅰ層	焼成粘土塊	77.0	69.0	61.0	320.6	おにぎり状
151-14	三内丸山(9)	D区	SI03	－	覆土	クルミ押圧土製品	25.0	(23.0)	10.0	3.7	

石製品

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	器種	類型	石質	時期	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)
040-01	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	石棒	未製品	流紋岩	縄文	571.0	95.5	65.0	6000.0
040-02	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅰ層	石棒	―	デイサイト	縄文	236.5	87.5	67.5	2500.0
040-03	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	石棒	―	安山岩	縄文	298.5	77.0	69.5	2200.0
040-04	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲ層	垂飾状石製品	Ⅱ類	凝灰岩	縄文	27.5	26.0	7.0	3.6
040-05	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb1層	垂飾状石製品	Ⅱ類	凝灰岩	縄文	27.0	32.0	7.0	3.2
040-06	三内	C区	遺構外	ⅧM22	Ⅰ層	不明石製品	線刻	碧玉	縄文	18.0	16.5	8.5	3.9
040-07	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱf層	垂飾状石製品	Ⅱ類	安山岩	縄文	43.5	36.0	12.0	13.8
040-08	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb層	垂飾状石製品	Ⅱ類	凝灰質砂岩	縄文	47.0	38.0	12.0	12.1
040-09	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	垂飾状石製品	Ⅰ類	頁岩	縄文	46.5	21.0	2.5	4.9
040-10	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	垂飾状石製品	Ⅰ類	頁岩	縄文	50.0	27.0	3.5	6.9
040-11	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱa層	垂飾状石製品	Ⅱ類	安山岩	縄文	51.5	(35.0)	17.5	26.4
040-12	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb1層	垂飾状石製品	Ⅱ類	安山岩	縄文	49.5	(31.0)	13.5	22.3
040-13	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	垂飾状石製品	Ⅱ類	軽石	縄文	54.5	50.0	13.5	15.9
040-14	三内	C区	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅲa層	垂飾状石製品	―	泥岩	縄文	27.0	22.5	20.0	15.0
060-12	三内丸山(9)	D区	SI-09	―	覆土	垂飾状石製品	Ⅱ類	凝灰質砂岩	縄文	33.5	33.5	13.5	8.2
067-11	三内丸山(9)	D区	SI-17	―	覆土	垂飾状石製品	Ⅰ類	頁岩	縄文	37.5	20.0	4.5	4.6
071-03	三内丸山(9)	D区	SI-21	―	覆土	石棒	―	安山岩	縄文	(107.0)	60.5	60.5	647.6
074-08	三内丸山(9)	D区	SI-23	―	覆土	石冠	―	凝灰岩	縄文	72.0	104.5	43.0	475.3
099-26	三内丸山(9)	D区	SI-07	―	壁溝	碁石状石製品	―	玉随	平安	22.5	22.0	20.0	12.8
151-15	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	Ⅲ層	石棒	―	安山岩	縄文	281.0	73.0	90.5	3176.4
151-16	三内丸山(9)	D区	遺構外	―	表土	石棒	未製品	流紋岩	縄文	317.0	73.0	86.5	3800.0
151-17	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦG21	Ⅱ層	垂飾状石製品	Ⅰ類	頁岩	縄文	70.0	26.5	4.5	11.9
151-18	三内丸山(9)	B区	遺構外	ⅦG22	Ⅱ層	垂飾状石製品	Ⅰ類	頁岩	縄文	44.0	25.0	4.5	7.7

土師器(1)

図	NO.	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	類型	器種	部位	口径cm	底径cm	器高cm	外面	内面	底面	備考
41	1	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ	Ⅰb	皿	完形	13.0	6.6	3.9	ロクロ	ロクロ	回転糸切	ロクロ目弱、内外面底部剥落
41	2	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb	Ⅰb	坏	完形	(11.6)	5.2	6.0	ロクロ	ロクロ	回転糸切	灯明具?、内外面すす状付着、柱状高台状
41	3	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb (B-Tm上)	Ⅰb	坏	完形	(12.1)	5.7	5.7	ロクロ	ロクロ	静止糸切?	胎土密
41	4	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb	Ⅰb	坏	完形	(11.8)	5.4	5.9	ロクロ	ロクロ	回転糸切	内外面すす状付着
41	5	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb	Ⅰb	坏	完形	(11.4)	5.0	5.8	ロクロ	ロクロ	静止糸切	内面は弱、黒色処理?
41	6	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb	Ⅰb	坏	完形	(11.2)	(5.4)	6.1	ロクロ	ロクロ	回転糸切	
41	7	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb、Ⅱc	Ⅰb	坏	完形	(12.0)	5.5	4.3	ロクロ	ロクロ→ミガキ	回転糸切	内面黒色処理
41	8	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb	Ⅰb	坏	完形	(13.0)	5.4	4.7	ロクロ	ロクロ	回転糸切	胎土密
41	9	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb	Ⅰb	坏	口縁～体部	(12.8)	―	(5.2)	ロクロ	ロクロ	―	ロクロ目強、胎土密
41	10	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb、Ⅱc	b	坏	底部	―	4.5	(2.3)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	胎土密
41	11	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb	b	坏	体部～底部	―	6.4	(2.4)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	
41	12	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb	a	坏	底部	―	5.3	(1.6)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	内面は弱、黒色処理?
41	13	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb	Ⅰa	甕	口縁～胴部	(16.8)	―	(3.5)	ロクロ	ロクロ	―	外面有機物付着
41	14	三内	C	遺構外	ⅧO22	Ⅰ	Ⅰa	甕	口縁	(22.4)	―	(2.6)	ロクロ→ヘラケズリ	ロクロ	―	胎土密
41	15	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb	Ⅰb	甕	口縁～胴部	(19.2)	―	(11.5)	ヨコナデ、ヘラケズリ	ヨコナデ、ヘラナデ	―	外面黒色有機物付着
41	16	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb	Ⅰb	甕	口縁部	(20.8)	―	(5.5)	ヨコナデ、ヘラケズリ	ヨコナデ、ヘラナデ	―	胎土密
41	17	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb1	Ⅰb	甕	口縁部	(19.8)	―	(6.1)	ヨコナデ、ヘラケズリ	ヨコナデ、ヘラナデ	―	

土師器(2)

図	NO.	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	類型	器種	部位	口径cm	底径cm	器高cm	外面	内面	底面	備考
41	18	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb	Ⅰb	甕	口縁～胴部	(12.8)	—	(5.4)	ヨコナデ、ヘラケズリ	ヨコナデ、ヘラナデ	—	内面有機物付着
41	19	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱa	Ⅰc	甕	口縁部	(18.8)	—	(4.2)	ヨコナデ、ヘラケズリ、指	ヨコナデ、ヘラナデ	—	
41	20	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱa	Ⅱb	甕	口縁～胴部	(23.0)	—	(5.9)	ヨコナデ、ヘラケズリ	ヨコナデ、輪積痕	—	
41	21	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅰ	Ⅱb	甕	口縁～胴部	(10.8)	—	(8.3)	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラケズリ	ヨコナデ・ヘラナデ	—	外面黒色有機物付着
41	22	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅰg、Ⅱc	Ⅱb	甕	口縁部	(23.8)	—	(6.3)	ヨコナデ・ヘラケズリ・輪積痕	ヘラナデ	—	
41	23	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	ⅡbB-Tm上	Ⅲc	甕	口縁～胴部	(16.6)	—	(6.2)	ヨコナデ、ヘラケズリ、輪積痕	ヨコナデ、ヘラナデ	—	
41	24	三内	C	遺構外	ⅧV22	Ⅰ	Ⅲb	甕	口縁部	(12.4)	—	(4.5)	ヨコナデ、ヘラナデ、ケズリ	ヨコナデ、ヘラナデ	—	内面化粧粘土付着
42	1	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb、Ⅱb水路	a	甕	胴部～底部	—	6.0	(3.5)	ロクロ	ロクロ	静止糸切?	全体的にロクロ目弱
42	2	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ	b	甕	胴部～底部	—	(6.0)	(2.5)	ヘラケズリ	ヘラナデ	ヘラケズリ	胎土密
42	3	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ	b	甕	胴部～底部	—	(7.8)	(2.8)	ヘラケズリ	ヘラナデ	砂底	
42	4	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ	b	甕	胴部～底部	—	(7.2)	(4.7)	ヘラケズリ	ヘラナデ	ヘラケズリ	
42	5	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅰg、Ⅱb	b	甕?	底部	—	(8.0)	(1.8)	ヘラケズリ	無調整？	ヘラケズリ?	支脚？
42	6	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱ	b	甕	胴部～底部	—	(11.0)	(7.9)	ヘラケズリ	ヘラナデ	ヘラケズリ	内面黒色有機物付着
42	7	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb	b	甕	胴部～底部	—	(9.4)	(4.5)	ヘラケズリ	ヘラナデ	ヘラケズリ	胎土密
42	8	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb	—	塙?	胴部～底部	—	(9.2)	(5.8)	ヘラケズリ	ヘラナデ	ヘラケズリ	外面、底面黒色有機物付着
90	1	三内丸山(9)	D	SI-02	—	床直	Ⅰb	坏	完形	13.0	(5.4)	5.9	ロクロ?	ロクロ?	回転糸切?	外面剥落、P-3
90	2	三内丸山(9)	D	SI-02	—	床面	Ⅰb	坏	完形	(13.0)	5.3	5.8	ロクロ	ロクロ	回転糸切	P-9
90	3	三内丸山(9)	D	SI-02	—	床直、覆土	Ⅰb	坏	半完形	13.2	5.3	5.7	ロクロ	ロクロ	回転糸切	内外面スス付着(灯明具)、P-4
90	4	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	カマド・床	Ⅰb	坏	完形	12.2	5.6	6.2	ロクロ	ロクロ	回転糸切?	全体的に剥落、P-10
90	5	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	覆土上面	Ⅰb	坏	半完形	(12.2)	5.8	5.4	ロクロ	ロクロ	回転糸切	墨書「至?」
90	6	三内丸山(9)	D	SI-02	—	覆土	b	坏	完形	(13.0)	5.4	5.4	ロクロ	ロクロ	回転糸切	
90	7	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	覆土上面	Ⅰb	坏	口縁～体部	(11.6)	—	(5.1)	ロクロ	ロクロ	—	胎土粗砂
90	8	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	カマド	b	坏	口縁～体部	(14.4)	—	(4.8)	ロクロ	ロクロ	—	外面墨書?
90	9	三内丸山(9)	D	SI-02	—	覆土	b	坏	口縁～体部	(12.0)	—	(4.3)	ロクロ	ロクロ	—	胎土粗砂
90	10	三内丸山(9)	D	SI-02	—	覆土	Ⅰb	坏	体部～底部	—	5.6	(3.9)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	胎土粗砂、ロクロ目弱
90	11	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	4	b	坏	体部～底部	—	(5.2)	(4.2)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	胎土密、硬質P-22
90	12	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	カマド	b	坏	底部	—	(5.8)	(2.8)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	胎土密、硬質

土師器(3)

図	NO.	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	類型	器種	部位	口径cm	底径cm	器高cm	外面	内面	底面	備考
90	13	三内丸山(9)	D	SI-02	—	覆土	b	坏	底部	—	4.9	(2.2)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	胎土密、ロクロ目弱
90	14	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	床面	Ⅰb	甕	完形	17.5	9.3	18.7	ヨコナデ、ヘラケズリ	ヨコナデ、ヘラナデ	砂敷	内外面化粧粘土付着、P-16,17,18,19,23
90	15	三内丸山(9)	D	SI-02	—	覆土	c	甕	胴部～底部	—	8.1	(16.3)	ヘラケズリ、輪積痕	ヘラナデ、輪積痕	木葉痕	胎土粗砂、P-11,13
90	16	三内丸山(9)	D	SI-02	—	覆土	Ⅰb	甕	口縁～胴部	(12.4)	—	(9.6)	ヨコナデ、ヘラケズリ	ヨコナデ、ヘラナデ	—	胎土粗砂、P-81-1
90	17	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	床面	Ⅰb	甕	口縁部	(13.4)	—	(7.6)	ヨコナデ、ヘラナデ	ヘラナデ	—	内面すす状付着、P-20
91	1	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	上面	Ⅰb	甕	口縁部	(21.4)	—	(11.2)	ヨコナデ弱、ヘラケズリ	ヨコナデ弱、ハケメ	—	胎土粗砂
91	2	三内丸山(9)	D	SI-02	—	カマド	Ⅰb	甕	口縁部	(26.6)	—	(4.7)	ヨコナデ、ヘラケズリ	ヨコナデ、ヘラナデ	—	胎土粗砂、
91	3	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	カマド	Ⅰb	甕	口縁部	(19.8)	—	(5.7)	ヨコナデ、ヘラケズリ	ヨコナデ、ヘラナデ	—	胎土粗砂
91	4	三内丸山(9)	D	SI-02	—	覆土	Ⅰb	甕	口縁部	(18.0)	—	(6.6)	ヨコナデ、ヘラケズリ	ヨコナデ、ヘラナデ	—	胎土密、外面部分的にミガキ？
91	5	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	カマド周辺	Ⅰb	甕	口縁部	(21.4)	—	(4.5)	ヘラナデ、ナデ?	ヨコナデ、ヘラナデ	—	胎土密、外面化粧粘土付着
91	6	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	カマド周辺	b	甕	口縁部	(20.7)	—	(6.0)	ヨコナデ、ハケメ、ケズリ	ヨコナデ、ヘラナデ	—	胎土密
91	7	三内丸山(9)	D	SI-02	—	覆土	Ⅰa	甕	口縁～底部	(22.0)	(9.2)	31.1	ロクロ→ヘラケズリ	ロクロ、ヘラナデ	平滑	外面ロクロ工具痕?
91	8	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	覆土	Ⅰa	甕	口縁	(18.6)	—	(9.3)	ロクロ→ケズリ	ロクロ	—	内面化粧粘土付着
91	9	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	床面	Ⅰa	甕	口縁～胴部	(13.6)	—	(7.6)	ロクロ	ロクロ	—	胎土密、P-19
91	10	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	周辺	Ⅰa	甕	口縁	17.8	—	—	ロクロ	ロクロ	—	胎土密、P-19
91	11	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	覆土	Ⅰa	甕	口縁～胴部	13.6	—	(12.2)	ロクロ	ロクロ	—	ロクロ目強
91	12	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	周辺・覆土	Ⅱc	甕	口縁～胴部	23.4	—	(12.8)	ヨコナデ、輪積痕	ヨコナデ、ヘラナデ	—	胎土粗砂
91	13	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	周辺・覆土	Ⅱb	甕	口縁	(23.2)	—	(5.7)	ヨコナデ、ヘラケズリ	ヨコナデ、ナデ?	—	胎土粗砂
91	14	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	周辺	Ⅲb	甕	口縁～胴部	(21.8)	—	(15.5)	ヨコナデ、ヘラケズリ	ヨコナデ、ヘラナデ	—	外面有機物付着
91	15	三内丸山(10)	D	SI-02 カマド	—	周辺・覆土	b	甕?	胴部～底部	—	6.8	(5.2)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	胎土粗砂、ロクロ目弱、P-6
91	16	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	周辺・覆土	b	甕	底部	—	8.7	(3.8)	ヘラケズリ	ヘラナデ	木葉痕	胎土密
91	17	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	上面	b	甕	底部	—	7.3	(1.8)	ヘラナデ	ヘラナデ	ヘラナデ	胎土密
91	18	三内丸山(9)	D	SI-02	—	覆土	b	甕	底部	—	(7.9)	(5.3)	ヘラケズリ	ヘラナデ	砂底	胎土粗砂、P-8-2
91	19	三内丸山(9)	D	SI-02	—	覆土	b	甕	底部	—	(10.4)	(2.9)	ヘラナデ	ヘラナデ	砂敷	胎土密
92	1	三内丸山(9)	D	SI-02	—	周辺・1	-	鉢	完形	(10.1)	7.4	(11.2)	ロクロ	ロクロ→ミガキ	回転糸切	内面黒色処理、底部強ロクロナデ、P-21
92	6	三内丸山(9)	D	SI-02 カマド	—	カマド上面	—	坏?	半完形	(11.2)	—	(5.7)	輪積痕	ヘラナデ、輪積痕	平滑	胎土密、底面被熱?支脚に転用?
94	1	三内丸山(9)	D	SI-03	—	床面	Ⅰa	坏	完形	12.9	5.5	5.6	ロクロ	ロクロ	回転糸切	灯明具?、内外面すす状付着、内面黒色処理、P-7

土師器(4)

図	NO.	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	類型	器種	部位	口径cm	底径cm	器高cm	外面	内面	底面	備考
94	2	三内丸山(9)	D	SI-03	—	覆土	Ⅰb	坏	完形	12.7	5.9	5.6	ロクロ	ロクロ	回転糸切	P-3
94	3	三内丸山(9)	D	SI-03	—	床面	Ⅰb	坏	完形	12.7	5.9	5.3	ロクロ	ロクロ	回転糸切	胎土粗砂、P-23
94	4	三内丸山(9)	D	SI-03	—	床面、覆土	Ⅰb	坏	完形	12.6	5.8	5.4	ロクロ	ロクロ	回転糸切	胎土密、ロクロ目強
94	5	三内丸山(9)	D	SI-03	—	貼床	Ⅰb	坏	完形	(13.8)	5.8	6.6	ロクロ	ロクロ	回転糸切	灯明具?、内外面すす状付着
94	6	三内丸山(9)	D	SI-03	—	2、貼床	Ⅰb	坏	完形	(11.7)	5.8	(6.9)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	内面上部すす?付着
94	7	三内丸山(9)	D	SI-03	—	2	Ⅰb	坏	口縁～体部	(14.2)	—	(4.9)	ロクロ	ロクロ	—	胎土粗砂
94	8	三内丸山(9)	D	SI-03	—	覆土	b	坏	体部～底部	—	(5.4)	(2.3)	ロクロ、輪積痕	ロクロ	回転糸切?	外・底面剥落
94	9	三内丸山(9)	D	SI-03	—	貼床覆土	b	坏	体部～底部	—	(5.3)	(4.3)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	胎土粗砂
94	10	三内丸山(9)	D	SI-03	—	貼床	b	甕	体部～底部	—	(6.2)	(3.0)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	胎土粗砂
94	11	三内丸山(9)	D	SI-03 カマド	—	カマド上面他	Ⅰa	甕	口縁～胴部	(25.0)	—	—	ロクロ→ヘラケズリ	ロクロ	—	床面P-24・27
94	12	三内丸山(9)	D	SI-03	—	覆土	Ⅰa	甕	口縁～胴部	(25.4)	—	(8.2)	ロクロ	ロクロ	—	胎土密、小石混
94	13	三内丸山(9)	D	SI-03 カマド	—	右ソデ	Ⅰa	甕	口縁～胴部	(21.6)	—	(8.2)	ロクロ?→ヘラケズリ	ロクロ	—	胎土密、カマドP-3
94	14	三内丸山(9)	D	SI-03	—	覆土	-	甕?	胴部～底部	—	(8.6)	—	ロクロ	ロクロ	回転糸切	外面化粧粘土付着、P-5
95	1	三内丸山(9)	D	SI-03	—	Pit10・覆土	Ⅰb	甕	口縁～胴部	(23.2)	—	(6.5)	ヨコナデ、ヘラケズリ	ヨコナデ、ヘラナデ	—	胎土密、ロクロ成形の可能性有り
95	2	三内丸山(9)	D	SI-03 カマド	—	左ソデ横	Ⅰc	甕	口縁～胴部	(18.0)	—	(11.8)	ヨコナデ、ヘラナデ、指頭、輪積痕	ヨコナデ、ヘラナデ、輪積痕	—	胎土密、カマドP-6(左ソデ)
95	3	三内丸山(9)	D	SI-03 カマド	—	カマド上面他	Ⅰc	甕	完形	(16.0)	(9.3)	(19.4)	ヨコナデ、ヘラナデ、輪積痕	ナデ、輪積痕	ヘラナデ	左側ソデカマドP-2・5
95	4	三内丸山(9)	D	SI-03	—	2	Ⅰb	甕	口縁～胴部	(21.6)	—	(8.4)	ヨコナデ、ヘラナデ?	ヨコナデ、ヘラナデ?	—	内外面砂むき出し、P-2
95	5	三内丸山(9)	D	SI-03	—	覆土	Ⅰc	甕	口縁～胴部	(19.6)	—	(6.4)	ヨコナデ、ケズリ、輪積痕	ヨコナデ、ケズリ、ナデ、輪積痕	—	胎土粗砂
95	6	三内丸山(9)	D	SI-03	—	Pit10・覆土	Ⅲc	甕	口縁～胴部	(16.6)	—	(6.7)	ヨコナデ、ヘラケズリ輪積痕	ヨコナデ、ヘラナデ、輪積痕	—	胎土密
95	7	三内丸山(9)	D	SI-03	—	覆土	Ⅰc	甕	口縁～胴部	(21.2)	—	(6.5)	ヨコナデ、指頭、輪積痕	ヨコナデ、ヘラナデ	—	胎土密
95	8	三内丸山(9)	D	SI-03	—	床面	Ⅲc	甕	口縁～胴部	(20.6)	—	(7.0)	ヘラケズリ、指頭、輪積痕	ヨコナデ、ヘラナデ	—	胎土粗砂、P-25
95	9	三内丸山(9)	D	SI-03 カマド	—	覆土	b	甕	胴部～底部	—	(12.0)	(5.4)	ヘラケズリ	ヘラナデ	砂敷	外面化粧粘土付着
95	10	三内丸山(9)	D	SI-03 カマド	—	上面	b	甕	胴部～底部	—	(6.8)	(2.3)	ヘラケズリ?	ヘラナデ	ヘラケズリ	胎土密
95	11	三内丸山(9)	D	SI-03	—	覆土	b	甕	胴部～口縁	—	(7.0)	(2.1)	ヘラケズリ?	ヘラナデ	平滑	外面剥落
95	12	三内丸山(9)	D	SI-03 カマド	—	覆土、床面他	b	甕	胴部～底部	—	(9.2)	(17.1)	ヘラケズリ	ヘラナデ	ヘラケズリ	P-14・16
97	1	三内丸山(9)	D	SI-10	—	覆土	Ⅰa	甕	口縁～胴部	(23.6)	—	—	ロクロ	ロクロ	—	胎土密、P-2
97	2	三内丸山(9)	D	SI-10	—	覆土	Ⅰa	甕	口縁部	(23.2)	—	(4.9)	ロクロ	ロクロ	—	胎土密

土師器(5)

図	NO.	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	類型	器種	部位	口径cm	底径cm	器高cm	外面	内面	底面	備考
97	3	三内丸山(9)	D	SI-10	—	覆土	Ⅰb	甕	口縁部	(16.6)	—	(6.1)	ヨコナデ、ヘラケズリ	ヨコナデ、ヘラナデ、ケズリ	—	胎土密
99	1	三内丸山(9)	D	SI-07	—	火山灰下	Ⅰb	坏	口縁～胴部	(14.1)	—	(5.1)	ロクロ	ロクロ	—	
99	2	三内丸山(9)	D	SI-07	—	火山灰下､床	a	坏	体部～底部	(12.6)	5.7	(4.6)	ロクロ	ロクロ→ミガキ	回転糸切	胎土密、内面黒色処理
99	3	三内丸山(9)	D	SI-17	—	床面	Ⅰa	坏	胴部～底部	—	(6.0)	(4.9)	ロクロ	ロクロ→ミガキ	回転糸切	内面黒色処理
99	4	三内丸山(9)	D	SI-07 カマド	—	1	b	坏	底部	—	(6.0)	(2.2)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	外面黒色有機物付着(すす?)、P-5
99	5	三内丸山(9)	D	SI-07	—	トレンチ	b	坏	底部	—	(3.2)	(1.6)	ロクロ?	ロクロ	静止糸切?	胎土粗砂
99	6	三内丸山(9)	D	SI-07	—	火山灰下	b	坏?	底部	—	(6.0)	(2.1)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	
99	7	三内丸山(9)	D	SI-07 カマド	—	煙道	b	坏	底部	—	(5.4)	(0.9)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	胎土密
99	8	三内丸山(9)	D	SI-07 カマド	—	1、13	Ⅰa	甕	完形	(27.6)	(8.4)	29.8	ロクロ→ヘラケズリ	ロクロ→ヘラナデ	平滑	胎土密、外面有機物付着、P-8
99	9	三内丸山(9)	D	SI-07 カマド	—	床面、2層	Ⅰa	甕	口縁～胴部	(27.4)	—	(15.3)	ロクロ、ヘラケズリ	ロクロ、ヘラナデ	—	外面化粧粘土付着
99	10	三内丸山(9)	D	SI-07	—	火山灰下	b	甕	口縁	(21.4)	—	(4.9)	ロクロ	ロクロ、ヘラナデ	—	外面有機物付着
99	11	三内丸山(9)	D	SI-07	—	火山灰下、4層	Ⅰa	甕	口縁	(21.0)	—	(5.7)	ロクロ	ロクロ	—	胎土密
99	12	三内丸山(9)	D	SI-07 カマド	—	6層煙道付近	Ⅰa	甕	口縁	(13.2)	—	(5.5)	ロクロ	ロクロ	—	胎土密
99	13	三内丸山(9)	D	SI-07	—	床面	Ⅰa	甕	口縁～胴部	(13.4)	—	(6.9)	ロクロ	ロクロ、ヘラナデ	—	内外面すす状付着(灯明?)
99	14	三内丸山(9)	D	SI-07	—	床面	b	甕	胴部～底部	—	(4.8)	(6.2)	ヘラケズリ	ヘラナデ	ヘラケズリ	外面化粧粘土付着、P-1
99	15	三内丸山(9)	D	SI-07 カマド	—	1	b	坏	胴部～底部	—	(7.8)	(3.0)	ロクロ?	ロクロ	回転糸切	外面剥落P-8
99	16	三内丸山(9)	D	SI-07	—	床面	b	甕	胴部～底部	—	(3.3)	(4.1)	ヘラケズリ	ヘラナデ	平滑	底面有機物
99	17	三内丸山(9)	D	SI-07	—	B-Tm下	b	甕	底部	—	(6.6)	(3.5)	ヘラケズリ	ヘラナデ	ヘラナデ	胎土密
99	18	三内丸山(9)	D	SI-07	—	火山灰下	b	甕	底部	—	(8.6)	(1.8)	ヘラケズリ?	ヘラナデ?	ヘラケズリ?	胎土密
99	19	三内丸山(9)	D	SI-07	—		b	甕	底部	—	(6.4)	(0.9)	ヘラケズリ	ヘラナデ?	ヘラケズリ	胎土密
99	20	三内丸山(9)	D	SI-07	—	B-Tm下	b	甕	胴部～底部	—	(5.2)	(3.2)	ヘラケズリ	ヘラケズリ	ヘラケズリ	胎土密
99	21	三内丸山(9)	D	SI-07	—	床面	b	甕	胴部～底部	—	(11.4)	(1.9)	ヘラケズリ	ヘラナデ	砂敷	胎土密
125	8	三内丸山(9)	D	SK-42	—	覆土下層	a	甕?	底部	—	7.1	(1.9)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	胎土密
152	1	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦP22	Ⅰ	b	坏	口縁	(14.0)	—	(4.1)	ロクロ	ロクロ	—	胎土密
152	2	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦP21	Ⅰ	b	坏	口縁	(14.0)	—	(4.4)	ロクロ	ロクロ	—	胎土密
152	3	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦP22	Ⅰ	b	坏	底部	—	(5.3)	(2.9)	ロクロ	ロクロ	回転糸切?	
152	4	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦH22	Ⅲ	b	坏	底部	—	(5.4)	(2.1)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	胎土密

土師器(6)

図	NO.	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	類型	器種	部位	口径cm	底径cm	器高cm	外面	内面	底面	備考
152	5	三内丸山(9)	D	遺構外	―	表土	b	坏	底部	―	(6.2)	(2.6)	ロクロ	ロクロ	回転?	胎土密
152	6	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦG21	Ⅰ	b	坏	底部	―	(6.0)	(2.9)	ロクロ?	ロクロ?	―	胎土密
152	7	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅧB13	Ⅲ	b	坏	底部	―	(6.0)	(2.4)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	
152	8	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦM19	Ⅲ	a	甕	底部	―	(8.0)	(1.3)	ロクロ	ロクロ	静止糸切?	胎土密
152	9	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦL22	Ⅰ	b	坏	底部	―	(6.2)	(1.5)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	
152	10	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅧB13	Ⅲ	a	坏	底部	―	(7.2)	(2.0)	ロクロ、ケズリ	ヘラミガキ	回転?	内面黒色処理
152	11	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦF19	Ⅱ	Ⅰa	甕	口縁	(26.4)	―	(7.8)	ロクロ	ロクロ、ヘラナデ	―	胎土粗砂
152	12	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦO23	Ⅱ	Ⅰa	甕	口縁	(20.0)	―	(5.4)	ロクロ	ロクロ	―	胎土密
152	13	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦH22	Ⅲ	Ⅰa	甕	口縁	(11.6)	―	(3.4)	ロクロ?	ロクロ?	―	胎土密
152	14	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦE22	Ⅲ	Ⅰb	甕	口縁	(13.6)	―	(4.4)	ヘラケズリ(弱)	ヘラナデ	―	
152	15	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦB21	Ⅰ	Ⅰb	甕	口縁	(11.4)	―	(3.7)	ヘラケズリ	ヘラナデ	―	内面黒色有機物付着
152	16	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅧB13	Ⅲ	Ⅱb	甕	口縁	(21.0)	―	(3.5)	ヨコナデ、ヘラナデ	ヨコナデ、ヘラナデ	―	胎土密
152	17	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦF21	Ⅰ	Ⅱb	甕	口縁	(15.0)	―	(3.0)	ヨコナデ、ヘラケズリ	ヨコナデ、ヘラケズリ	―	胎土密
152	18	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦF18	Ⅱ	b	甕	底部	―	(7.8)	(4.4)	ヘラケズリ	ヘラナデ	ヘラケズリ?	胎土密
152	19	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅦG21	Ⅱ	b	甕	底部	―	(6.6)	(2.7)	ヘラケズリ	ヘラケズリ?	ヘラケズリ	胎土密
152	20	三内丸山(9)	D	遺構外	―	表土	b	甕	底部	―	(7.4)	(3.6)	ヘラケズリ	ヘラナデ	平滑	胎土密
152	21	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅧB13	表土	a	甕	口縁	(8.6)	―	(4.5)	ロクロ	ロクロ	―	胎土密
152	22	三内丸山(9)	D	遺構外	―	Ⅲ	b	甕	口縁	(8.0)	―	(3.9)	ヨコナデ、ヘラケズリ?	ヨコナデ、ヘラナデ	―	胎土密

須恵器(1)

図	NO.	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	器種	部位	口径cm	底径cm	器高cm	外面	内面	底面	備考
42	9	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb、B-Tm上	坏	完形	13.0	5.4	5.6	ロクロ、ケズリ	ロクロ	回転糸切	外面線刻、内外面火襷痕
42	10	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱa、Ⅱb	坏	完形	12.3	5.3	5.8	ロクロ	ロクロ	回転糸切	酸化焔焼成
42	11	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱｂ１	坏	底部	―	4.5	(2.1)	ロクロ	ロクロ	回転→ヘラケズリ	
42	12	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱc	広口壺	口縁部	(21.6)	―	(3.7)	ロクロ	ロクロ	―	
42	13	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb	広口壺	口縁部	(22.2)	―	(3.9)	ロクロ	ロクロ	―	
42	14	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅱb	壺	底部	―	(13.4)	(4.7)	ヘラケズリ→ロクロ?	ヘラナデ	ヘラナデ	
42	15	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	ⅠgⅡa～Ⅱc	鉢	完形	12.7	6.9	11.0	ロクロ	ロクロ	回転糸切	外面線刻有、内外面自然釉、
42	16	三内	C	遺構外	ⅧW・X21～23	Ⅰc、Ⅱb	鉢	口縁～胴部	(9.2)	―	(10.2)	ロクロ	ロクロ	―	
92	2	三内丸山(9)	D	SI-02	―	覆土	坏	口縁～体部	(13.2)	(5.2)	(5.0)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	還元、P-7
92	3	三内丸山(9)	D	SI-02カマド	―		壺	口縁部	(19.6)	―	―	ロクロ	ロクロ	―	還元
95	13	三内丸山(9)	D	SI-03カマド	―	Pit3・10覆土、貼床	坏	口縁～体部	(12.6)	―	(4.3)	ロクロ	ロクロ	―	
95	14	三内丸山(9)	D	SI-03	―	2	坏	口縁～体部	(14.2)	―	(4.0)	ロクロ	ロクロ	―	

須恵器(2)

図	NO.	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	器種	部位	口径cm	底径cm	器高cm	外面	内面	底面	備考
95	15	三内丸山(9)	D	SI-03	―	2	坏	体部～底部	―	(6.2)	(3.7)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	内面火襷痕、酸化焔焼成
95	16	三内丸山(9)	D	SI-03	―	床直	坏	底部	―	(5.6)	―	ロクロ	ロクロ	回転糸切	P-17
95	17	三内丸山(9)	D	SI-03	―	覆土	坏	体部～底部	―	(5.4)	(1.4)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	酸化焔焼成
95	18	三内丸山(9)	D	SI-03	―	2	壺?	底部	―	(11.0)	―	ヘラケズリ	ヘラナデ	ヘラケズリ	
95	19	三内丸山(9)	D	SI-03 遺構外	―	Pit4、床面、 Ⅱ、Ⅲ	壺	胴部	―	―	(15.7)	ロクロ、 ヘラケズリ	ロクロ	―	P-10・20・21
97	4	三内丸山(9)	D	SI-10	―	覆土	坏	口縁～体部	(13.0)	―	(3.8)	ロクロ	ロクロ	―	内面火襷痕
97	5	三内丸山(9)	D	SI-10	―	覆土	坏	口縁～体部	(13.2)	―	(3.4)	ロクロ	ロクロ	―	
99	22	三内丸山(9)	D	SI-07	―	13層、 火山灰下	坏	完形	(13.2)	(5.6)	(5.2)	ロクロ	ロクロ	回転糸切?	外面ヘラ記号
99	23	三内丸山(9)	D	SI-07	―	火山灰下	長頸壺	口縁部	(9.0)	―	(1.8)	ロクロ	ロクロ	―	
100	1	三内丸山(9)	B	遺構外	VIX23	Ⅱ、B-Tm上	坏	口縁～体部	(13.6)	(5.5)	(6.0)	ロクロ	ロクロ	静止糸切	内外面火襷痕顕著
152	23	三内丸山(9)	B	遺構外	VIX23	Ⅰ、Ⅱ	坏	完形	(13.2)	(5.6)	(5.6)	ロクロ	ロクロ	回転糸切?	内外面火襷痕
152	24	三内丸山(9)	B	遺構外	―	Ⅰ	坏	口縁～体部	(12.4)	―	―	ロクロ	ロクロ	―	外面火ハジケ痕
152	25	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅧS22	Ⅰ	坏	口縁～体部	(12.4)	―	―	ロクロ	ロクロ	―	内面火襷痕
152	26	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅧS22	Ⅱ	坏	口縁～体部	(12.4)	―	―	ロクロ	ロクロ	―	酸化焔焼成
152	27	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅧS22	Ⅰ	坏	口縁～体部	(12.4)	―	―	ロクロ	ロクロ	―	酸化焔焼成
152	28	三内丸山(9)	B	遺構外	―		坏	底部	―	(6.6)	(1.6)	ロクロ	ロクロ	回転糸切?	外面火襷痕
152	29	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅧO22	Ⅰ	坏	底部	―	(5.0)	(1.4)	ロクロ	ロクロ	回転糸切	酸化焔焼成?
152	30	三内丸山(9)	B	遺構外	ⅧB21	Ⅰ	坏	底部	―	(6.4)	(1.7)	ロクロ	ロクロ	回転糸切?	酸化焔焼成
152	31	三内丸山(9)	D	遺構外	―	表土	長頸壺	口縁部	(12.6)	―	(1.6)	ロクロ	ロクロ	―	
152	32	三内丸山(9)	D	遺構外	ⅧB13	Ⅲ	壺	底部	―	(10.2)	(1.4)	ヘラナデ?	ヘラナデ	高台	外面自然釉

製塩土器

図版番号	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	部位	外面	内面	積み上げ
042-19	三内	C区	―	北沢	Ⅱb層	口縁部	ナデ、輪積み痕	ナデ	内傾
042-20	三内	C区	―	北沢	Ⅱb層	口縁部	ナデ、輪積み痕	ナデ	
042-21	三内	C区	―	北沢	Ⅱb層	口縁部	ナデ	ナデ	内傾
042-22	三内	C区	―	北沢	Ⅱa層	胴部	ナデ、輪積み痕	ナデ	―
042-23	三内	C区	―	北沢	Ⅱb層	胴部	ナデ、輪積み痕	ナデ	内傾
042-24	三内	C区	―	北沢	Ⅱb層	胴部	ナデ、輪積み痕	ナデ	
095-20	三内丸山(9)	D区	SI-03	―	床面	胴部	ナデ、輪積み痕	ナデ	
095-21	三内丸山(9)	D区	SI-03	―	2層	口縁部	ナデ、輪積み痕	ナデ	内傾
095-22	三内丸山(9)	D区	SI-03	―	カマド右袖付近	底部	柾目状圧痕	ナデ	
095-23	三内丸山(9)	D区	SI-03	―	カマド右袖付近	底部	柾目状圧痕	ナデ	

支脚

図番号	遺跡	区	遺構名	層位	器高(mm)	天井部径(mm)	底径(mm)	器厚(mm)	胎土
092-05	三内丸山(9)	D区	SI-02	カマド	163	98	97	14	砂粒を多く含む

鉄関連遺物(鉄器・鉄塊系遺物)

図版番号	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	種別	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	メタル度
042-17	三内	C区	遺構外	ⅨB22	不明	鉄鉗	(227.0)+(140.5)	13.0	7.0	62.7	◎
042-18	三内	C区	遺構外		Ⅱ層	鉄塊	38.0	27.0	29.0	79.9	◎
092-10	三内丸山(9)	D区	SI-02	カマド近く	覆土	紡錘車(軸)？	65.0	6.5	4.5	2.7	△
092-11	三内丸山(9)	D区	SI-02	カマド近く	覆土	刀子	31.0	17.5	3.5	3.6	◎
096-08	三内丸山(9)	D区	SI-03		覆土	紡錘車(車)	60.5	58.0	18.5	26.1	△

鉄関連遺物(羽口)

図版番号	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	器厚(mm)	内径mm)
042-26	三内	C区	遺構外	C北沢	Ⅱb層	(630)	(620)	(360)	15	32
092-04	三内丸山(9)	D区	SI-02		覆土	(366)	99	98	10～40	53

木製品(1)

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	種別	樹種	木取り	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	湿重量(g)	備考
08-01	三内	C区	SX-01	―	Ⅱb層	杭	カエデ属	割材	650.0	36.5	22.0	294.8	
09-01	三内	C区	SX-03	―	Ⅱb層	矢板	アスナロ	柾目材	501.5	85.0	12.0	317.5	W-22
09-02	三内	C区	SX-03	―	Ⅱb層	割材	アスナロ	割材	496.0	33.5	19.0	255.2	W-6
09-03	三内	C区	SX-03	―	Ⅱb層	割材	アスナロ	割材	556.0	29.0	23.0	191.1	W-17
09-04	三内	C区	SX-03	―	Ⅱb層	板材	アスナロ	割材	368.0	85.0	25.0	427.4	9-9と接合。W-23
09-05	三内	C区	SX-03	―	Ⅱb層	板材	アスナロ	柾目材	261.5	32.0	8.0	46.1	W-9
09-06	三内	C区	SX-03	―	Ⅱb層	板材	アスナロ	柾目材	210.0	42.0	4.5	30.5	W-12
09-07	三内	C区	SX-03	―	Ⅱb層	板材	アスナロ	柾目材	213.0	21.0	8.0	29.6	W-10

木製品(2)

図番号	遺跡	区	遺構名	グリッド	層位	種別	樹種	木取り	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	湿重量(g)	備考
09-08	三内	C区	SX-03	―	Ⅱb層	板材	アスナロ	柾目材	196.5	47.0	8.0	53.0	W-3
09-09	三内	C区	SX-03	―	Ⅱb層	板材	アスナロ	柾目材	358.5	59.5	24.0	249.2	9-4と接合。W-21
09-10	三内	C区	SX-03	―	Ⅱb層	板材	アスナロ	柾目材	290.0	32.0	11.0	67.8	W-18
43-01	三内	C区	遺構外	ⅧX21	Ⅱb層	大足(足板)	アスナロ	柾目材	491.0	155.5	9.5	651.6	
43-02	三内	C区	遺構外	ⅧW22	Ⅱb層	刳物(槽)	アスナロ	柾目材	206.0	84.5	7.5	257.3	高さ：3cm
43-03	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	下駄(歯)	オニグルミ	柾目材	43.0	29.0	25.5	18.5	
43-04	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	火鑽臼	未同定	柾目材	62.0	22.0	5.5	4.9	
43-05	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	櫛	ハイノキ属	板目材	33.0	22.0	8.5	2.7	
43-06	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	不明木製品	アスナロ	柾目材	58.0	26.5	17.0	13.8	
43-07	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	火鑽棒	未同定	削り出し	31.0	14.5	11.0	3.6	
43-08	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	不明木製品(柄)	未同定	削り出し	212.0	17.0	12.0	32.5	
43-09	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	矢中柄	カツラ	削り出し	104.0	12.0	6.5	4.6	
43-10	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	木釘？	アスナロ	削り出し	86.0	7.5	6.0	1.9	
43-11	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	不明木製品	アスナロ	削り出し	129.5	18.0	12.0	19.7	
44-01	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	アスナロ	削り出し	304.0	6.0	7.0	5.1	
44-02	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	未同定	削り出し	(255.0)	7.0	7.5	6.3	
44-03	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	未同定	削り出し	(287.0)	6.0	8.0	7.8	
44-04	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	アスナロ	削り出し	236.0	5.5	7.0	5.6	
44-05	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	未同定	削り出し	251.0	7.0	6.0	7.7	
44-06	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	未同定	削り出し	(257.0)	8.0	4.0	6.4	
44-07	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	未同定	削り出し	216.5	5.0	5.5	3.3	
44-08	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	未同定	削り出し	89.0	8.0	5.0	2.3	
44-09	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	未同定	削り出し	141.5	5.5	5.0	1.7	
44-10	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	未同定	削り出し	147.5	6.5	4.0	3.1	
44-11	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	未同定	削り出し	(118.5)	5.0	6.0	2.1	
44-12	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	未同定	削り出し	177.0	6.0	6.0	2.9	
44-13	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	アスナロ	削り出し	159.0	7.0	4.0	2.6	
44-14	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	未同定	削り出し	91.0	6.5	6.0	2.0	
44-15	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	未同定	削り出し	101.5	8.0	3.0	2.3	
44-16	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	未同定	削り出し	134.0	7.0	6.0	3.3	
44-17	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	未同定	削り出し	90.0	6.5	3.5	1.5	
44-18	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	アスナロ	削り出し	52.0	6.0	6.0	1.2	
44-19	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	未同定	削り出し	60.5	8.5	3.5	2.0	
44-20	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	アスナロ	削り出し	(120.0)	4.5	6.0	1.5	
44-21	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	未同定	削り出し	140.5	5.0	6.0	3.0	
44-22	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	未同定	削り出し	(173.0)	4.0	6.5	2.5	
44-23	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	未同定	削り出し	200.5	7.0	4.5	4.4	
44-24	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箸	未同定	削り出し	180.0	8.0	5.0	4.7	
44-25	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	棒状木製品	未同定	削り出し	56.0	13.0	9.0	5.1	
44-26	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱc層	棒状木製品	未同定	削り出し	86.0	23.0	9.0	22.0	
44-27	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	棒状木製品	アスナロ	削り出し	222.5	22.0	16.0	49.0	
44-28	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	棒状木製品	アスナロ	削り出し	13.6	15.0	12.0	17.4	
44-29	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	棒状木製品	未同定	削り出し	160.0	16.0	9.0	17.4	
44-30	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	棒状木製品	未同定	削り出し	158.5	16.0	10.0	17.7	
44-31	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	棒状木製品	未同定	削り出し	172.0	15.5	10.0	17.5	
44-32	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	棒状木製品	アスナロ	削り出し	239.5	10.0	9.0	16.3	
44-33	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	棒状木製品	未同定	削り出し	212.0	17.0	12.0	32.5	
44-34	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	棒状木製品	アスナロ	削り出し	188.5	10.0	9.0	11.8	
44-35	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	棒状木製品	アスナロ	削り出し	222.0	20.0	13.0	44.1	
45-01	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	棒状木製品	未同定	削り出し	143.0	31.0	19.0	56.8	
45-02	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	棒状木製品	未同定	削り出し	91.0	8.0	8.0	3.1	
45-03	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	棒状木製品	未同定	削り出し	75.0	8.0	7.0	2.5	
45-04	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	棒状木製品	アスナロ	削り出し	111.5	9.0	5.0	3.8	
45-05	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箆状木製品	未同定	削り出し	95.0	22.5	3.0	4.4	
45-06	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箆状木製品	アスナロ	削り出し	73.5	15.0	2.0	1.0	
45-07	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箆状木製品	未同定	削り出し	48.0	19.0	5.0	3.3	
45-08	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箆状木製品	未同定	削り出し	52.0	18.0	6.5	4.0	
45-09	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箆状木製品	アスナロ	削り出し	13.6	15.0	4.5	6.8	
45-10	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箆状木製品	未同定	削り出し	150.0	24.0	5.0	13.2	
45-11	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	箆状木製品	アスナロ	削り出し	207.0	18.0	7.0	19.8	
45-12	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱc層	曲物(側板)	未同定	柾目材	48.0	16.0	3.5	1.7	
45-13	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	曲物(側板)	アスナロ	柾目材	25.0	20.0	4.0	1.7	
45-14	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	曲物(側板)	アスナロ	柾目材	85.0	43.0	5.0	13.3	
45-15	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	曲物(側板)	未同定	柾目材	103.0	35.0	4.0	12.2	
45-16	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	曲物(側板)	未同定	柾目材	140.5	25.0	4.5	10.7	
45-17	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	曲物(側板)	未同定	柾目材	189.5	41.0	3.5	21.7	
45-18	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	木端	未同定	割材	46.0	37.0	11.0	19.1	
45-19	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	木端	未同定	割材	70.0	39.5	26.0	49.0	
45-20	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	樹皮巻	未同定	―	43.5	11.0	14.5	3.3	
45-21	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	樹皮巻	未同定	―	42.0	25.0	22.0	6.5	
45-22	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	樹皮巻	未同定	―	25.5	31.0	28.0	6.9	
45-23	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	樹皮巻	未同定	―	57.0	15.5	23.5	3.6	
45-24	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	杭	未同定	割材	126.0	48.0	36.5	115.4	
45-25	三内	C区	遺構外	ⅧW21～23	Ⅱb層	杭	未同定	割材	333.0	45.0	34.0	346.2	

三内丸山(9)遺跡 新旧遺構名対照表

［竪穴住居跡:SI］

遺構名	(略称)	旧遺構番号	時代
第1号竪穴住居跡	SI-01	DSI-01	縄文
第2号竪穴住居跡	SI-02	DSI-02	平安
第3号竪穴住居跡	SI-03	DSI-03	平安
第4号竪穴住居跡	SI-04	DSI-04	縄文
第5号竪穴住居跡	SI-05	DSI-05	縄文
第6号竪穴住居跡	SI-06	DSI-06	縄文
第7号竪穴住居跡	SI-07	DSI-07	平安
第8号竪穴住居跡	SI-08	DSI-08	縄文
第9号竪穴住居跡	SI-09	DSI-09	縄文
第10号竪穴住居跡	SI-10	DSI-10	平安
第11号竪穴住居跡	SI-11	DSI-11	縄文
第12号竪穴住居跡	SI-12	DSI-12	縄文
第13号竪穴住居跡	SI-13	DSI-13	縄文
第14号竪穴住居跡	SI-14	DSI-14	縄文
第15号竪穴住居跡	SI-15	DSI-15	縄文
第16号竪穴住居跡	欠番		
第17号竪穴住居跡	SI-17	DSI-17	縄文
第18号竪穴住居跡	SI-18	DSI-18	縄文
第19号竪穴住居跡	SI-19	DSI-19	縄文
第20号竪穴住居跡	変更（SK-116）		
第21号竪穴住居跡	SI-21	DSI-21	縄文
第22号竪穴住居跡	変更（SK-117）		
第23号竪穴住居跡	SI-23	DSI-23	縄文
第24号竪穴住居跡	SI-24	DSI-24	縄文
第25号竪穴住居跡	SI-25	BSI-01	縄文
第26号竪穴住居跡	SI-26	BSI-02	縄文
第27号竪穴住居跡	SI-27	BSI-04	縄文

※BSI-03は第４号性格不明遺構に変更

［掘立柱建物跡柱：SB］

遺構名	(略称)	旧遺構番号	時代
第1号掘立柱建物跡	SB-01	DSB-01	縄文
第2号掘立柱建物跡	SB-02	DSB-02	縄文
第3号掘立柱建物跡	SB-03	BSB-01	古代
第4号掘立柱建物跡	SB-04	DSB-04	古代

［土器埋設遺構：SR］

遺構名	(略称)	旧遺構番号	時代
第1号土器埋設遺構	SR-01	DSR-01	縄文
第2号土器埋設遺構	SR-02	DSR-02	縄文

※BSR-01は第26号竪穴住居跡に変更

［焼土遺構：SN］

遺構名	(略称)	旧遺構番号	時代
第1号焼土遺構	SN-01	DSN-13	不明
第2号焼土遺構	SN-02	BSN-01	縄文
第3号焼土遺構	SN-03	BSN-02	縄文

［性格不明・木組・畝状遺構：SX］

遺構名	(略称)	旧遺構番号	時代
第1号性格不明遺構	SX-01	DSX-01	縄文
第2号性格不明遺構	欠番		
第3号性格不明遺構	SX-03	DSX-03	縄文
第4号性格不明遺構	SX-04	BSX-10	縄文
第1号木組遺構	SX-05	BSX-06	古代
第1号畝状遺構	SX-06	BSX-02	古代
第2号畝状遺構	SX-07	BSX-03	古代

［集石遺構：SQ］

遺構名	(略称)	旧遺構番号	時代
第1号集石遺構	SQ-01	BSX-08	縄文
第2号集石遺構	SQ-02	BSX-09	縄文

［土坑：SK］

遺構名	(略称)	旧遺構番号	時代
第1号土坑	SK-01	DSK-01	縄文
第2号土坑	SK-02	DSK-02	縄文
第3号土坑	SK-03	DSK-03	不明
第4号土坑	SK-04	DSK-04	不明
第5号土坑	SK-05	DSK-05	不明
第6号土坑	SK-06	DSK-06	不明
第7号土坑	SK-07	DSK-07	不明
第8号土坑	SK-08	DSK-08	縄文
第9号土坑	SK-09	DSK-09	縄文
第10号土坑	SK-10	DSK-10	不明
第11号土坑	変更（SB-01PIT4）		
第12号土坑	SK-12	DSK-12	不明
第13号土坑	SK-13	DSK-13	不明
第14号土坑	SK-14	DSK-14	縄文
第15号土坑	SK-15	DSK-15	縄文
第16号土坑	SK-16	DSK-16	縄文
第17号土坑	SK-17	DSK-17	不明
第18号土坑	SK-18	DSK-18	不明
第19号土坑	SK-19	DSK-19	不明
第20号土坑	SK-20	DSK-20	不明
第21号土坑	SK-21	DSK-21	縄文
第22号土坑	SK-22	DSK-22	不明
第23号土坑	SK-23	DSK-23	不明
第24号土坑	変更（SB-02PIT1）		
第25号土坑	変更（SB-02PIT4）		
第26号土坑	SK-26	DSK-26	縄文
第27号土坑	SK-27	DSK-27	縄文
第28号土坑	変更（SB-02PIT2）		
第29号土坑	SK-29	DSK-29	不明
第30号土坑	SK-30	DSK-30	不明
第31号土坑	SK-31	DSK-31	縄文
第32号土坑	SK-32	DSK-32	縄文
第33号土坑	SK-33	DSK-33	不明
第34号土坑	SK-34	DSK-34	不明
第35号土坑	欠番		
第36号土坑	SK-36	DSK-36	縄文
第37号土坑	SK-37	DSK-37	不明
第38号土坑	SK-38	DSK-38	不明
第39号土坑	変更(SB-02PIT3)		
第40号土坑	SK-40	DSK-40	不明
第41号土坑	SK-41	DSK-41	不明
第42号土坑	SK-42	DSK-42	不明
第43号土坑	SK-43	DSK-43	不明
第44号土坑	SK-44	DSK-44	不明
第45号土坑	変更（SB-02PIT6）		
第46号土坑	変更（SB-02PIT5）		
第47号土坑	SK-47	DSK-47	
第48号土坑	SK-48	DSK-48	縄文
第49号土坑	SK-49	DSK-49	縄文
第50号土坑	SK-50	DSK-50	不明
第51号土坑	SK-51	DSK-51	縄文
第52号土坑	SK-52	DSK-52	不明
第53号土坑	SK-53	DSK-53	不明
第54号土坑	SK-54	DSK-54	縄文
第55号土坑	SK-55	DSK-55	不明
第56号土坑	SK-56	DSK-56	不明
第57号土坑	欠番		
第58号土坑	SK-58	DSK-58	不明
第59号土坑	SK-59	DSK-59	不明
第60号土坑	SK-60	DSK-60	不明
第61号土坑	SK-61	DSK-61	不明
第62号土坑	SK-62	DSK-62	不明

［土坑：SK］

遺構名	(略称)	旧遺構番号	時代
第63号土坑	SK-63	DSK-63	不明
第64号土坑	SK-64	DSK-64	不明
第65号土坑	SK-65	DSK-65	縄文
第66号土坑	SK-66	DSK-66	不明
第67号土坑	SK-67	DSK-67	不明
第68号土坑	SK-68	DSK-68	不明
第69号土坑	SK-69	DSK-69	不明
第70号土坑	SK-70	DSK-70	不明
第71号土坑	SK-71	DSK-71	縄文
第72号土坑	SK-72	DSK-72	縄文
第73号土坑	SK-73	DSK-73	縄文
第74号土坑	SK-74	DSK-74	縄文
第75号土坑	SK-75	DSK-75	縄文
第76号土坑	SK-76	DSK-76	不明
第77号土坑	SK-77	DSK-77	不明
第78号土坑	SK-78	DSK-78	不明
第79号土坑	SK-79	DSK-79	縄文
第80号土坑	SK-80	DSK-80	縄文
第81号土坑	SK-81	DSK-81	不明
第82号土坑	SK-82	DSK-82	不明
第83号土坑	SK-83	DSK-83	不明
第84号土坑	SK-84	DSK-84	縄文
第85号土坑	SK-85	DSK-85	縄文
第86号土坑	SK-86	DSK-86	不明
第87号土坑	SK-87	DSK-87	不明
第88号土坑	SK-88	DSK-88	不明
第89号土坑	SK-89	DSK-89	縄文
第90号土坑	SK-90	DSK-90	不明
第91号土坑	SK-91	DSK-91	縄文
第92号土坑	SK-92	DSK-92	不明
第93号土坑	SK-93	DSK-93	縄文
第94号土坑	SK-94	DSK-94	不明
第95号土坑	SK-95	DSK-95	不明
第96号土坑	SK-96	DSK-96	縄文
第97号土坑	SK-97	DSK-97	縄文
第98号土坑	SK-98	DSK-98	縄文
第99号土坑	SK-99	DSK-99	不明
第100号土坑	SK-100	DSK-100	不明
第101号土坑	SK-101	DSK-101	不明
第102号土坑	SK-102	DSK-102	縄文
第103号土坑	SK-103	DSK-103	縄文
第104号土坑	SK-104	DSK-104	不明
第105号土坑	SK-105	DSK-105	不明
第106号土坑	SK-106	DSK-106	不明
第107号土坑	SK-107	DSK-107	不明
第108号土坑	SK-108	DSK-108	縄文
第109号土坑	SK-109	DSK-109	不明
第110号土坑	SK-110	DSK-110	不明
第111号土坑	SK-111	DSK-111	縄文
第112号土坑	SK-112	DSK-112	不明
第113号土坑	SK-113	DSK-113	不明
第114号土坑	SK-114	DSK-114	縄文
第115号土坑	SK-115	DSK-115	不明
第116号土坑	SK-116	DSK-116	縄文
第117号土坑	SK-117	DSK-117	縄文
第118号土坑	SK-118	DSK-118	不明
第119号土坑	SK-119	BSK-01	不明
第120号土坑	SK-120	BSK-03	不明
第121号土坑	SK-121	BSK-04	不明
第122号土坑	SK-122	BSK-05	縄文
第123号土坑	SK-123	BSK-06	縄文
第124号土坑	SK-124	BSK-07	不明
第125号土坑	SK-125	BSK-08	縄文

遺構名	(略称)	旧遺構番号	時代
第126号土坑	SK-126	BSK-09	不明
第127号土坑	SK-127	BSK-11	不明
第128号土坑	SK-128	BSK-12	不明
第129号土坑	SK-129	BSK-13	不明
第130号土坑	SK-130	BSK-14	不明
第131号土坑	SK-131	BSK-15	不明
第132号土坑	SK-132	BSK-16	不明
第133号土坑	SK-133	BSK-17	不明
第134号土坑	SK-134	BSK-18	縄文
第135号土坑	SK-135	BSK-19	不明
第136号土坑	SK-136	BSK-20	不明
第137号土坑	SK-137	BSK-22	縄文
第138号土坑	SK-138	BSK-23	不明
第139号土坑	SK-139	BSK-24	不明
第140号土坑	SK-140	DSI-08B	不明

※BSK-02は第25号竪穴住居跡に変更
※BSK-21は第27号竪穴住居跡に変更
※BSK-10・25は欠番

写真図版（1）

三内遺跡

調査区全景（S→）

調査開始前の状況（NE→）

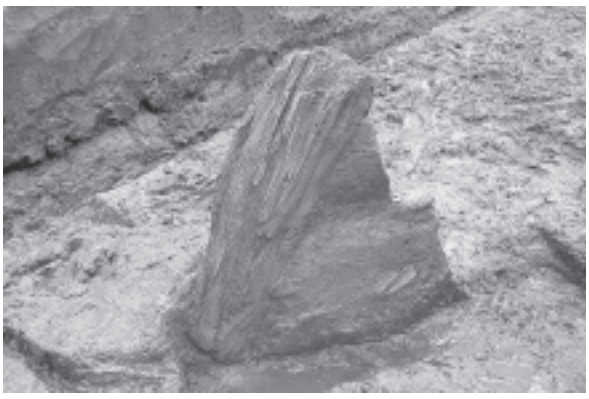
第Ⅱb層　十和田a火山灰検出状況（SE→）

第Ⅱb層　大足（図43-1）出土状況（N→）

第1号性格不明遺構　検出状況（W→）

第1号性格不明遺構　断面（SW→）

第Ⅱb層　木製品出土状況（E→）



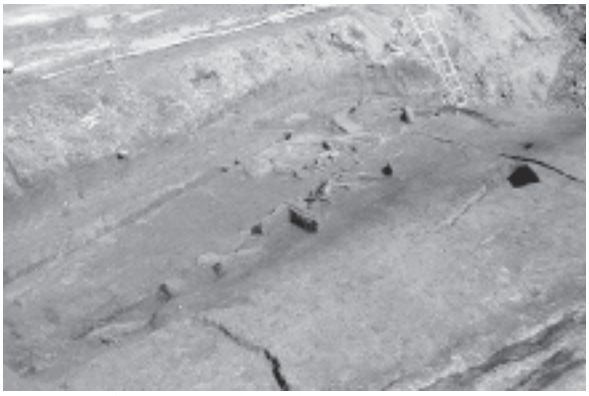
第2号性格不明遺構　断面（W→）

写真1　遠景・第Ⅱb層遺物出土状況・第1・2号性格不明遺構

第3号性格不明遺構　検出状況（E→）

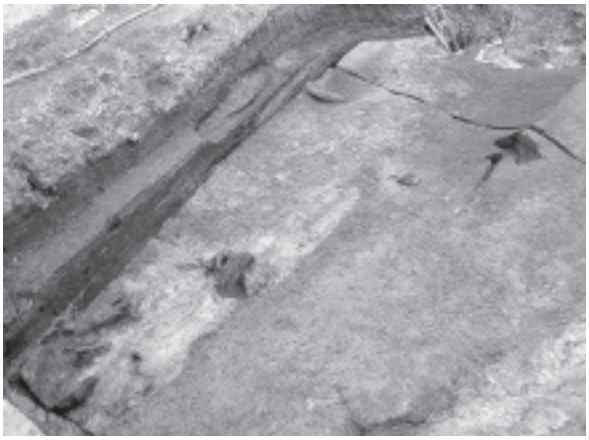
第3号性格不明遺構　検出状況（W→）

第Ⅱc層　自然木検出状況（SE→）

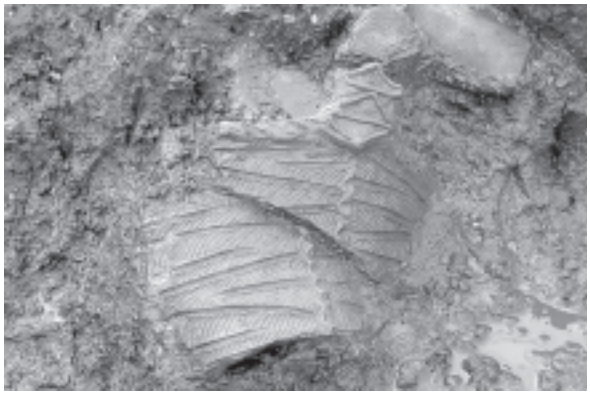


第Ⅱc層　自然木検出状況（NW→）

第Ⅱf層　旧河道検出状況（SE→）



第Ⅱf層　旧河道検出状況（S→）

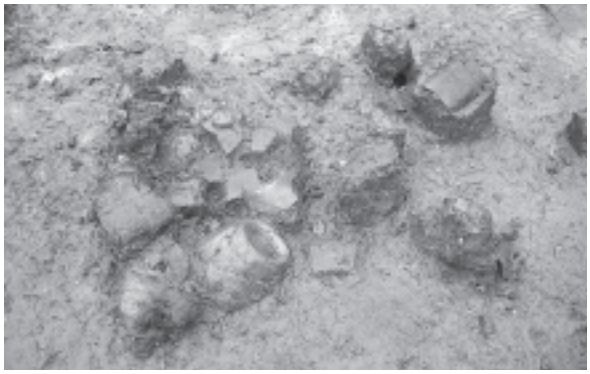


第Ⅲa層　縄文土器（図11-4）出土状況（S→）

第Ⅲa層　縄文土器（図18-1,図21-3）出土状況（S→）

写真2　第3号性格不明遺構・第Ⅱc・Ⅱf・Ⅲa層

第IIIa層　遺物出土状況（N→）



第IIIa層　遺物出土状況（E→）

第IIIa層　遺物出土状況（S→）

VIIIW～VIIIXグリッド完掘（S→）

第IIIa層　遺物出土状況（S→）

三内遺跡作業風景（N→）

写真3　IIIa層遺物出土状況・遠景

写真4　第1･3号性格不明遺構出土木製品

写真5　遺構外出土縄文土器(1)

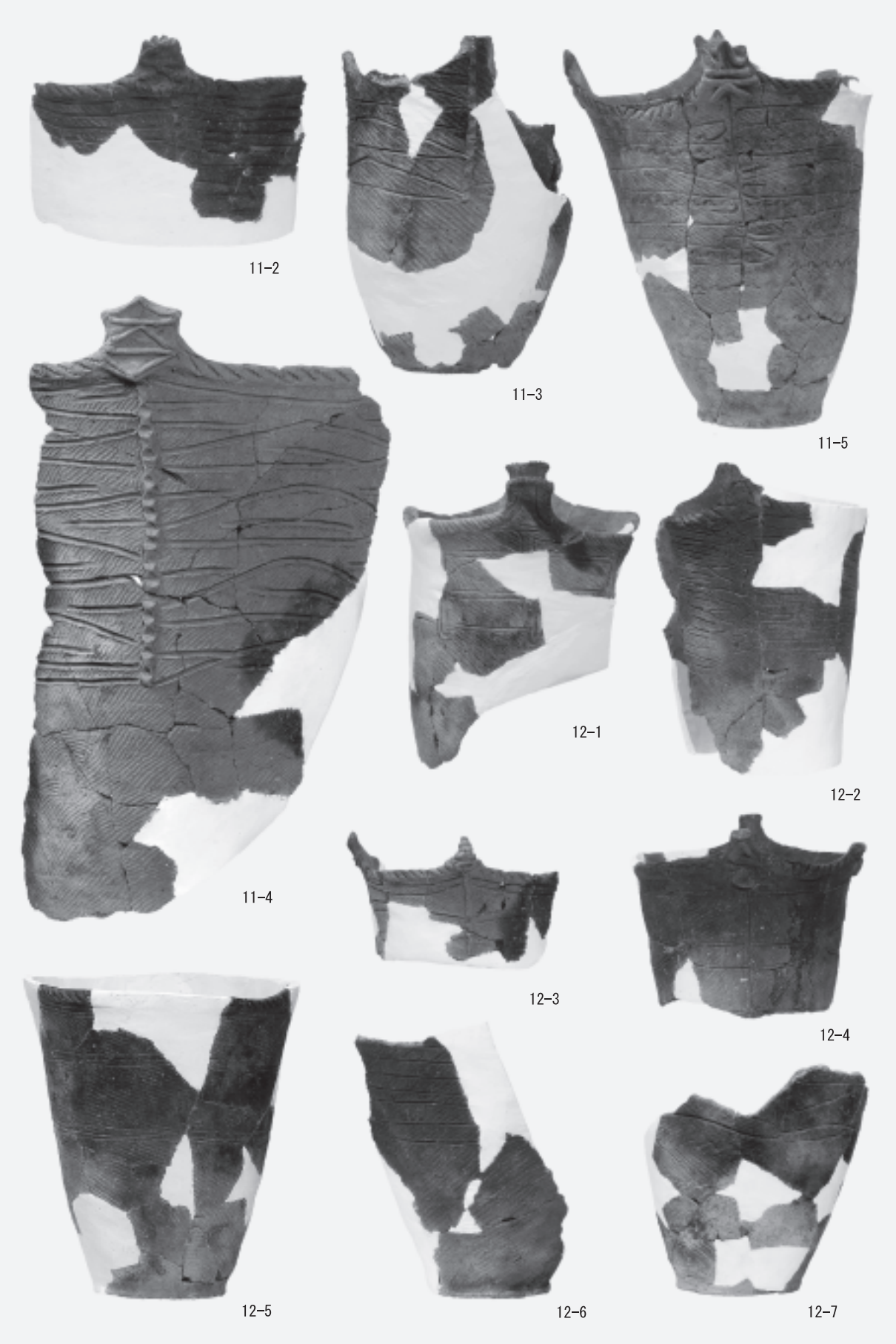


写真6　遺構外出土縄文土器(2)

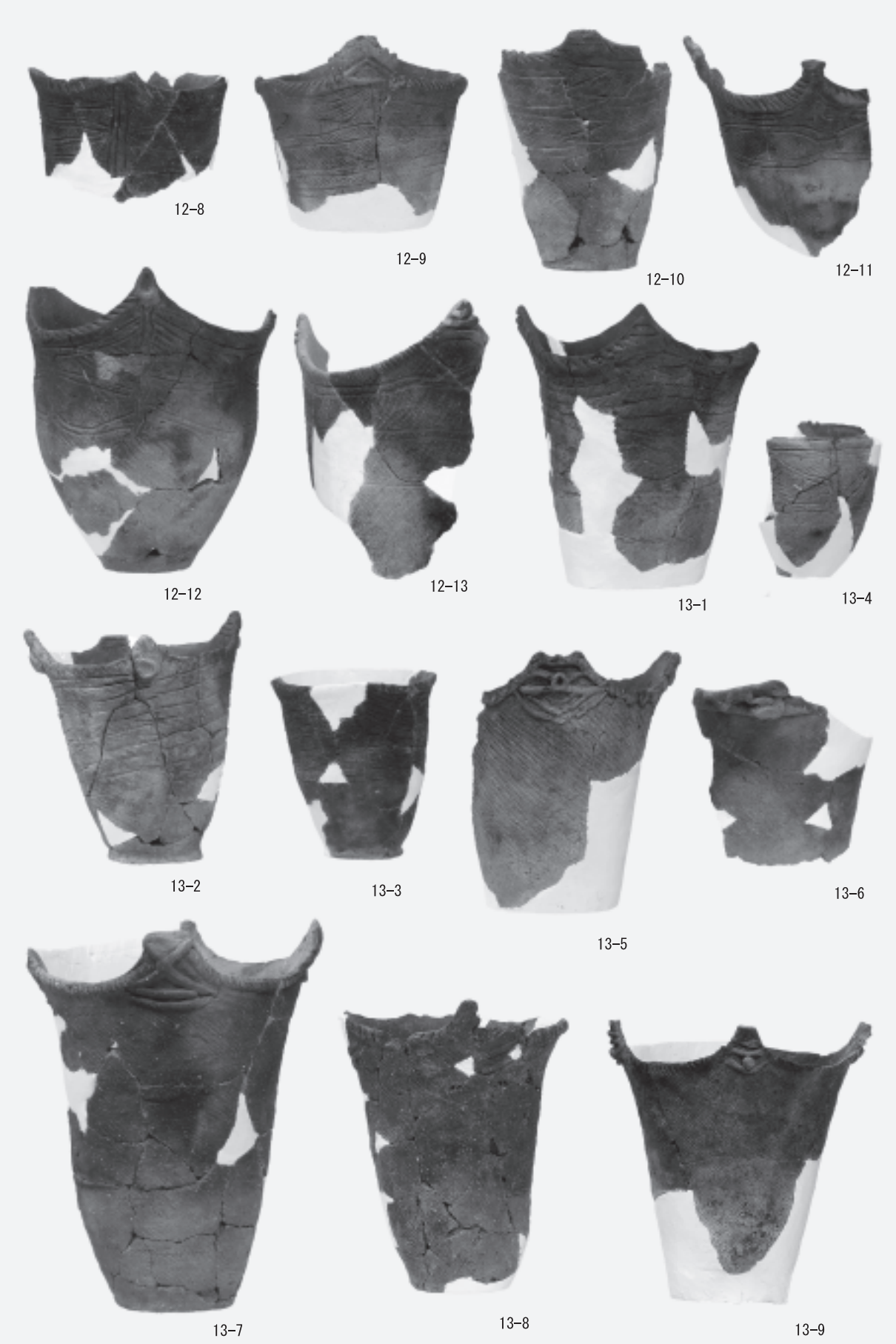


写真7　遺構外出土縄文土器(3)

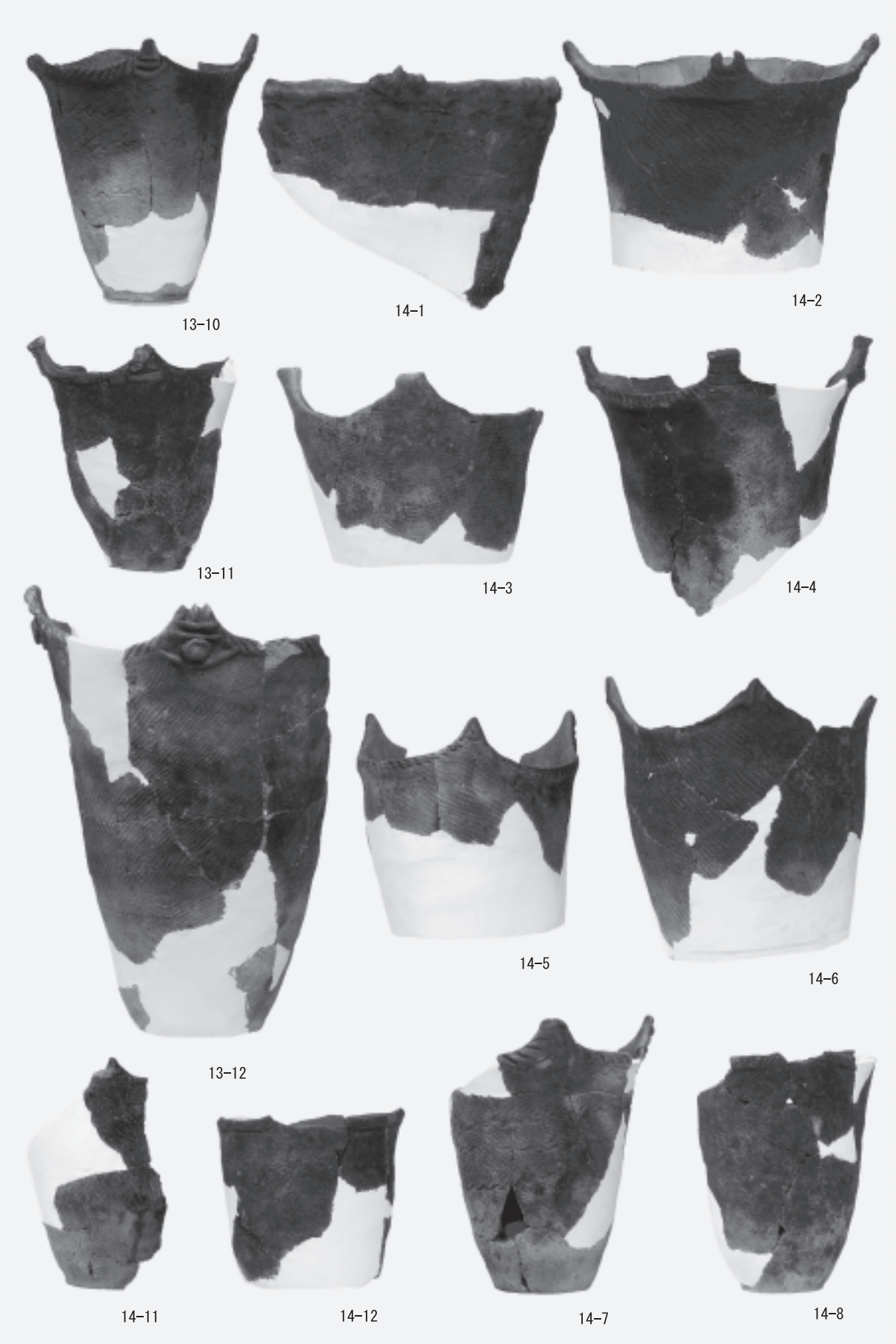


写真8　遺構外出土縄文土器(4)

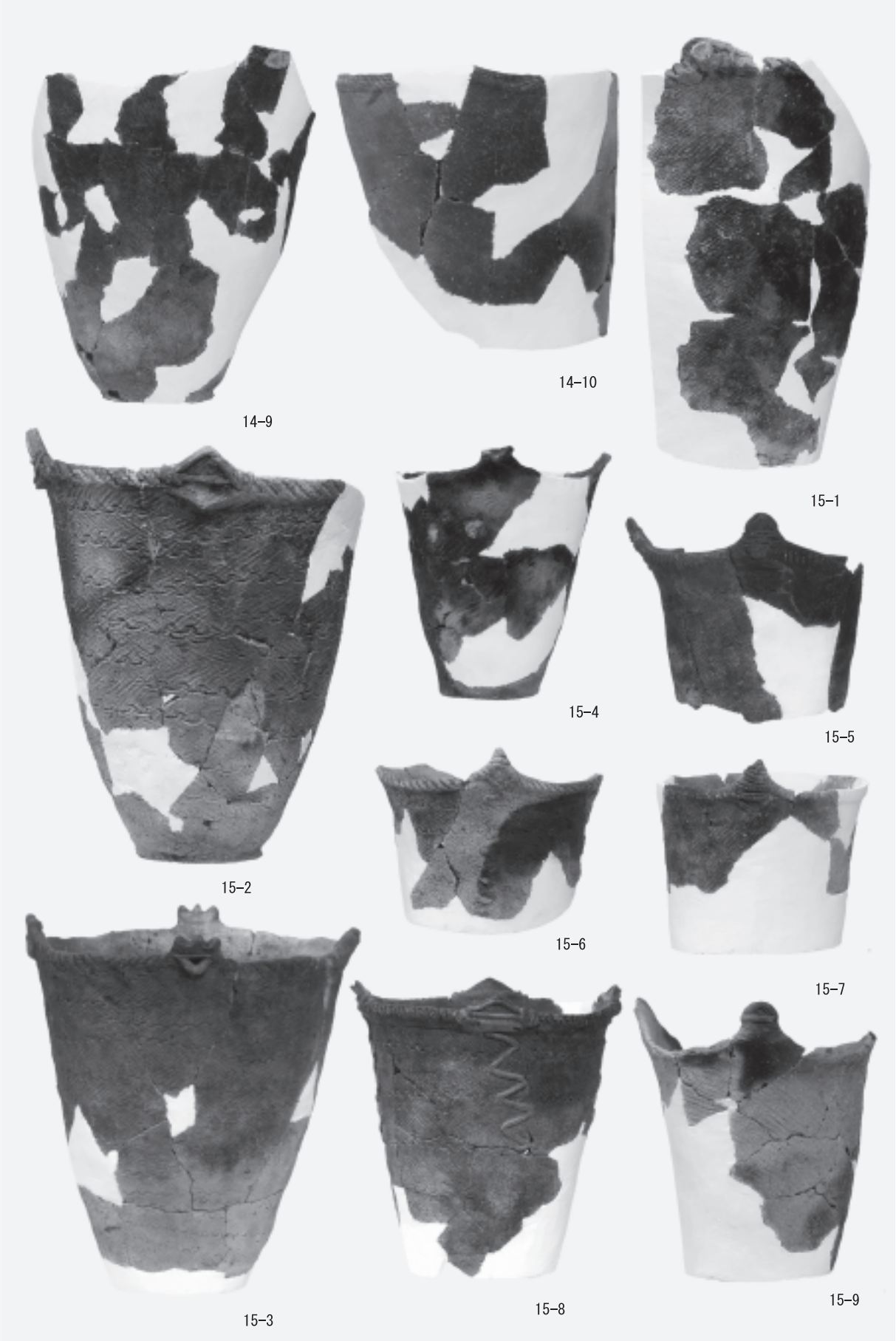


写真9　遺構外出土縄文土器(5)

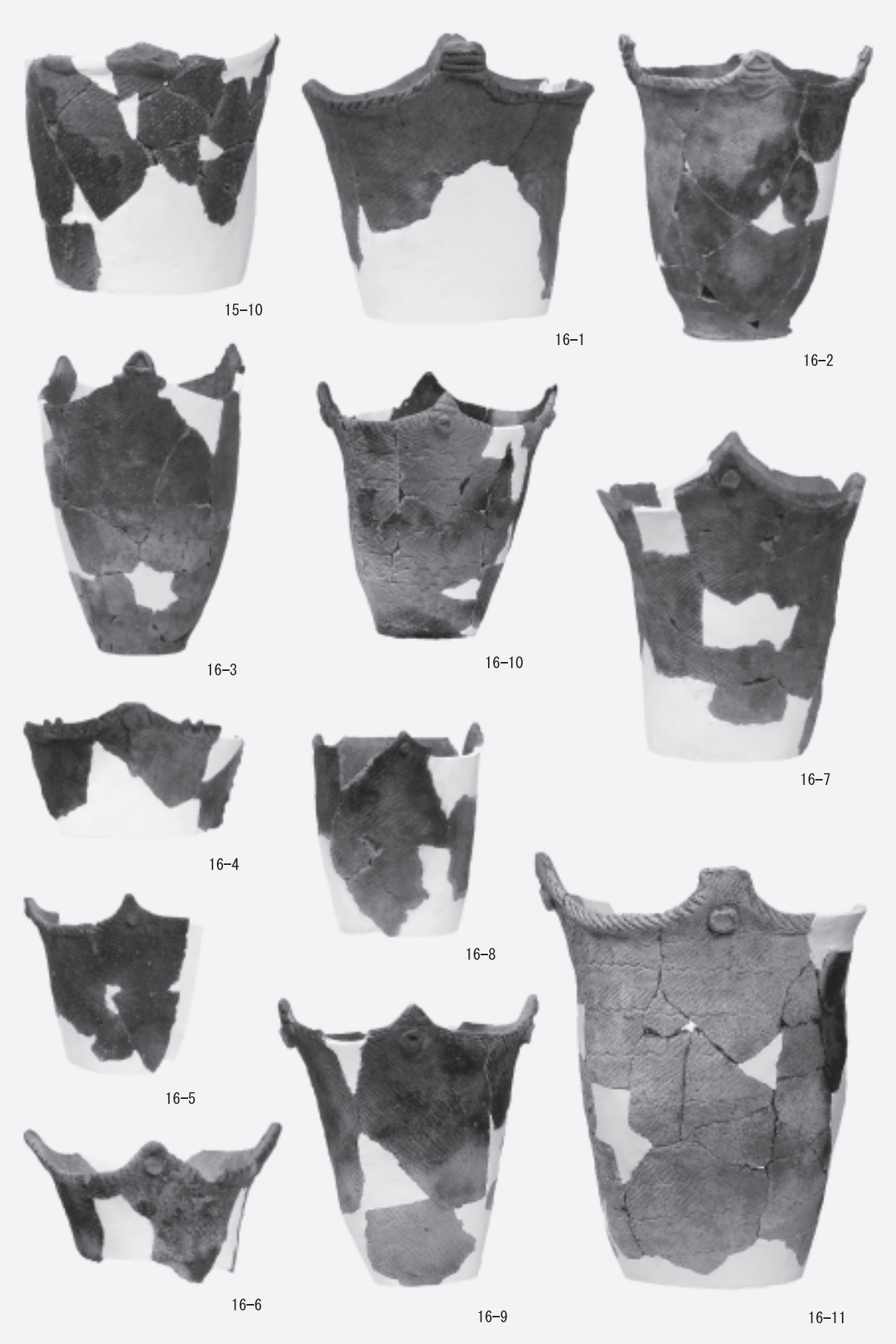


写真10　遺構外出土縄文土器(6)

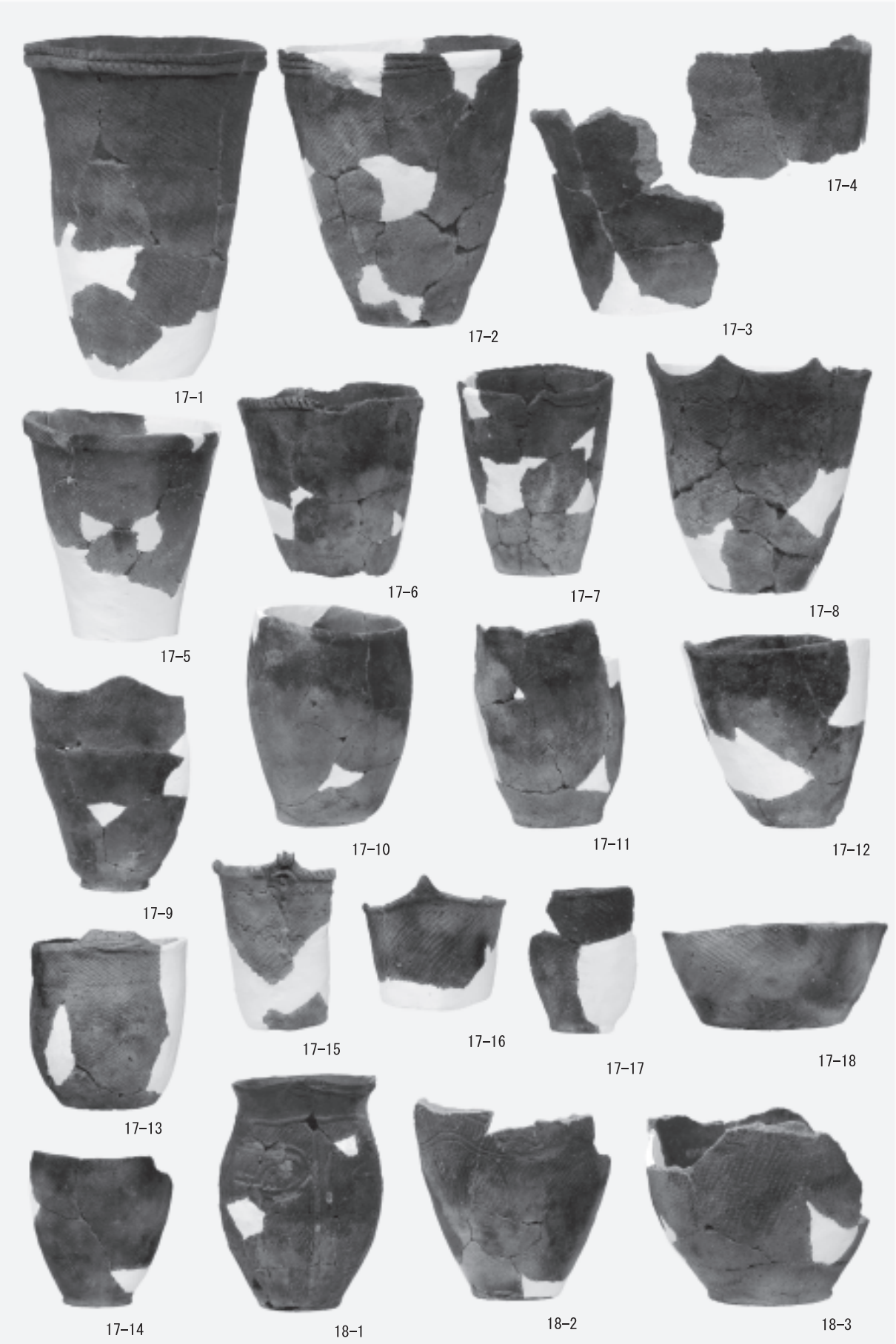


写真11　遺構外出土縄文土器(7)

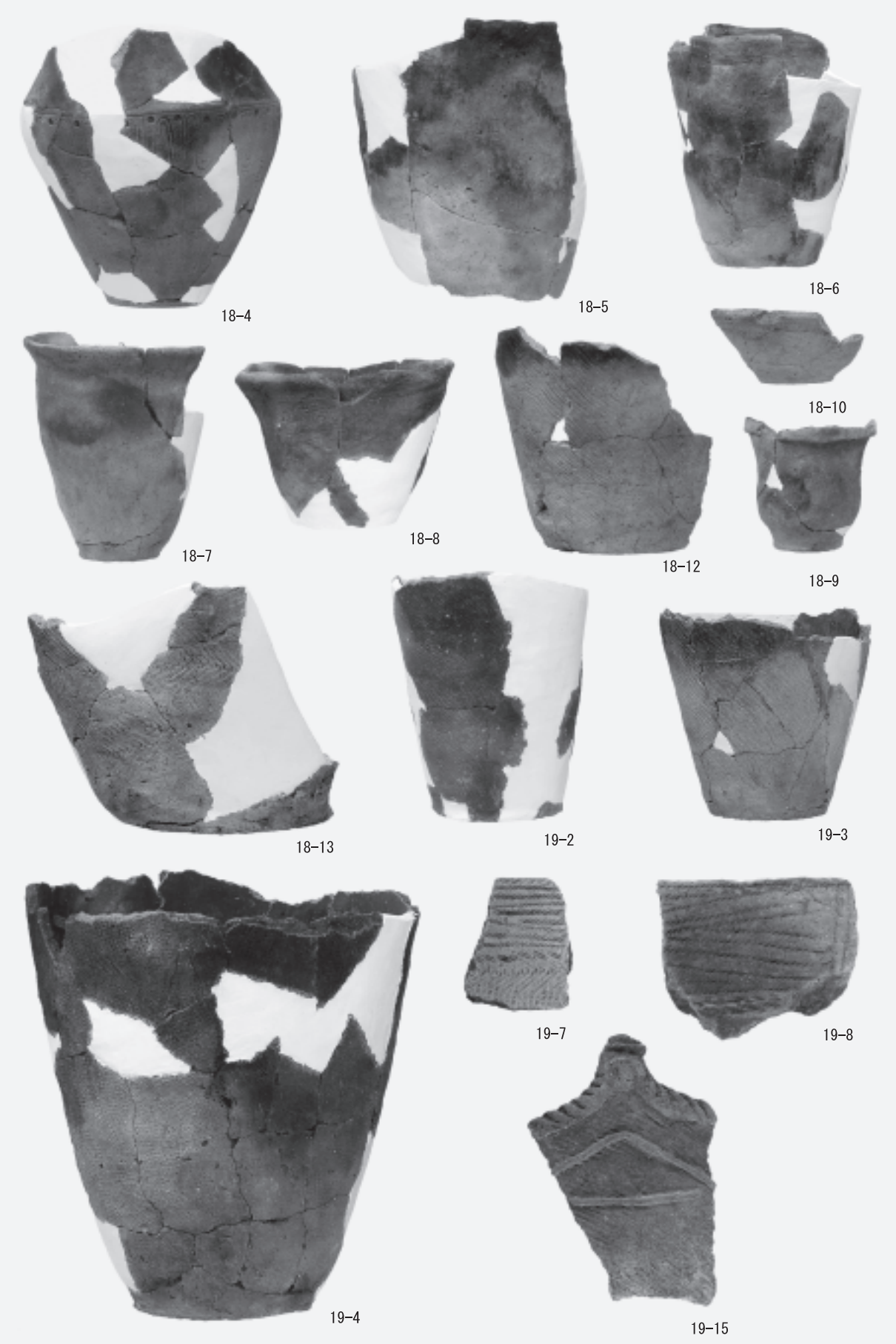


写真12　遺構外出土縄文土器(8)

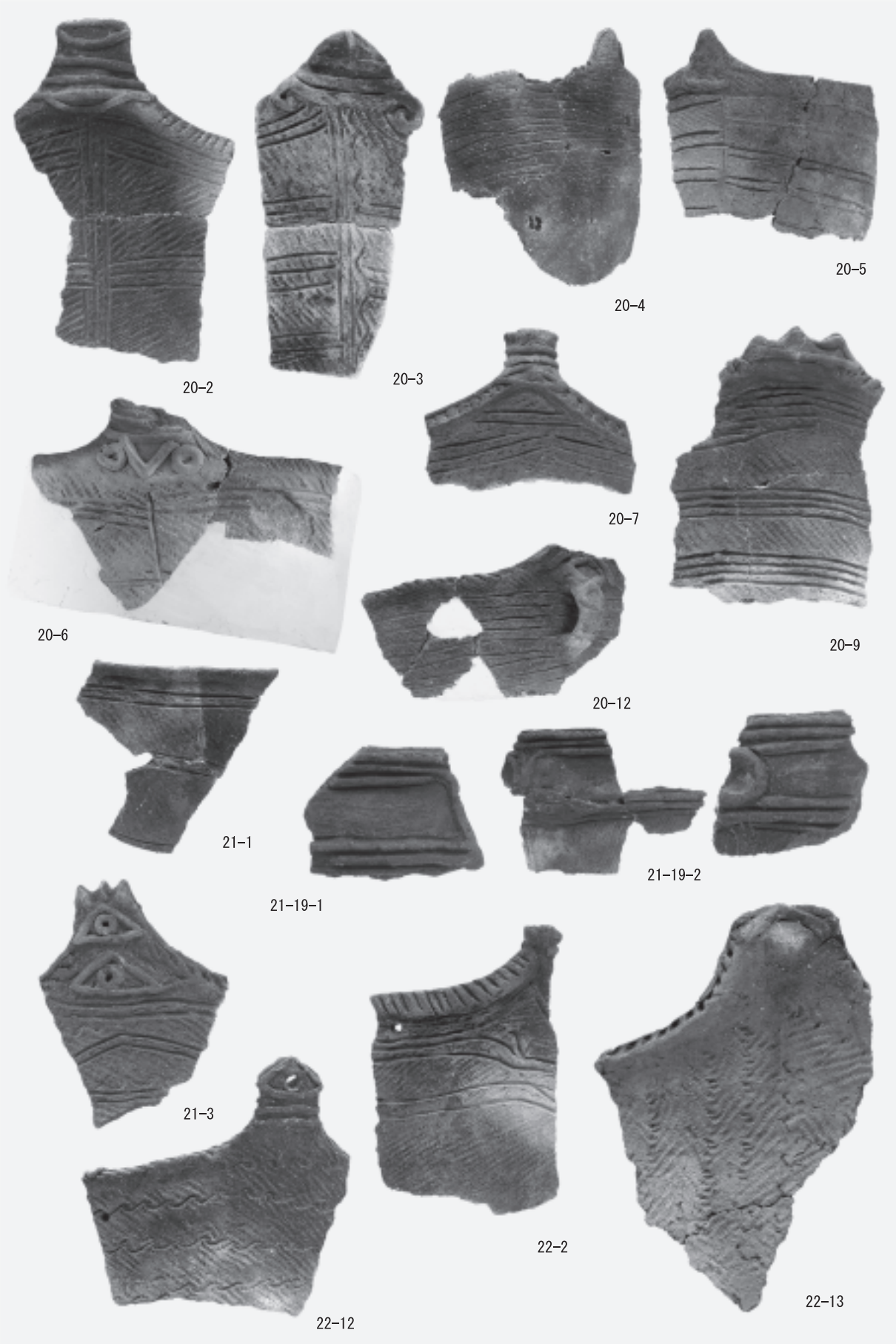


写真13　遺構外出土縄文土器(9)

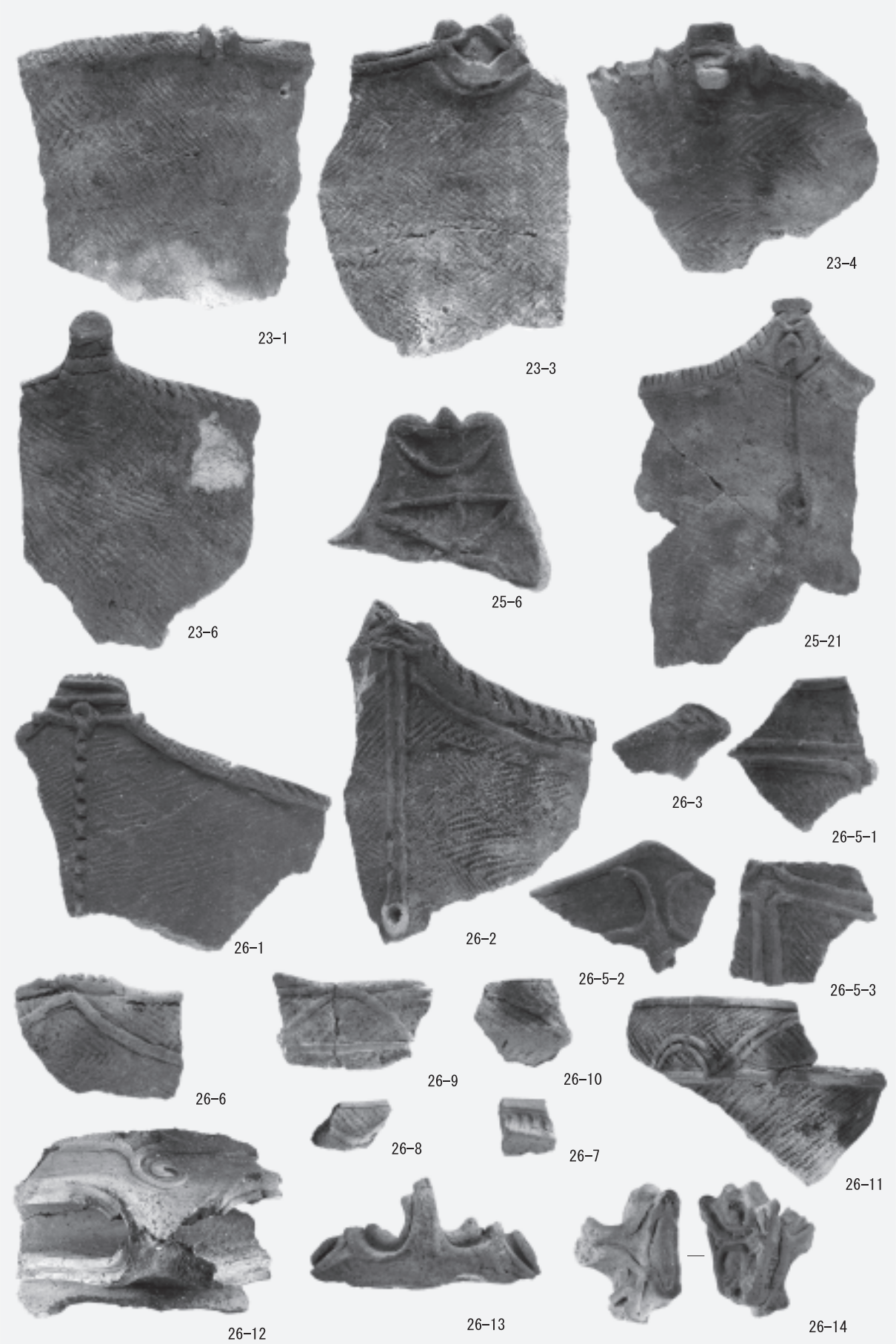


写真14　遺構外出土縄文土器(10)

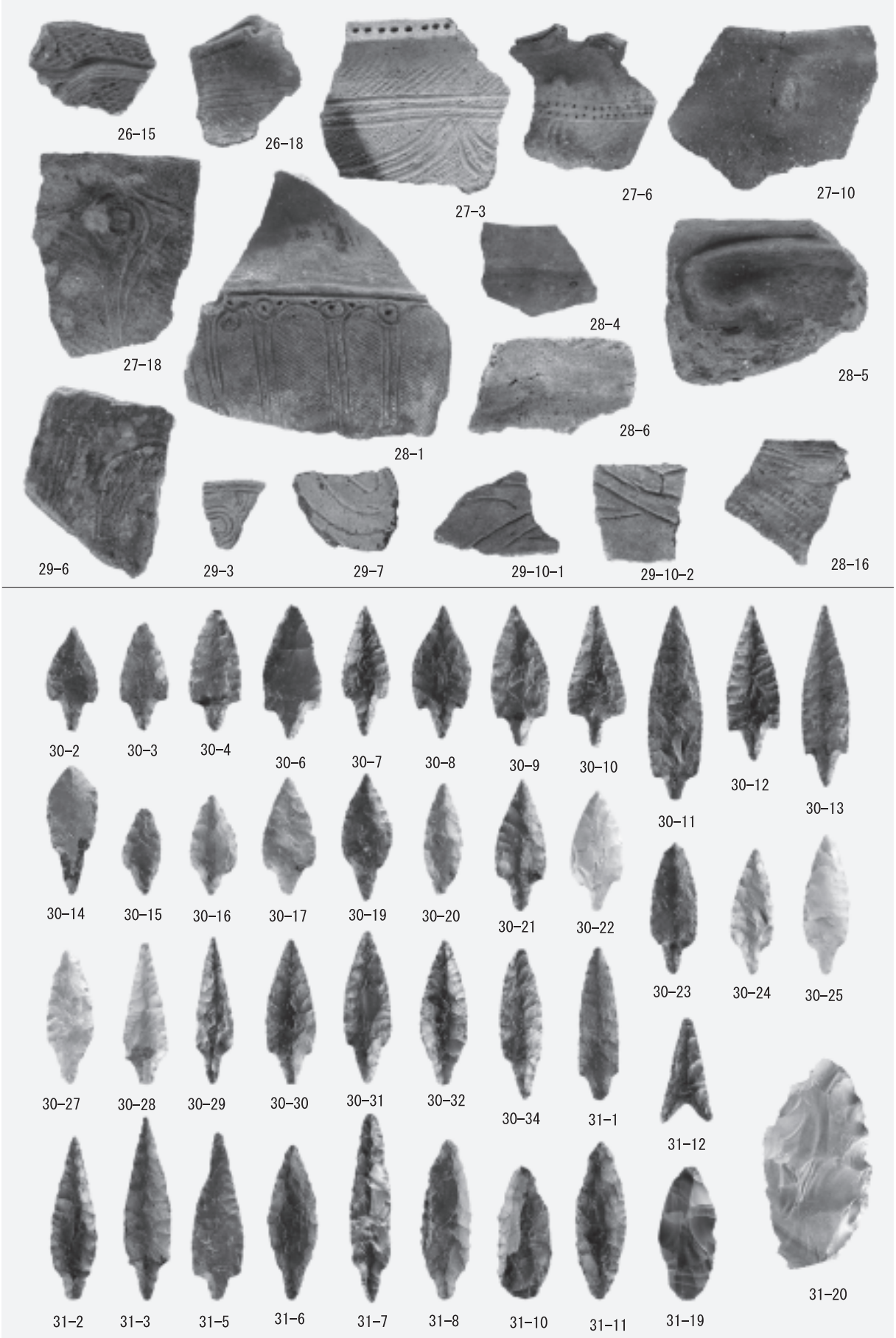


写真15　遺構外出土縄文土器(11)・石器(1)

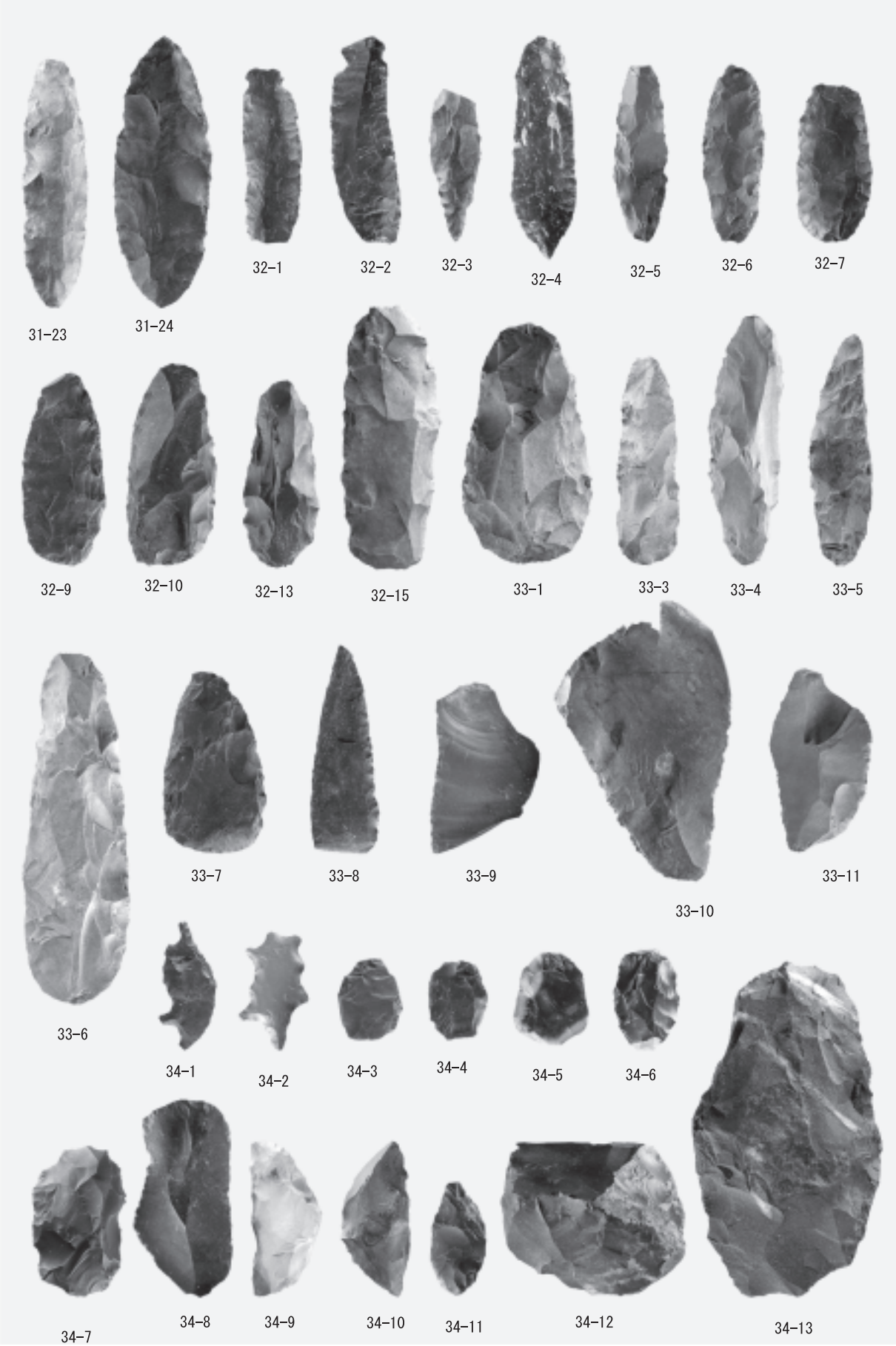


写真16　遺構外出土石器(2)

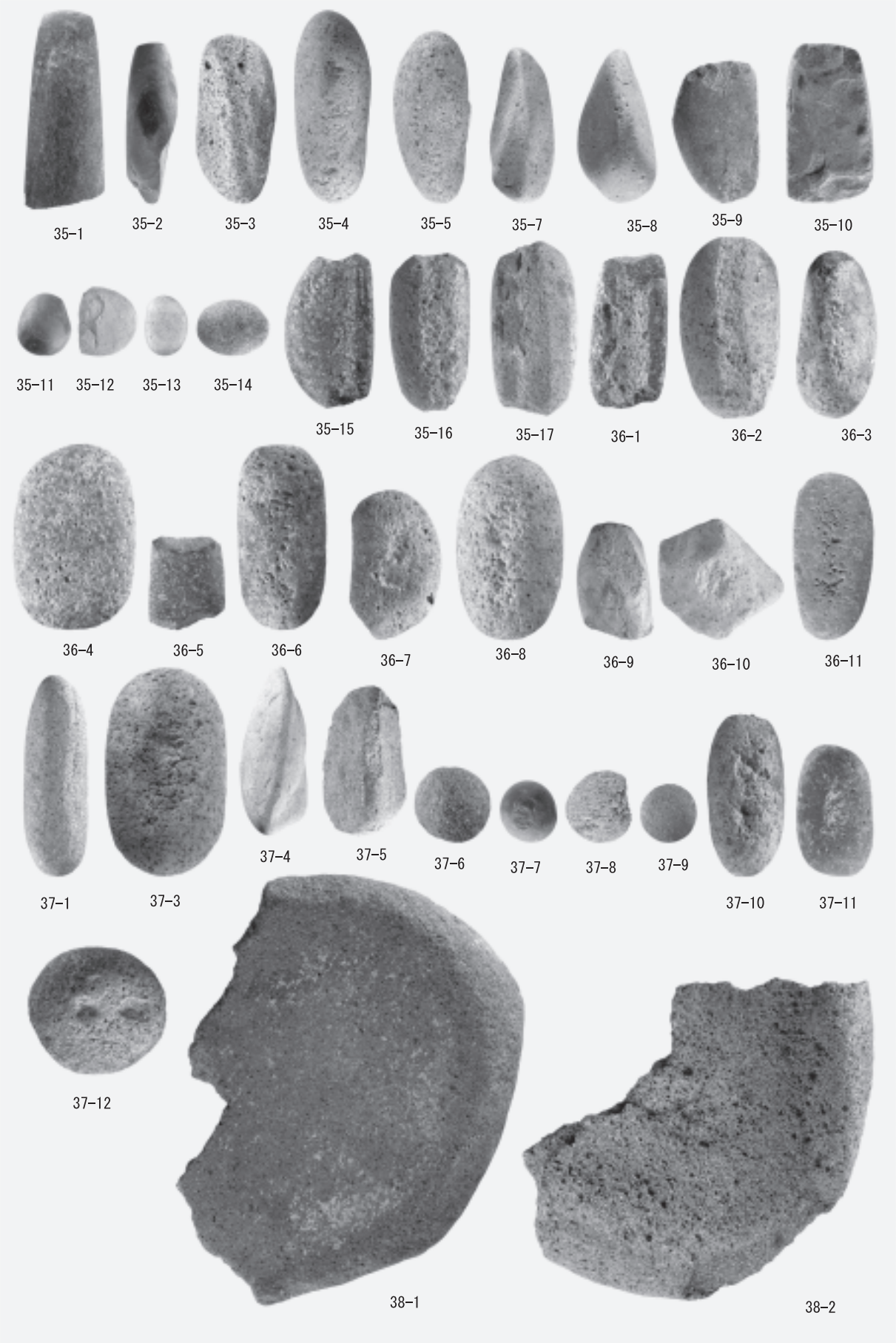


写真17　遺構外出土石器(3)

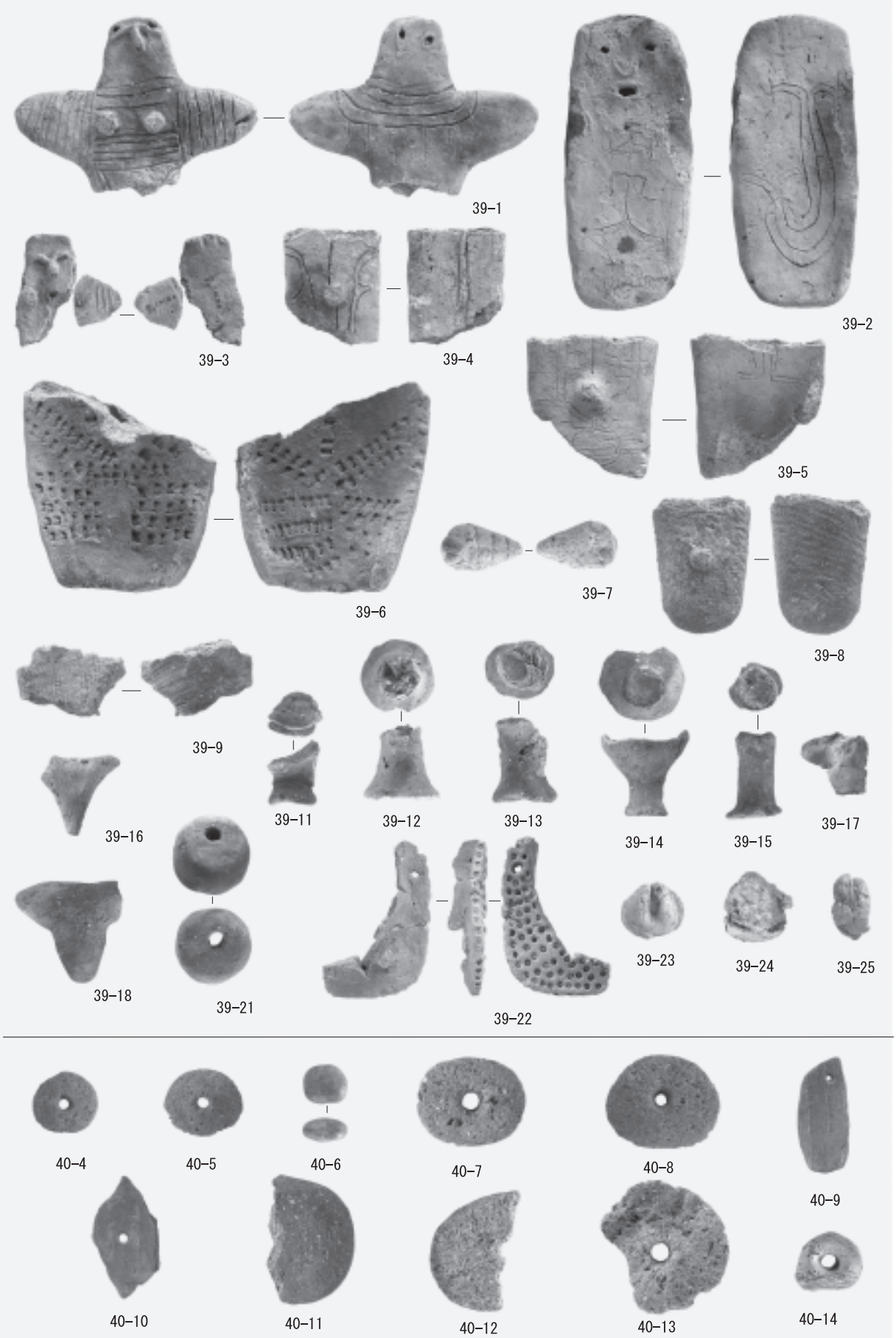


写真18　遺構外出土土製品・石製品(1)

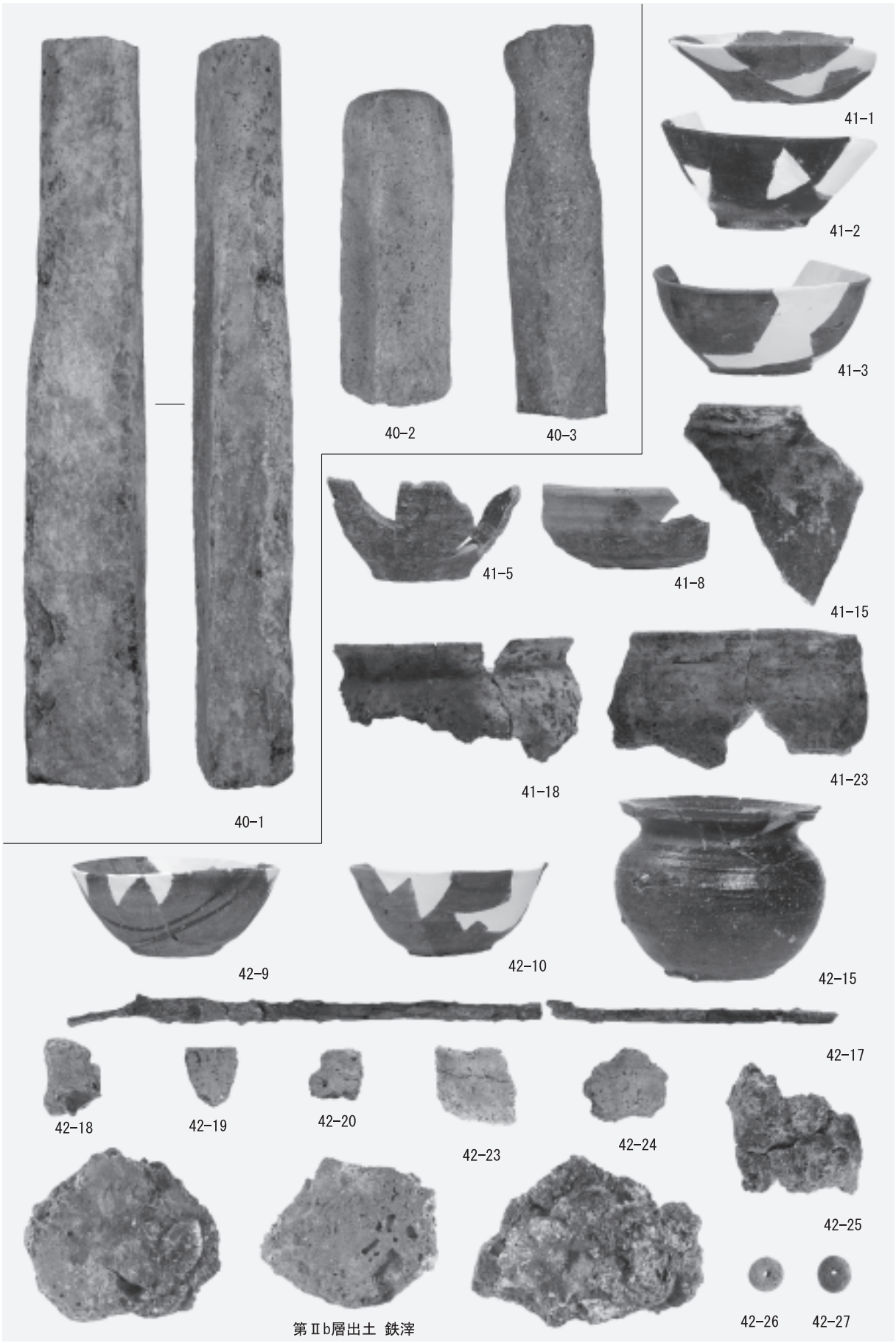


写真19　遺構外出土石製品(2)・土師器・須恵器・その他

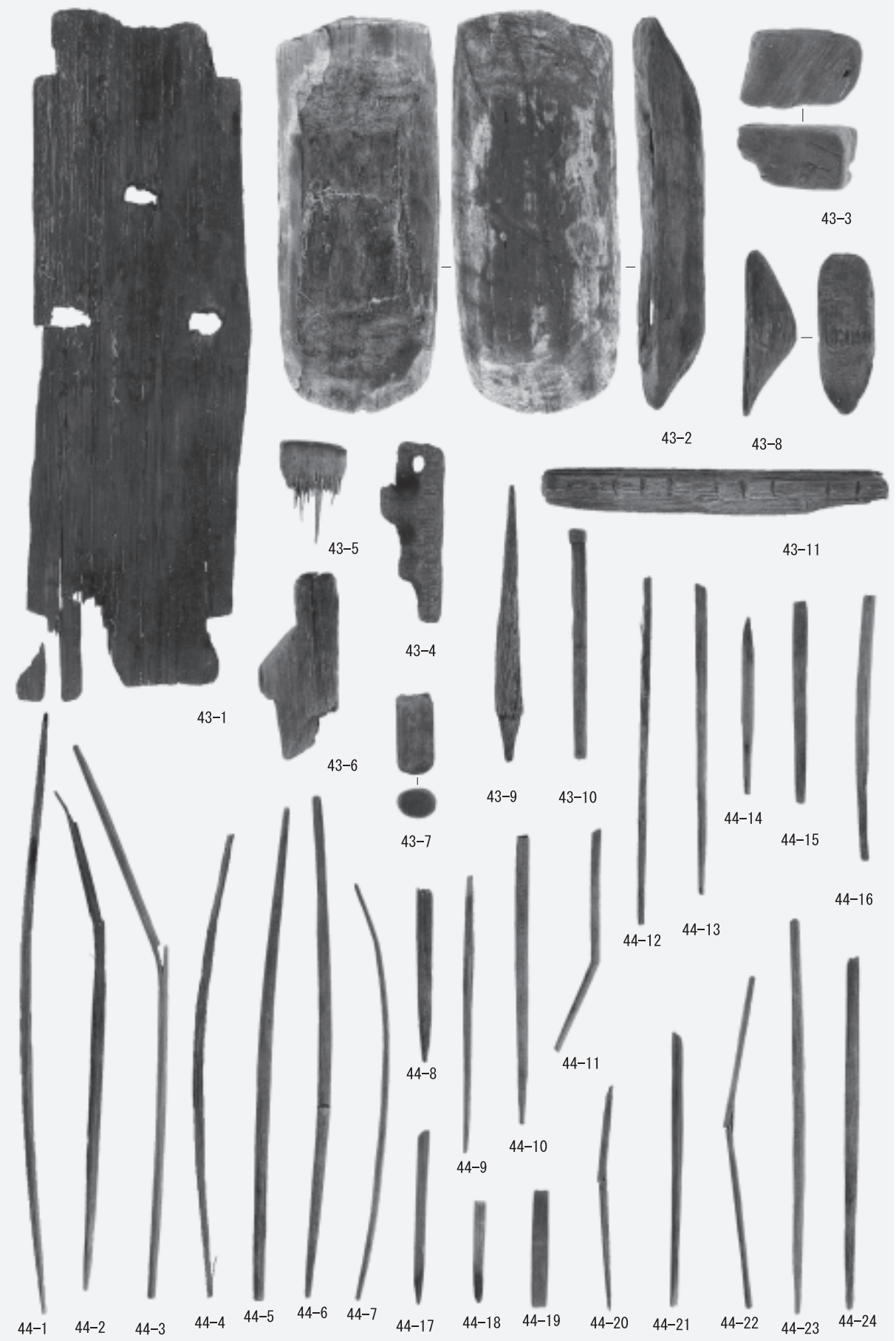


写真20　遺構外出土木製品(1)

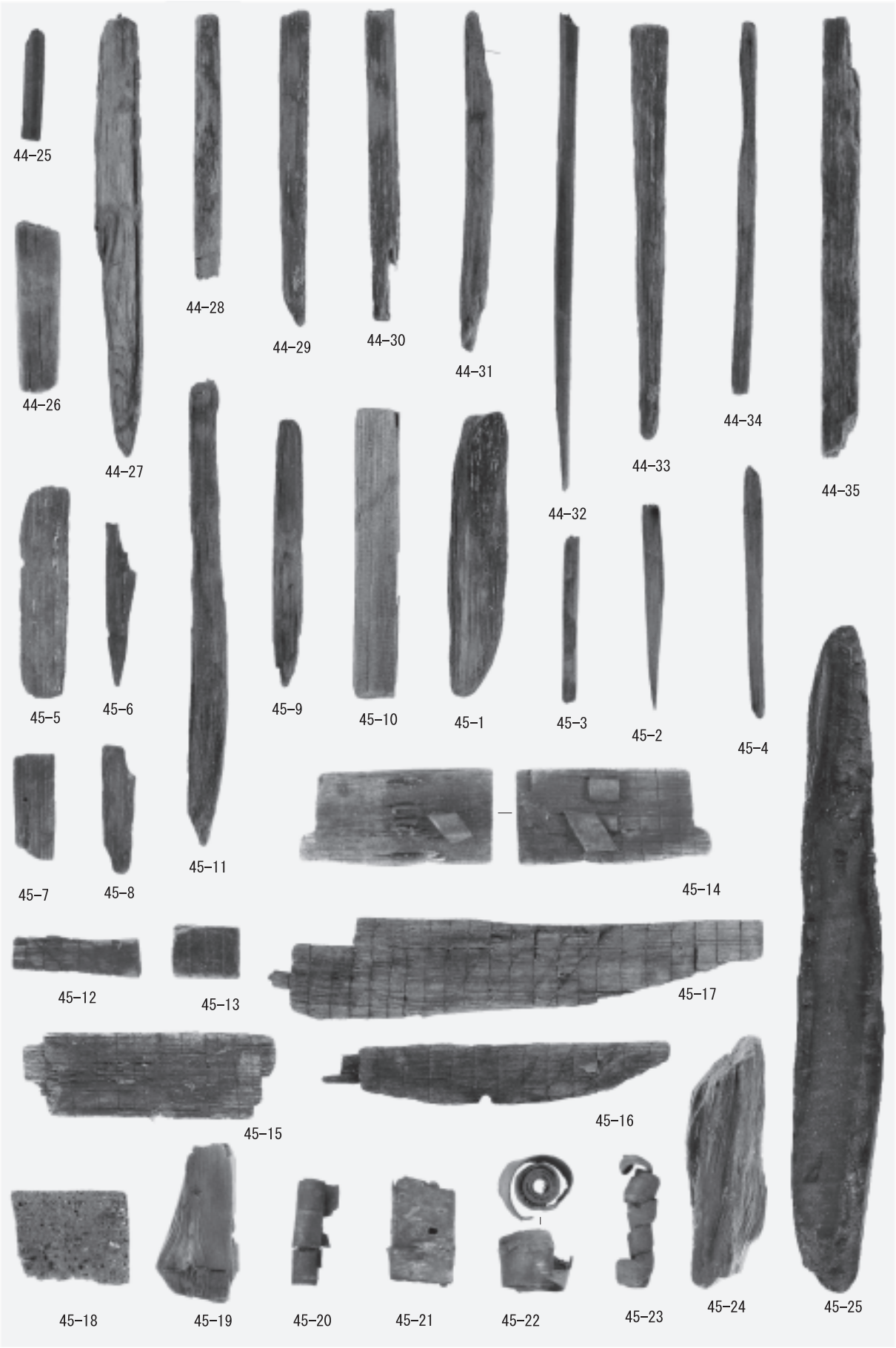


写真21　遺構外出土木製品(2)

写真図版（2）

三内丸山（9）遺跡

A区（ⅢJ～ⅣE）調査区近景（S→）

B区（ⅦV～ⅧT）調査区近景（N→）

B区（ⅤV～ⅦL）調査区近景（S→）

A区　基本層序（W→）

D区　調査区全景（S→）

B区　基本層序（E→）

D区　基本層序（W→）

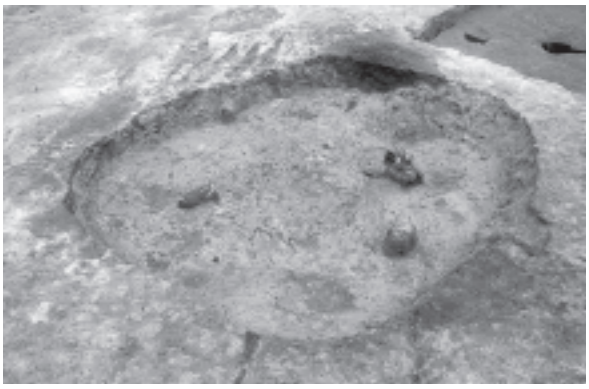
写真22　近景・基本層序

第1号竪穴住居跡　完掘（N→）

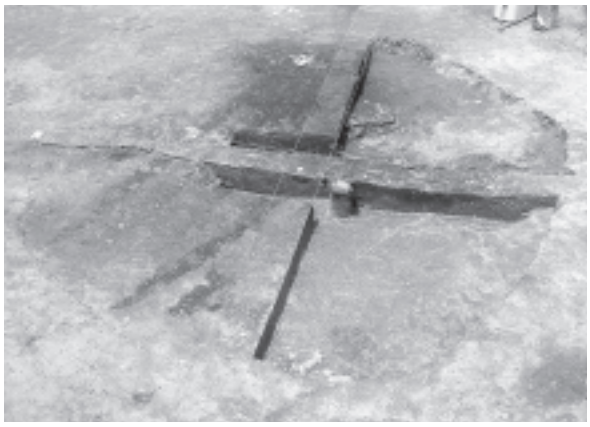
第1号竪穴住居跡　遺物出土状況（S→）

第1号竪穴住居跡　土層（E→）

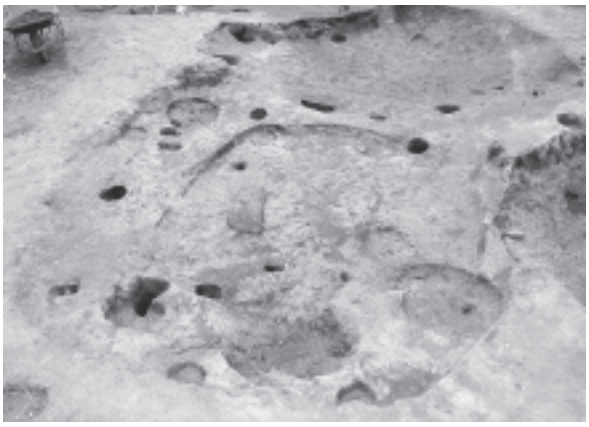
第1号竪穴住居跡　遺物出土状況（W→）



第1号竪穴住居跡　床面　遺物出土状況（S→）

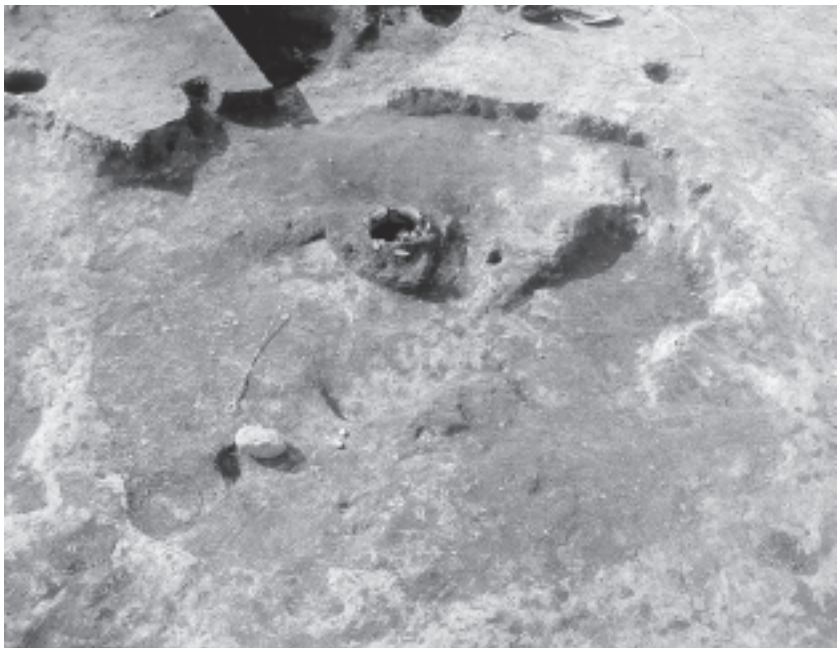


第4号竪穴住居跡　検出状況（S→）

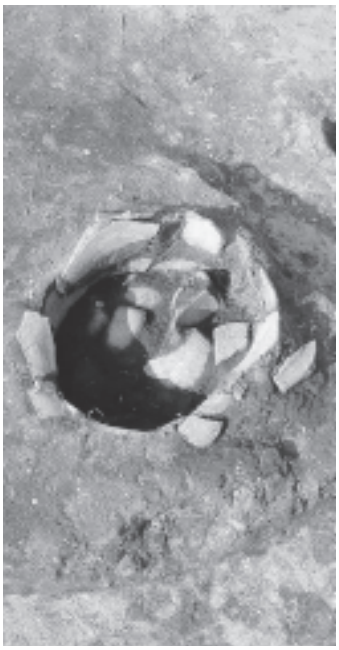


第4号竪穴住居跡B・第8号竪穴住居跡　完掘（NE→）

写真23　第1・4号竪穴住居跡

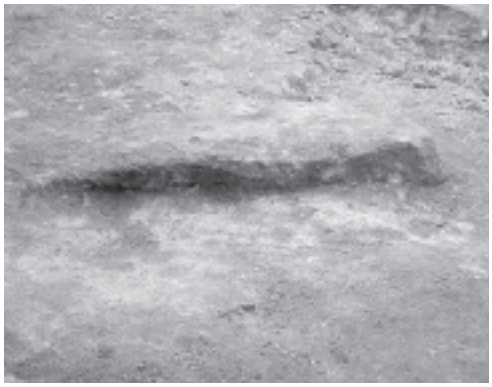


第4号竪穴住居跡A　完掘（SE→）



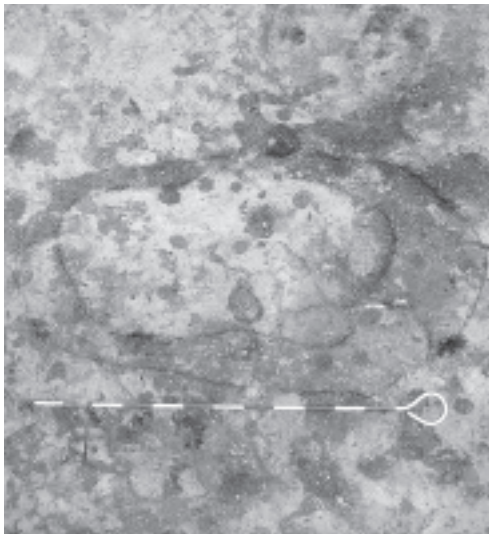
第4号竪穴住居跡A
土器埋設炉（NE→）

第4号竪穴住居跡B　完掘（NE→）



第4号竪穴住居跡B　地床炉　断面（NW→）

第4号竪穴住居跡C　完掘（SE→）

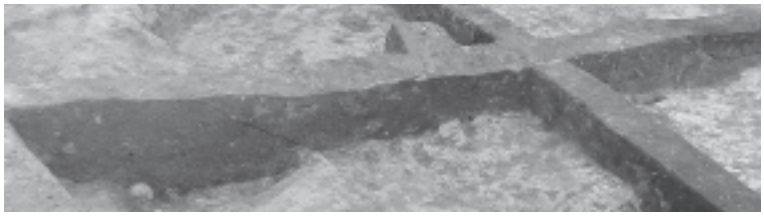


第4号竪穴住居跡C　地床炉（SE→）

写真24　第4号竪穴住居跡

第5号竪穴住居跡　完掘（N→）

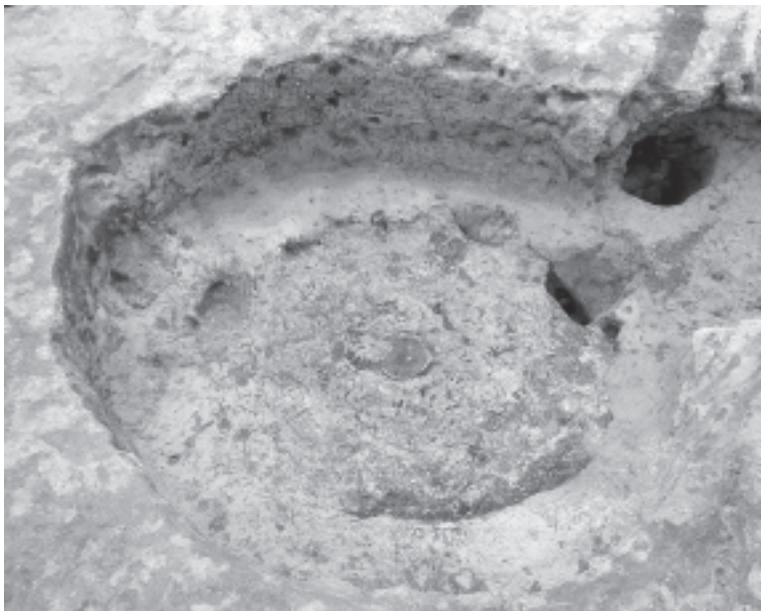
第5号竪穴住居跡　遺物出土状況（S→）



第5号竪穴住居跡　土層（E→）

第5号竪穴住居跡　周堤炉（N→）

第5号竪穴住居跡　土層（N→）



第6号竪穴住居跡　完掘（N→）

第6号竪穴住居跡　遺物出土状況（S→）

写真25　第5・6号竪穴住居跡

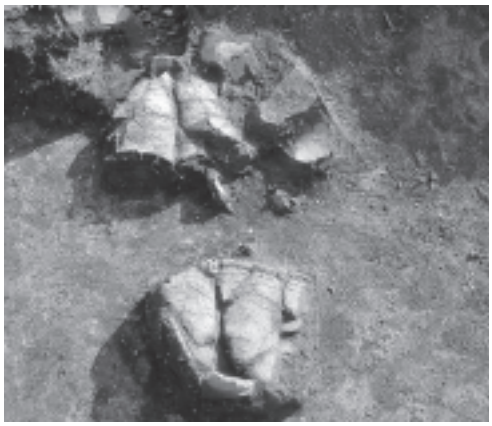
第5・6号竪穴住居跡・第27号土坑　土層（SE→）

第6号竪穴住居跡
土器埋設炉　断面（N→）

第6号竪穴住居跡　土層（N→）

第6号竪穴住居跡　土器埋設炉、第61号土坑断面（NW→）

第8号竪穴住居跡　遺物出土状況（SE→）

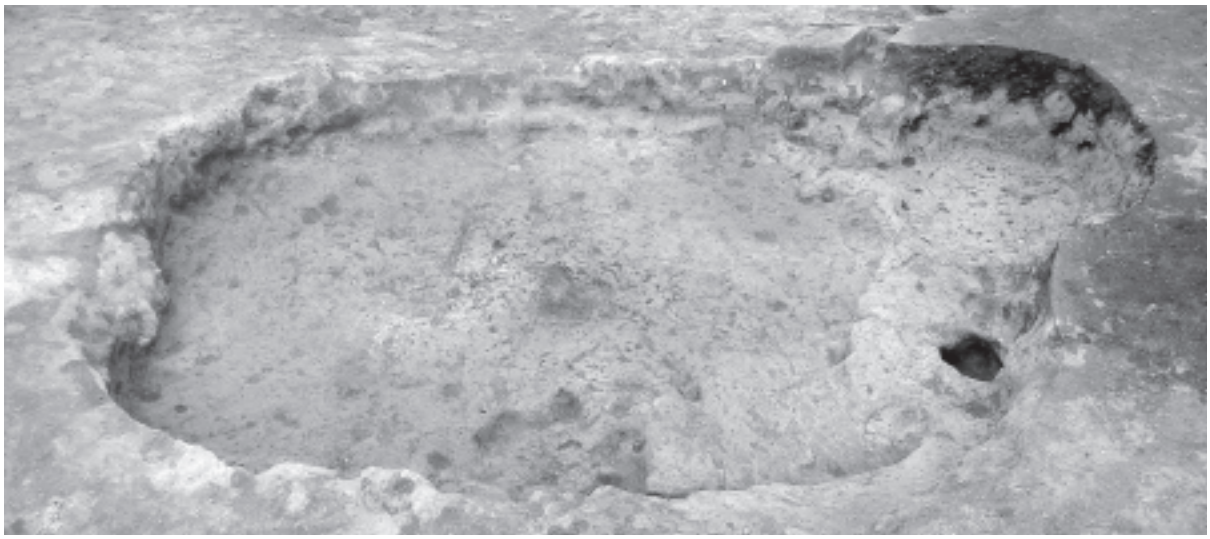


第8号竪穴住居跡　遺物出土状況（SE→）

第8号竪穴住居跡、第140号土坑　土層断面（N E→）

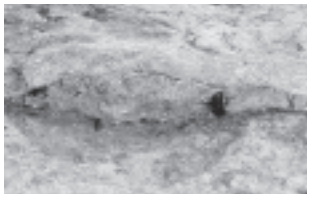
第8号竪穴住居跡　土層（NE→）

写真26　第5・6・8号竪穴住居跡

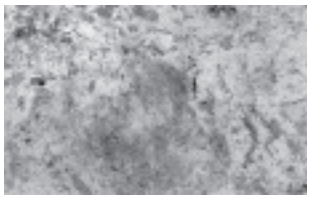


第9号竪穴住居跡　完掘（E→）

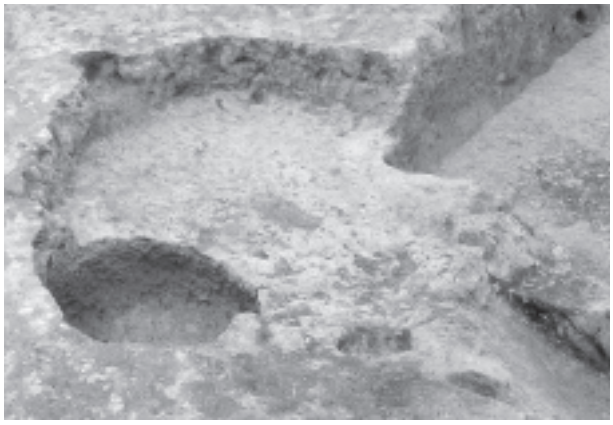
第5・9号竪穴住居跡　土層（N→）



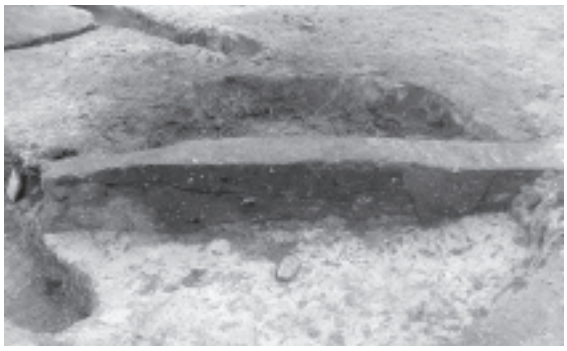
第9号竪穴住居跡　地床炉
断面（E→）



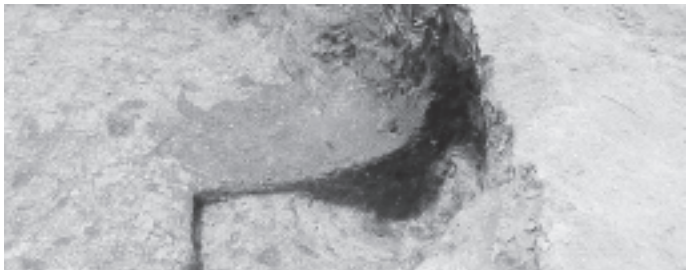
第9号竪穴住居跡　地床炉（N→）



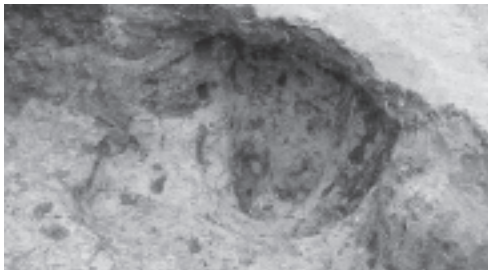
第11号竪穴住居跡　完掘（E→）



第11号竪穴住居跡　土層（SE→）

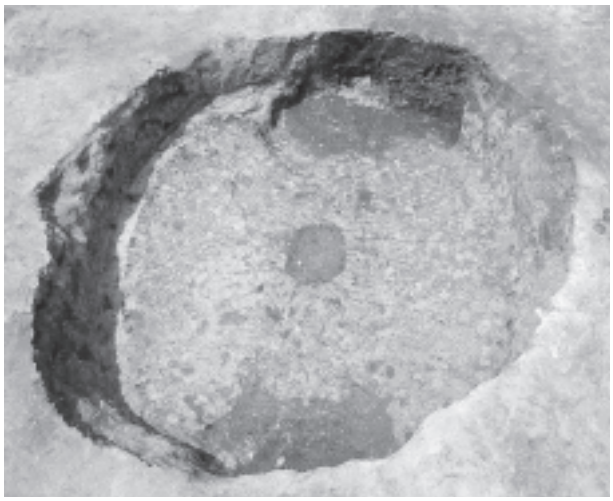


第12号竪穴住居跡　付属施設　土層（SE→）

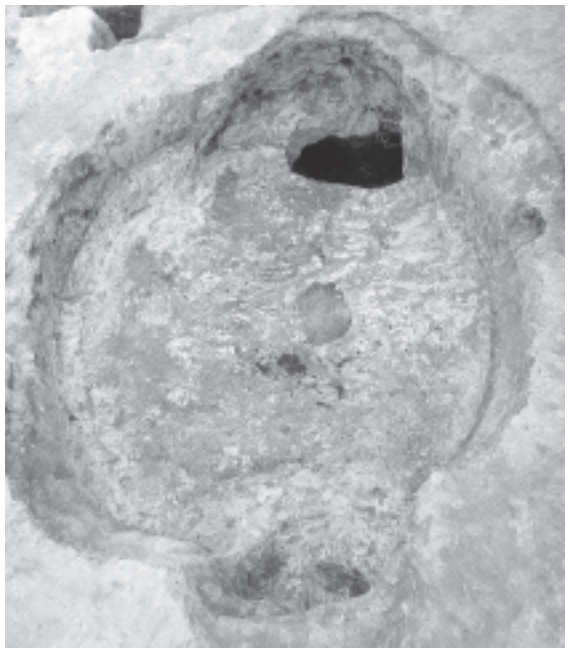


第12号竪穴住居跡　付属施設（NE→）

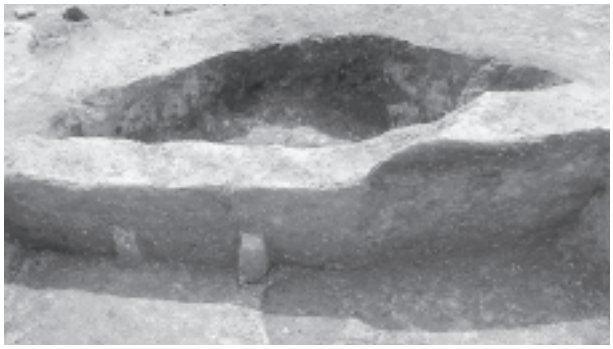
写真27　第5・9・11・12号竪穴住居跡



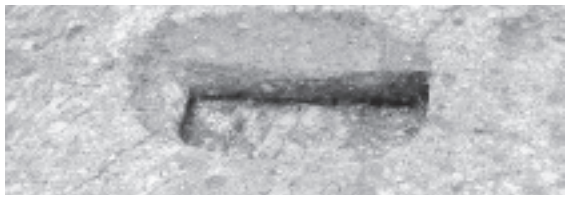
第12号竪穴住居跡A　完掘（NE→）



第12号竪穴住居跡B　完掘（NE→）

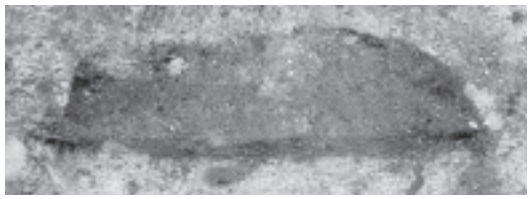


第12号竪穴住居跡　土層（E→）

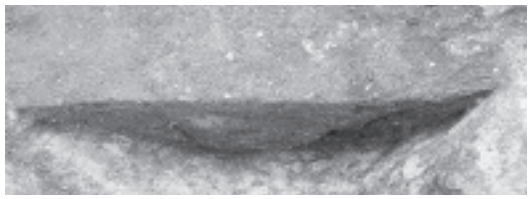


第12号竪穴住居跡A　炉（SE→）

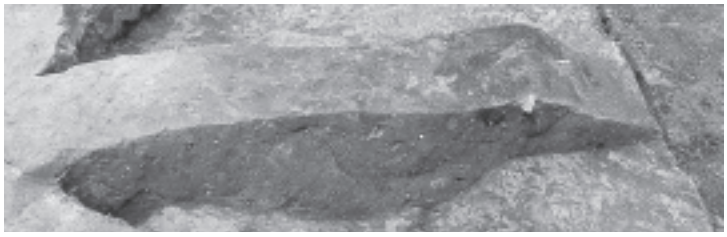
第13号竪穴住居跡　完掘（N→）



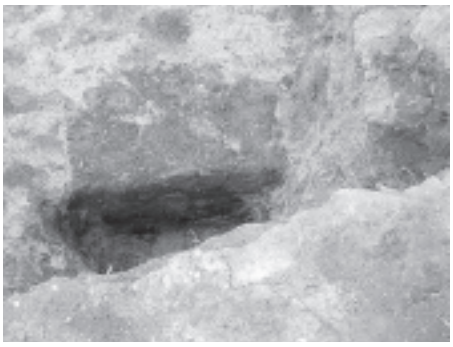
第12号B竪穴住居跡B　炉（SW→）



第13号竪穴住居跡　Pit 3土層（NW→）



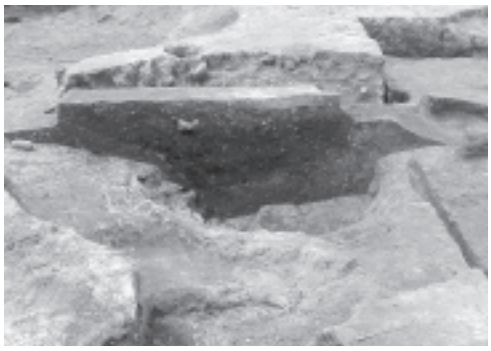
第13号竪穴住居跡　土層（SE→）



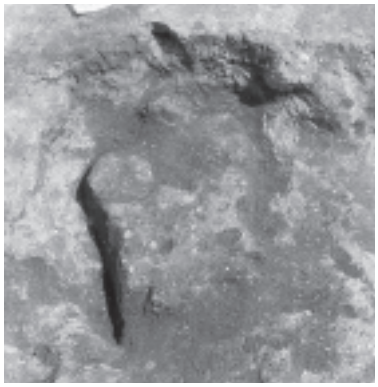
第13号竪穴住居跡　Pit 1　土層（NE→）

写真28　第12・13号竪穴住居跡

第15号竪穴住居跡　完掘（S→）



第15号竪穴住居跡　土層（NE→）

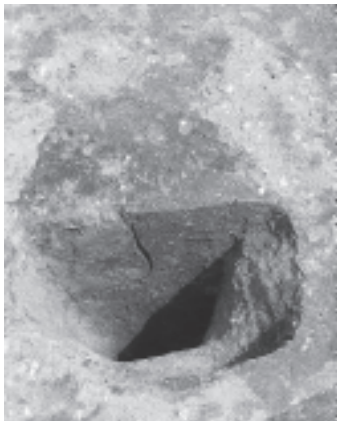


第17号竪穴住居跡　付属施設
焼土検出状況（W→）

第17号竪穴住居跡　完掘（NW→）

第17号竪穴住居跡　付属施設　土層（W→）

第17号竪穴住居跡　土層（E→）



第17号竪穴住居跡　Pit 1
土層（NW→）

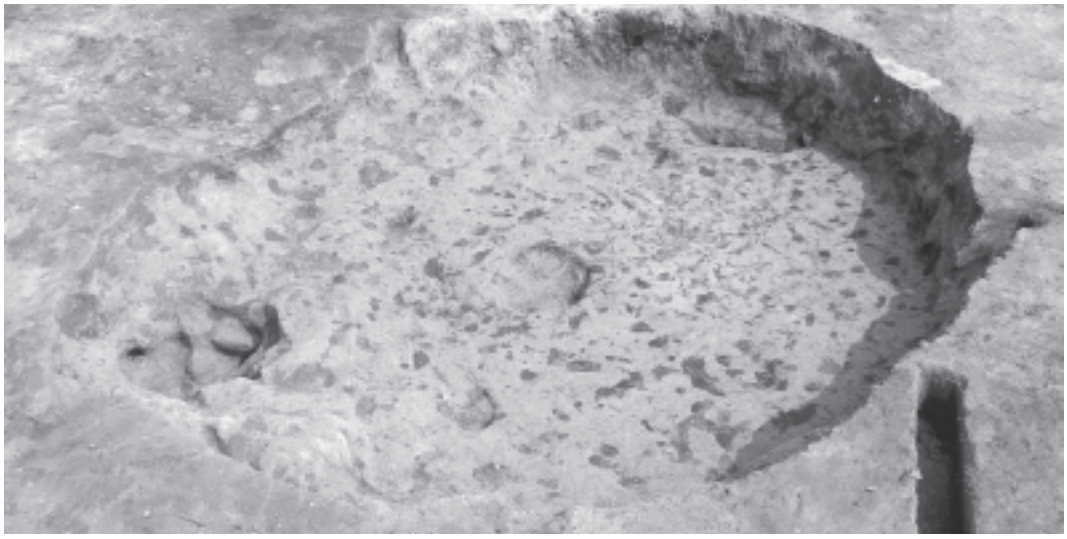
写真29　第15・17号竪穴住居跡

第18号竪穴住居跡　完掘（NW→）

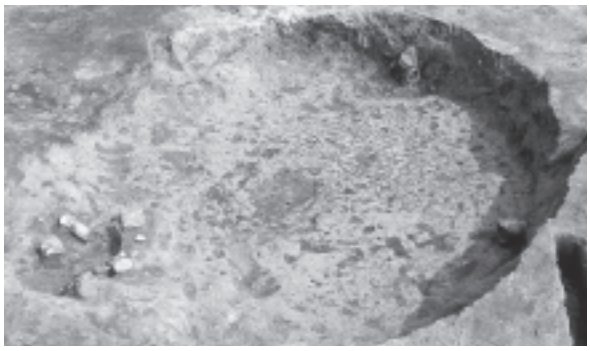
第67号土坑　検出状況（N→）

第19号竪穴住居跡　土層（SW→）

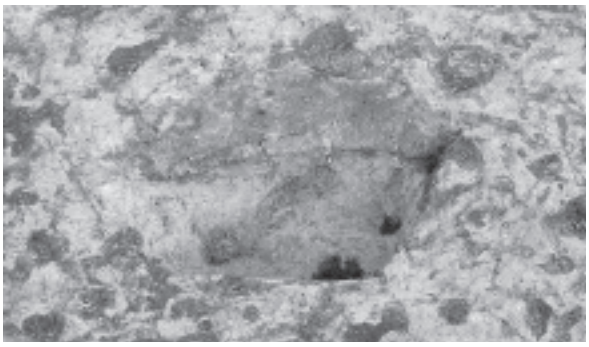
第18号竪穴住居跡　土層（W→）



第19号竪穴住居跡　完掘（N→）



第19号竪穴住居跡　遺物出土状況（NW→）

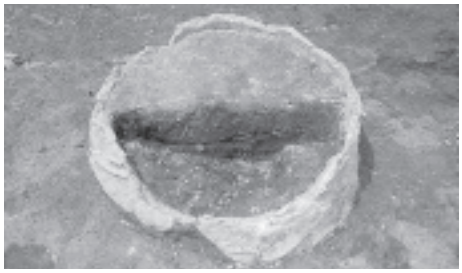


第19号竪穴住居跡　地床炉　断面（NW→）

写真30　第18・19号竪穴住居跡

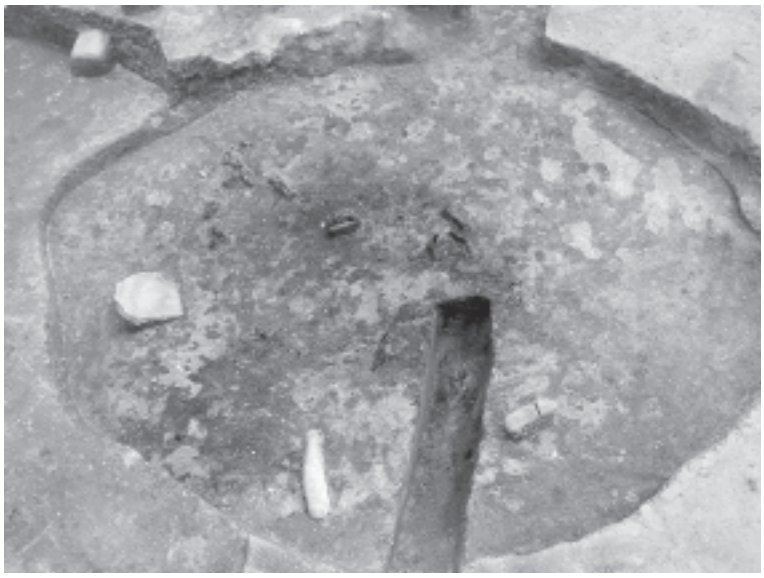
第21号竪穴住居跡　完掘（NE→）

第21号竪穴住居跡　土層（NE→）

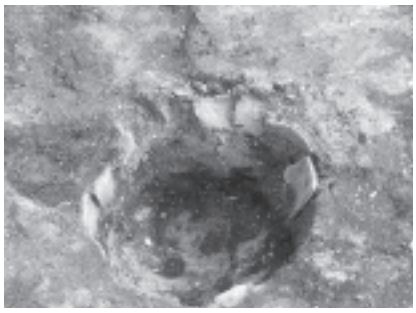


第21号竪穴住居跡　土器埋設炉
断面（NW→）

第21号竪穴住居跡　炉体土器（NE→）



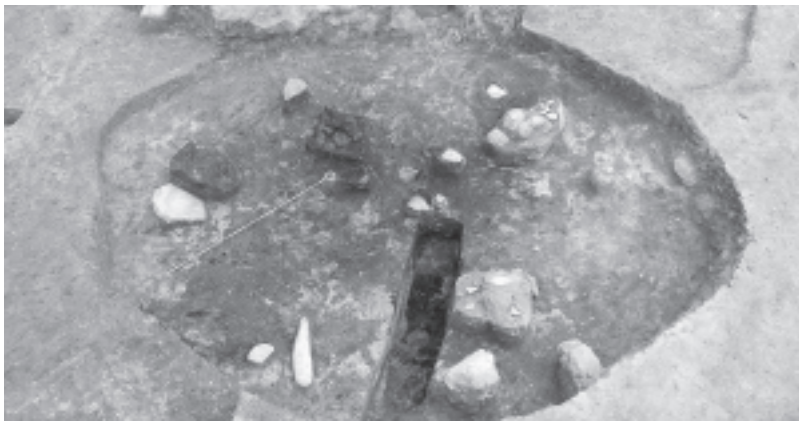
第23号竪穴住居跡　完掘（NW→）



第23号竪穴住居跡　土器埋設炉（N→）

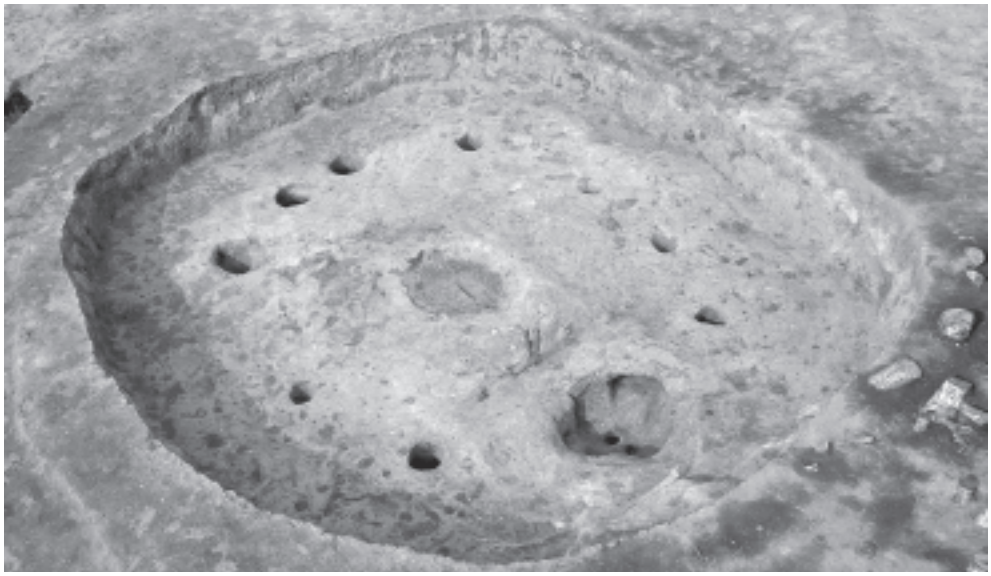
第23号竪穴住居跡　炉B　断面（S→）

写真31　第21・23号竪穴住居跡



第23号竪穴住居跡　遺物出土状況（NW→）

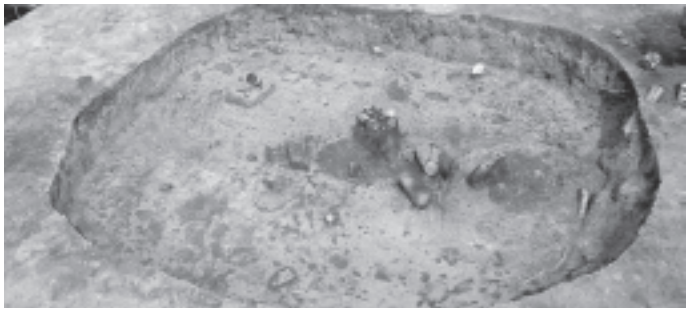
第23号竪穴住居跡（S→）



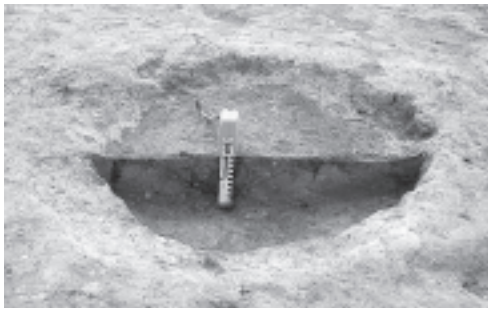
第24号竪穴住居跡　完掘（SW→）

第24号竪穴住居跡　土層（SW→）

第24号竪穴住居跡　ピット（E→）

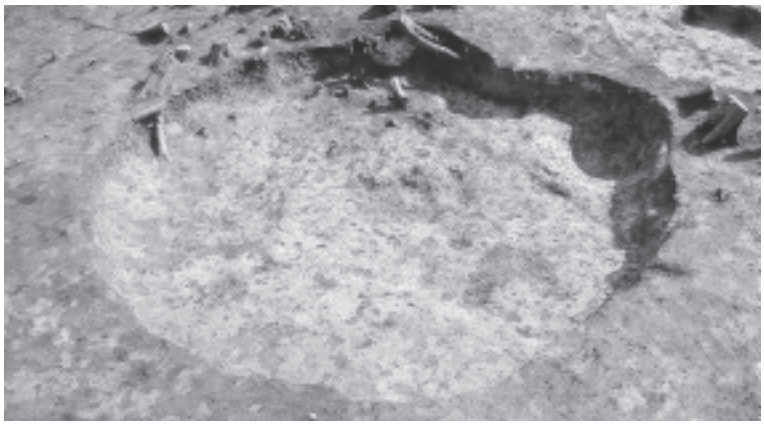


第24号竪穴住居跡　遺物出土状況（W→）



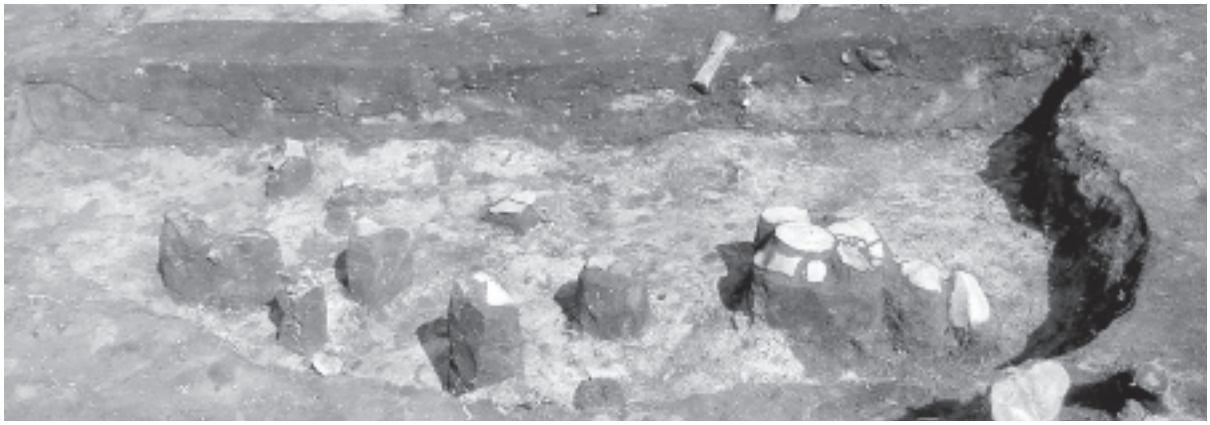
第24号竪穴住居跡　炉　断面（E→）

写真32　第23・24号竪穴住居跡

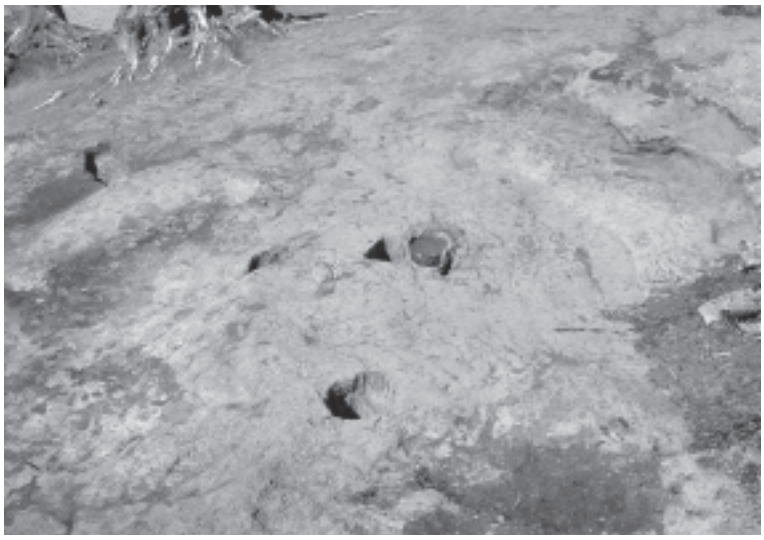


第25号竪穴住居跡　完掘（W→）

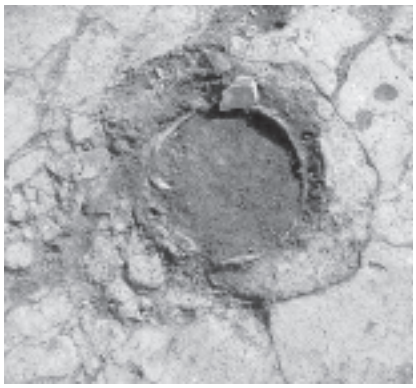
第25号竪穴住居跡　遺物出土状況（S→）



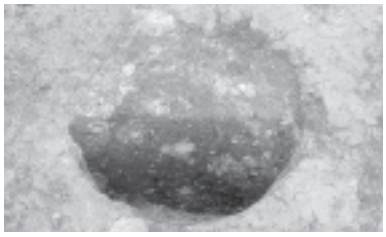
第25号竪穴住居跡　遺物出土状況（S→）



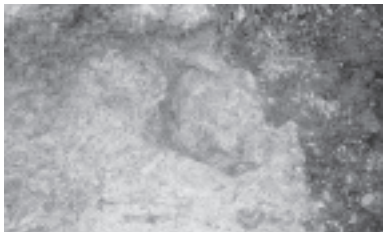
第26号竪穴住居跡　完掘（SE→）



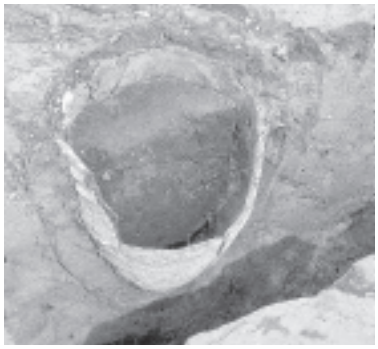
第26号竪穴住居跡　土器埋設炉（W→）



第26号竪穴住居跡　Pit 1　土層（S→）

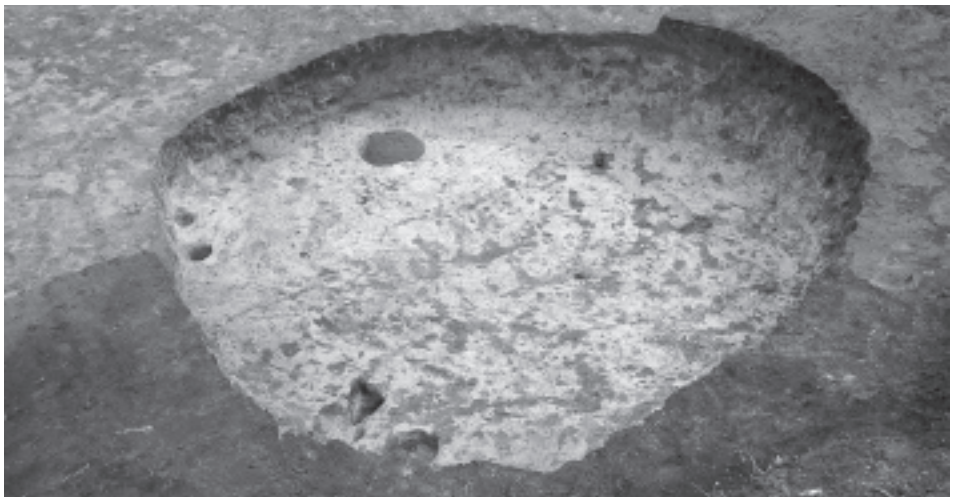


第26号竪穴住居跡　付属施設（W→）



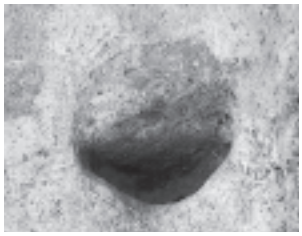
第26号竪穴住居跡　土器埋設炉
断面（S→）

写真33　第25・26号竪穴住居跡

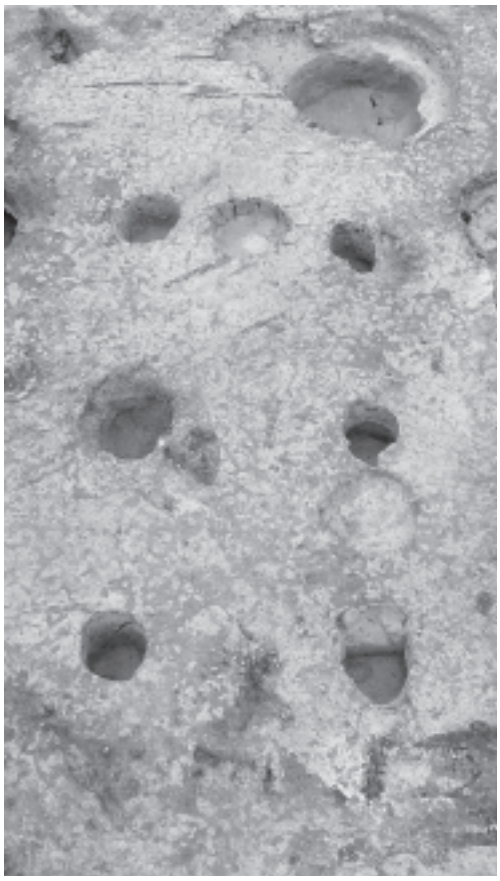


第27号竪穴住居跡　完掘（W→）

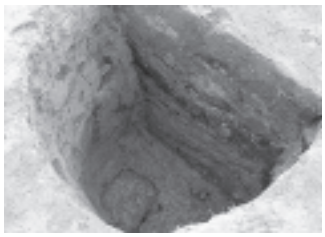
第27号竪穴住居跡　土層（E→）



第27号竪穴住居跡
Pit 1　土層（E→）



第1号掘立柱建物跡　完掘（SE→）

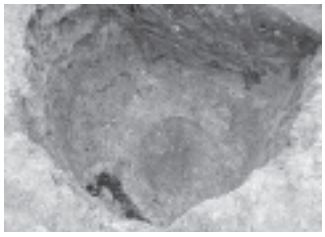


第1号掘立柱建物跡　PIT 2
柱痕跡（SE→）

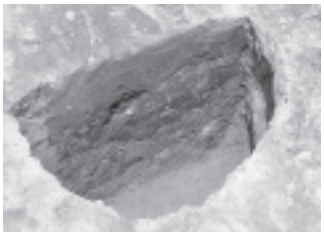
第1号掘立柱建物跡　PIT 3
土層（S→）

第1号掘立柱建物跡　PIT 5
土層（E→）

第1号掘立柱建物跡　PIT 6
土層（E→）

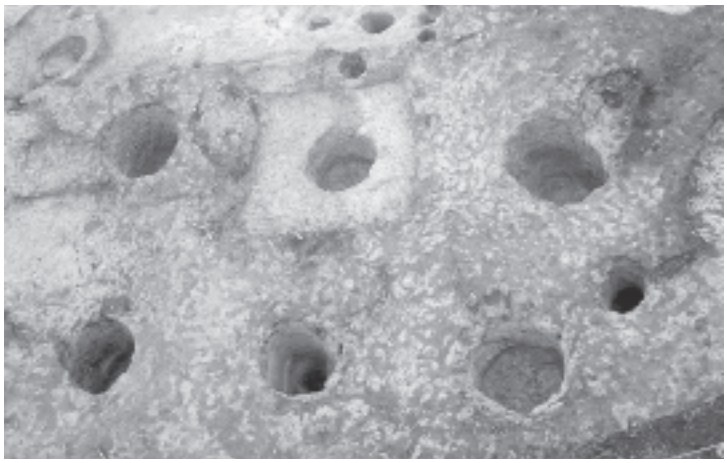


第1号掘立柱建物跡　PIT 1
柱痕跡（S→）

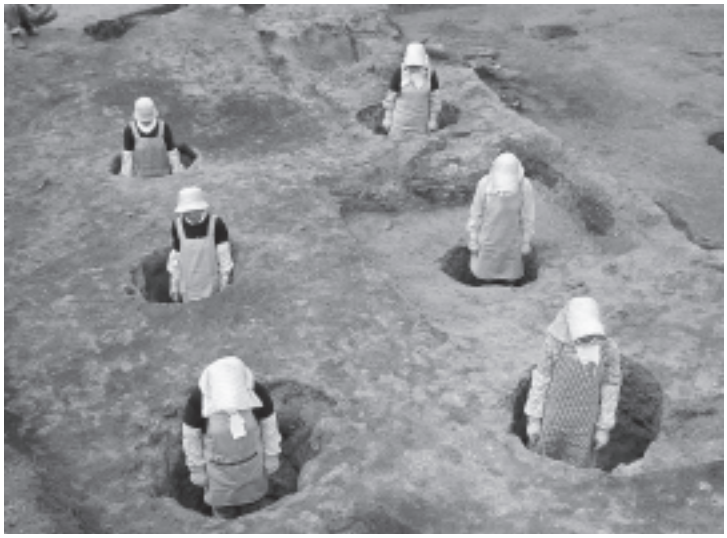


第1号掘立柱建物跡　PIT 4
土層（S→）

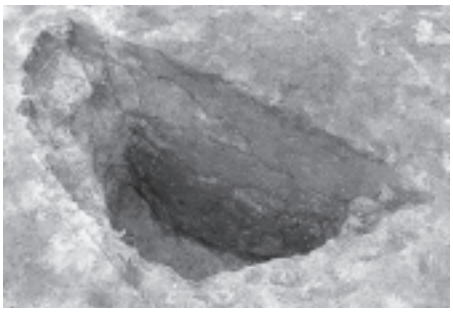
写真34　第27号竪穴住居跡・第1号掘立柱建物跡



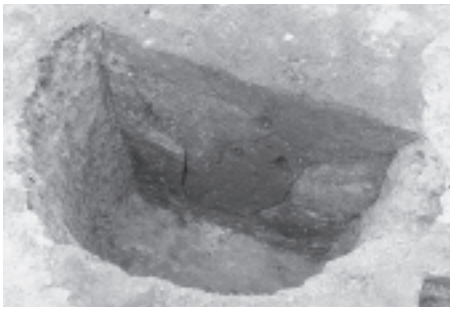
第2号掘立柱建物跡　完掘（SE→）



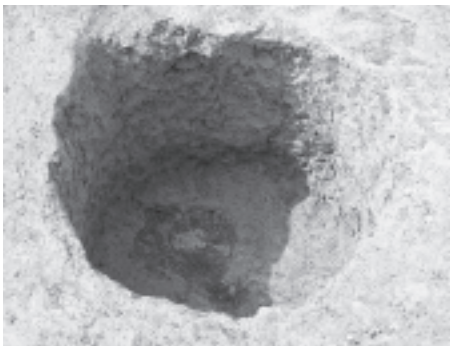
第2号掘立柱建物跡　完掘（SW→）



第2号掘立柱建物跡　PIT 1　土層（S→）

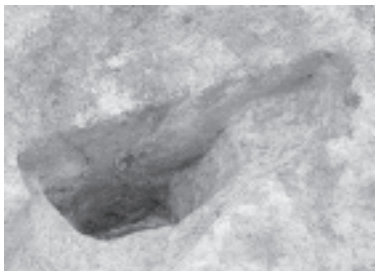


第2号掘立柱建物跡　PIT 6　土層（S→）

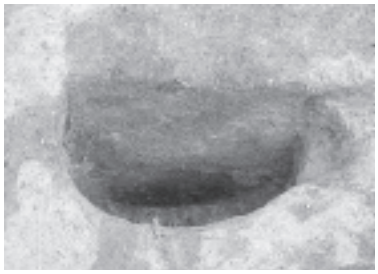


第2号掘立柱建物跡　PIT 5　柱痕（S→）

第3号掘立柱建物跡　完掘（W→）



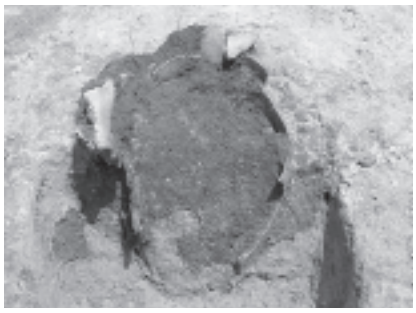
第3号掘立柱建物　PIT 4
土層（W→）



第3号掘立柱建物跡　PIT 1
土層（W→）

写真35　第2・3号掘立柱建物跡

第1・2号土器埋設遺構　検出状況（W→）



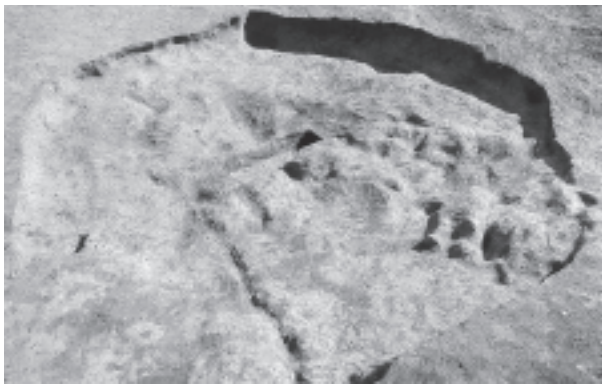
第1号土器埋設遺構　土層（W→）

第2号土器埋設遺構　土層（W→）

第2号集石遺構　検出状況（S→）

第2号集石遺構　土器出土状況（NE→）

第1号集石遺構　検出状況（E→）



第4号性格不明遺構　完掘（W→）

第4号性格不明遺構　土層（NE→）

第4号性格不明遺構　Pit1
土層（W→）

写真36　第1・2号土器埋設遺構、第1・2号集石遺構、第4号性格不明遺構

第2号竪穴住居跡　完掘（W→）

第2号竪穴住居跡　土層（SW→）

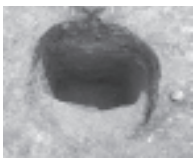
第2号竪穴住居跡　土層（NW→）

第2号竪穴住居跡　カマド完掘（W→）

第3号竪穴住居跡　完掘（W→）

第3号竪穴住居跡　土層（W→）

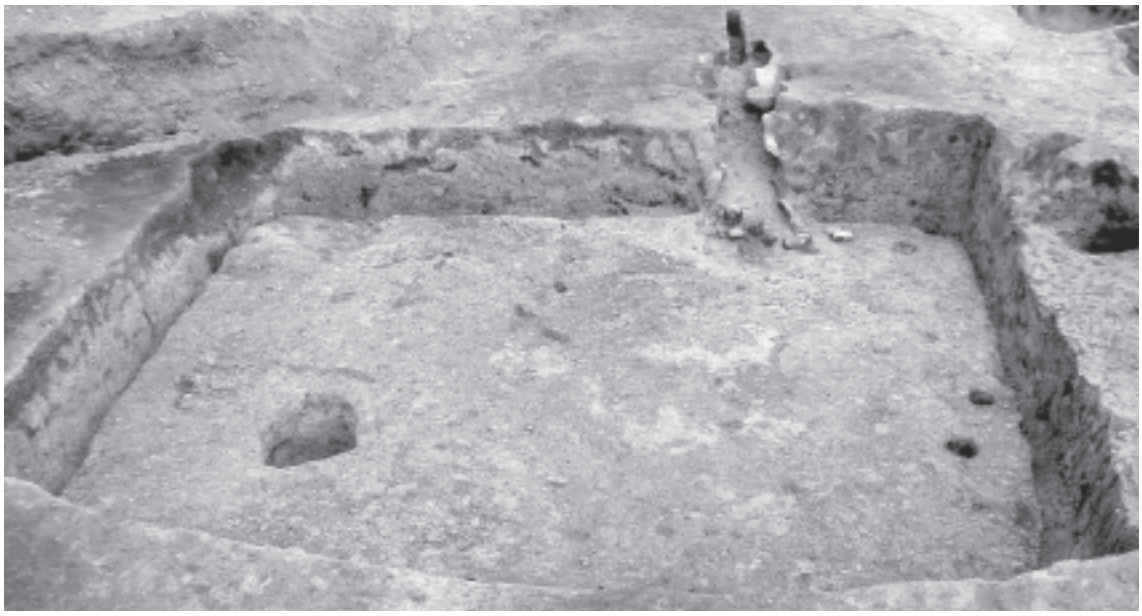
第3号竪穴住居跡カマド右袖　遺物出土状況（W→）



第3号竪穴住居跡
Pit 3　完掘（NE→）

第3号竪穴住居跡　カマド完掘（W→）

写真37　第2・3号竪穴住居跡

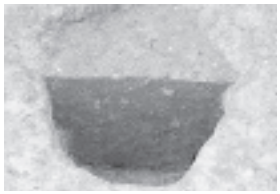


第7号竪穴住居跡　完掘（N→）

第7号竪穴住居跡　土層（N→）

第7号竪穴住居跡　カマド完掘（N→）

第10号竪穴住居跡
炭化材検出状況（NW→）

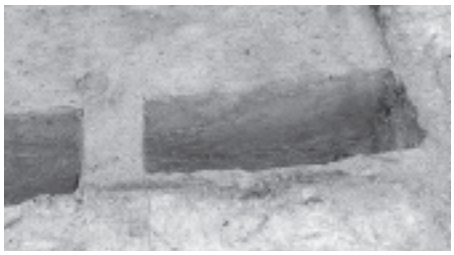


第7号竪穴住居跡　Pit 1
土層（SE→）

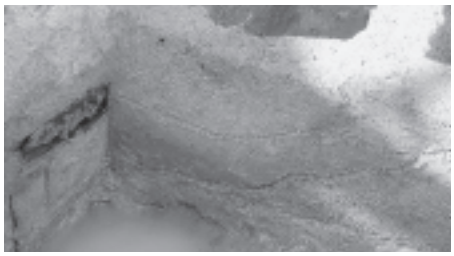
第10号竪穴住居跡　炭化材検出状況（SW→）

写真38　第7・10号竪穴住居跡

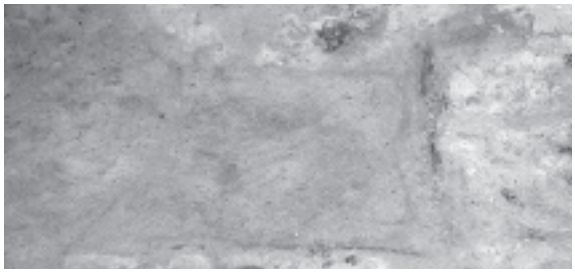
第1号木組遺構、流路1　検出状況（S→）



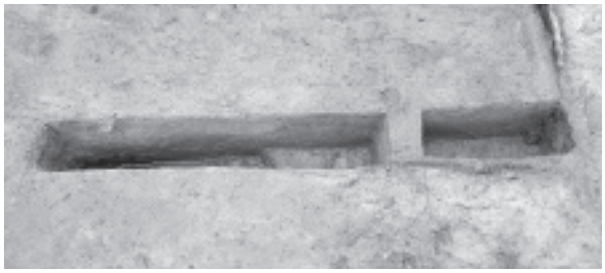
第1号木組遺構　土層（E→）



第1号木組遺構　土層（E→）

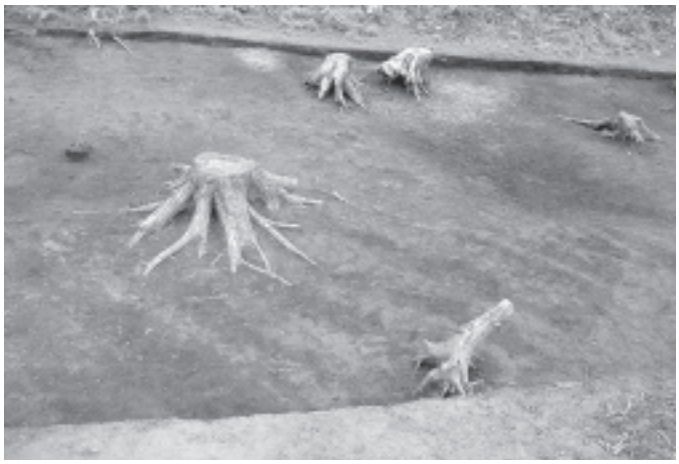


第1号木組遺構　検出状況（E→）



第1号木組遺構　土層（E→）

第1号木組遺構　完掘（S→）

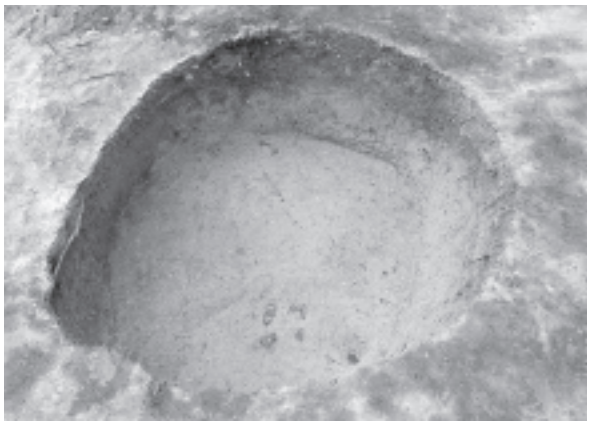


第1号畝状遺構　検出状況（E→）

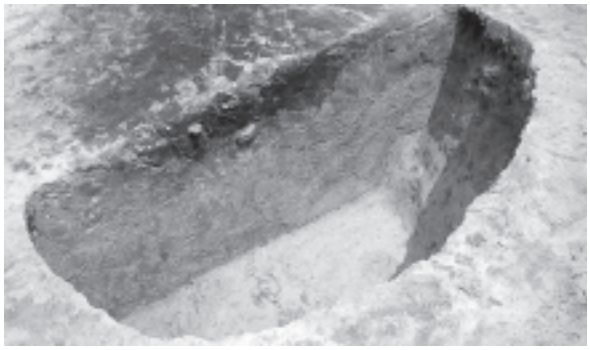
第1号畝状遺構　完掘（E→）

第2号畝状遺構　検出状況（W→）

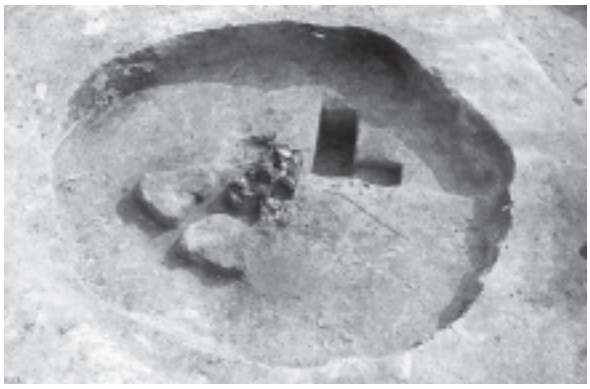
写真39　第1号木組遺構、第1・2号畝状遺構


第74号土坑　完掘（S→）

第116号土坑　完掘（NW→）

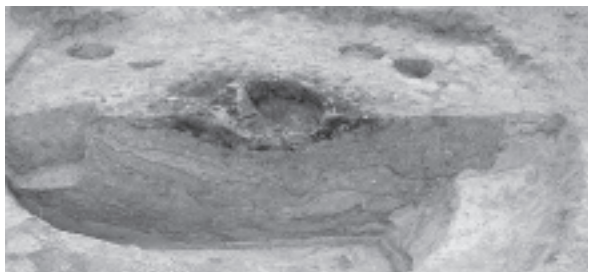

第74号土坑　土層（S→）

第116号土坑　土層（NW→）


第116号土坑　遺物出土状況（NW→）

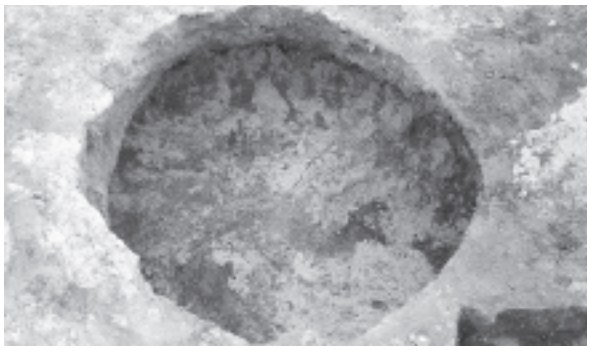
第102号土坑　完掘（N→）

第117号土坑　完掘（S→）

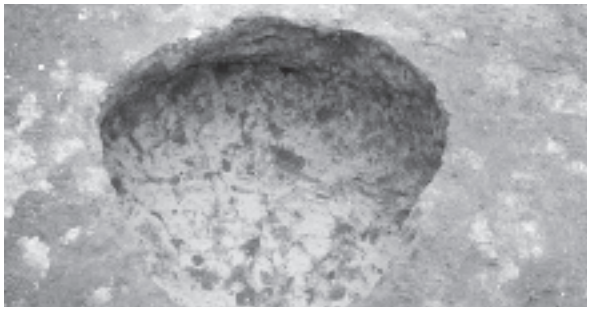

第102号土坑　土層（N→）

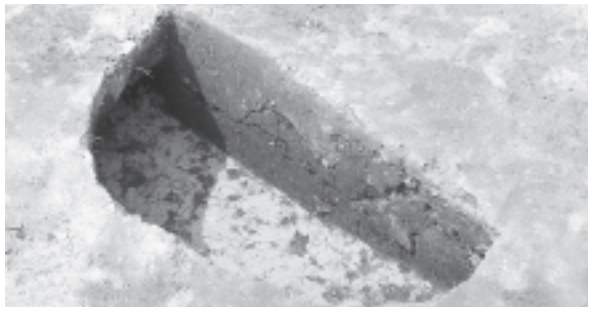
第117号土坑　土層（W→）

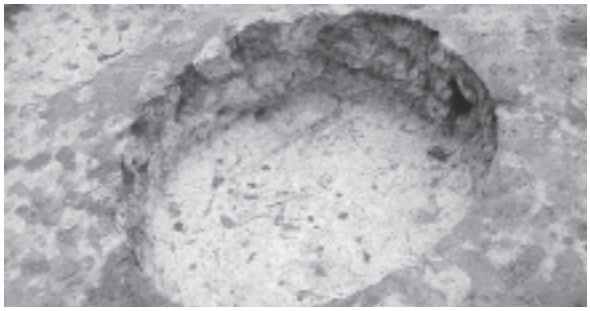
写真40　土坑AⅡ・Ⅳ類

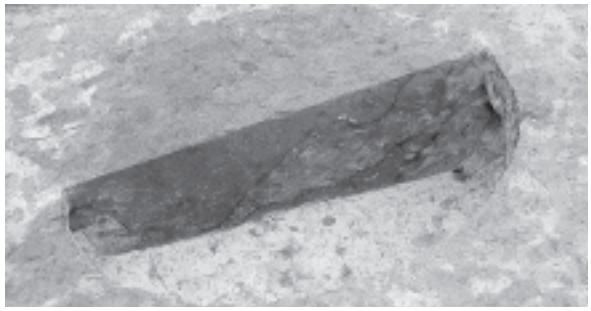

第12号土坑　完掘（S→）

第12号土坑　土層（S→）

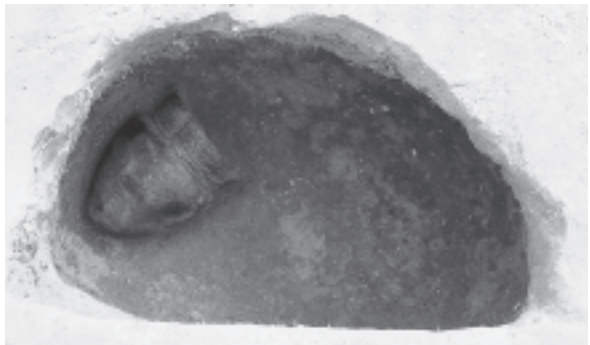

第17号土坑　完掘（S→）

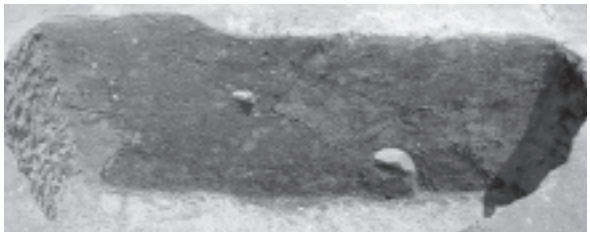

第17号土坑　土層（S→）


第22号土坑　完掘（S→）


第22号土坑　土層（SW→）

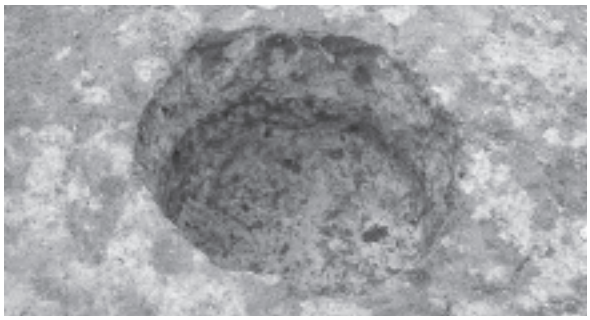
第79号土坑　完掘（W→）

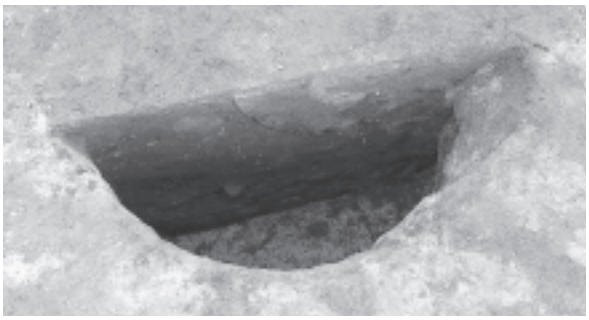

第79号土坑　遺物出土状況（NW→）

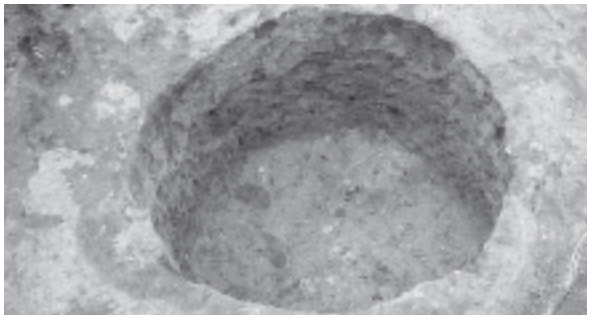

第79号土坑　土層（S→）

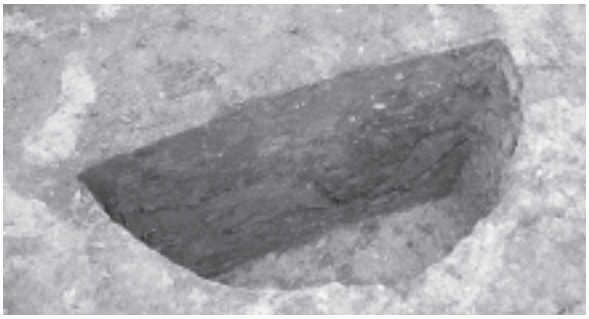
第79号土坑　遺物出土状況（NE→）

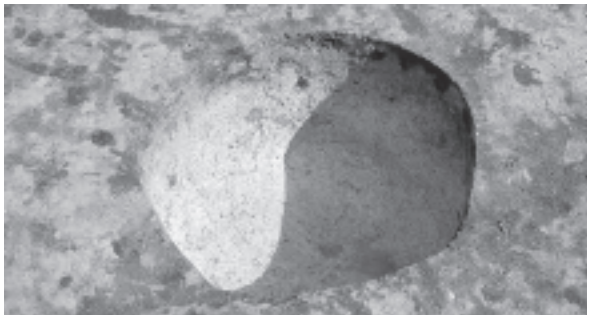
写真41　土坑BⅠ・BⅠa類

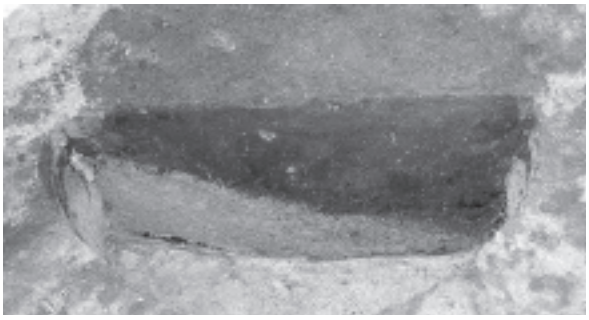

第62号土坑　完掘（S→）

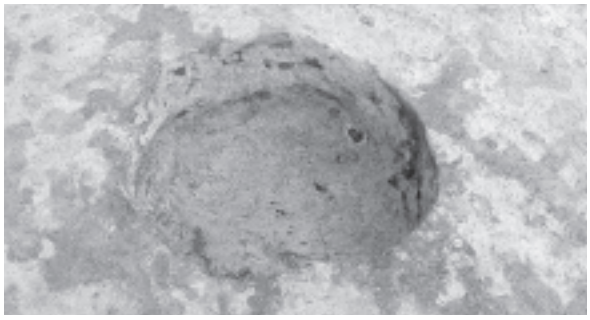

第62号土坑　土層（S→）

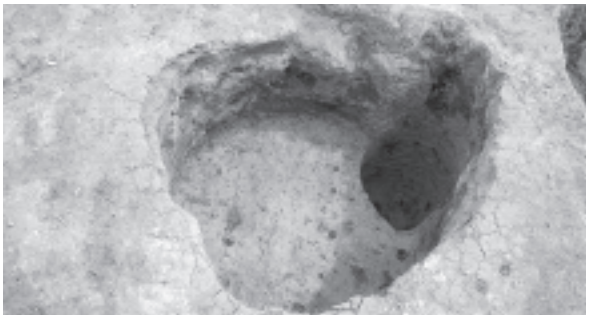

第93号土坑　完掘（W→）

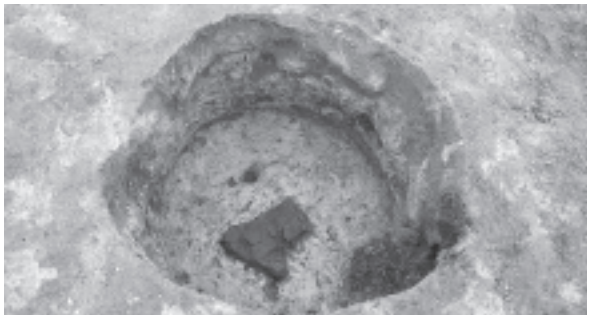

第93号土坑　土層（W→）


第128号土坑　完掘（W→）


第128号土坑　土層（S→）


第129号土坑　完掘（N→）


第129号土坑　完掘（S→）


第15号土坑　遺物出土状況（S→）

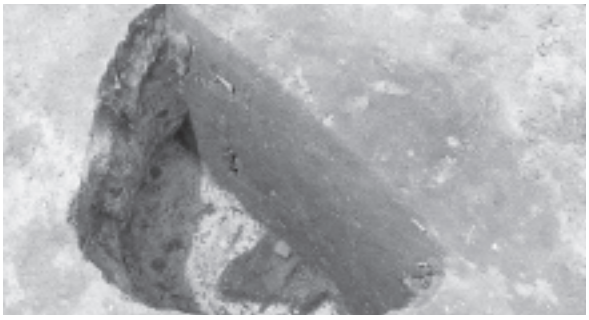
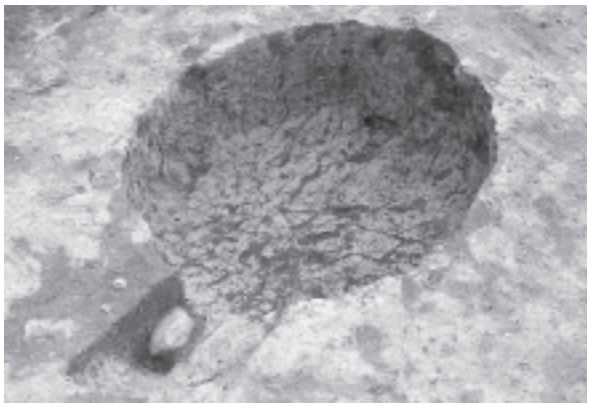
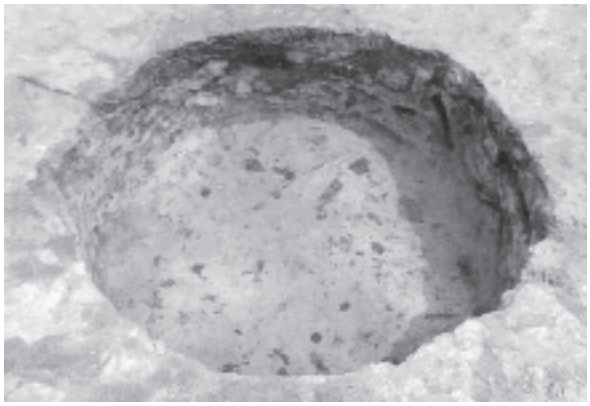

第15号土坑　土層（S→）

写真42　土坑BⅡ類

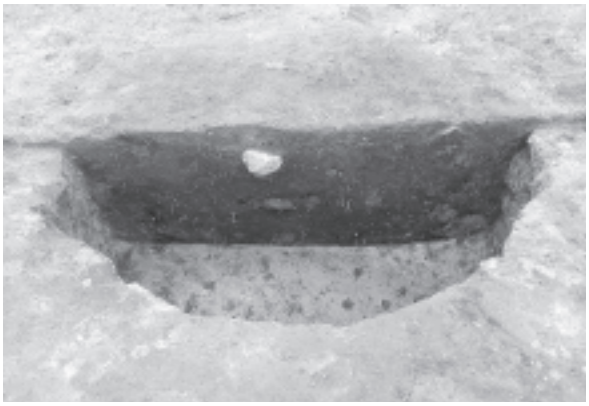


第3号土坑　完掘（S→）

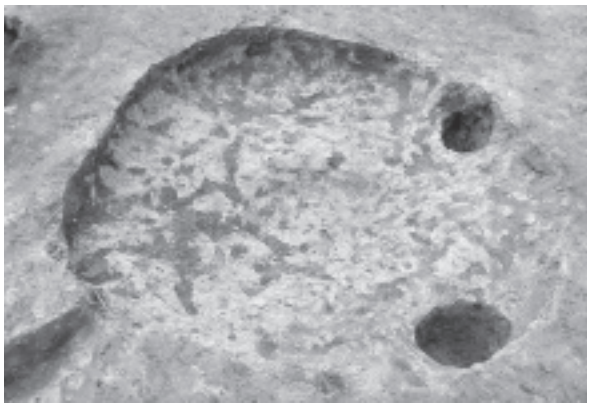
第3号土坑　土層（SE→）



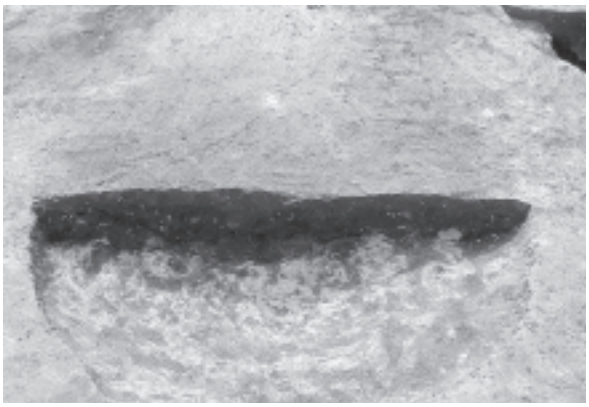
第30号土坑　完掘（W→）



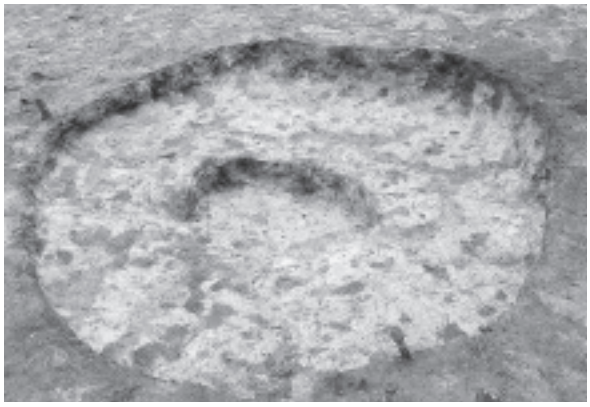
第30号土坑　土層（SW→）



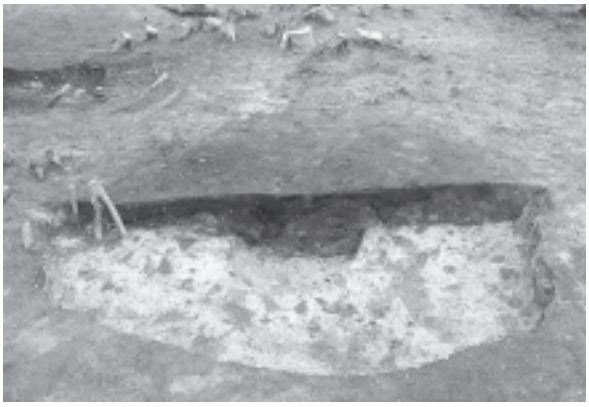
第119号土坑　完掘（S→）



第119号土坑　土層（S→）

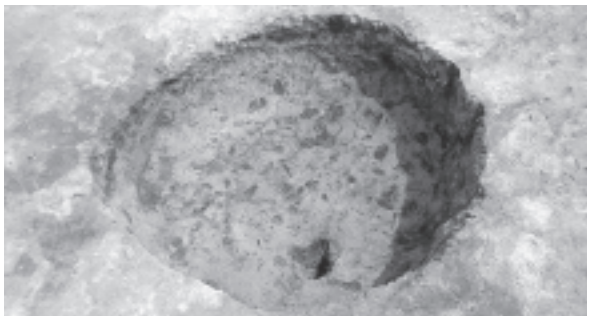


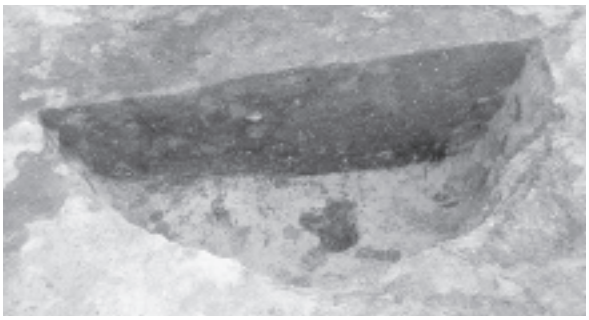
第19号土坑　完掘（S→）

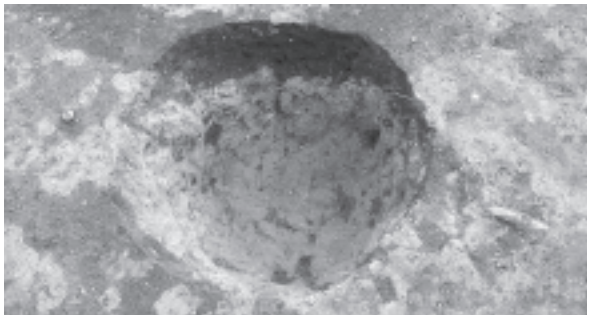


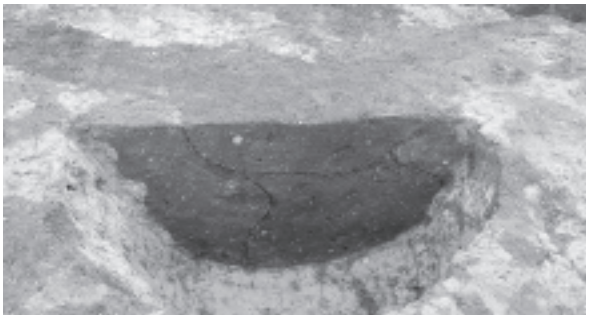
第19号土坑　土層（S→）

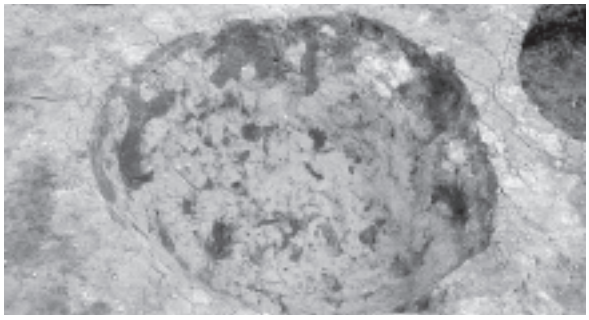
写真43　土坑BIII・BIIIa類

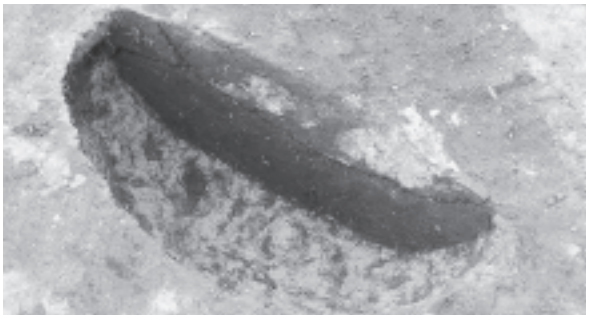

第41号土坑　完掘（S→）

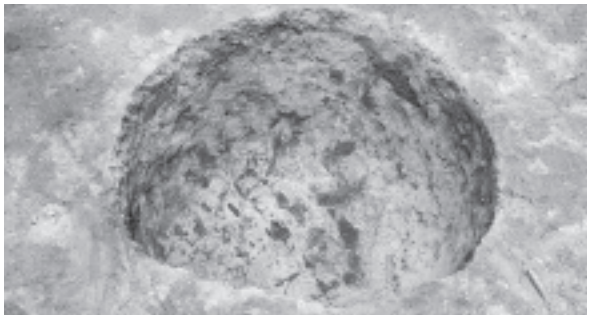

第41号土坑　土層（W→）


第91号土坑　完掘（NW→）

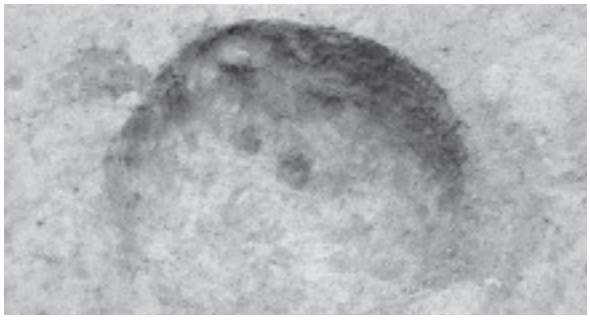

第91号土坑　土層（NE→）


第21号土坑　完掘（S→）


第21号土坑　土層（S→）

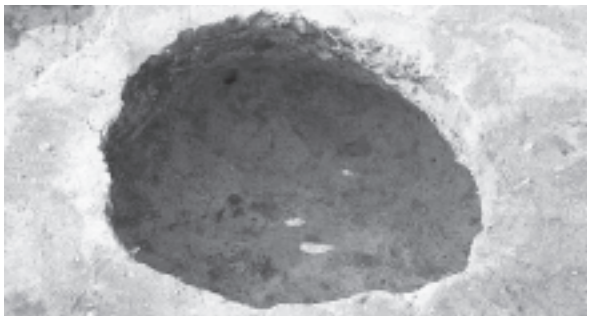

第37号土坑　完掘（S→）

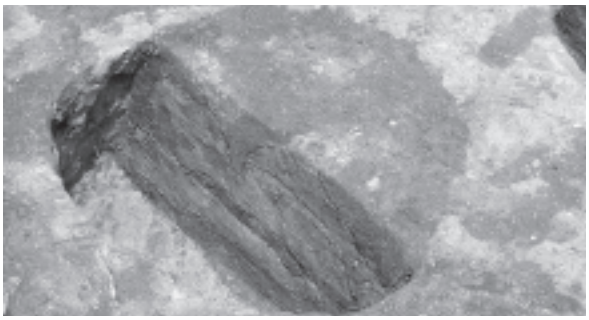
第37号土坑　土層（SW→）

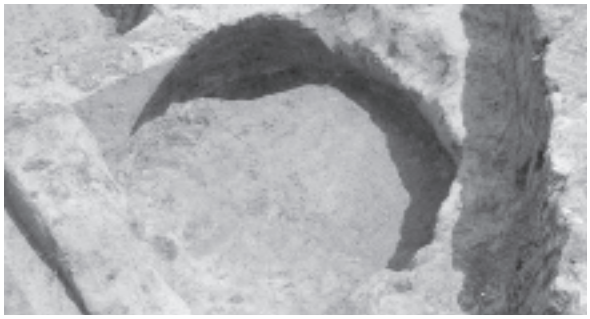

第136号土坑　完掘（W→）

第136号土坑　土層（SW→）

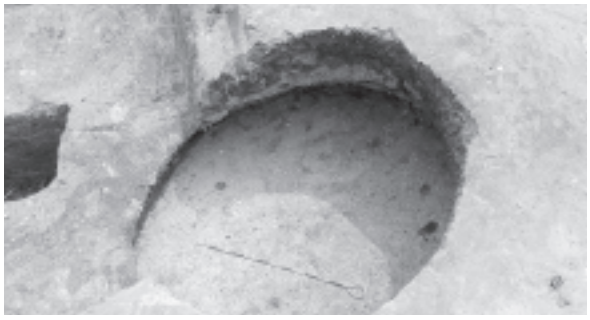
写真44　土坑BⅣ・BⅤ類

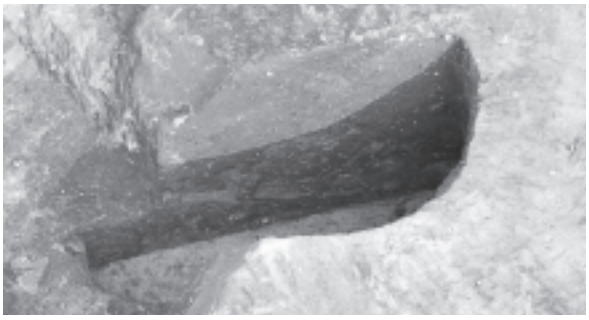

第10号土坑　完掘（S→）

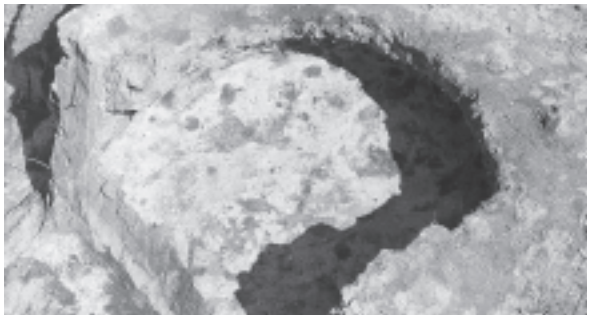

第10号土坑　土層（S→）

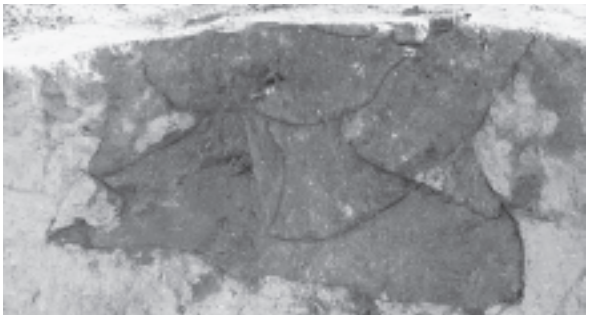

第63号土坑　完掘（W→）

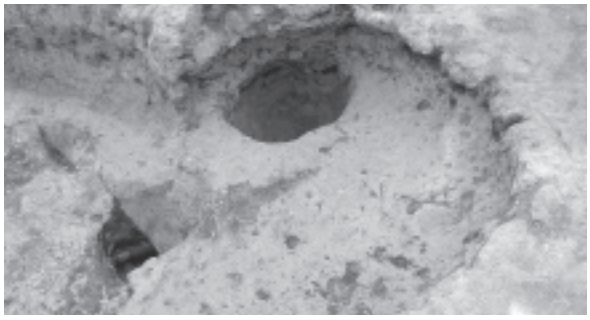
第63号土坑　土層（S→）


第75号土坑　完掘（NW→）


第75号土坑　土層（W→）


第115号土坑　完掘（SW→）


第115号土坑　土層（W→）


第27号土坑　完掘（N→）

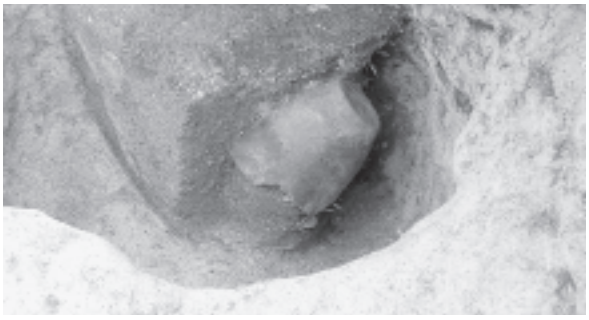
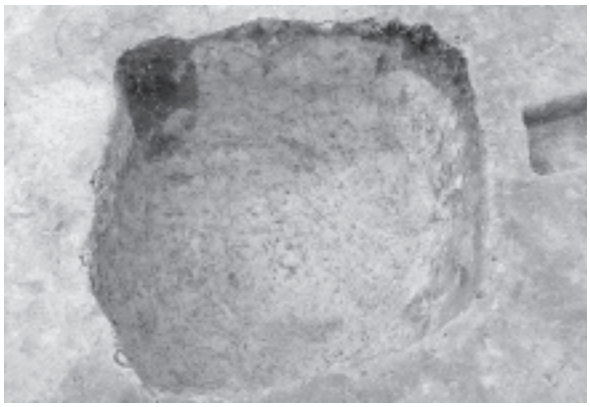
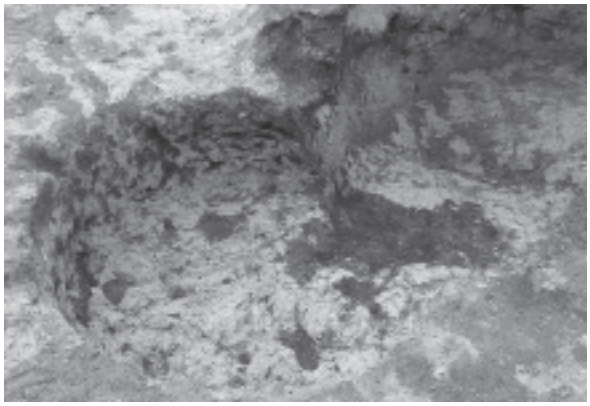

第27号土坑Pit 1　遺物出土状況（W→）

写真45　土坑CⅠ・CⅠa類


第44号土坑　完掘（SE→）

第44号土坑　土層（E→）


第90号土坑　完掘（NE→）

第56号土坑　完掘（S→）

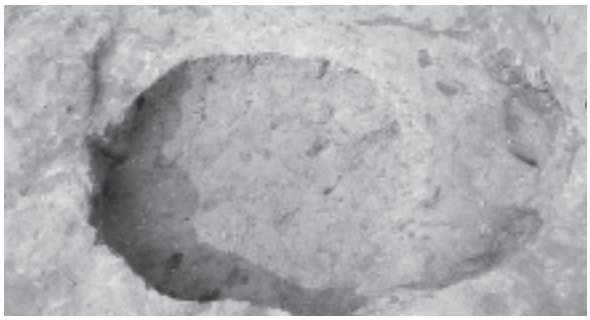
第135号土坑　完掘（E→）

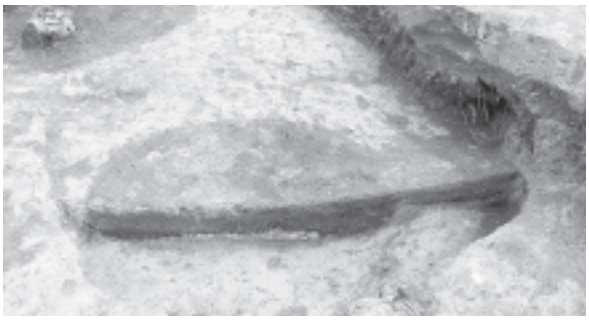
第135号土坑　土層（SE→）

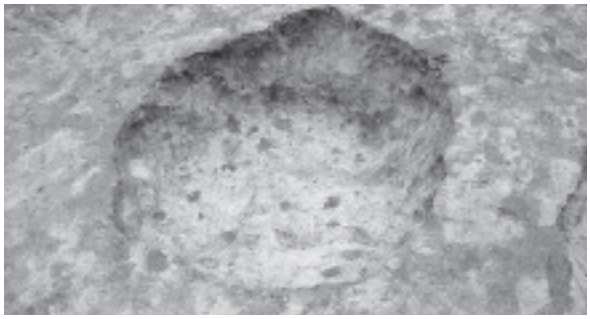
第36号土坑Pit1　完掘（S→）

第36号土坑　土層（SW→）

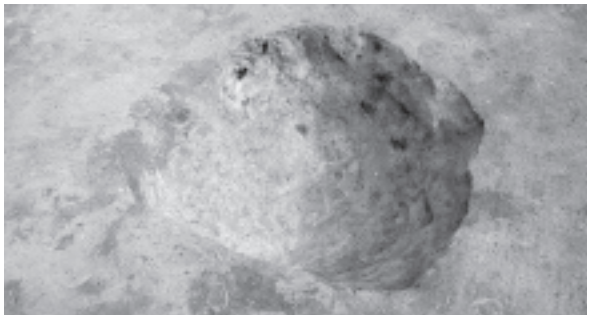
写真46　土坑CⅡ・CⅡa・CⅢ・CⅢa類

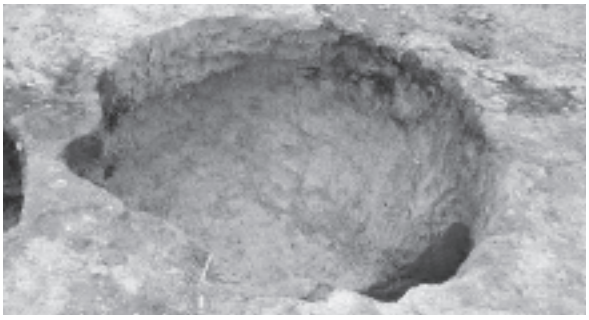

第81・82号土坑　完掘（S→）

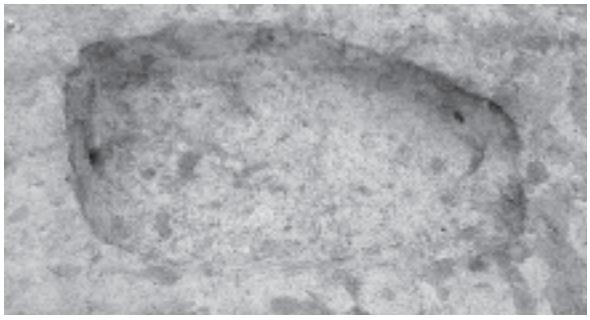

第81・82号土坑　土層（S→）

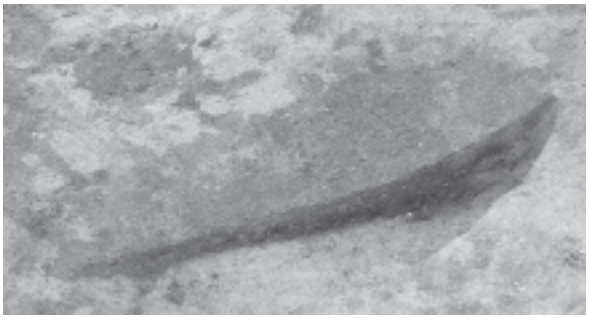

第120号土坑　完掘（SW→）

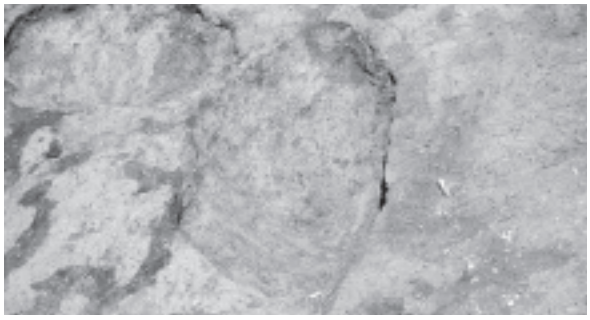
第120号土坑　土層（SW→）


第132号土坑　完掘（W→）


第14号土坑　完掘（S→）


第139号土坑　完掘（N→）


第139号土坑　土層（S→）


第112号土坑　完掘（S→）

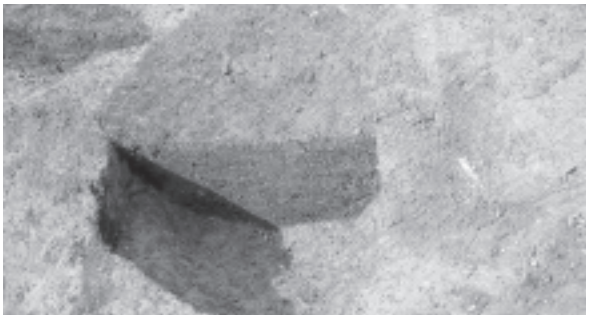

第14号土坑　土層（S→）

写真47　土坑CⅢb・CⅣ・CⅤ・DⅡ・DⅣ・DⅤ類

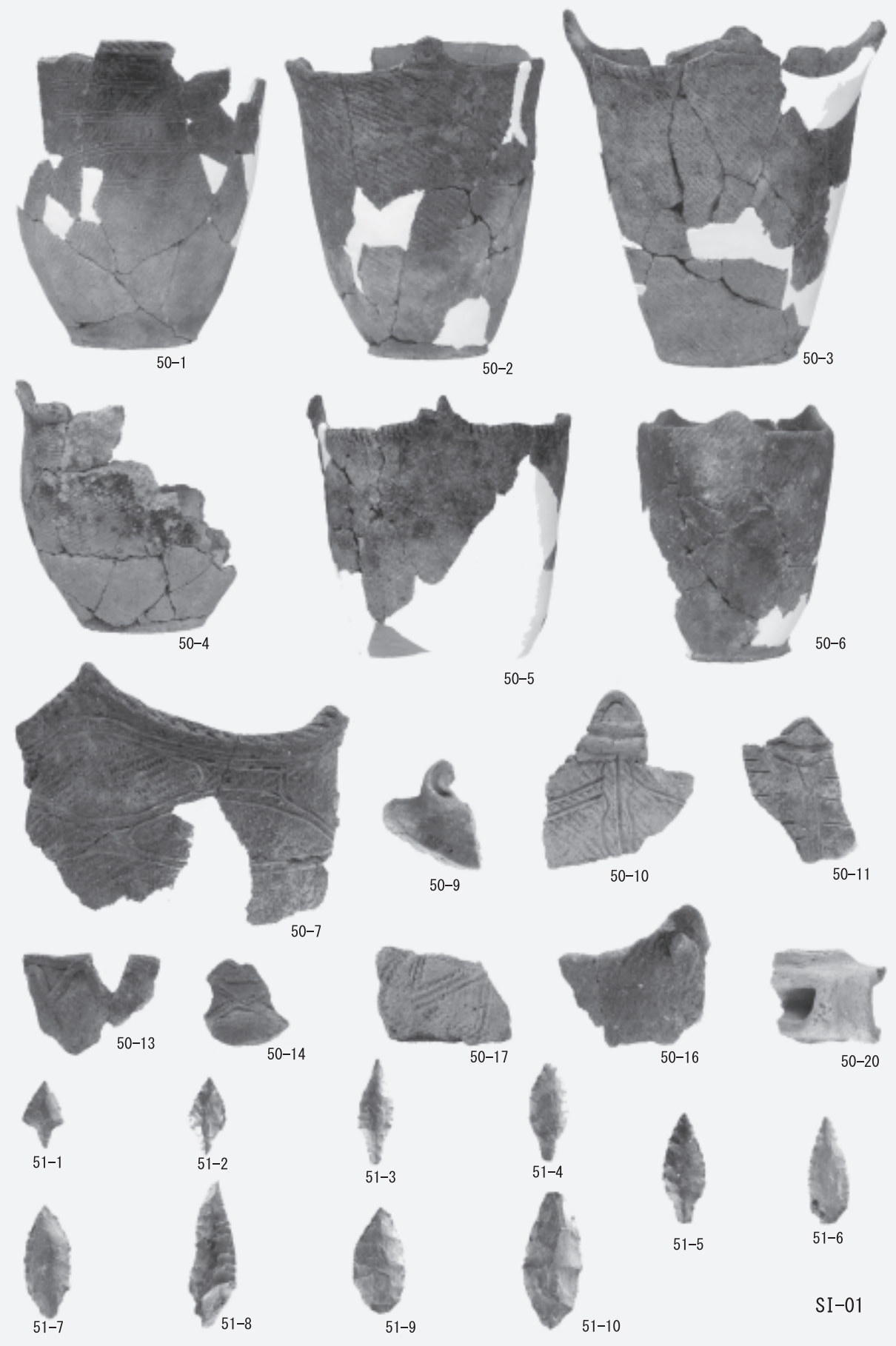


写真48　竪穴住居跡出土遺物（1）

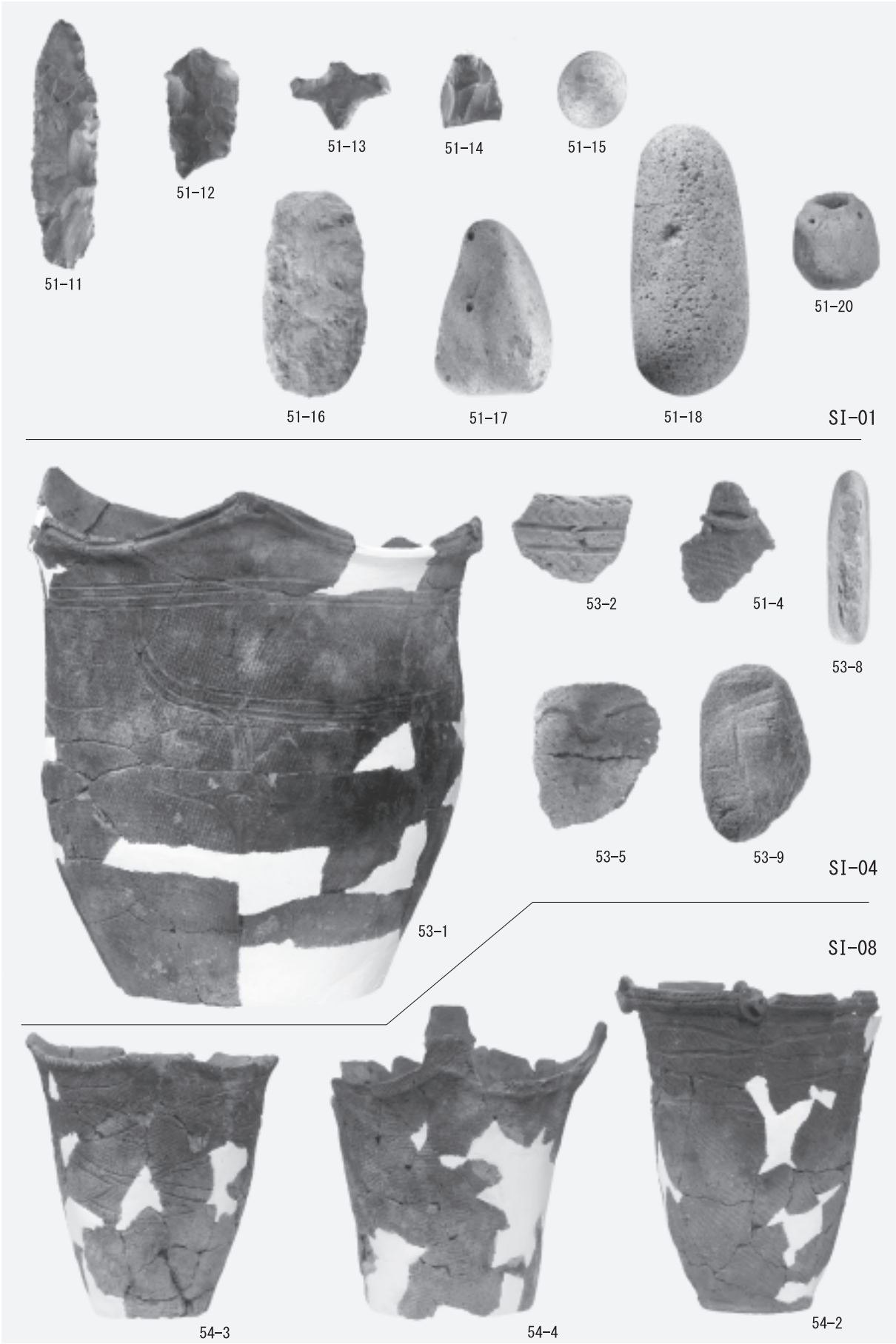


写真49　竪穴住居跡出土遺物(2)

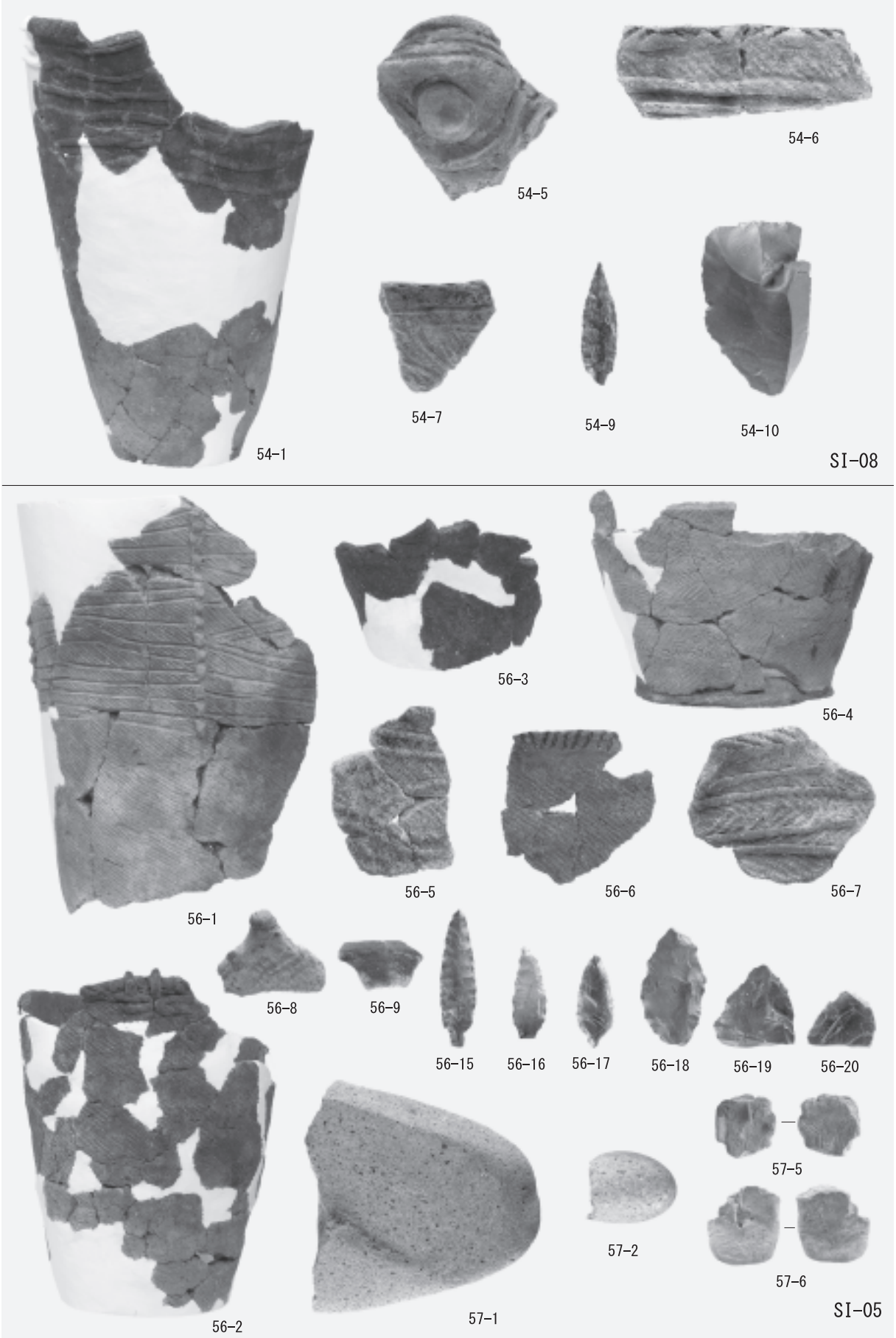


写真50　竪穴住居跡出土遺物(3)

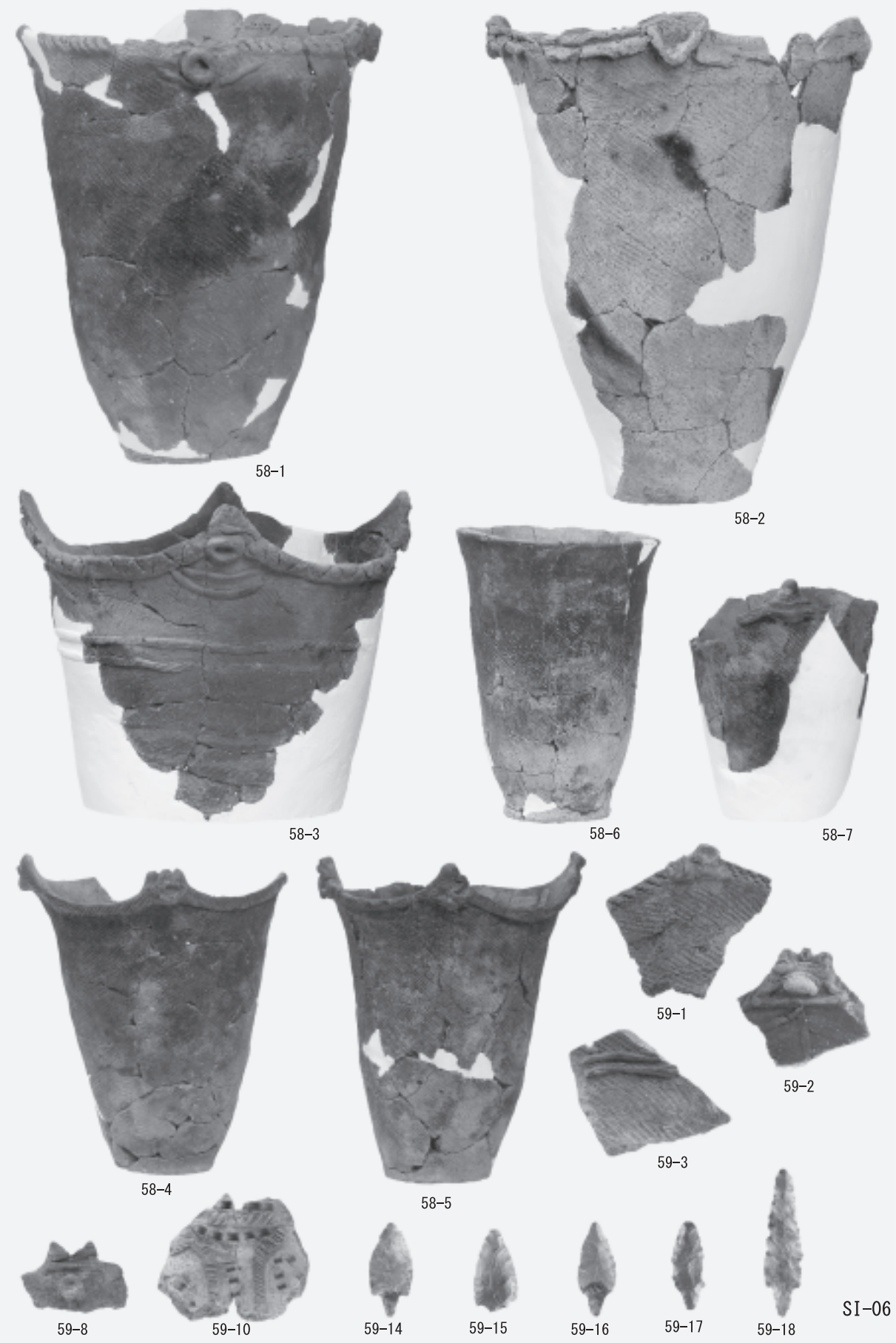


写真51　竪穴住居跡出土遺物(4)

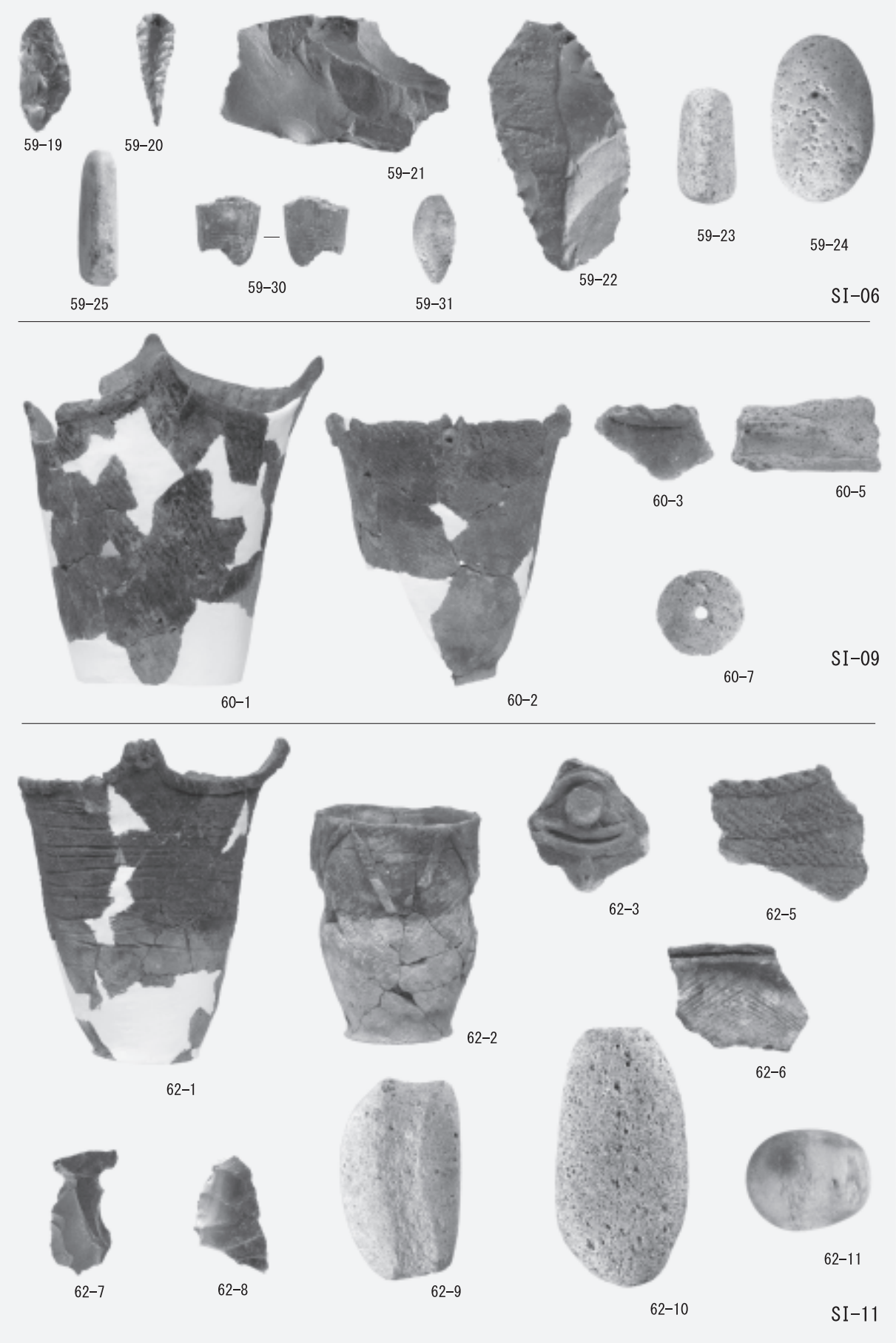


写真52　竪穴住居跡出土遺物(5)

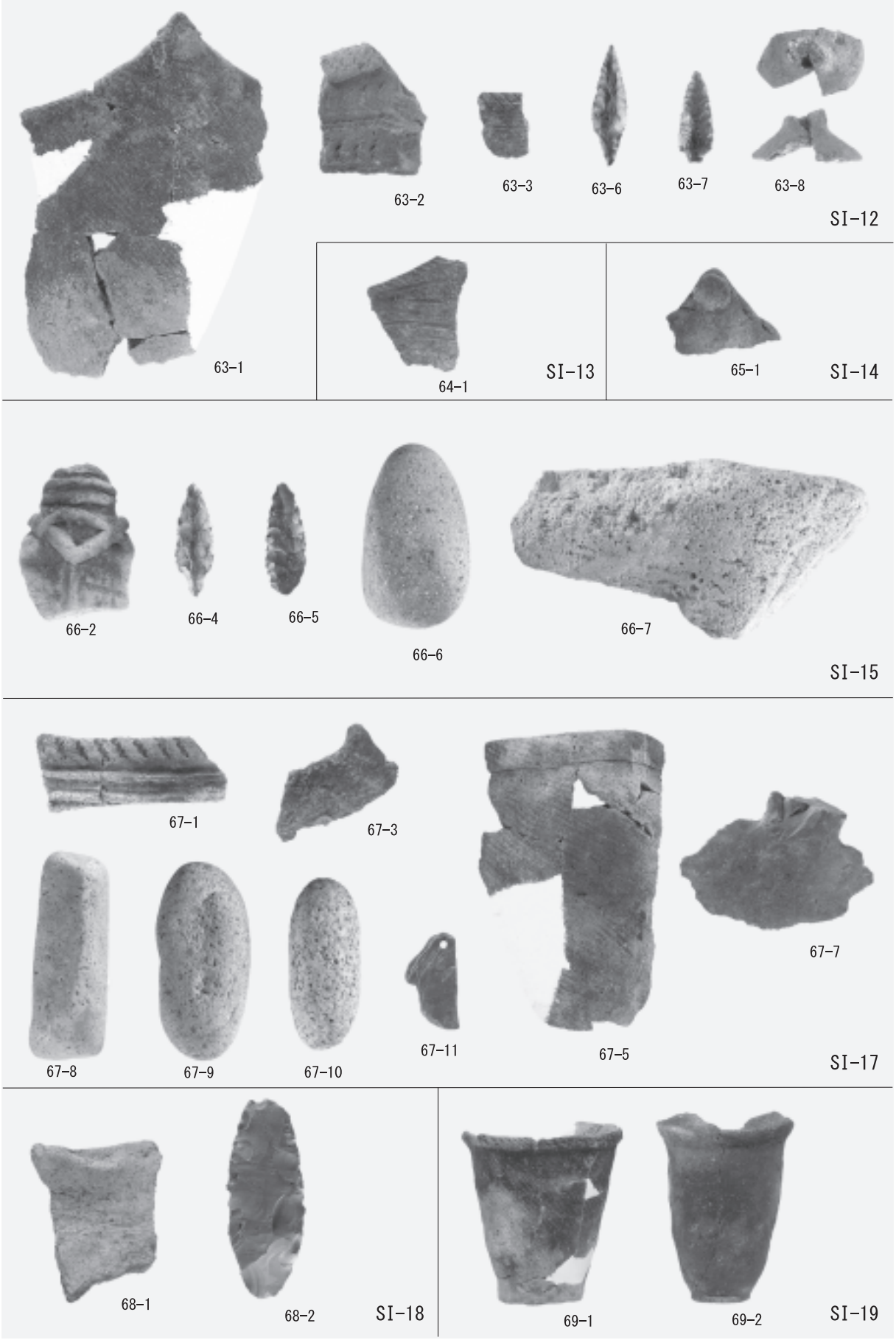


写真53　竪穴住居跡出土遺物(6)

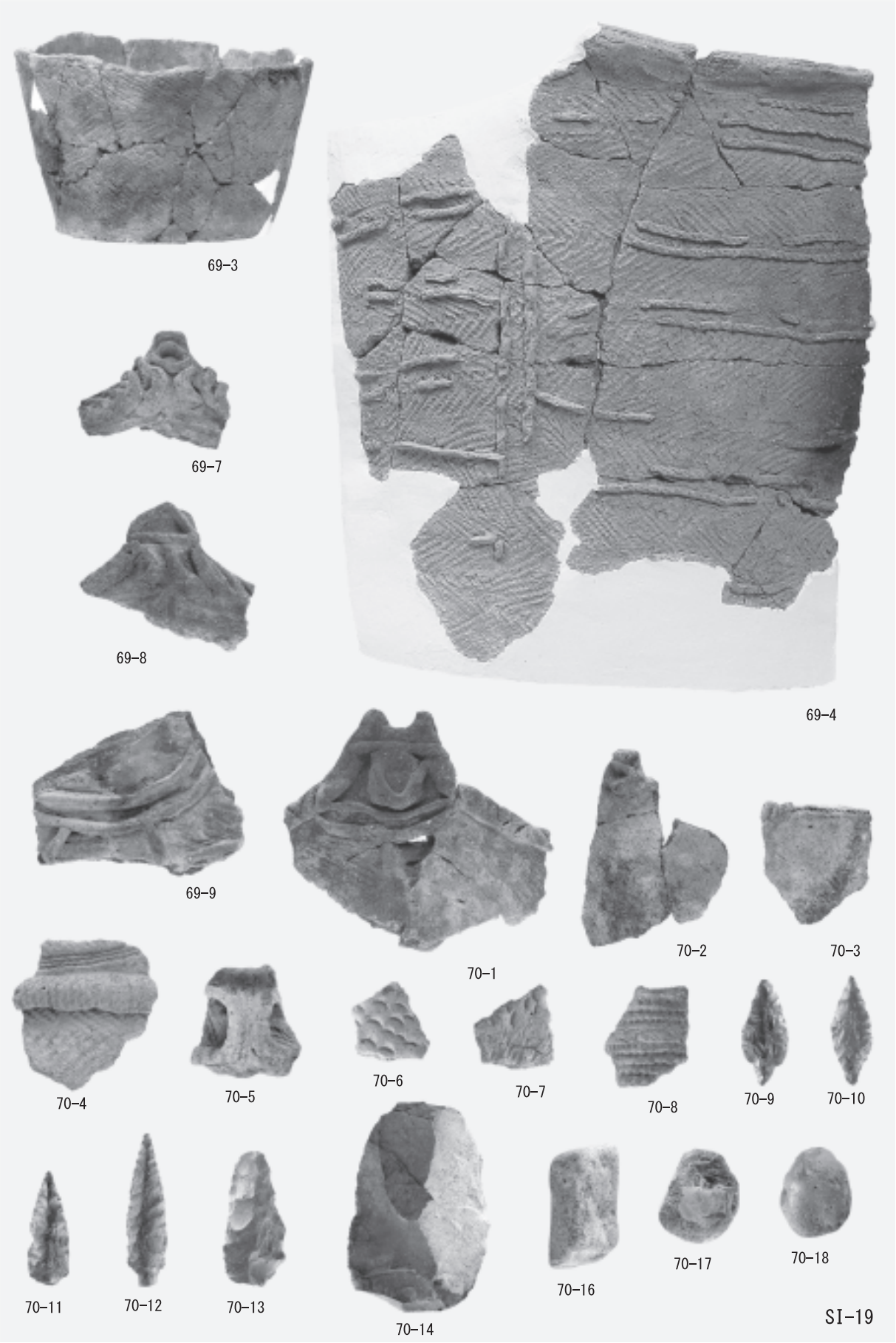


写真54　竪穴住居跡出土遺物（7）

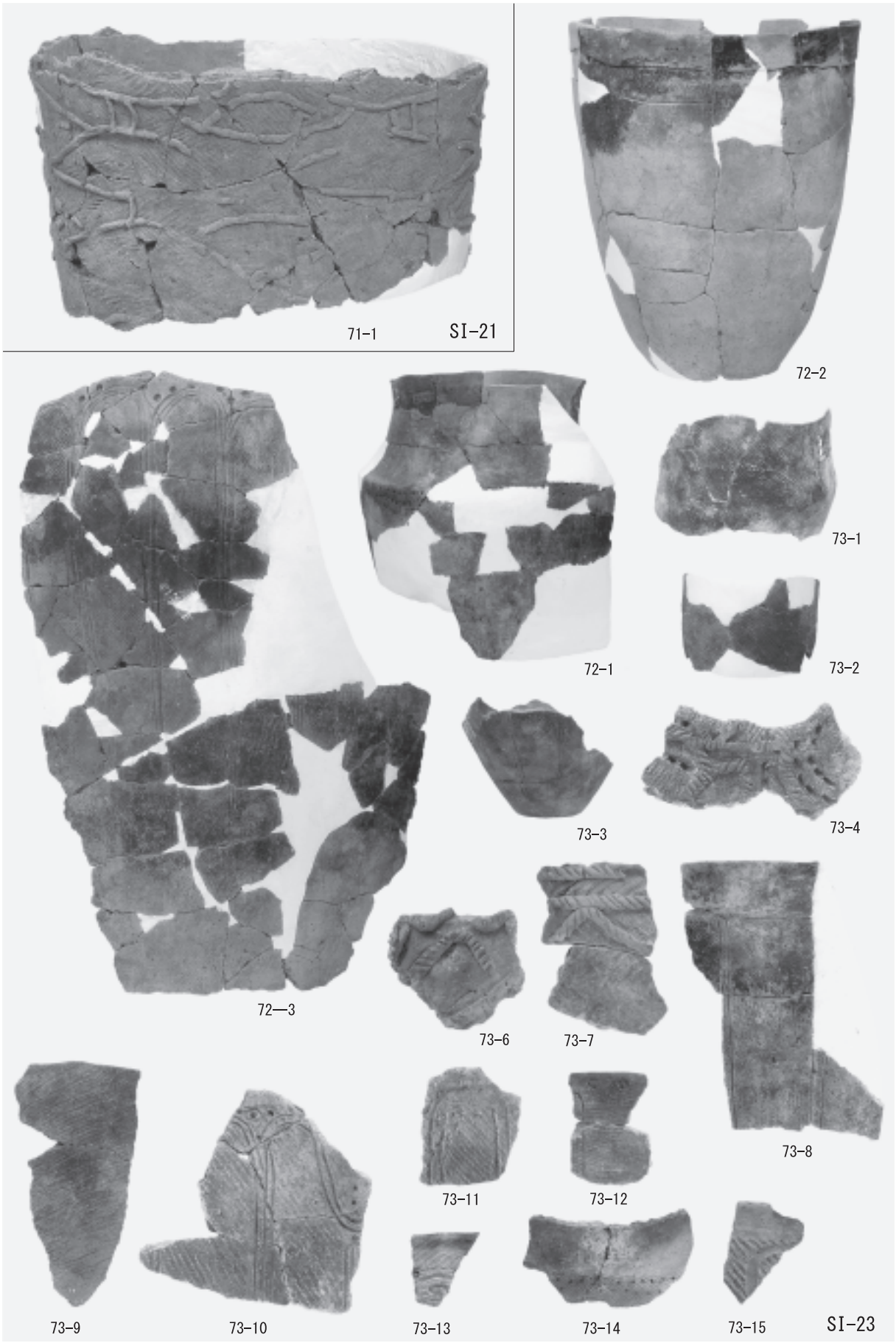


写真55　竪穴住居跡出土遺物(8)

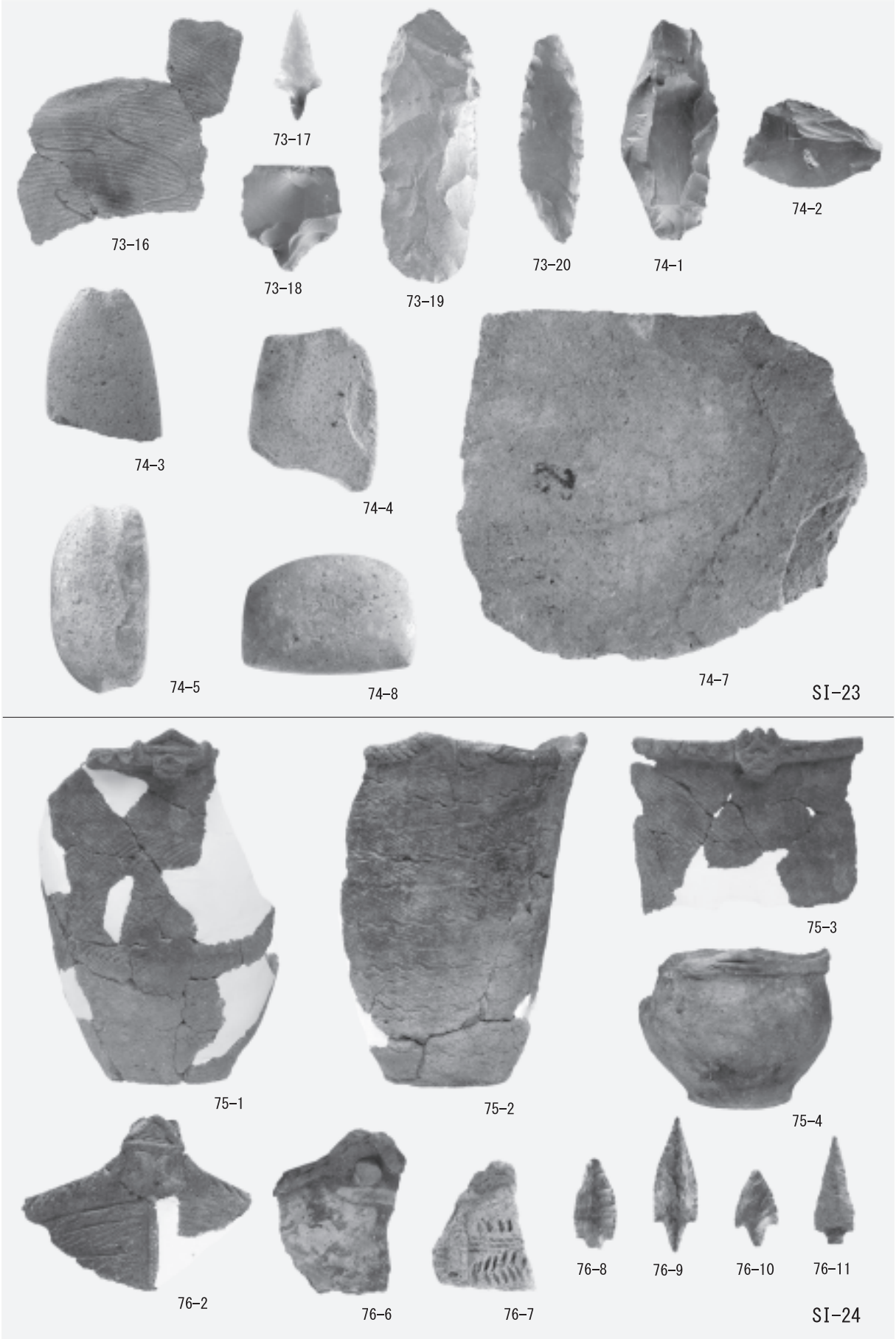


写真56　竪穴住居跡出土遺物(9)

写真57　竪穴住居跡出土遺物(10)

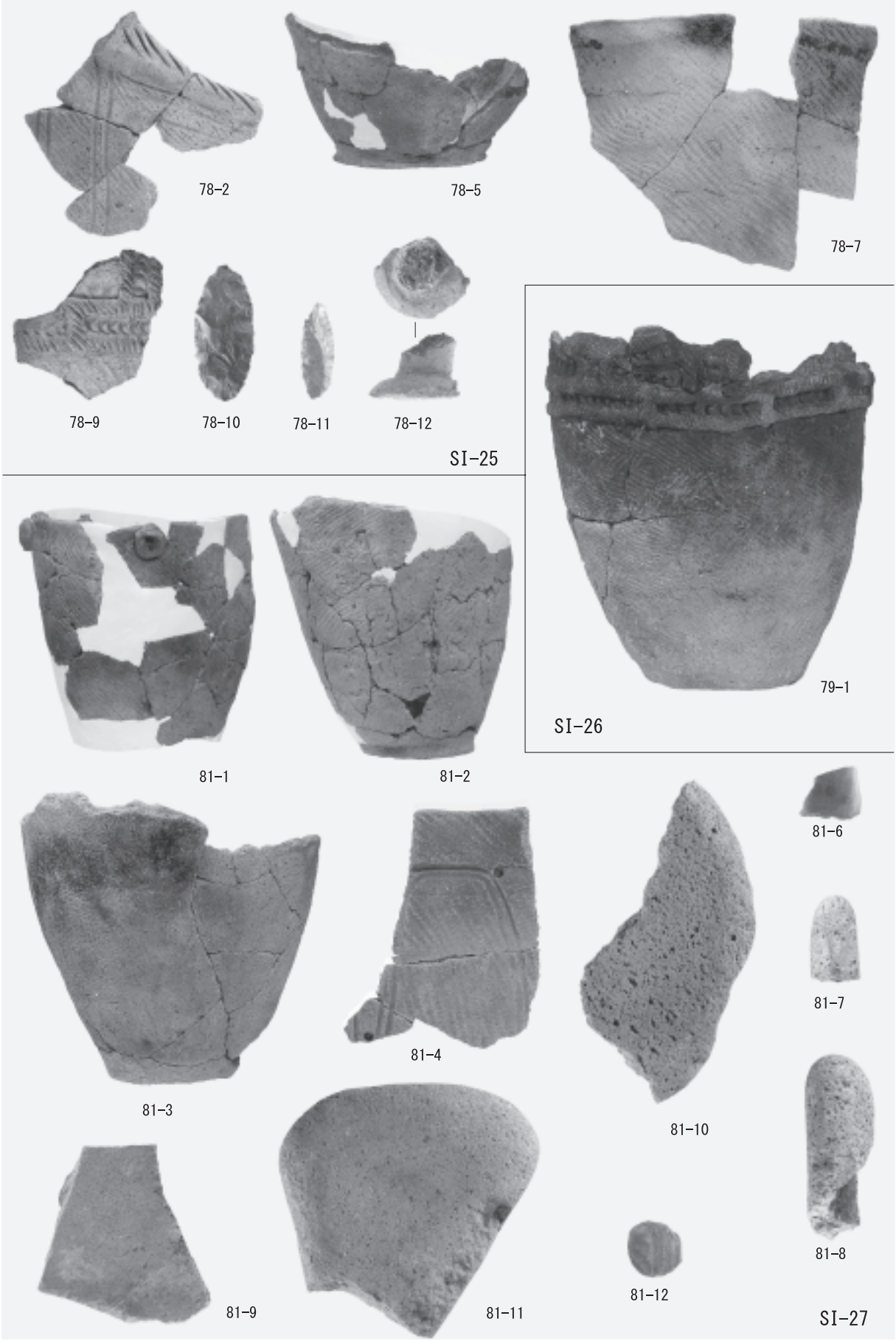


写真58　竪穴住居跡出土遺物(11)

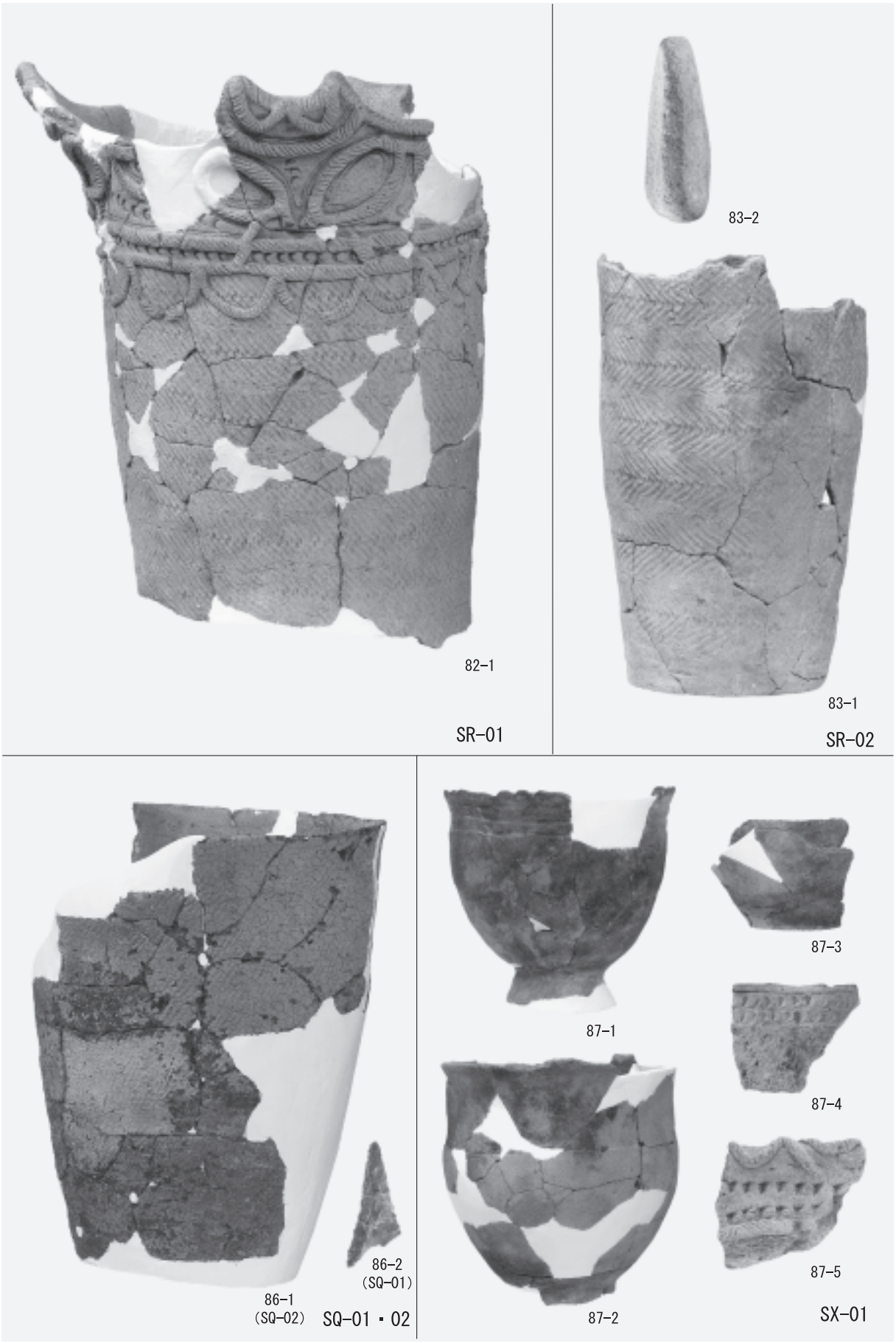


写真59　土器埋設遺構・集石遺構・性格不明遺構出土遺物(1)

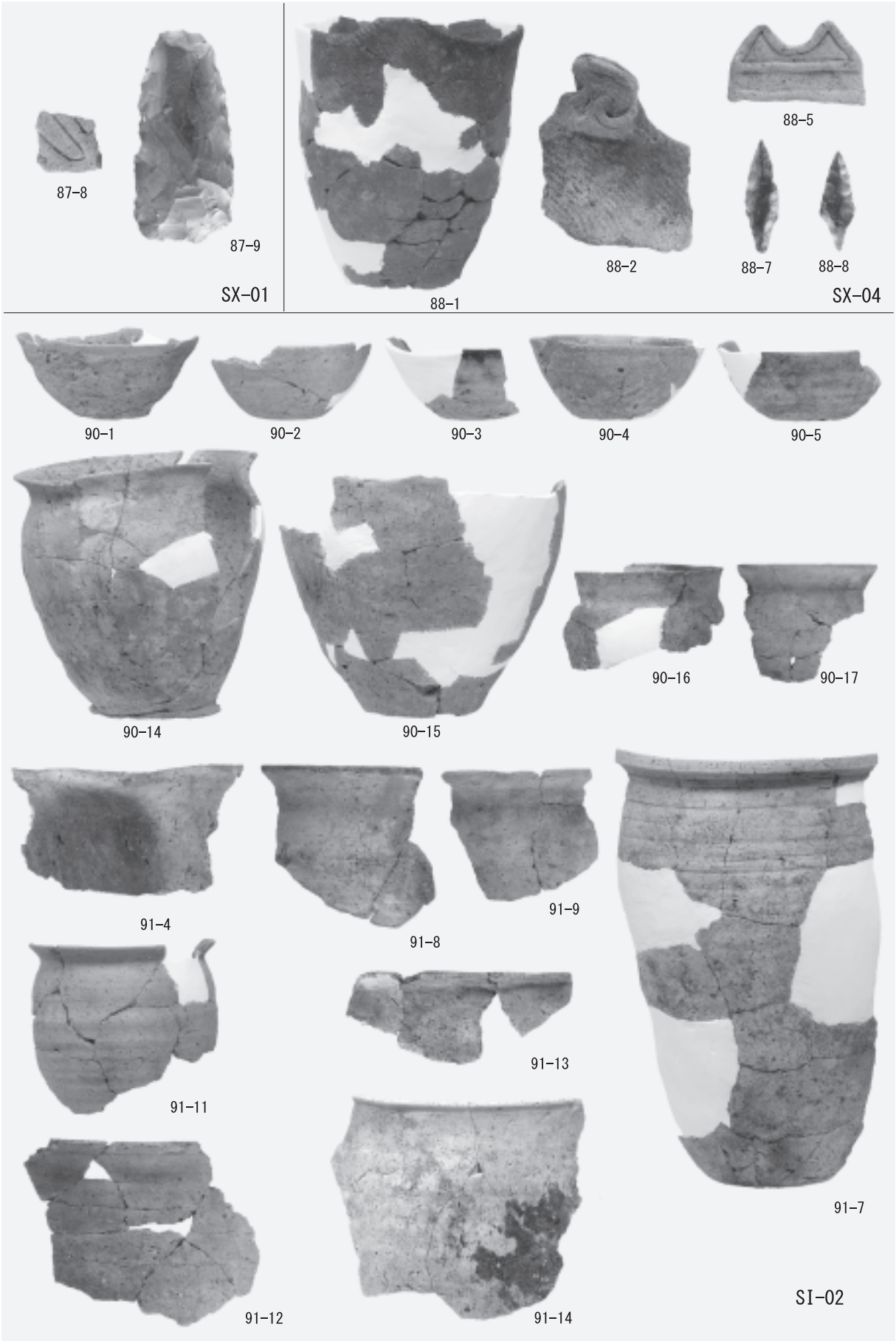
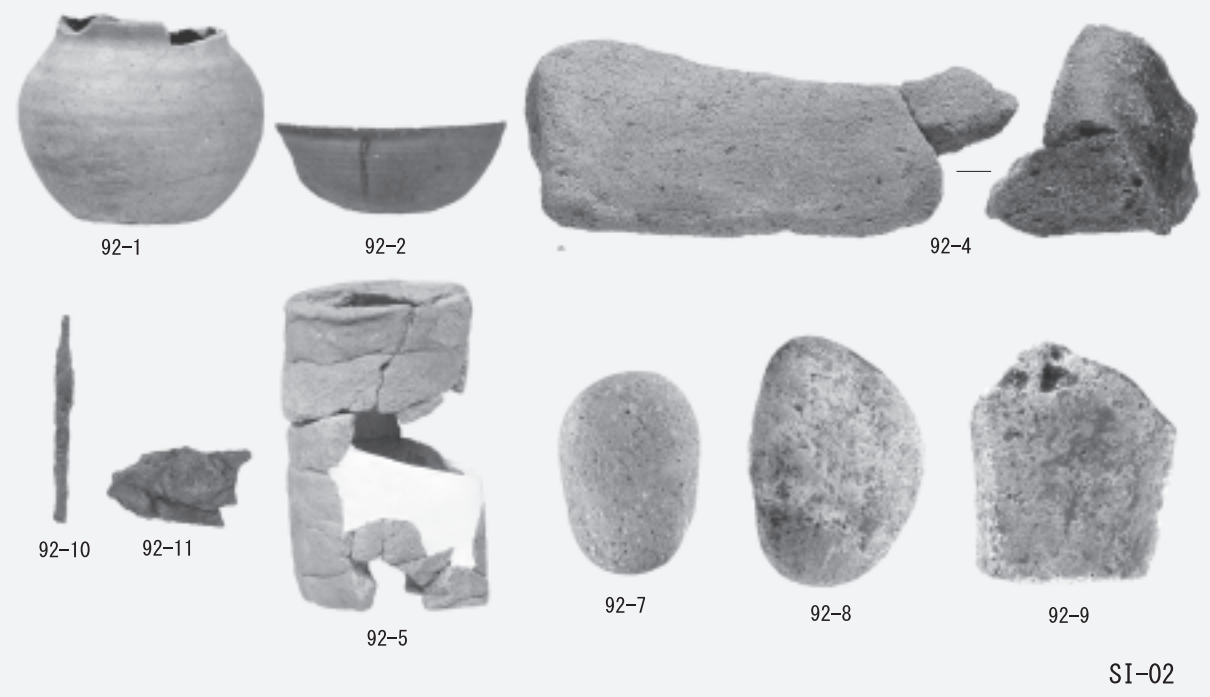


写真60　性格不明遺構(2)・竪穴住居跡出土遺物(12)



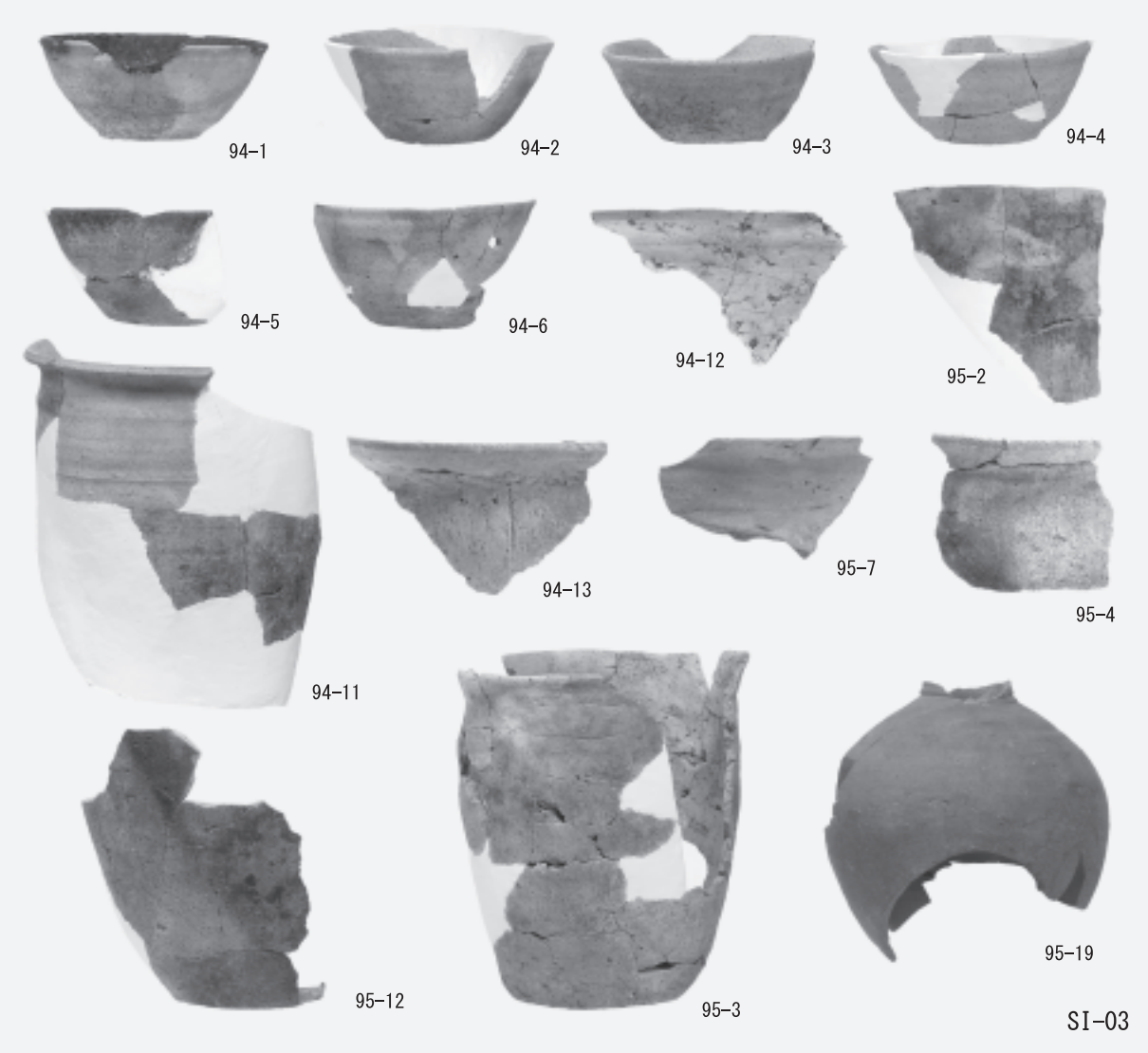


写真61　竪穴住居跡出土遺物(13)

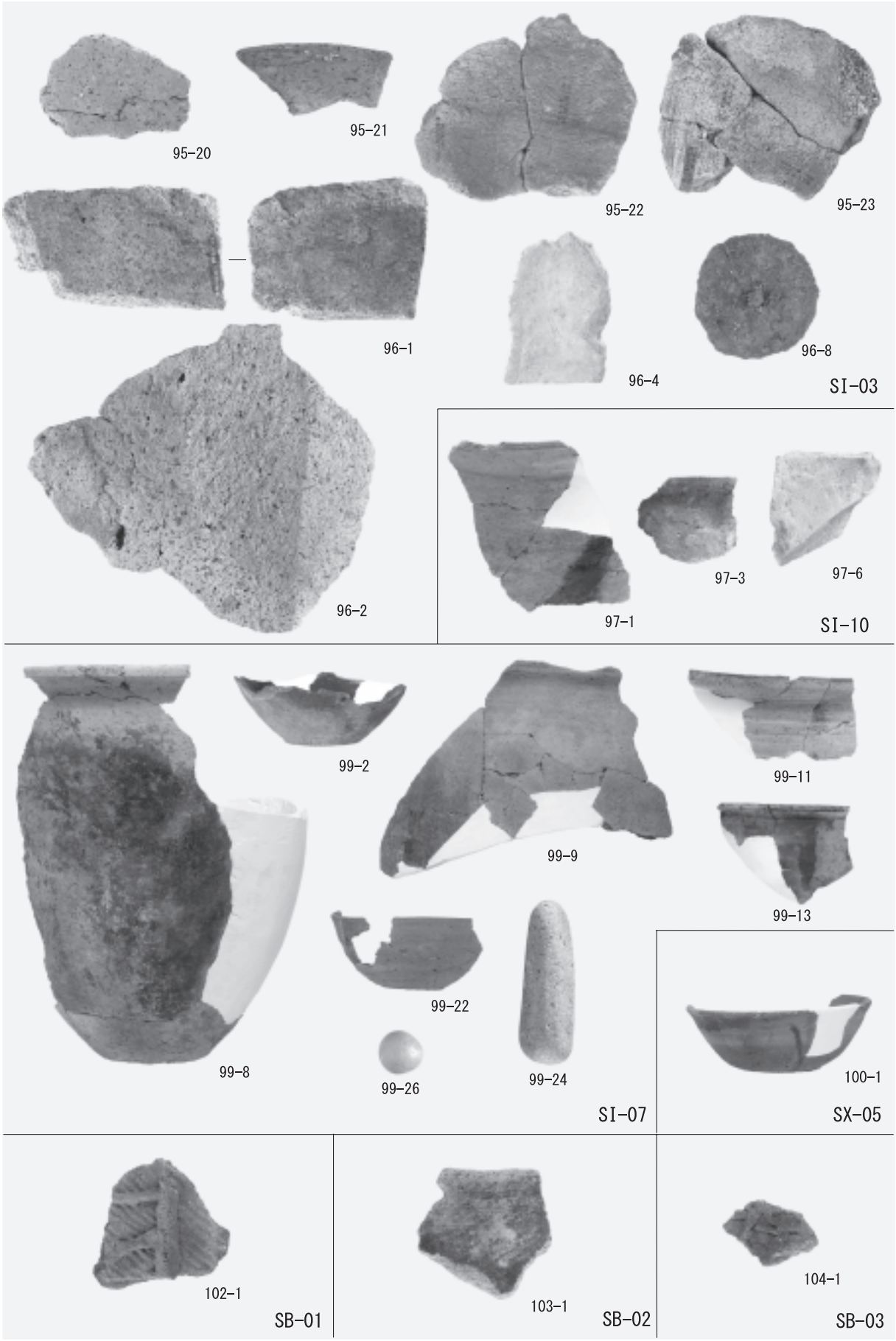


写真62　竪穴住居跡（14）・掘立柱建物跡出土遺物

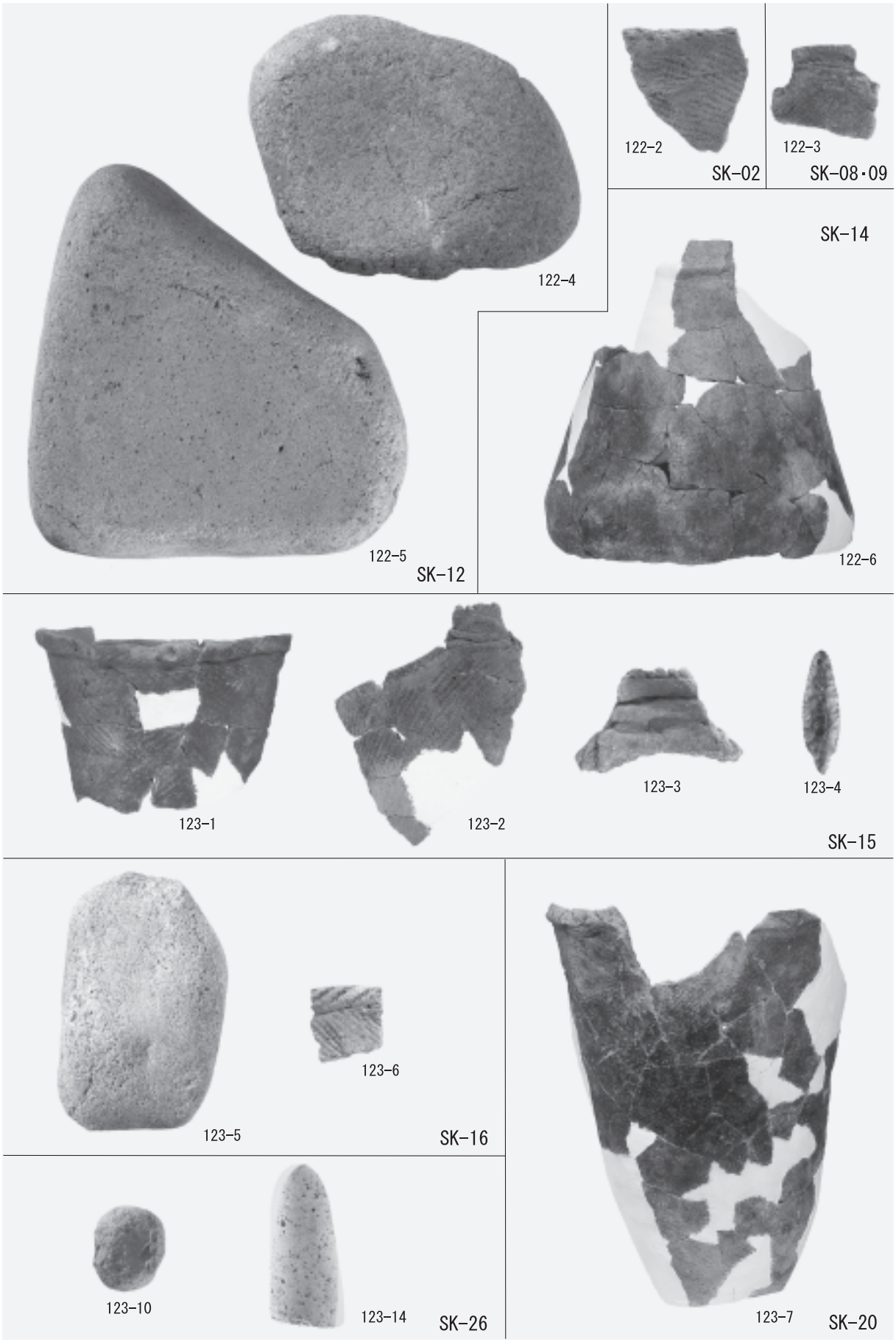


写真63　土坑出土遺物(1)

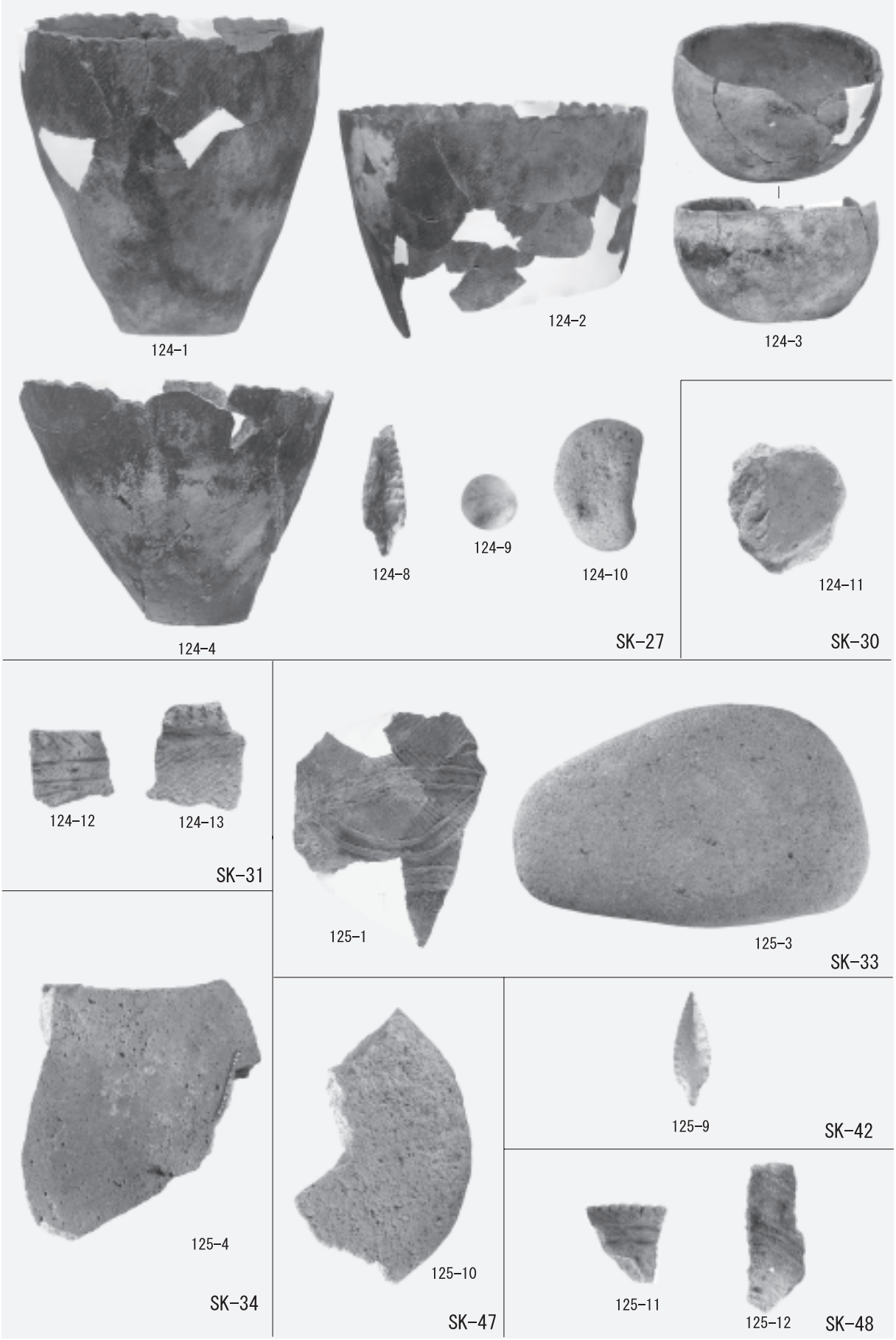


写真64　土坑出土遺物(2)

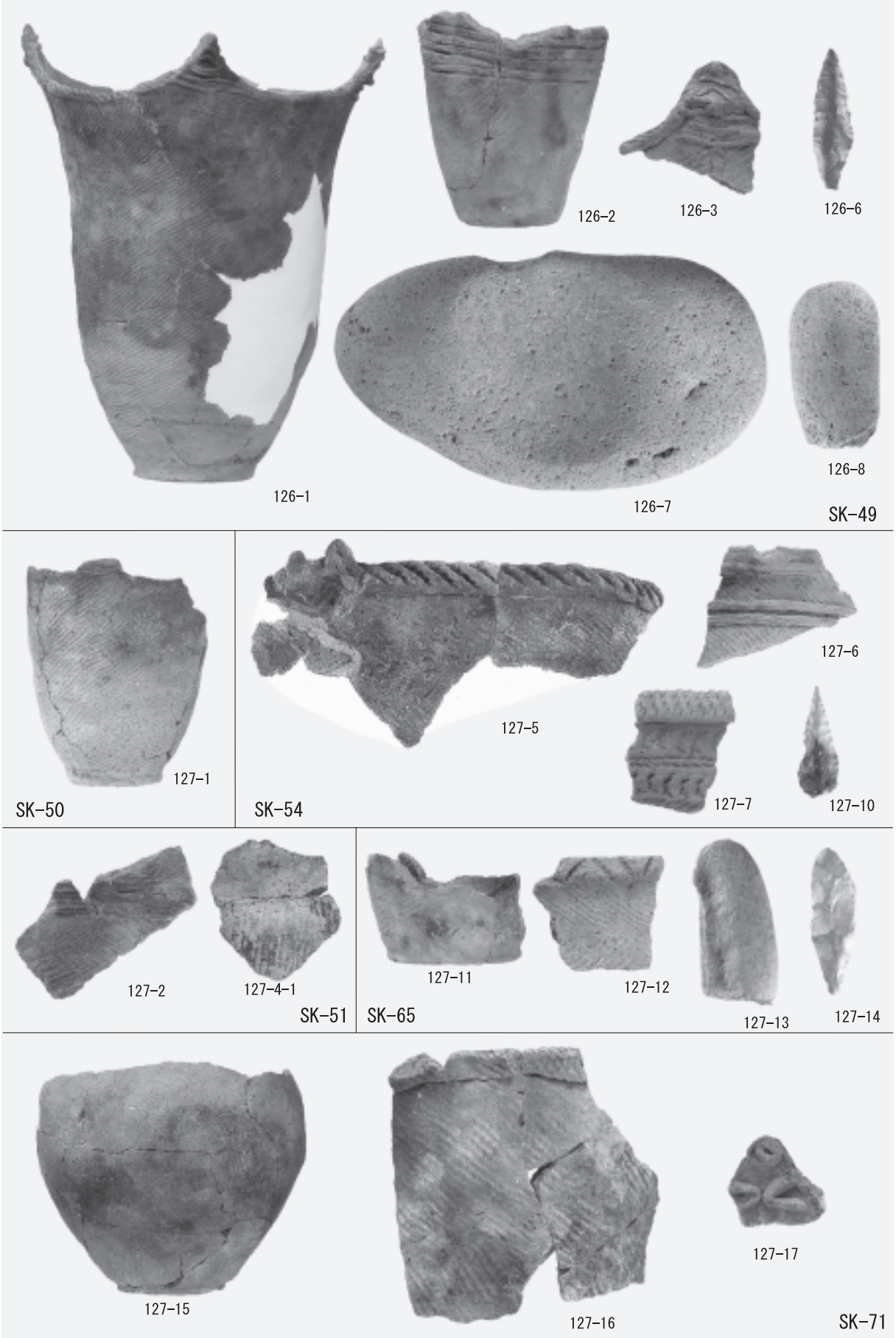


写真65　土坑出土遺物(3)

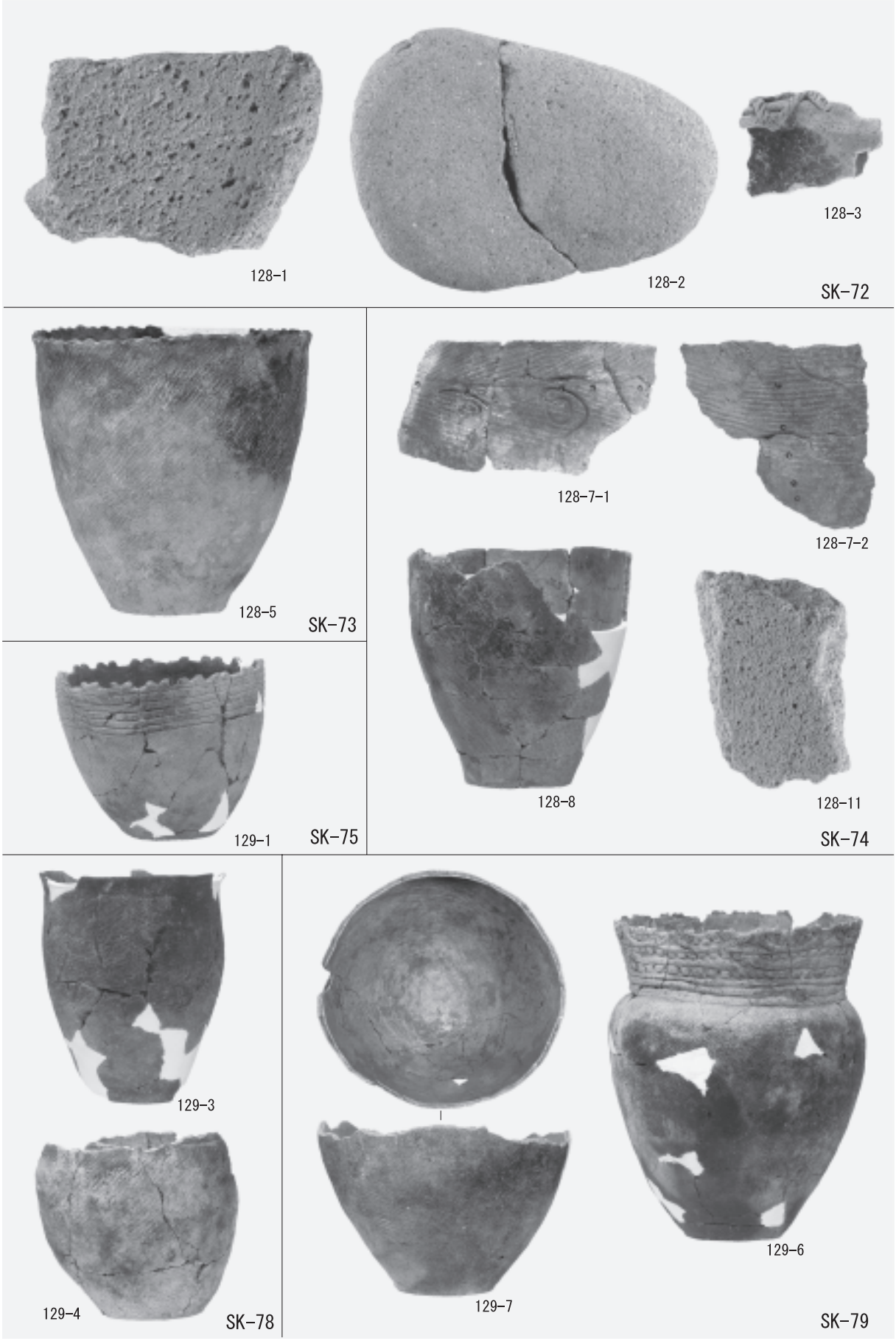


写真66　土坑出土遺物(4)

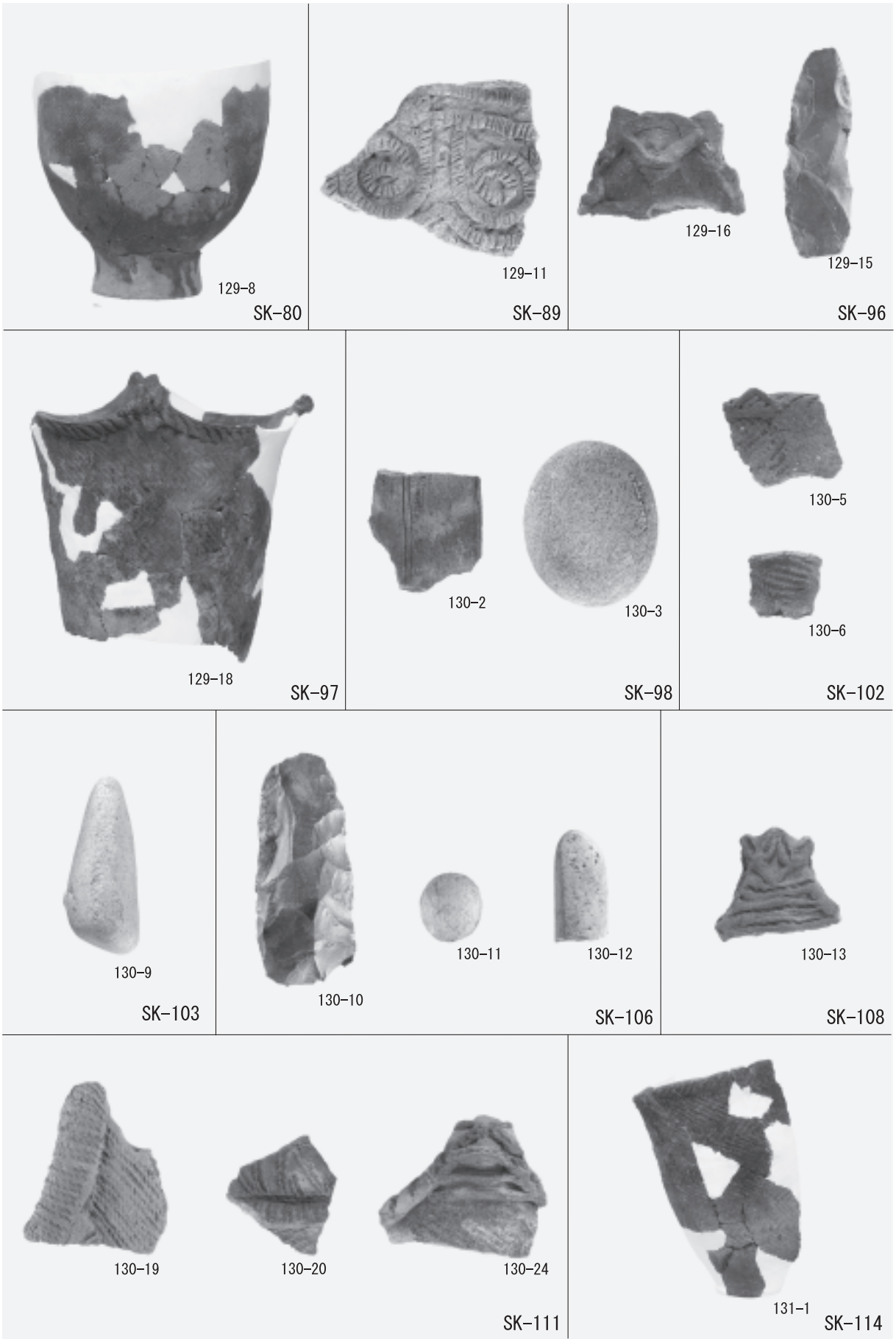


写真67　土坑出土遺物(5)

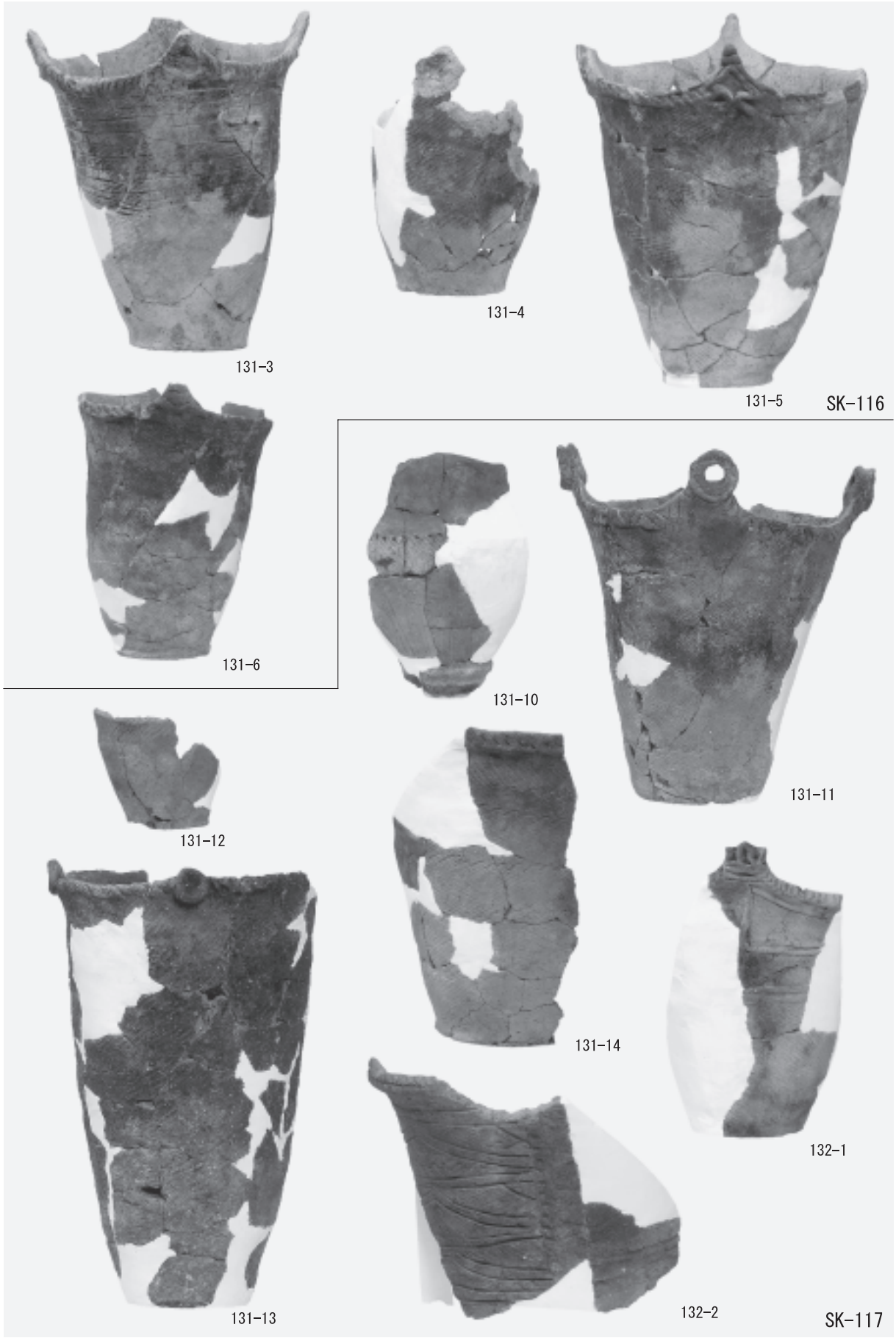


写真68　土坑出土遺物(6)

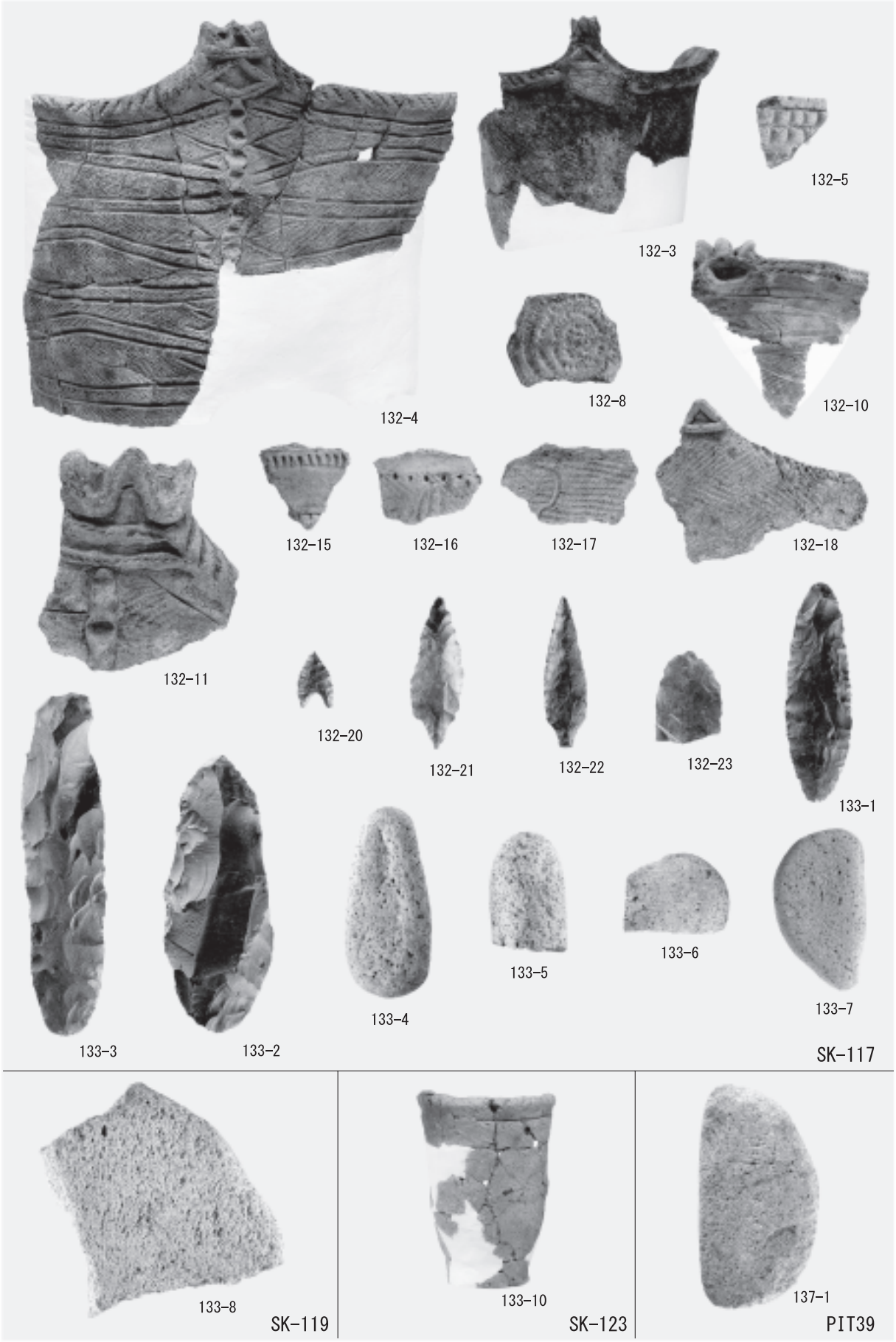


写真69　土坑出土遺物(7)

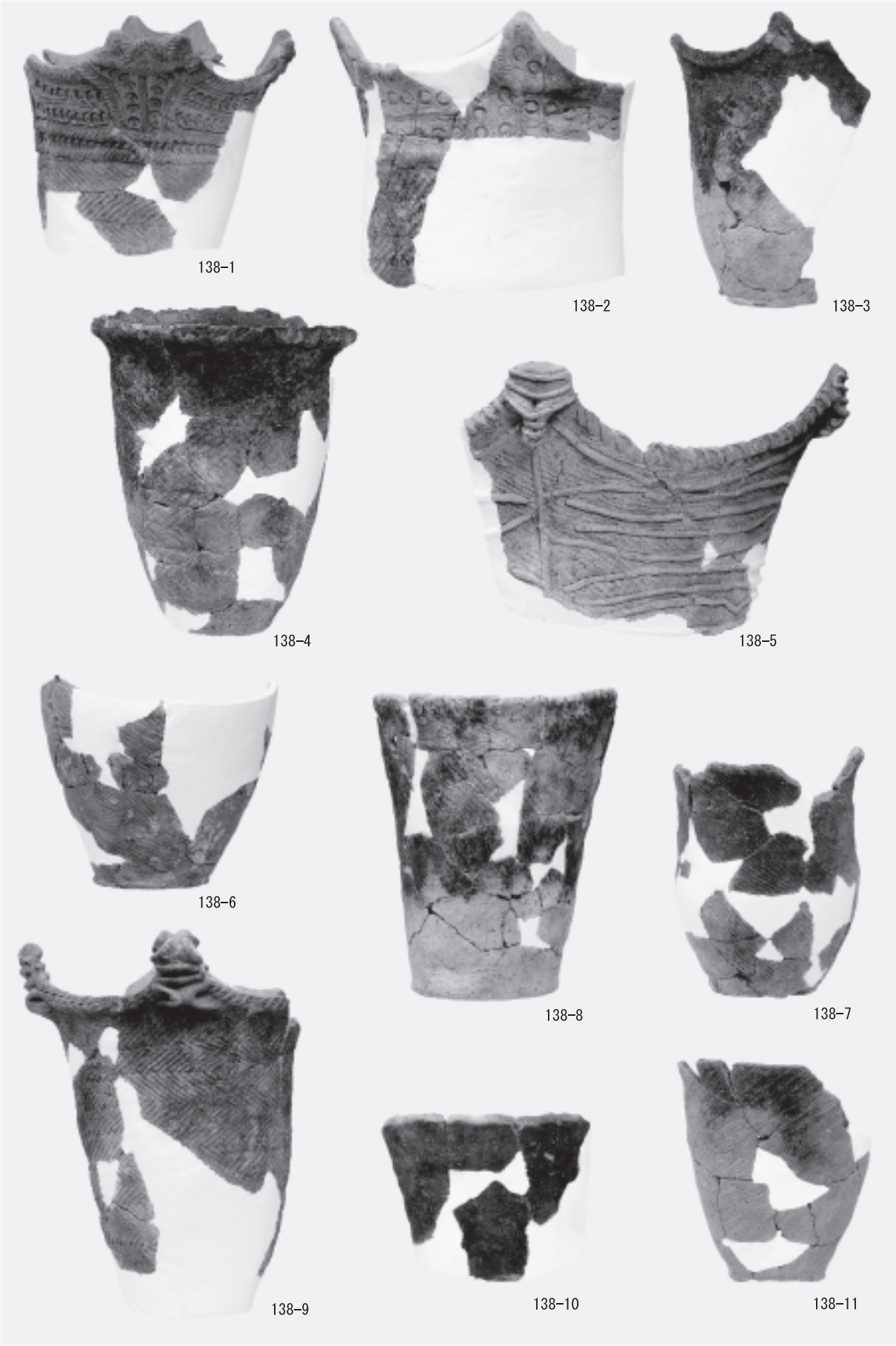


写真70　遺構外出土縄文土器（1）

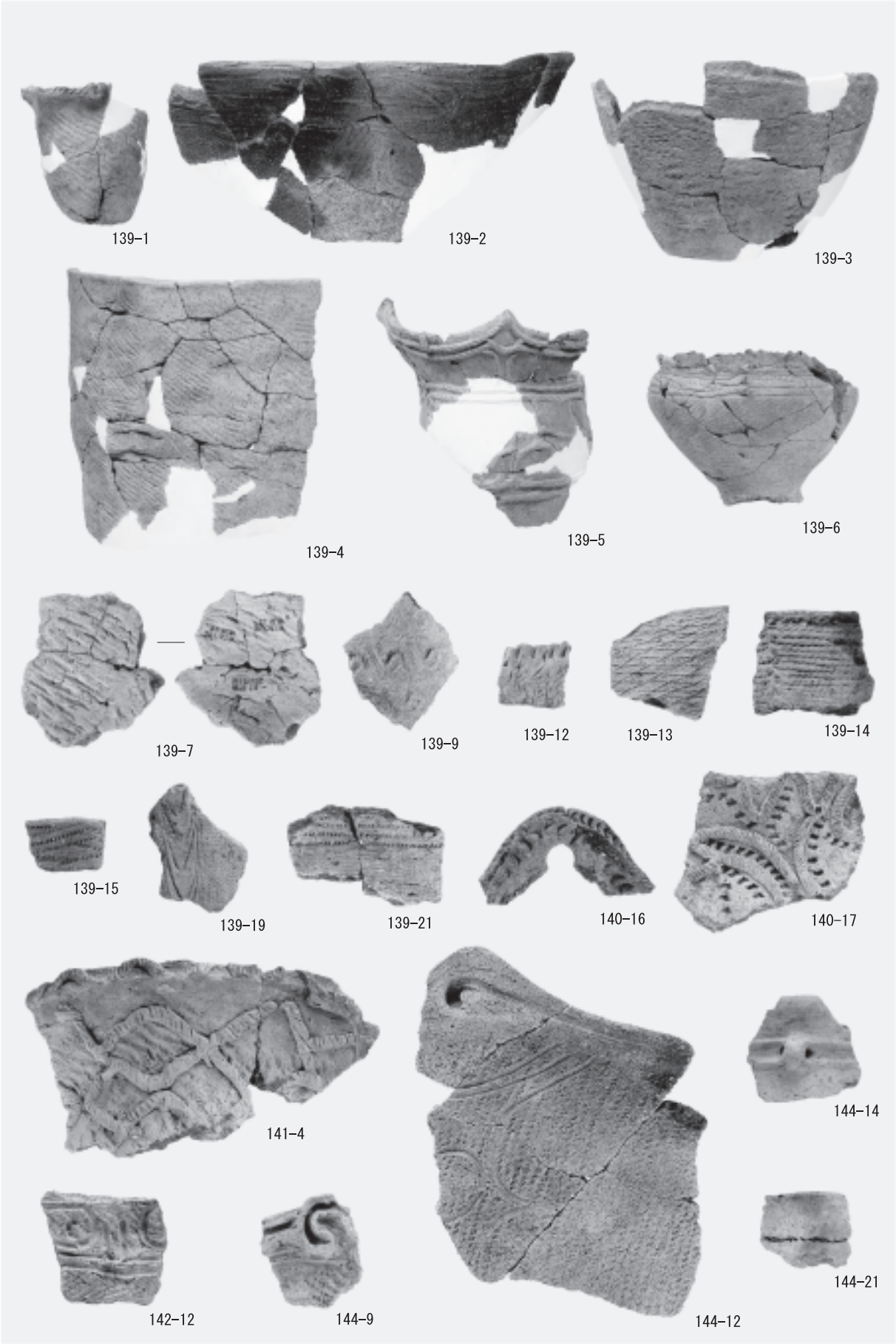


写真71　遺構外出土縄文土器(2)

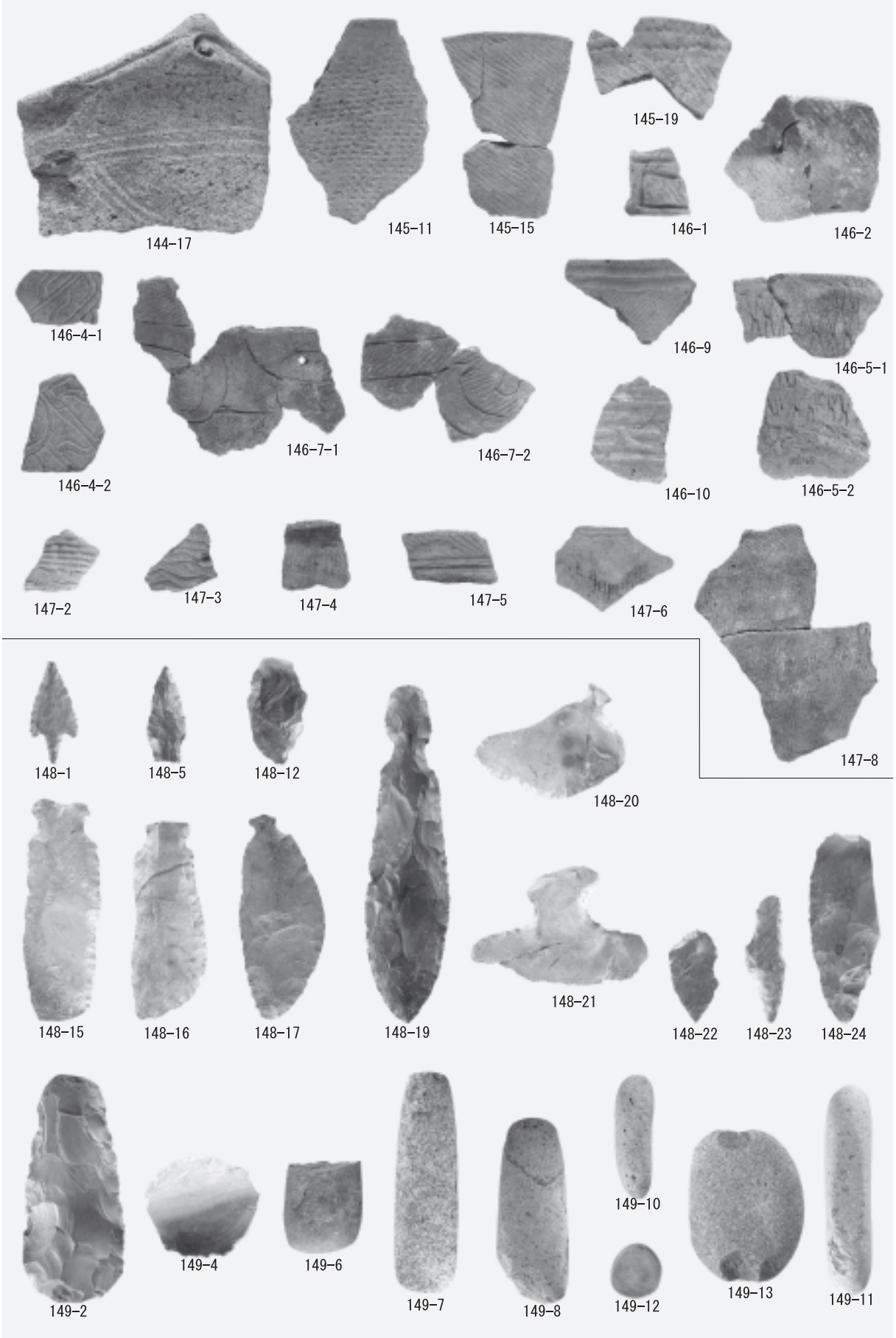


写真72　遺構外出土縄文土器（3）・弥生土器・石器（1）

写真73　遺構外出土石器(2)・須恵器・その他

報告書抄録

ふりがな	さんないいせきⅡ・さんないまるやま(9)いせき
書名	三内遺跡Ⅱ・三内丸山(9)遺跡
副書名	東北新幹線建設事業に伴う遺跡発掘調査報告
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第434集
編著者名	新山隆男・斉藤慶吏・畠山　昇・永嶋　豊・小田川哲彦・工藤　大
編集機関	青森県埋蔵文化財調査センター
所在地	〒038-0042　青森市大字新城字天田内152-15　TEL　017-788-5701
発行機関	青森県教育委員会
発行年月日	西暦2007年3月29日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	旧日本測地系 (Tokyo Datum) 世界測地系 (JGD2000) 北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
さんないいせき 三内遺跡	あおもりしおおあざ 青森市大字 さんないあざまるやま 三内字丸山 323外	02201	01019	40°48′27″	140°41′45″	20050418 ～ 20051019	600	東北新幹線建設事業に伴う事前調査
さんないまるやま 三内丸山(9) いせき 遺跡			01321	40°48′17″	140°41′58″		9,000	

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
三内遺跡	集落跡 (遺物集中区)	縄文時代		縄文土器・石器・土製品・石製品	平安時代・縄文時代中期中葉～後葉を主体とする遺物包含層が検出された。
		平安時代	性格不明遺構　3基	土師器・須恵器・製塩土器・木製品・土製品・鉄関連遺物(鉄器・羽口・鉄滓)	
三内丸山(9)遺跡	集落跡 散布地	縄文時代 (早・前・中後・晩期)	竪穴住居跡　24軒 土器埋設遺構　2基 集石遺構　2基 堀立柱建物跡　2棟 性格不明遺構　3基 土坑　45基	縄文土器・石器 土製品・石製品	大型のフラスコ形土坑、掘立柱建物跡2棟を含む縄文時代中期中葉の集落跡と縄文時代晩期前葉の土坑群が検出された。
		弥生時代 (前・中期)		弥生土器	
		平安時代	竪穴住居跡　4軒 木組遺構　1基 畝状遺構　2畝	土師器・須恵器・製塩土器・砥石・鉄関連遺物(鉄器・羽口・鉄滓)	
		時期不明	土坑　86基 堀立柱建物跡　2棟 焼土遺構　3基 ピット　39基		

要約

三内遺跡では縄文時代中期後半(円筒上層d・e式～最花式)と平安時代の遺物包含層が検出されており、平安時代の層では、多量の木製品が出土している。調査区内は隣接する台地上に存在していた集落の廃棄域として機能していたことが推定される。

三内丸山(9)遺跡では、縄文時代中期中葉～後葉にかけての集落跡が検出された。掘立柱建物跡や大型の土坑、土器埋設遺構が検出されており、意図的な配置をうかがわせる。また、縄文時代晩期前葉の土坑群、集落の背後に位置する丘陵頂部には集石遺構(中期末葉～後期初頭)が検出されている。平安時代の遺構としては、竪穴住居跡の他、沢頭に木枠を設置した木組遺構が検出されている。

青森県埋蔵文化財調査報告書　第434集

三内遺跡Ⅱ・三内丸山(9)遺跡

― 東北新幹線建設事業に伴う遺跡発掘調査報告 ―

発行年月日　2007年３月29日
発　　行　青森県教育委員会
〒030-8540 青森市新町二丁目3−1
編　　集　青森県埋蔵文化財調査センター
〒038-0042 青森市新城字天田内152−15
TEL 017−788−5701　FAX 017−788−5702
印 刷 所　青森オフセット印刷株式会社
〒030-0802 青森市本町２丁目11−16
TEL 017−775−1431　FAX 017−775−1435